

このたびは TRITON をお買い上げいただき、ありがとうございます。

J19200100122

この取扱説明書は、お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。

また、お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので、ご使用前に必ずお読みください。

- 取扱説明書はお車の中に保管してください。
- 本書のクイックガイドは、運転操作や装備の基本的な操作を抜粋して説明しています。詳細については各項目に記載の参照先をお読みください。
- 保証および点検、整備内容については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- スマートフォン連携ナビゲーションの取り扱い要領については、別冊の取扱説明書をお読みください。
- 三菱自動車販売会社で取り付けられた装備の取り扱い要領については、その装備に添付の取扱説明書をお読みください。
- お車をゆずられるときは、取扱説明書およびメンテナンスノートを車に付けておいてください。

- 装備仕様の変更などにより、本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにお問い合わせください。

安全に関する表示

- 運転者や他の人が傷害を受けたり、お車が故障や損傷するおそれがあることと、その回避方法を次の表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。



警告 記載事項を守らないと、死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。



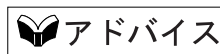
注意 記載事項を守らないと、傷害や事故またはお車の故障や損傷につながるおそれがあること。



安全のためにしてはならない行為。(イラスト内に表示されています)

その他の表示

- お車に関することやその他のアドバイスは、次の表示で記載しています。

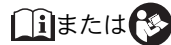



アドバイス お車のために守っていただきたいこと。知っておくと便利なこと。

タイプ別装備

グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

- お車や装備品に貼られているラベルなどに表示されているマークの意味は、次の通りです。



または  取扱説明書をお読みください。

目次

イラスト目次／クイックガイド

イラストによる検索／主な操作と機能

1

安全・安心のために

ご使用前にお読みいただきたいこと

2

運転する前に

ドアの開閉・シートなどの取り扱い

3

運転するときは

メーターなど運転装置の取り扱い

4

快適装備の使い方

エアコンなど室内装備の取り扱い

5

メンテナンス

メンテナンス・お手入れのしかた

6

もしものときの処置

トラブルが起きたときの対処方法など

7

サービスデータ

メンテナンスデータなど

8

さくいん

9

1 イラスト目次／クイックガイド

車外

外まわり	1-1
------------	-----

室内

ハンドルまわり	1-3
運転席まわり	1-4
室内	1-5

クイックガイド

クイックガイド	1-6
---------------	-----

2 安全・安心のために

出発前に

安全なドライブのために	2-2
-------------------	-----

安全装備

シートベルト	2-10
プリテンショナー機構／ フォースリミッター機構付シートベルト	2-15
SRS エアバッグ	2-16
チャイルドシート	2-26

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備	2-35
運転をする前に	2-35
雪道、凍結路の走行	2-36
寒冷地での駐車	2-37

ディーゼル車の使用燃料	2-37
タイヤチェーン	2-37

盗難防止装置

イモビライザー（盗難防止装置）	2-38
-----------------------	------

イベントデータレコーダー [EDR]

イベントデータレコーダー [EDR] について	2-38
-------------------------------	------

3 運転する前に

各部の開閉

キー	3-2
キーレスエントリーシステム	3-2
キーレスオペレーションシステム	3-5
ドア	3-12
集中ドアロック	3-13
チャイルドブルーフ（後席ドア安全施錠装置）	3-15
リヤゲート	3-15
パワーウインドウ	3-16

シート

シート調整	3-18
フロントシート	3-18
リヤシート	3-21
ヘッドレスト	3-21

ハンドル・ミラー

チルト&テレスコピックステアリング	3-23
ルームミラー	3-23

ドアミラー.....	3-24
------------	------

4 運転するときは

エンジンの始動・停止

エンジンスイッチ.....	4-3
エンジンの始動・停止.....	4-5
ターボ車の取り扱い.....	4-7
オイル交換時期リマインダー.....	4-8
ディーゼルパティキュレートフィルター [DPF].....	4-9
燃料噴射量学習機能.....	4-10
尿素 SCR システム (AdBlue® の関連システム).....	4-10

運転装置

パーキング (駐車) ブレーキ.....	4-12
オートマチックトランスミッション.....	4-13
オートマチック車の運転のしかた.....	4-17
スーパーセレクト 4WD-II.....	4-19
ドライブモード.....	4-25
リヤデフロック.....	4-27
4WD 車の取り扱い.....	4-31
オフロードを走行した後は.....	4-37

メーターの見方

計器盤.....	4-37
マルチインフォメーションディスプレイ.....	4-39
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧.....	4-50
表示灯.....	4-61
警告灯.....	4-61
インフォメーション画面表示.....	4-63

スイッチ類

ライトスイッチ.....	4-64
ヘッドライトレベリング.....	4-67
フロントフォグランプスイッチ.....	4-68
方向指示レバー.....	4-68
非常点滅灯スイッチ.....	4-69
ワイパー/ウォッシャースイッチ.....	4-69
リヤデフォグガー (曇り取り) スイッチ.....	4-72
ステアリングヒータースイッチ.....	4-73
ホーンスイッチ.....	4-73
フューエルリッド (燃料補給口).....	4-73

運転支援システム

e-Assist.....	4-75
衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM].....	4-75
踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM].....	4-82
車線逸脱警報システム [LDW].....	4-91
車線逸脱防止支援機能 [LDP].....	4-93
オートマチックハイビーム [AHB].....	4-97
後側方車両検知警報システム (レーンチェンジ アシスト機能付) [BSW/LCA].....	4-99
後退時交差車両検知警報システム [RCTA].....	4-105
ふらつき警報 [DAA].....	4-108
標識認識システム [TSR].....	4-109
パーキングセンサー (フロント/リヤ).....	4-112
マルチアラウンドモニター.....	4-116
移動物検知機能 [MOD].....	4-128
レーダークルーズコントロールシステム [ACC].....	4-131
オートストップ&ゴー [AS&G].....	4-143

アクティブスタビリティ& トラクションコントロール [ASTC]	4-146
トレーラースタビリティアシスト [TSA].....	4-149
緊急制動信号システム	4-150
ヒルスタートアシスト [HSA]	4-150
ヒルディセントコントロール [HDC].....	4-151
ブレーキアシスト.....	4-153
シャーシコントロール	4-153
アンチロックブレーキシステム [ABS].....	4-154
電動パワーステアリング [EPS].....	4-156

5 快適装備の使い方

エアコン

エアコンの上手な使い方	5-2
クリーンエアフィルター	5-2
吹き出し口	5-2
左右独立温度コントロール式フルオートエアコン	5-5
スタートアップヒーター	5-9
リヤサーキュレーター	5-10
エアコンのカスタマイズ（機能の設定変更）	5-12

オーディオ

USB ポート	5-12
アンテナ	5-14

室内装備

サンバイザー	5-14
アクセサリソケット (DC12V).....	5-15
充電用 USB ポート.....	5-16

室内灯	5-16
小物入れ	5-18
ドリンクホルダー	5-20
ボトルホルダー	5-21
アシストグリップ	5-22
コンビニエントフック	5-22
フロアマット.....	5-22

6 メンテナンス

簡単な整備

日常点検	6-2
環境保護のために守っていただきたいこと	6-4
エンジンフード（ボンネット）.....	6-4
エンジンオイルの補給	6-6
ウォッシュ液の点検・補給	6-6
バッテリー液の点検・補充	6-6
タイヤメンテナンス	6-7
クリーンエアフィルターの交換	6-8

お手入れ

内装品のお手入れ	6-9
外装品のお手入れ	6-10

7 もしものときの処置

緊急用コールサービス

SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）.....	7-2
-------------------------------	-----

故障したとき

故障したときの対処方法	7-5
発炎筒	7-6

お困りのとき

こんなことでお困りのとき	7-7
警告灯が点灯または点滅したとき	7-11

緊急時の対処方法

ジャッキと工具	7-16
ジャッキアップするとき	7-17
スペアタイヤ	7-22
タイヤ交換するとき	7-23
バッテリーが上がったとき	7-26
オーバーヒートしたとき	7-28
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたとき	7-30
ヒューズが切れたとき	7-30
バルブ（電球）が切れたとき	7-35
けん引するとき	7-39
水没したとき	7-42

8 サービスデータ

お車の仕様

メンテナンスデータ	8-2
タイヤ、ホイール	8-8
車両データの記録について	8-9

機能の設定変更

カスタマイズ（機能の設定変更）	8-10
-----------------------	------

9 さくいん

外まわり

J18008700037

アンテナ P.5-14

レインセンサー P.4-70
FCM / EAPM / LDW / LDP / AHB / TSR / ACC 用
フロントカメラ
P.4-75、4-82、4-91、4-93、4-97、4-109、4-131

車幅灯 / LED デイタイムランニングランプ
P.4-64、4-66、7-35

ヘッドライト P.4-64、7-35

方向指示灯 / 非常点滅灯 P.4-68、7-35

ノーズビューカメラ P.4-116

EAPM 用センサー P.4-82
パーキングセンサー P.4-112

FCM / ACC 用センサー P.4-75、4-131

エンジンフード (ボンネット) P.6-4

EAPM 用センサー P.4-82
パーキングセンサー P.4-112

・ 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

パワーウィンドウ P.3-16

フューエルリッド
(燃料補給口) P.4-73
給油するときは P.4-74



尿素水 (AdBlue[®])
補給口 *P.4-10

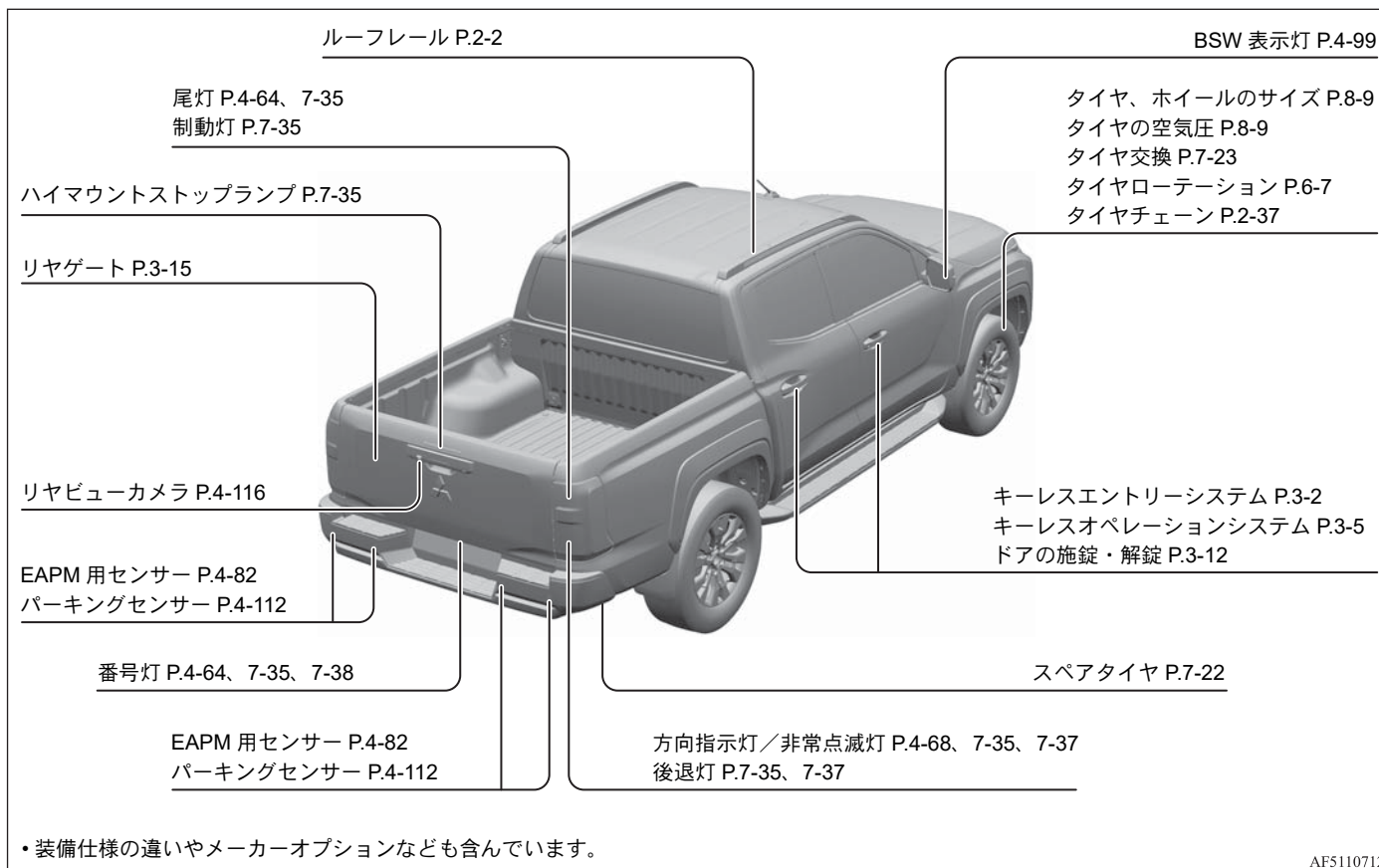
* : 尿素水 (AdBlue[®]) は三菱自動車販売会社での補給をおすすめします。

ドアミラー P.3-24
方向指示灯 / 非常点滅灯 P.4-68、7-35
サイドビューカメラ P.4-116

フロントワイパー P.4-69

フロントフォグランプ P.4-68、7-35

AF5110709



ハンドルまわり

J18008800025

レーダークルーズコントロール [ACC] スイッチ P.4-131

ステアリングスイッチ (ハンズフリーフォン、音声操作) *

計器盤 P.4-37

表示灯・警告灯 P.4-61、4-61

ワイパー／ウォッシャースイッチ
P.4-69

マルチインフォメーション
ディスプレイスイッチ P.4-39

エンジンスイッチ P.4-3

ステアリングスイッチ
(オーディオ) *

チルト&テレスコピック
ステアリングレバー P.3-23

運転席 SRS エアバッグ P.2-16、2-17

ホーンスイッチ P.4-73

運転席 SRS ニーエアバッグ P.2-16、2-19

ライトスイッチ P.4-64

方向指示レバー P.4-68

フロントフォグランプスイッチ P.4-68

オートマチックハイビーム [AHB] スイッチ P.4-97

オートストップ&ゴー [AS&G]OFF
スイッチ P.4-146

メーター照度調整スイッチ P.4-37

ヘッドライトレベリングダイヤル
P.4-67

ドリンクホルダー P.5-20

集中ドアロックスイッチ P.3-13

ドアミラー調整スイッチ P.3-24

パワーウインドウスイッチ P.3-16

車線逸脱防止支援機能 [LDP] スイッチ
P.4-93

エンジンフード (ボンネット) リリースレバー P.6-4

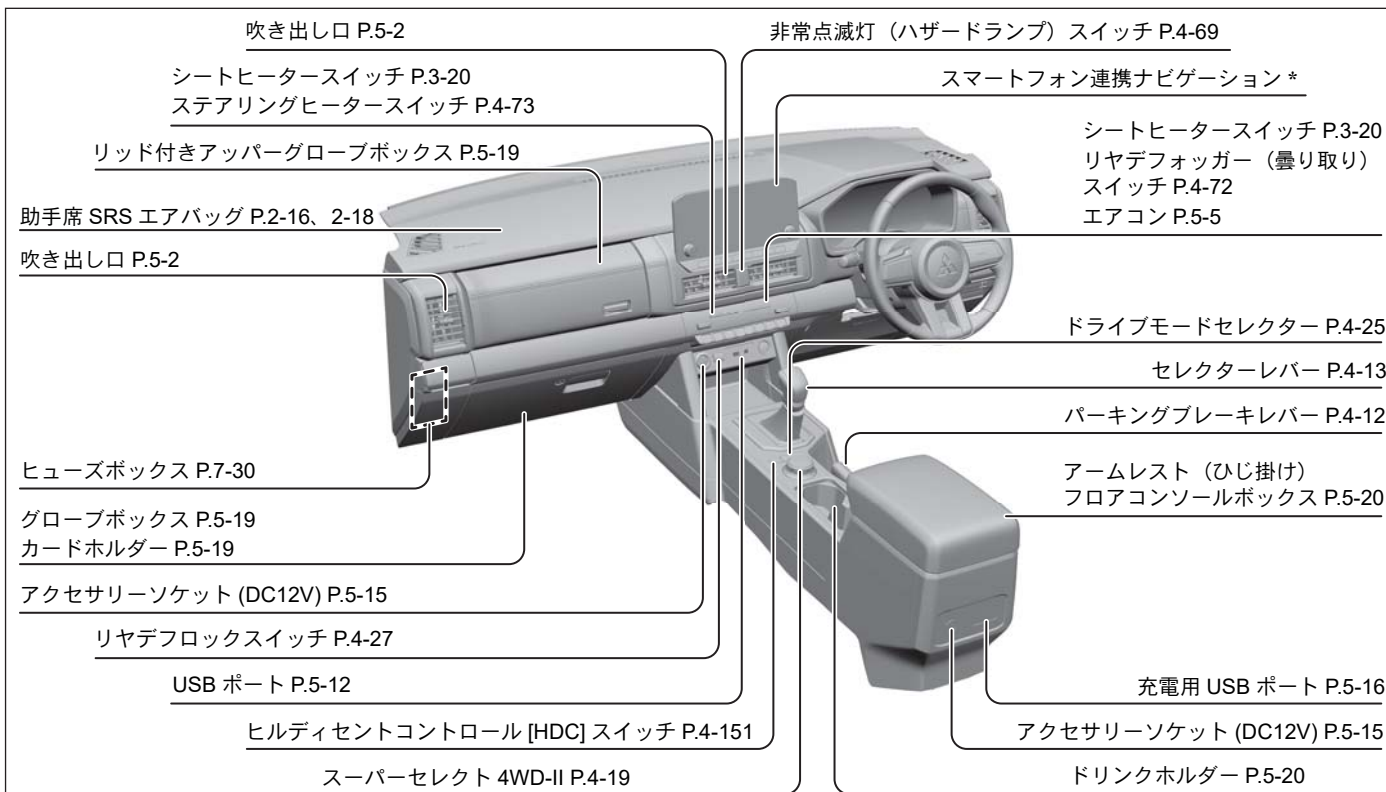
フューエルリッド (燃料補給口) オープナー P.4-73

・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

*：取り扱いについては、別冊のスマートフォン連携ナビゲーションの取扱説明書をお読みください。

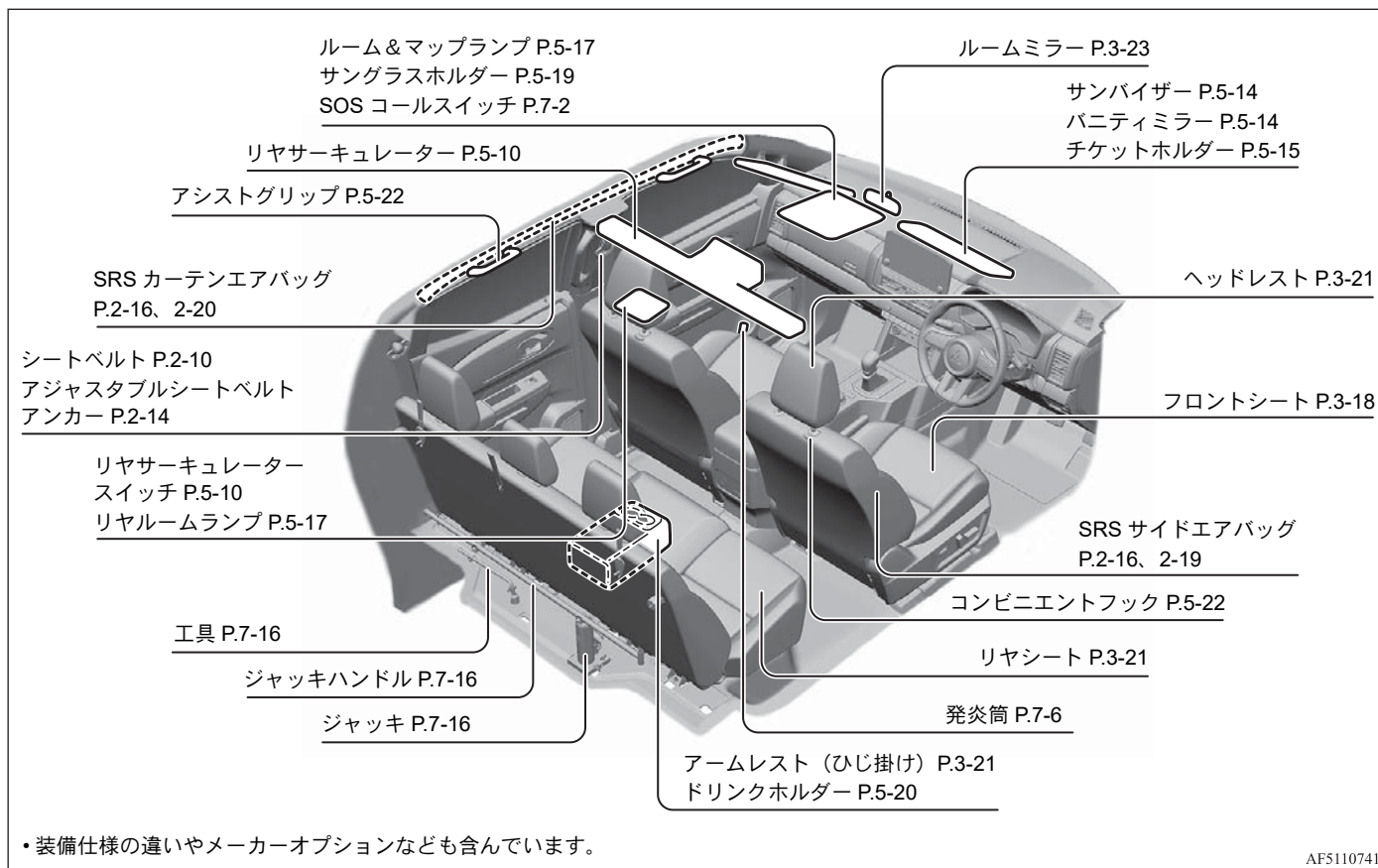
AF5110725

運転席まわり



・装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

*：取り扱いについては、別冊のスマートフォン連携ナビゲーションの取扱説明書をお読みください。



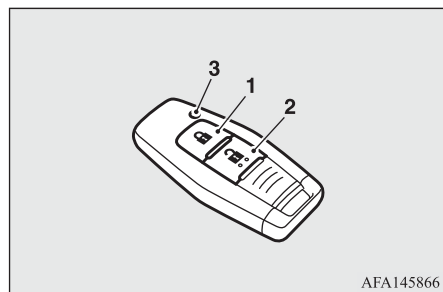
クイックガイド

J18009100025

ドアの施錠・解錠

キーレスエントリーシステム

キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアの施錠・解錠やドアミラーを操作（自動格納・自動復帰）することができます。

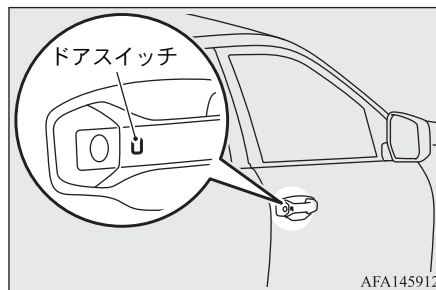


- 1- LOCK スイッチ
- 2- UNLOCK スイッチ
- 3- 作動表示灯

→ 「キーレスエントリーシステム」 P.3-2

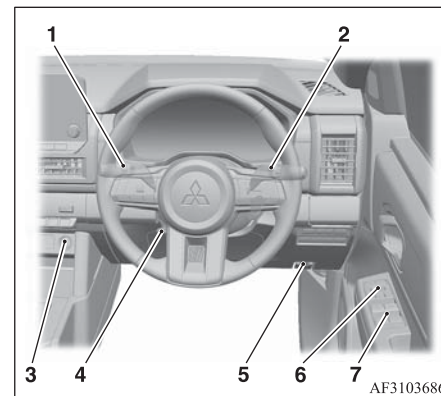
キーレスオペレーションシステム

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき、作動範囲内でフロントドアスイッチを押すとすべてのドアが施錠または解錠します。
作動範囲はフロントドアのハンドルから周囲約 70cm 以内です。

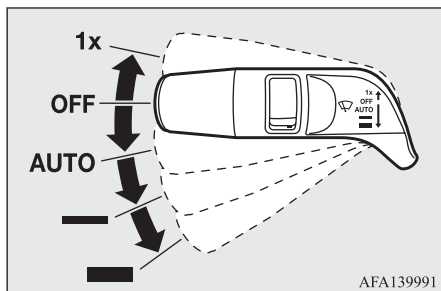


→ 「キーレスオペレーションシステム」 P.3-5

運転席まわり



1- ワイパー／ウォッシャースイッチ

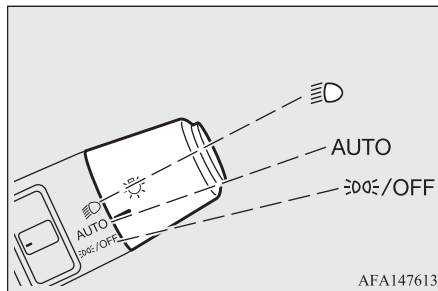


- 1x 1回作動
(ワイパーミスト機能)
- OFF 停止
- AUTO 自動作動 (雨滴感応)
雨の程度に応じて、自動的にワイパーが作動します。
- 低速作動
- 高速作動

レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射します。

→「ワイパー／ウォッシャースイッチ」P.4-69

2- ライトスイッチ

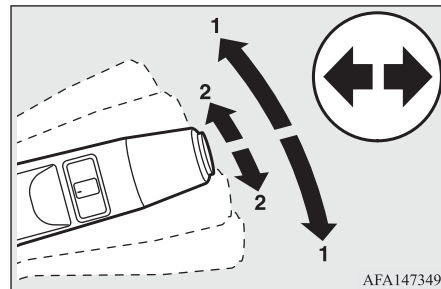


AUTO	エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、車外の明るさに応じてヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯などが自動的に点灯・消灯します。 電源モードを OFF にすると自動的に消灯します。
1	エンジンスイッチの電源モードの状態に関係なく、ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯などが点灯します。
2	停車中、ライトを消灯させることができます。

→「ライトスイッチ」P.4-64

2- 方向指示レバー

エンジンスイッチの電源モードが ON のときにレバーを操作すると、方向指示灯が点滅します。

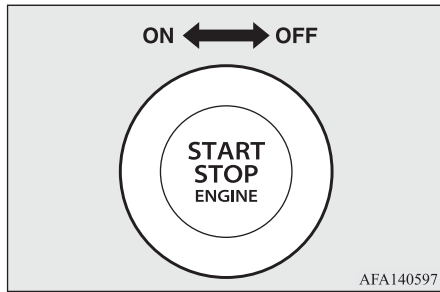


- 1- 方向指示
- 2- 車線変更

→「方向指示レバー」P.4-68

3- エンジンスイッチ

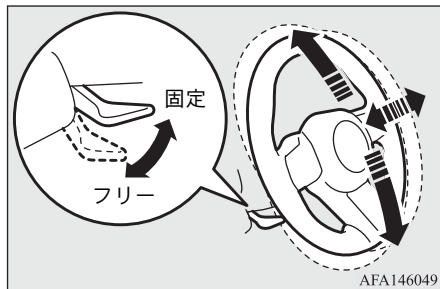
キーレスオペレーションキーを携帯しているとき、エンジンの始動ができます。ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと、電源モードが「OFF」→「ON」→「OFF」の順に切り換わります。



→ 「エンジンスイッチ」 P.4-3

4- ハンドル上下・前後調整

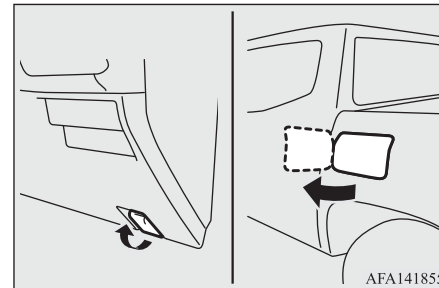
ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ、ハンドルを前後、上下に動かして調整します。
レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。



→ 「チルト&テレスコピックステアリング」 P.3-23

5- フューエルリッド（燃料補給口）オープナー

計器盤右下のレバーを引いてフューエルリッド（補給口）を開けます。
フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。

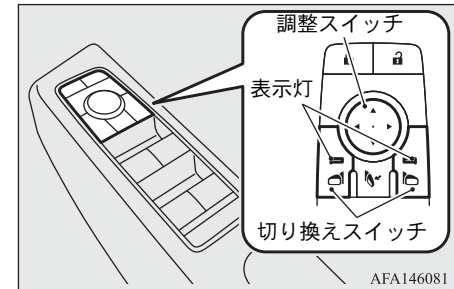


→ 「フューエルリッド（燃料補給口）」 P.4-73

6- ドアミラー

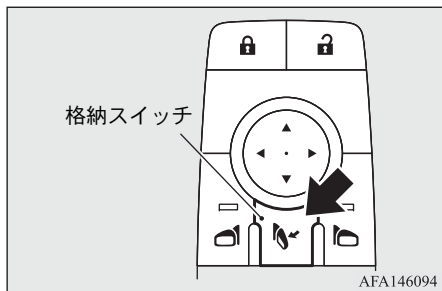
ミラーの角度調整

エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、調整したいミラー側の切り換えスイッチを押した後（スイッチの表示灯が点灯）、調整スイッチを押します。



ミラーの格納・復帰

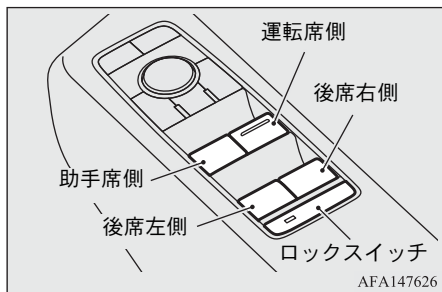
エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、格納スイッチを押すとドアミラーが格納され、もう一度押すと元の位置に戻ります。



→「ドアミラー」 P.3-24

7- パワーウインドウ

エンジンスイッチの電源モードが ON のときにスイッチを押すと開き、引き上げると閉まります。



ロックスイッチ

ロックスイッチを押すと、助手席、後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときにはもう一度押します。

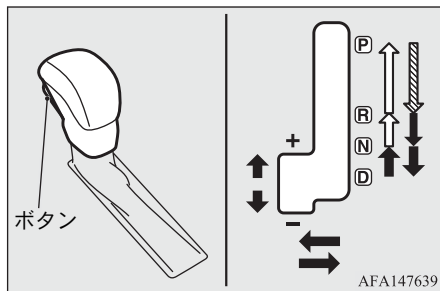
→「パワーウインドウ」 P.3-16

オートマチックトランスミッション

スポーツモード 6A/T

路面や走行状況に応じて、適切にシフトチェンジを行い、低燃費でスムーズな走行を実現します。

セレクターレバーの動かし方

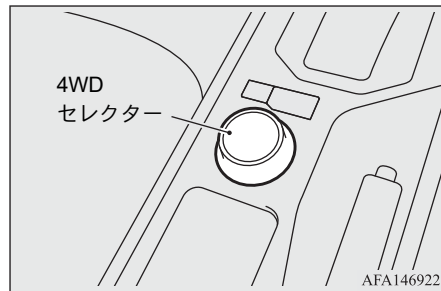


	ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押して操作します。
	ボタンを押さずに操作します。
	ボタンを押したまま操作します。

→「オートマチックトランスミッション」 P.4-13

スーパーセレクト 4WD-II

スーパーセレクト 4WD-II は、4WD セレクターの操作により走行状況に合わせて 4 種類の駆動モードを選択できる 4WD システムです。
路面の状態に応じて 4WD セレクターを切り換えます。



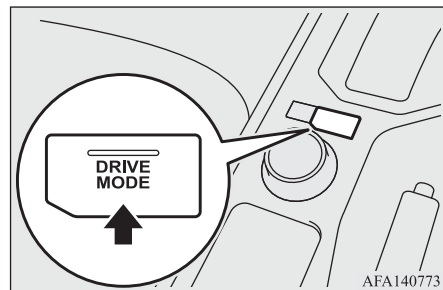
→「スーパーセレクト 4WD-II」 P.4-19

ドライブモード

ドライブモードは路面状況に応じて、エンジン、トランスミッション、ステアリング、AYC、ブレーキコントロールを最適な特性に選択することで、幅広い運転スタイルや走行状況における走行性能と車両の安定性の向上に貢献する機能です。

ドライブモードセクター

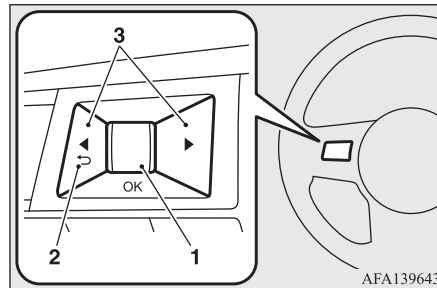
ドライブモードセクターを押すと、4WDセクター位置に対応するドライブモードに切り換わります。



→「ドライブモード」 P.4-25

マルチインフォメーションディスプレイ

マルチインフォメーションディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。表示の切り換え・設定をするときは、ステアリングスイッチで操作します。



- 1- ダイヤルスイッチ
上下に回す：項目切り換え
押す：決定
- 2- ⇐スイッチ
前のメニューに戻る
- 3- ▶⇒スイッチ
表示画面切り換え

→「マルチインフォメーションディスプレイ」 P.4-39

e-Assist

e-Assist とは、各種センサーによって事故の危険を検知して運転者に知らせるとともに、できる限り事故被害を予防・回避・軽減できるように支援する安全技術です。

e-Assist には次の機能があります。

- **衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM]**
前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。→P.4-75
- **踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]**
進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者（前進時のみ）などがいる場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。→P.4-82
- **車線逸脱警報システム [LDW]**
カメラで走行車線（レーン）を認識し、走行車線を逸脱しそうな状況において表示と警告音で運転者に注意を促します。→P.4-91

●車線逸脱防止支援機能 [LDP]

カメラで走行車線（レーン）を認識し、走行車線を逸脱しそうな状況において運転者が自車を車線内に戻す操作の支援をします。→P.4-93

●オートマチックハイビーム [AHB]

カメラにより先行車または対向車のランプや街路灯などの明るさを検知して、ヘッドライトが上向き（ハイビーム）のときに下向き（ロービーム）への切り換えや上向き（ハイビーム）への復帰を自動的に行います。→P.4-97

●後側方車両検知警報システム（レーンチェンジアシスト機能付）[BSW/LCA]

隣接車線の後方から自車に接近している車両の存在を知らせることによって、車線変更時の後方確認を援助するシステムです。→P.4-99

●後退時交差車両検知警報システム [RCTA]

後退時に後方を横切ろうとする車両に衝突するおそれがあるとき、警報と表示によって注意を促します。→P.4-105

●ふらつき警報 [DAA]

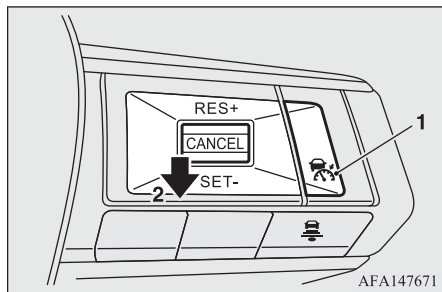
ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、インフォメーション画面の表示と警報音により運転者に休憩を促します。→P.4-108

●標識認識システム [TSR]

ドライバーに検知した最新の標識情報を提供します。標識情報はインフォメーション画面に表示されません。→P.4-109

レーダークルーズコントロールシステム [ACC]

ACCは前方車両を検出しているとき、運転者がセットした車速を上限に約 25 ～ 135km/h の範囲で、選択した車間距離を保つように車間制御を行い走行します。



1. メインスイッチを押してすぐに離します。
2. 設定したい車速まで加速して、SET-スイッチを押し下げて離すと、車速が設定されます。

→「レーダークルーズコントロールシステム [ACC]」P.4-131

マルチアラウンドモニター

マルチアラウンドモニターは「ノーズビューカメラ」、「サイドビューカメラ（左右）」および「リヤビューカメラ」の4つのカメラの映像を組み合わせ、スマートフォン連携ナビゲーションに映像を表示させる装置です。駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。セレクトターレバー、カメラスイッチを操作することにより表示できます。

→「マルチアラウンドモニター」P.4-116

出発前に

安全なドライブのために 2-2

安全装備

シートベルト 2-10

プリテンショナー機構／

フォースリミッター機構付シートベルト 2-15

SRS エアバッグ 2-16

チャイルドシート 2-26

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備 2-35

運転をする前に 2-35

雪道、凍結路の走行 2-36

寒冷地での駐車 2-37

ディーゼル車の使用燃料 2-37

タイヤチェーン 2-37

盗難防止装置

イモビライザー（盗難防止装置） 2-38

イベントデータレコーダー [EDR]

イベントデータレコーダー [EDR] について 2-38

安全なドライブのために

J10108800020

お車を運転の際に知っておいていただきたいこと、守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。重要ですので、しっかりお読みください。

出発前は

J10109100062

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

- 強い直射日光などにより車内が高温になると容器が破裂したり、蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

運転席の足元付近を点検

- 出発前に運転席の足元付近を点検し、空き缶などの動きやすい物を放置しないでください。
ブレーキペダルやアクセルペダルの下に物がはさまると、ペダル操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロアマットはペダルに引っかからないよう、車に合った物を正しく敷いてください。→「フロアマット」P.5-22
正しく敷かないと、ペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがありますので、次のことをお守りください。
 - ・ずれないように固定クリップなどで確実に固定する。
 - ・ペダルを覆わない。
 - ・重ねて敷かない。
 - ・アクセルペダルの下に敷かない。

荷台に荷物を積むときは

- 荷物は必ず指定の最大積載量までにしてください。
- 重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。
後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
- 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

ルーフレール タイプ別装備 に直接荷物を積まない

- 荷くずれを起こして思わぬ事故につながるおそれがあります。
走行安全上、ルーフレールに直接荷物を積んだり、不用意にロープを掛けしないでください。
- ルーフに荷物を積むときは、専用のルーフキャリアを使用してください。
その際は、重心が片寄らないようにバランスよく積んでください。

フロントガラス前部の雪、落ち葉などは取り除く

- フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪、落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
そのままにしておくと、車内の換気が十分にできずガラスが曇り、視界が悪くなるおそれがあります。

走行するときは

J10109200050

発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車した後は、子どもや障害物など、車の周りの安全を十分確認してから発進してください。
- 車を後退させるときは目で後方を確認してください。バックミラーでは確認できない死角があります。

雨天時や水たまりを走行するときは

- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし、ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
特に雨の降り始めは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後、ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなる場合があります。
ブレーキの効きが悪いときは、前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると、ハイドロブレーキング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは...

- 水のたまっている道路を高速で走行するとき、あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず、水上を滑走する状態になり、車のコントロールが効かなくなる現象。

冠水路などは走行しない

- 冠水した道路や深い水たまりなどは走行しないでください。エンスト、電装品のショート、エンジン破損などの原因になります。万一、冠水路などを走行し、水につかってしまったときは、必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると、ブレーキが過熱して、ブレーキの効きが悪くなることがあります。坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。

段差などを通過するときは

- できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。また、次のような場合、車体、バンパー、マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
 - ・駐車場の出入り口
 - ・路肩や車止めのある場所
 - ・勾配の急な場所
 - ・わだちのある道路

走行中に異常に気づいたら

J10109300051

万一、走行中にエンストしたときは

- 走行中にエンストしたときは、運転操作に変化が起きますので、次の点に注意して車を安全な場所に止めてください。

- ブレーキ倍力装置が働かなくなるため、ブレーキの効きが非常に悪くなります。通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。ブレーキペダルから足を離し、再び踏み直すと、ブレーキの効きがさらに悪くなります。
- 万一、スピードが落ちないときは、パーキングブレーキを慎重にかけてください。このときも、ブレーキペダルは強く踏み続けてください。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

- 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。
- 次のようなときは、パンクやバーストが考えられます。
 - ハンドルがとられるとき
 - 異常な振動があるとき
 - 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときやマルチインフォメーションディスプレイ内に警告表示されたときは

- 警告灯が点灯または点滅したときやインフォメーション画面に警告表示されたときは安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
 - 「インフォメーション画面表示」 P.4-51
 - 「警告灯が点灯または点滅したとき」 P.7-11点灯または点滅もしくは表示したまま走行すると、思わぬ事故を引き起こしたり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

- すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などがあると、思わぬ事故につながるおそれがあります。漏れや損傷などが見つかったときは、そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

駐停車するときは

J1010940023

燃えやすい物の近くには車を止めない

- 枯草や紙など燃えやすい物の近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため、火災になるおそれがあります。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

- エンジンをかけたまま仮眠すると、排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- 無意識にセクターレバーを動かしたり、アクセルペダルの踏み込みにより、不用意な発進など、重大な事故につながるおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに、オーバーヒートを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱により、火災事故が発生するおそれがあります。

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは、パーキングブレーキを確実にかけ、セクターレバーをPに入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
輪止めは、三菱自動車販売会社でお買い求めください。
輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。
無人で車が動き出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

雪が積もった場所や降雪時にはエンジンをかけたままにしない

- エンジンがかかった状態で、車の周りに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

経済的な運転をするために

J10109500040

無駄な荷物を載せない

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進、加速はスムーズに

- 不必要な急発進、急加速、急減速など、アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け、アクセルペダルの操作は緩やかに行ってください。

速度はできるだけ一定に

- 法定速度を守り、できるだけ一定のスピードで運転してください。

空ぶかしは禁物

- 空ぶかしは、燃料の無駄使いであると同時に、騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンをストップ

- 携帯電話の使用や休憩などで、長い間車を止めるときは、エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に、騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

- タイヤの空気圧はこまめに点検し、常に規定の空気圧に調整してください。
 - 「タイヤ空気圧の点検・調整」 P.6-7
 - 「タイヤの空気圧」 P.8-9

お子さまを乗せるときは

J1010900029

お子さまは後席に座らせる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく、お子さまが運転装置に触れて、重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも、次のことをお守りください。
 - ・必ずシートベルトを着用する
→「シートベルト」P.2-10
 - ・シートをできるだけ後方に下げる
 - ・シートに深く腰掛けて、背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる
 - ・シートベルトを正しく着用できない場合は、チャイルドシートを使用する
→「チャイルドシート」P.2-26

窓から手や顔を出させない

- 窓から手や顔を出していると、車外の物などに当たったり、急ブレーキをかけたとき、重大な傷害を受けるおそれがあります。

車から離れるときはお子さまも一緒に

- お子さまだけを車内に残さないでください。
炎天下での車内は高温となり、熱射病などのおそれがあります。

こんなことにも注意

J1010890021

運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用しない

- 運転中、運転者はハンズフリー以外の携帯電話を使用しないでください。使用すると、周囲の状況に対する注意がおろそかになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中、運転者がハンズフリー以外の携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

- ブレーキペダルに常に足を乗せて運転すると、ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱して、効きが悪くなるおそれがあります。

ハンドルをいっぱい回した状態を長く続けない

- ハンドル操作力が重くなることがあります。
→「電動パワーステアリング [EPS]」P.4-156

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

- エンジンがかかっていないと、ブレーキの効きが非常に悪くなったり、ハンドル操作が非常に重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも、必ずエンジンをかけてください。

アクセサリ取り付け時の注意

- ウィンドウガラスなどにアクセサリを付けたり、インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
運転の妨げになったり、吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など、思わぬ事故の原因となります。

違法改造はしない

- 国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。
また、三菱自動車純正以外の部品を装着すると、車の性能や機能に影響し、思いがけない事故が発生するおそれがあります。

電装品などを取り付けるときは

- 電装品などを取り付けるときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。
配線が車体に干渉したり、保護ヒューズがないなど取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お客様のお車には、電子制御システムの点検整備をするための故障診断コネクターが装備されています。

シートベルト

そのコネクタに、点検整備用の故障診断機以外の機器を取り付けると、バッテリーが上がったり、車両の電子機器に悪影響をおよぼすなど思わぬトラブルの原因となりますので、取り付けないでください。
また、故障診断機以外の取り付けによる故障は、保証の対象外となることがあります。

2 無線機を取り付けるときは

- 無線機を取り付けるときは、必要な情報（周波数、送信出力、取り付け条件）について三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
周波数、送信出力、取り付け条件などが適切でない場合、電子機器に悪影響をおよぼしたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルト

J10101700075

シートベルトは万一の場合、運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトは次の使用方法、注意を守り、運転する前に必ず着用してください。



⚠警告

- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず、車外に投げ出されたりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 肩部ベルトは脇の下を通さないで、肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部に掛けないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け、シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、身体がシートベルトの下にもぐり、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰掛けた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については次の項をお読みください。→「フロントシート」P.3-18
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

警告

- シートベルトは、大人の体格に合わせて設計されています。シートベルトを着けたとき肩部のベルトが首、あご、顔などに当たる場合や、腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け、シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。→「チャイルドシート」P.2-26
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一、シートベルトが外せなくなったときは、はさみなどでベルトを切断してください。
- シートベルトを荷物の固定に利用しないでください。シートベルトが損傷し、事故のときに十分な効果を発揮しないおそれがあります。シートベルトは乗員の保護またはチャイルドシートの固定のためだけに使用してください。→「チャイルドシート」P.2-26

警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので、医師にご相談の上、注意事項を確認してからご使用ください。妊娠中の方は、腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり、金具部などが正常に動かなくなったときは、シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず、性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一、事故に遭ってシートベルトに強い衝撃を受けた場合は、外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があります。性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社にご相談ください。

警告

- バックルや巻き取り装置の内部に異物（ビニール片、クリップ、ボタンなど）を入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り外し、取り付けをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。



- ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白、染色は絶対にしないでください。シートベルトの性能が落ち、十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J10105900046

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが、強い衝撃を受けたときは、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

- ベルトを素早く引き出すことにより、ベルトがロックするか確認できます。

着用するときは

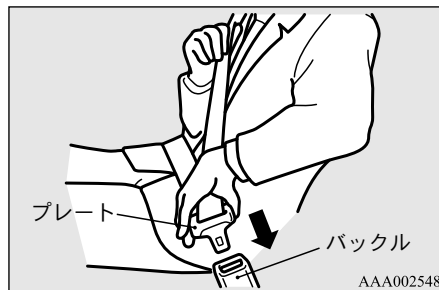
J10106000060

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトを緩め、再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後、プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。



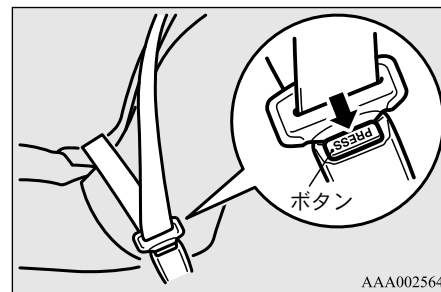
3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、ベルトを引いて腰部に密着させます。



外すときは

J10106100087

1. プレートを持ってバックルのボタンを押します。



2. ベルトは自動的に巻き取られますので、プレートに手を添えてゆっくり戻します。

アドバイス

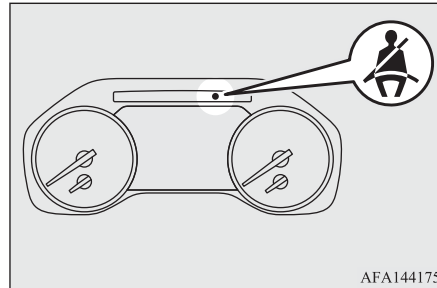
- ベルトやリングが汚れていると、ベルトがスムーズに巻き取られないことがあります。見た目では分からなくても実際は汚れている場合がありますので、ベルトをすべて引き出し、中性洗剤を使用してベルト全体やリングを拭いてください。見えない汚れを取ることで、ベルトの動きが元に戻ることがあります。→「シートベルトのお手入れ」P.6-10



シートベルト非着用警告システム

J10106200059

前席用

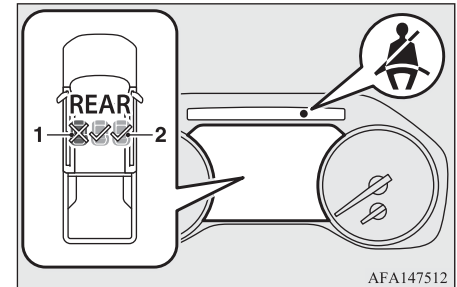


運転席および助手席の乗員がシートベルトを着用しないままエンジンスイッチの電源モードを ON にすると、警告灯が点灯し、シートベルトの着用を促します。運転席および助手席の乗員がシートベルトを着用せずにそのまま走行すると（約 15km/h 以上）、警告灯の点滅と約 95 秒間のブザーでシートベルトの着用を促します。

アドバイス

- 助手席用の警告は、助手席に組み込まれた乗員検知センサーが助手席に掛かる重量を検知したときに作動します。助手席に荷物などを置くと、センサーが重量を検知して、警報が作動することがあります。

後席用



- 1- (赤色席)：シートベルトを着用していない席
- 2- (緑色席)：シートベルトを着用している席

エンジンスイッチの電源モードを ON にすると、後席のシートベルトの着用状態をマルチインフォメーションディスプレイ内に約 65 秒間表示します。シートベル

トを着用していない席を⊗(赤色席)で表示し、シートベルトの着用を促します。

⊗(赤色席)でシートベルトを着用すると⊙(緑色席)に変わり、シートベルトを着用したことをお知らせします。

アドバイス

- 後席に乗員がいなくてもシートベルトの着用状態を表示します。

停車中に着用していたシートベルトを外すと、次の警告でシートベルトの着用を促します。

- 警告灯^①の点灯 (約 95 秒間)
- マルチインフォメーションディスプレイの表示

走行中に (約 15km/h 以上) 着用していたシートベルトを外す、または停車中に着用していたシートベルトを外してリヤドアを開閉せずに走行を開始すると (約 15km/h 以上)、次の警告でシートベルトの着用を促します。

- 警告灯^①の点滅 (約 95 秒間)
- マルチインフォメーションディスプレイの表示
- ブザー (約 95 秒間)

アドバイス

- 停車してリヤドアを開閉するまで、走行を開始した時点のシートベルトの着用状態 (着用しているシートベルトの数) を記憶しています。マルチインフォメーションディスプレイに表示される⊙(緑色席)の数と、車両が記憶しているシートベルト着用の数が一致すると、マルチインフォメーションディスプレイの表示は消えます。
- 停車中にエンジンスイッチの電源モードがONの状態ではリヤドアを開閉した場合、後席用シートベルト非着用警告システムはリセットされ、エンジンスイッチの電源モードをONにしたときの制御が変わります。
- ハンドルのダイヤルスイッチを使ってシートベルト着用状態の表示を消すことができます。
→「マルチインフォメーションディスプレイの使い方」P.4-39
ただし、ブザーが鳴っている間は、表示を消すことはできません。

ベルトが首、顔に当たるときは (アジャスタブルシートベルトアンカー)

J10106300050

フロントシート

肩部ベルトの高さを調整することができます。

ベルトが首、顔に当たったり、肩から外れて腕にかかってしまうときに調整してください。

調整するときはロックノブを引いたままアンカーを上下に動かします。

調整後はアンカーが固定されていることを確認します。



警告

- アンカーを調整するときは、肩部ベルトが首に当たらず、肩の中央に十分かかるように調整してください。また、調整後はアンカーが確実に固定されていることを確認してください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮できず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J10101800063

プリテンショナー付シートベルトは、運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

プリテンショナー機構は、エンジンスイッチの電源モードが ON のときに乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方および側方より受けたときに、シートベルトを瞬時に引き込み、シートベルトの効果を一層高める装置です。

警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため、次のことをお守りください。
 - ・フロントシートを正しい位置に調整してください。→P.3-18
 - ・シートベルトを正しく着用してください。→P.2-10
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理、カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので、三菱自動車販売会社にご相談ください。

注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社にご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し、けがをするおそれがあります。

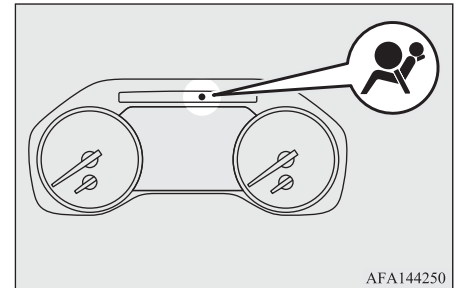
アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても、前方および側方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。三菱自動車販売会社で運転席、助手席側を同時に交換してください。

フォースリミッター機構

衝突時に、シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し、乗員への衝撃をやわらげる装置です。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯



正常なときは、エンジンスイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。

SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構に異常があるときは、点灯します。

⚠警告

- 警告灯がエンジンスイッチの電源モードを ON にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故のときに SRS エアバッグやプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せず死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

SRS エアバッグ

J10101900064

エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに膨らみ、シートベルトの働きを補って、乗員への衝撃をやわらげる装置です。

SRSとは Supplemental Restraint System の略語で補助拘束装置の意味です。

運転席、助手席SRSエアバッグ

強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ、運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

運転席 SRS ニーエアバッグ

強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ、運転者の脚部を受け止めることで姿勢を制御し、身体全体の保護効果を高める装置です。

SRS サイドエアバッグ

強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ、運転者または助手席同乗者の胸などの上体への衝撃をやわらげる装置です。

SRS カーテンエアバッグ

強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ、運転者および同乗者の主に頭部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠警告

- SRS エアバッグはシートベルトに代わる物ではありません。シートベルトは必ず着用してください。シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり、その際に SRS エアバッグが膨らむとその強い衝撃で死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトは次の理由により必ず着用してください。
 - SRS エアバッグが膨らんだとき、シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
 - SRS エアバッグが作動しないときでも、シートベルトによりけがを軽減することができます。
 - シートは正しい位置に調整し、背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。SRS エアバッグは非常に強い力で膨らむため、SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車していると SRS エアバッグにより死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後、高温になりますので触らないでください。やけどをするおそれがあります。

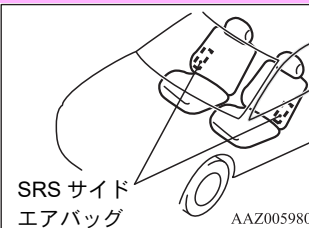
⚠警告

- SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり、ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せず死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席 SRS エアバッグ 運転席 SRS エアバッグ



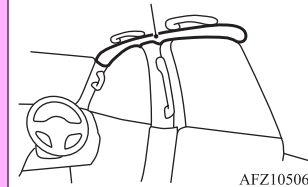
運転席 SRS ニーエアバッグ
AFZ105058



SRS サイド
エアバッグ
AAZ005980

⚠警告

SRS カーテンエアバッグ



AFZ105061

⚠注意

- SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
- SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし、白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし、呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合、一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また、残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより、前面ガラスが破損する場合があります。

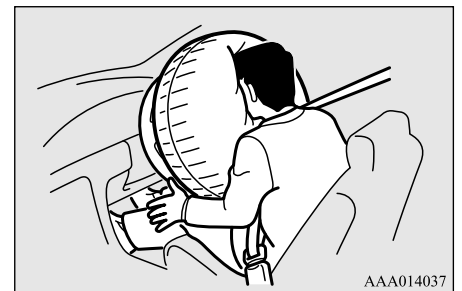
📖アドバイス

- エアバッグが展開すると自動でSOSコールが作動します。
→「SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）」P.7-2
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので運転席、助手席 SRS エアバッグおよびSRSサイドエアバッグは視界を妨げません。
- SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社で SRS エアバッグ構成部品を交換してください。

運転席 SRS エアバッグ

J10106600053

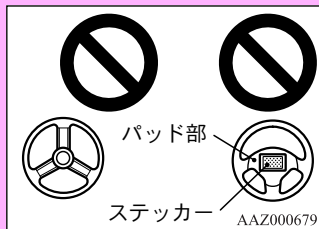
運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。



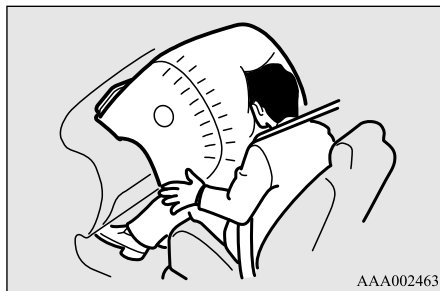
AAA014037

⚠ 警告

- ハンドルの交換や、パッド部にステッカーを貼ったり、カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなかったり、誤って作動し、重大な傷害を受けるおそれがあります。



- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。SRS エアバッグが膨らむ際、SRS エアバッグにより死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。

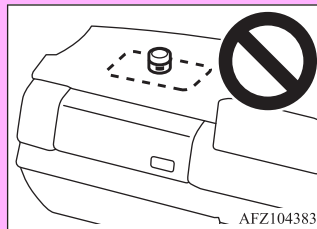


⚠ 警告

- お子さまを乗せるときには、後席に座らせて必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには、チャイルドシートを後席に取り付けてお乗せください。正しい姿勢でシートに座っていないと、SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまが死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。
→「チャイルドシート」P.2-26

⚠ 警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり、前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。また、インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。



助手席 SRS エアバッグ

J10106700067

助手席 SRS エアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。助手席 SRS エアバッグは同乗者がいなくても運転席 SRS エアバッグと同時に作動します。

警告

- 助手席同乗者はインストルメントパネルに手や足を乗せたり、シートの前端に座って顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また、お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、SRSエアバッグにより死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。

**警告**

- 助手席同乗者は、かばんなどの荷物をひざの上に抱えるなど、SRSエアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

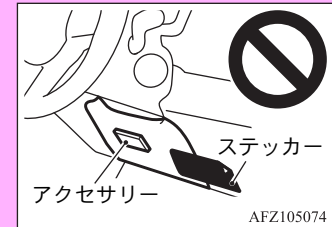
運転席 SRS ニーエアバッグ

J1010680068

運転席 SRS ニーエアバッグはハンドル下のインストルメントパネルの中に装備されています。

**警告**

- ハンドル下のインストルメントパネルにステッカーなどを貼ったり、アクセサリを取り付けたりしないでください。SRSニーエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり、膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

**SRS サイドエアバッグ**

J1010690056

SRS サイドエアバッグは運転席、助手席各シートの背もたれの中に装備されており、衝撃を受けた側のみ作動します。また、衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。



警告

- フロントシート背もたれのSRSサイドエアバッグ格納部に手、足、顔を近づけたり、ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
- また、お子さまなどに後席からフロントシートの背もたれを抱えたような姿勢はさせないでください。
- SRS サイドエアバッグが膨らむ際、SRS エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。



警告



警告

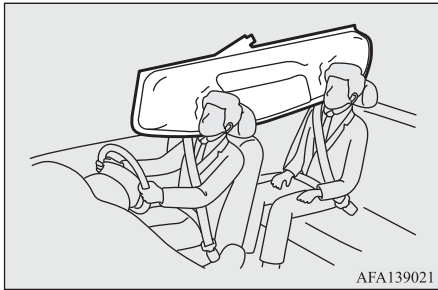
- シートカバーは使用しないでください。
- また、シートのSRSサイドエアバッグが格納されている付近にドリンクホルダーなどのカー用品を取り付けたり、ステッカーなどを貼らないでください。
- SRS サイドエアバッグが膨らむのを妨げたり、膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。



SRS カーテンエアバッグ

J10107000054

SRS カーテンエアバッグはフロントピラー、リヤピラーおよびルーフサイド部の中に装備されており、衝撃を受けた側のみ作動します。また、衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

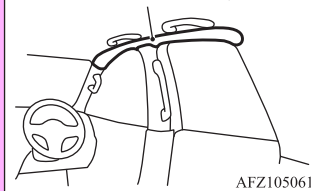


AFA139021

警告

- フロントピラー、リヤピラーおよびルーフサイド部のSRSカーテンエアバッグ格納部に近づいたり、ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。SRSカーテンエアバッグが膨らむ際、SRSエアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには注意してください。

SRSカーテンエアバッグ



AFZ105061

警告



AAZ000060

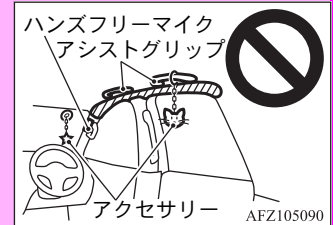


AAZ000305

警告

- 前面ガラス、側面ガラス、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部およびアシストグリップなどのSRSカーテンエアバッグ展開部周辺にステッカーなどを貼り付けたり、アクセサリーやハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。

SRSエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり、膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

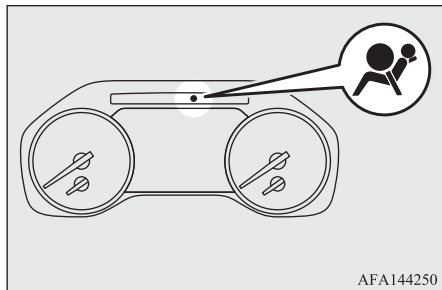


AFZ105090

- 荷物を積むときは、側面ガラス付近に積まないでください。SRSエアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J10107100055



AFA144250

正常なときは、エンジンスイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。

SRSエアバッグまたはプリテンショナー機構に異常があるときは、点灯します。

警告

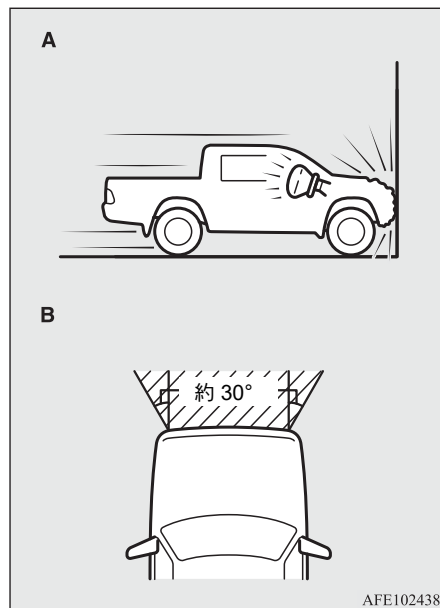
- 警告灯がエンジンスイッチの電源モードを ON にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故のときに SRS エアバッグやプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せず死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

運転席 SRS エアバッグ、助手席 SRS エアバッグおよび運転席 SRS ニーエアバッグの作動条件

J10107200056

作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。



AFE102438

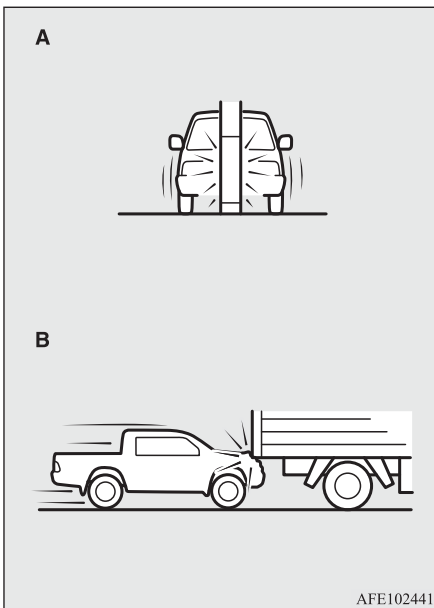
- A- 約 25km/h 以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき
- B- 車両の前方左右約 30° 以内の方向から強い衝撃 (A と同等) を受けたとき

アドバイス

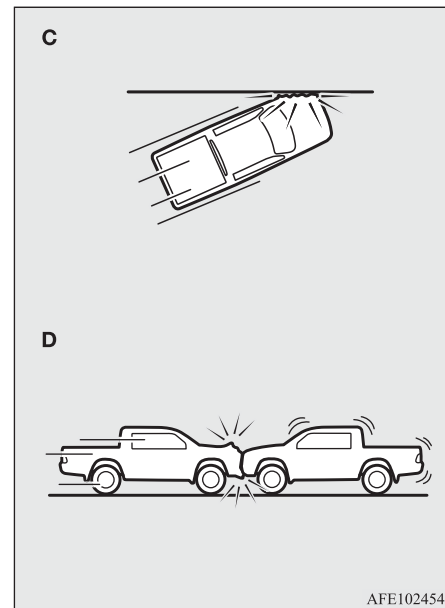
- コンクリートのような固い壁でなく、衝撃を吸収できる物（車やガードレールのように変形、移動する物）に衝突した場合は、SRS エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても、衝突した位置や角度、衝突した物の形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。



- A- 電柱や立木など狭い範囲に衝突したとき
 B- トラックなどの荷台へ潜り込んだとき



- C- 斜め前方から衝突したとき
 D- 停車している同クラスの車に衝突したとき

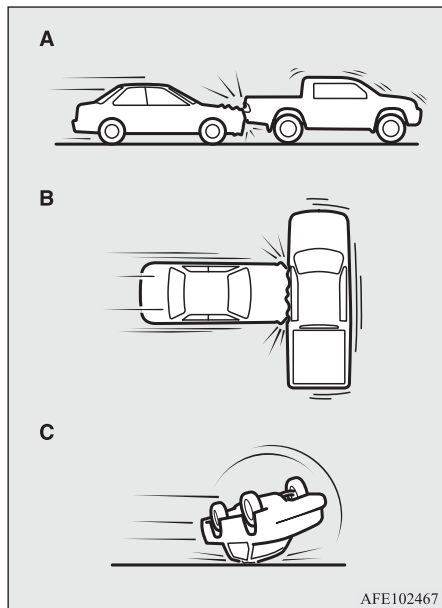
作動しないとき

SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。

SRS エアバッグ

また、一度作動した SRS エアバッグは、2 回目以降の衝突では再作動しません。

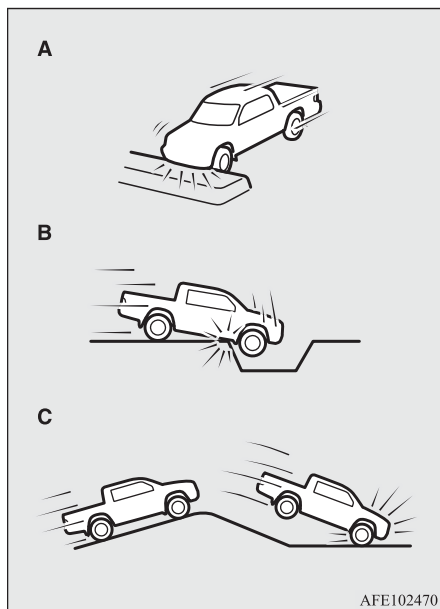
2



- A- 追突されたとき
- B- 側面から衝突されたとき
- C- 横転、転覆したとき

作動することがあるとき

走行中、車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。



- A- 中央分離帯や縁石などに衝突したとき
- B- 深い穴や溝に落ちたとき
- C- ジャンプして地面にぶつかったとき

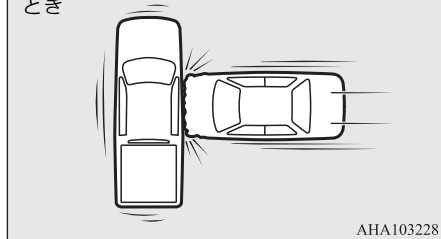
SRS サイドエアバッグ、SRS カーテンエアバッグの作動条件

J10107300057

作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

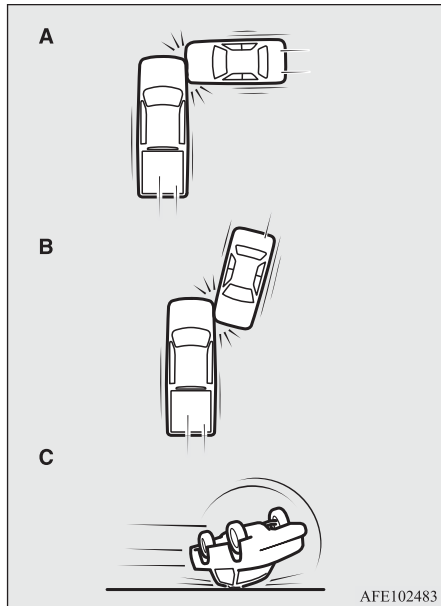
横方向から車体中央に強い衝撃を受けたとき



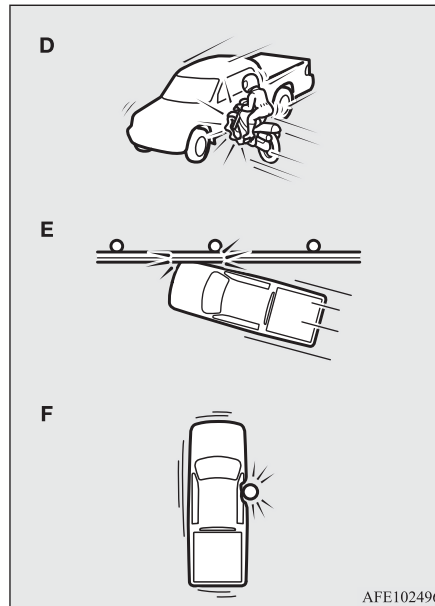
作動しないことがあるとき

衝突により車両側面が大きく変形しても、衝突した位置や角度、衝突した物の形状や状態などによってSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形

や損傷の大きさとSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグの作動は必ずしも一致しません。



- A- 客室部以外の側面に衝撃を受けたとき
- B- 斜め側方から衝撃を受けたとき
- C- 横転や転覆したとき

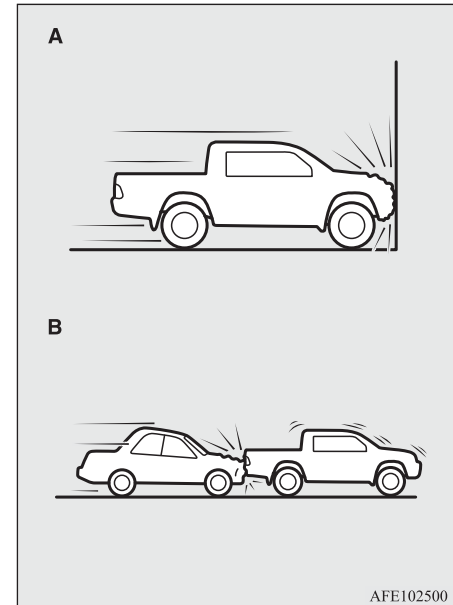


- D- 側面にバイクが衝突したとき
- E- 斜め前方から衝突したとき
- F- 電柱などに衝突したとき

作動しないとき

SRS サイドエアバッグおよび SRS カーテンエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。

また、一度作動した SRS サイドエアバッグおよび SRS カーテンエアバッグは、2 回目以降の衝突では再作動しません。



- A- 正面衝突したとき
- B- 追突されたとき

取り扱い上の注意

J10107400029

⚠警告

- 次の修理または部品の取り付けをするときは、SRS エアバッグに影響をおよぼしたり、SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 運転席SRSエアバッグ、助手席SRSエアバッグ：
ハンドルまわり、インストルメントパネル、フロアコンソール付近の修理、カーオーディオなどの取り付け、および車両前部の修理
- 運転席 SRS ニーエアバッグ：
ハンドル下インストルメントパネル、およびその付近の修理
- SRS サイドエアバッグ：
前席シート、センターピラーおよびその付近の修理、前席シート表皮の張り替え
- SRS カーテンエアバッグ：
フロントピラー、センターピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、およびその付近の修理
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。

⚠警告

- 次のSRSエアバッグ展開部付近を強くたたくなど、過度の力を加えないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ステアリングパッド
- インストルメントパネル上部
- ハンドル下インストルメントパネル
- フロントシート側面
- フロントピラー
- センターピラー
- リヤピラー
- ルーフサイド部

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社にご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し、けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って、SRS エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは、SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので、無線機などを取り付けるときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

チャイルドシート

J10102100021

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。チャイルドシートには主に乳児用（ベビーシート）、幼児用（チャイルドシート）、学童用（ジュニアシート）の3種類があります。車の仕様やお子さまの体格に合わせて適切なチャイルドシートを選びください。取り付け方法は、チャイルドシートに添付の取扱説明書に従ってください。

⚠警告

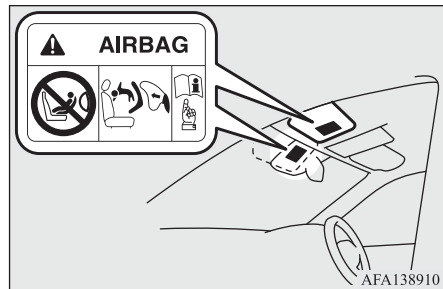
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- チャイルドシートはリヤシートに装着してご使用ください。

⚠注意

- 取り付けたチャイルドシートの前にあるシートを調整するときは、チャイルドシートと干渉しないように注意してください。
- 後方ヘシートを移動したり背もたれを倒すときは、チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

助手席へのチャイルドシート 取り付け時の注意

J10107600089



警告

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けしないでください。また、前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けしないでください。助手席 SRS エアバッグが膨らむとき、強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり、背もたれに押しつけられてお子さまが死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。

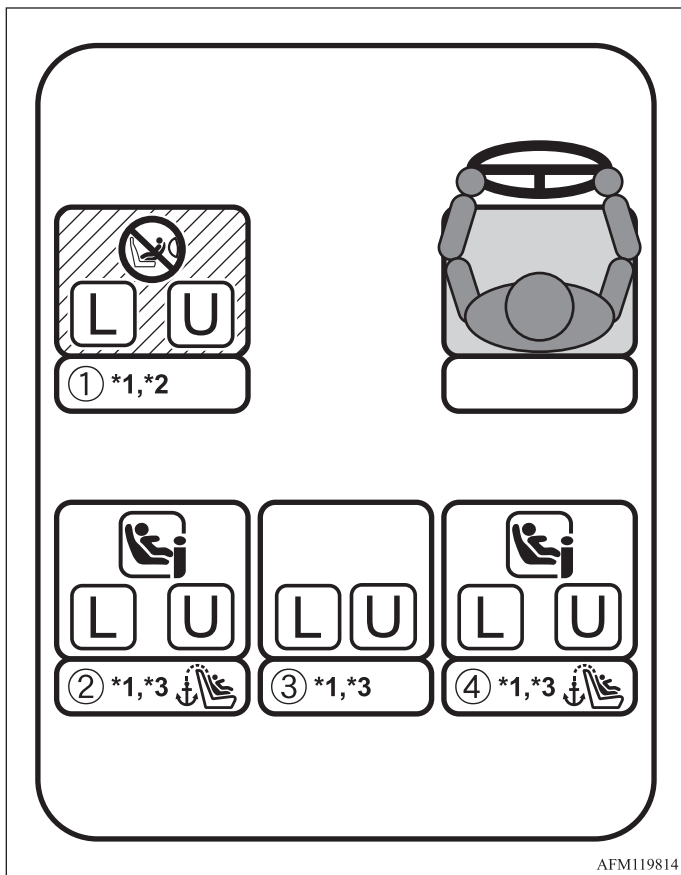


- やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドシートを取り付ける場合は、助手席を一番後ろの位置にしてください。

シート位置別チャイルドシートの選択

J10110500109

2



AFM119814



三菱自動車純正チャイルドシートの表に示す、三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。

→「三菱自動車純正チャイルドシート」P.2-30



車両のシートベルトで固定するタイプの汎用型（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートの取り付けが可能です。



i-SizeおよびISOFIXチャイルドシートの取り付けが可能です。

（この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISOFIXチャイルドシート下部取付金具およびISOFIXチャイルドシート上部取付金具を標準装備しています。）



前向き装着のチャイルドシートのみ取り付けが可能です。



後ろ向き装着のチャイルドシートの取り付け禁止です。



ISOFIXチャイルドシート上部取付金具装備座席。


- *1 :チャイルドシートを取り付けるときは、ヘッドレストを取り外してください。
 ただし、ブースタークッションを取り付けるときは、ヘッドレストを取り外さないでください。
 →「ISOFIX チャイルドシート下部取付金具および ISOFIX チャイルドシート上部取付金具での取り付け方」P.2-32
 →「シートベルトでの取り付け方」P.2-34
- *2 :助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、背もたれを一番起こした位置から 5 段後方に調整し、シートの前後位置を一番後ろの位置に調整してください。ただし、助手席にジュニアシートを取り付けたとき、シートベルトの肩部アンカーがチャイルドシートのベルトガイドより前にある場合は、助手席の前後位置を前方に調整してください。
 →「シートベルトでの取り付け方」P.2-34
- *3 :リヤシートにチャイルドシートを取り付けるときは、お子さまの脚やチャイルドシートが当たらないように、フロントシートの前後位置や背もたれの角度を調整してください。また、運転席は高さを調整してください。

チャイルドシートメーカーに関する詳細情報

シート位置の番号	①助手席	リヤシート		
		②左側席	③中央席	④右側席
汎用ベルト式に適する着席位置（有／無）	有 *4	有	有	有
i-Size および ISOFIX 着席位置（有／無）	無	有	無	有
横向き固定具に適する着席位置 (L1/L2)	無	無	無	無
適する最大の後ろ向き固定具 (R1/R2X/R2/R3)	無	R3	無	R3
適する最大の前向き固定具 (F2X/F2/F3)	無	F3	無	F3
適する最大のブースター固定具 (B2/B3)	B3	B3	B3	B3

*4:前向き装着のチャイルドシートのみ取り付けが可能です。

三菱自動車純正チャイルドシート

 **アドバイス**

- 三菱自動車純正チャイルドシートの購入は三菱自動車販売会社にご相談ください。

固定方式	チャイルドシート品名	適用範囲	① 助手席	リヤシート		
				② 左側席	③ 中央席	④ 右側席
ISOFIX	i-Size チャイルドシート（後ろ向き）	身長 100cm 以下 体重 18kg 以下	×	○	×	○
	i-Size チャイルドシート（前向き）*5	身長 76 ~ 100cm 体重 18kg 以下	×	○	×	○

*5:身長 76cm 以上、かつ月齢が 15ヶ月を超えるまでは、前向きで使用しないでください。

固定方式	チャイルドシート品名	質量グループ (お子さまの体重)		① 助手席	リヤシート		
					② 左側席	③ 中央席	④ 右側席
シートベルト	チャイルドシート（後ろ向き）	0+	13kg まで	×	○	○	○
	チャイルドシート（前向き）	I	9 ~ 18kg	○	○	○	○
	ジュニアシート	II & III	15 ~ 36kg	○*6	○	○	○

*6:助手席にジュニアシートを取り付けるときは、シートの前後位置を一番後ろの位置から 5 段前方に調整してください。

📖 アドバイス

- UN R44またはR129はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44またはR129に適合したチャイルドシートには、次の認可マークが表示されています。

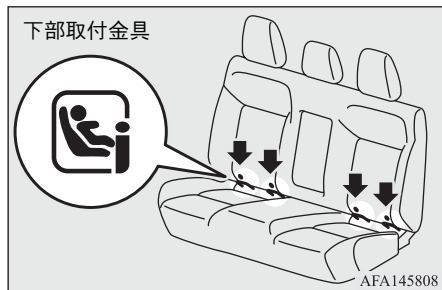
UN R44 認可マーク (例)	UN R129 認可マーク (例)
<p>UN R44/00 UNIVERSAL 0-18kg Y</p> <p>(E) 123456</p>	<p>i-Size universal ISOFIX 40cm - 70cm / ≤ 24kg</p> <p>(E) 123456</p> <p>UN-Regulation No.129/00</p>
<p>法規番号</p> <p>カテゴリー</p> <p>体重範囲</p> <p>国番号</p> <p>認可番号</p>	<p>カテゴリー</p> <p>身長範囲</p> <p>体重範囲</p> <p>国番号</p> <p>認可番号</p> <p>法規番号</p>

AFM119856

ISOFIX チャイルドシート下部 取付金具およびISOFIXチャイルドシート上部取付金具での 取り付け方

J10108700087

ISOFIX チャイルドシート下部取付金具はリヤシートクッションと背もたれの間、ISOFIX チャイルドシート上部取付金具は背もたれの後部に、それぞれ装備されています。



警告

- 下部取付金具および上部取付金具はチャイルドシートを固定するために装備されています。その他の装備品の固定には利用しないでください。

取り付けるときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書に従って、チャイルドシートを取り付けます。

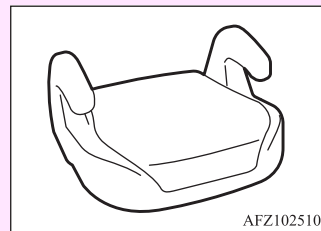
警告

- チャイルドシートを取り付けるときは、下部取付金具および上部取付金具周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず、衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

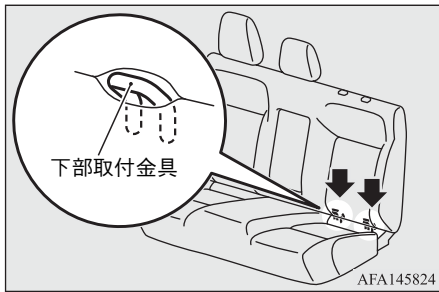
1. チャイルドシートを取り付けたい側のヘッドレストを取り外します。
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P.3-22

注意

- ブースタークッションを取り付けるときは、ヘッドレストを取り外さないでください。



2. シートクッションと背もたれのすき間にある下部取付金具の位置を確認し、チャイルドシートを下部取付金具に取り付けます。

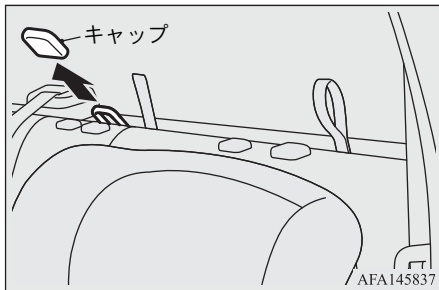


トップテザー付きチャイルドシートの場合は、手順 3. から 6. を行ってください。

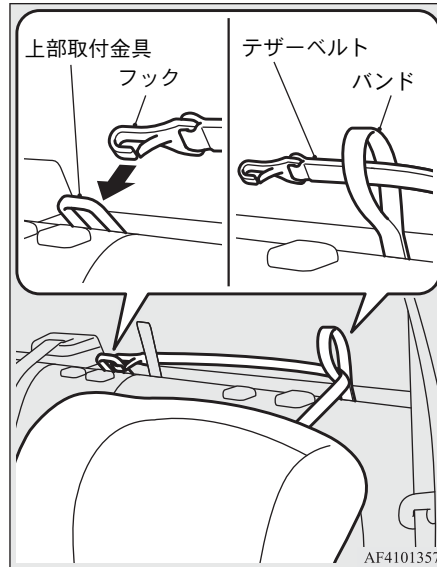
トップテザーがないチャイルドシートの場合は、手順6.を行ってください。

3. 中央席ヘッドレストおよび上部取付金具のキャップを取り外します。

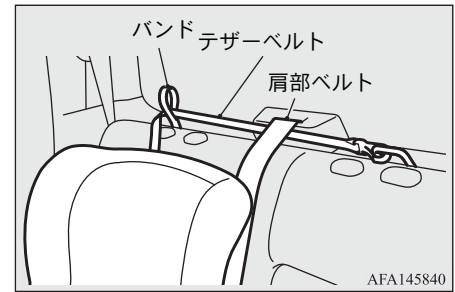
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P.3-22



4. テザーベルトをバンドの穴に通し、テザーベルトのフックを上部取付金具に掛け、テザーベルトを締めて確実に固定します。



リヤシート右側席にチャイルドシートを取り付けるときは、テザーベルトをバンドの穴および中央席の肩部ベルトの下に通します。



⚠ 注意

- テザーベルトのフックを直接リヤ中央席後部の上部取付金具に掛けしないでください。
- リヤ中央席では上部取付金具を使用してチャイルドシートを取り付けしないでください。
- 上部取付金具はチャイルドシートを取り付けるためのものです。他の物を掛けしないでください。

⚠ 注意

- 上部取付金具付近のバンドはリヤシート背もたれを前倒しするためのものです。チャイルドシートを取り付けるときにはご利用にならないでください。



📖 アドバイス

- テザーベルトを通すためのバンドがリヤシート背もたれの奥にあるときは、バンドを引き出してください。

5. 中央席ヘッドレストを取り付けます。
→「ヘッドレスト：取り付けるときは」P.3-22
6. チャイルドシートを前後左右にゆすり、確実に固定されたことを確認します。

📖 アドバイス

- チャイルドシートを取り外した後は上部取付金具のキャップをかぶせてください。

シートベルトでの取り付け方

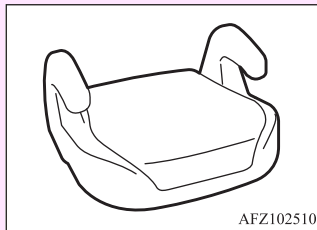
J10107900040

次の手順で確実に取り付けてください。

1. チャイルドシートを取り付けたい席に置き、ヘッドレストを取り外します。
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P.3-22

⚠ 注意

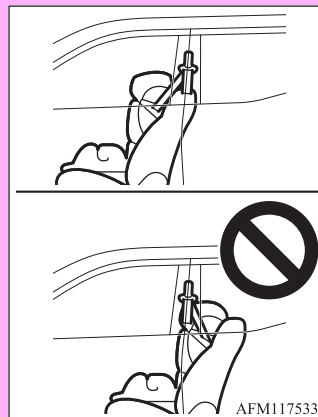
- ブースタークッションを取り付けるときは、ヘッドレストを取り外さないでください。



2. 助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、背もたれを一番起こした位置から5段後方に調整、およびシートの前後位置を一番後ろの位置に調整してください。
3. チャイルドシートに添付の取扱説明書に従って、チャイルドシートをシートベルトで固定します。

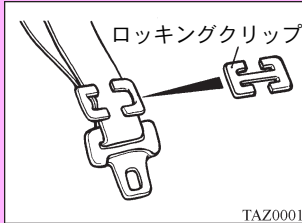
⚠ 警告

- 助手席にジュニアシートを取り付けたとき、シートベルトの肩部アンカーがチャイルドシートのベルトガイドより前にある場合は、助手席の前後位置を前方に調整してください。



警告

- チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。必ずチャイルドシートの取扱説明書に従って正しく取り付けてください。チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロックングクリップでの固定が必要です。



TAZ000186

4. 固定後は、チャイルドシートを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認してください。

冬期前の点検と準備

J10102400112

エンジンオイル

エンジンオイルは指定の粘度のものに交換してください。

→「エンジンオイルの量と種類」P.8-3

冷却水

工場出荷時是不凍液濃度50%の冷却水を充填しているため、濃度の調整は不要です。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）は気温に適した濃度に調整してください。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P.6-6

バッテリー

液量、比重を確認し、必要に応じて液の補充や充電をしてください。詳しくは、「メンテナンスノート」をお読みください。
→「バッテリー液の点検・補充」P.6-6

タイヤチェーン、または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正品をご使用ください。また、タイヤに合ったサイズの物を使用してください。
→「タイヤチェーン」P.2-37

冬用タイヤに取り換えるときは、4輪とも交換します。

→「タイヤ交換するとき」P.7-23

運転をする前に

J10102500070

ガラス、ランプ類、車の屋根の雪や霜を落とす

走行前にガラスやランプ類に付いた雪や霜および車の屋根に積もった雪を落としてください。

また、ワイパーブレードがガラスに凍りついていないか確認してください。

注意

- 車の屋根に雪が積もったまま走行すると、走行中ガラスに雪が落ちて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ワイパー作動中に雪が落ちた場合、ワイパーの故障の原因となります。
- 冬期はワイパーブレードが凍結しガラスに張り付くことがあります。ガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。フロントガラスの場合は、ヒーターで暖めてください。
→「ウインドウガラスの曇りや霜を取りたいときは」P.5-6

足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に部品を損傷したり、ハンドルの切れが悪くなるおそれがあります。

⚠ 注意

- 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して氷塊を取り除いてください。

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり、亀裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分拭き取ってください。

📖 アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルの滑りや、ウインドウガラスの曇りを防止するため、靴に付いた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル、ハンドル、ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで、効き具合を確認してください。

雪道、凍結路の走行

J10102600026

暖機運転について

長すぎる暖機運転は、燃料の無駄使いにつながります。環境保護のためにも暖機運転は1分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度は控えめにしてください。
- 橋の上、日陰、水たまり、トンネルの出入口付近などは路面が凍結しやすいので、注意してください。

車間距離は十分に

雪道、凍結路は滑りやすいため、ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し、ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。車の周りの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠ 注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

寒冷地での駐車

J10102700027

パーキングブレーキが凍結するおそれがあります。パーキングブレーキはかけず、セレクトレバーを**P**に入れさらに輪止めをしてください。

また、軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで屋根などのへこみや車体が損傷するおそれがあります。

📖 アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと、エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

ディーゼル車の使用燃料

J10109600038

ディーゼル車の使用燃料（軽油）は、外気温が低くなると凍結し、燃料パイプなどが詰まってエンジンの始動ができなくなったり、停止するなど故障の原因になります。

寒冷地域（スキー場など）に移動するときは、現地に着くまでに燃料の残量が1/2以下になるようにしておき、到着後はできるだけ早く下表の寒冷地用の燃料を補給してください。

📖 アドバイス

- フェリーを利用して寒冷地域に移動するときは、到着後すぐに寒冷地用の燃料を補給できるよう、乗船前の燃料の残量を1/2以下にしておいてください。
- 使用温度範囲は、使用条件や環境により多少異なります。

使用温度範囲	使用燃料
-5℃以上	JIS2号 低硫黄軽油 (S10ppm以下)
-5℃～-15℃	JIS3号 低硫黄軽油 (S10ppm以下)
-15℃～-25℃	JIS特3号 低硫黄軽油 (S10ppm以下)

タイヤチェーン

J10102800060

タイヤチェーンは、後輪に装着してください。

⚠ 注意

- タイヤチェーンは前輪に装着しないでください。

また、必ず三菱自動車純正品をご使用ください。サイズが不適合な物を装着すると、ボデーなどに当たり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

取り付け要領は、タイヤチェーンに添付の取扱説明書をお読みください。

⚠ 注意

- 路上でタイヤチェーンを装着するときは、交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所を選んでください。また、非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

📖 アドバイス

- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。

アドバイス

- 雪道、凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので、避けてください。

イモビライザー（盗難防止装置）

J10102200051

イモビライザー（盗難防止装置）は、車両盗難防止のため、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンがかからないようにした装置です。

アドバイス

- 周囲の環境や条件により、車がキーからの信号を受信できずエンジンが始動できないことがあります。
エンジンが始動できないときは、「キーレスオペレーションシステム」をお読みになって原因を取り除くか、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
→「キーレスオペレーションシステム」P.3-5
- キーを紛失したときや、新しいキーを作りたいときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

イベントデータレコーダー [EDR] について

J10110200034

本車両は、SRS エアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。
当該コンピューターは、当システムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに、衝突のときや衝突に近い状態のときにおいて車両の速度やブレーキペダルの状態などのデータを記録・蓄積する EDR を備えています。

EDR は、一般的なデータレコーダーとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。
三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は、EDR に記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的として取得・利用することがあります。

なお、三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ提示することはありません。

- 使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

- 車両の該当データ記録時の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合

運転する前に

各部の開閉

キー	3-2
キーレスエントリーシステム	3-2
キーレスオペレーションシステム	3-5
ドア	3-12
集中ドアロック	3-13
チャイルドブルーフ（後席ドア安全施錠装置）	3-15
リヤゲート	3-15
パワーウインドウ	3-16

シート

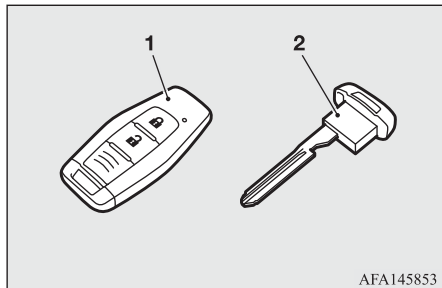
シート調整	3-18
フロントシート	3-18
リヤシート	3-21
ヘッドレスト	3-21

ハンドル・ミラー

チルト&テレスコピックステアリング	3-23
ルームミラー	3-23
ドアミラー	3-24

キー

J10200100099



AFA145853

- 1- キーレスオペレーションキー
- 2- エマージェンシーキー

警告

- 航空機内にキーを持ち込むときは、機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され、航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- かばんなどに入れて持ち込むときも、簡単にスイッチが押されないようにしてください。

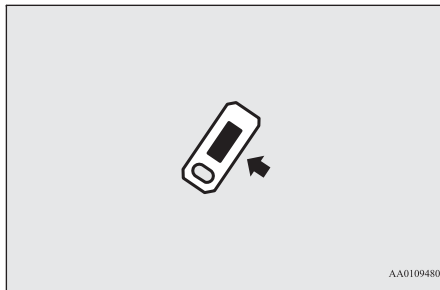
アドバイス

- キー（除く、エマージェンシーキー）は信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため、次の点をお守りください。

アドバイス

- ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
- 分解、改造をしない
- キーを無理に曲げたり、強い衝撃を与えない
- 水にぬらさない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
- オーディオ、パソコン、テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
- 携帯電話や無線機、高周波医療機器など強い電波を発する機器の近くに置かない
- 超音波洗浄器などで洗浄しない
- 高温、多湿になる場所に置かない
- 電池交換のとき以外はキーを不用意に分解しないでください。分解、改造したキーを使用することは法律で禁止されています。
- また、必ず日本国内でご使用ください。
- 新しいキーを作りたいときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。同じ車両で最大 4 個まで登録できます。このとき残りのすべてのキーとお車を三菱自動車販売会社にお持ちください。
- 万一、キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。

キーナンバープレート



AA0109480

キーナンバーがキーナンバープレートに打刻してあります。万一、キーを紛失した場合、キーナンバーを三菱自動車販売会社にご連絡ください。新しいキーを作ることができます。

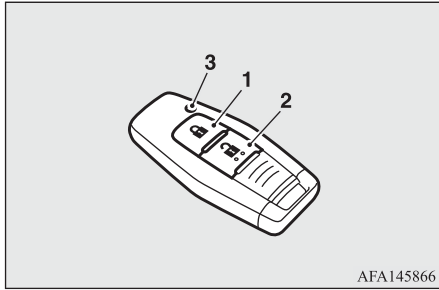
アドバイス

- キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所に、キーとは別に大切に保管してください。

キーレスエントリーシステム

J10200300134

キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアの施錠・解錠やドアミラーを操作することができます。



AFA145866

- 1- LOCK スイッチ
- 2- UNLOCK スイッチ
- 3- 作動表示灯

アドバイス

- 近くに TV 塔や変電所、放送局があるなど周囲の状況によりキーレスオペレーションキーのスイッチの作動距離が変わることがあります。
- 次のようなときは、キーレスオペレーションキーのスイッチは作動しません。
 - ・ ドアが開いている、または半ドアのとき (施錠時)
 - ・ エンジンがかかっているとき
- 次のときはキーレスオペレーションキーの電池の消耗が考えられます。
 - ・ 作動距離が短くなったとき
 - ・ 作動表示灯が暗い、または点灯しないとき

アドバイス

電池が消耗した場合は、新しい電池に交換してください。
→「電池交換のしかた」 P.3-5

ドアの施錠・解錠

LOCK スイッチを押すとすべてのドアが施錠し、UNLOCK スイッチを押すとすべてのドアが解錠します。
UNLOCK スイッチを押して解錠しても約 30 秒以内にドアを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯および番号灯がしばらくの間、点灯します。詳しくは次の項をお読みください。
→「ウェルカムライト」 P.4-67
- キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアを施錠・解錠すると、ドアミラーは自動格納・自動復帰します。詳しくは次の項をお読みください。
→「ドアミラー」 P.3-24
- UNLOCK スイッチを 1 回押したときに解錠されるドアを運転席のみに限定することができます。詳しくは次の項をお読みください。
→「ドア限定アンロック機能」 P.3-4

施錠・解錠時の作動確認

次の通り作動を確認することができます。ただし、ルームランプの点灯はドア連動が ON のときに限られます。
→「室内灯」 P.5-16

施錠時：非常点滅灯が 1 回点滅
解錠時：ルームランプが約 20 秒間点灯し、非常点滅灯が 2 回点滅

アドバイス

- メーターの車両設定で「自動室内灯」が OFF の場合、ルームランプのドア連動が ON になっていても、解錠時にルームランプは点灯しません。
→「車両設定」 P.4-47

ドアミラーの格納・復帰

LOCK スイッチを押して施錠するとドアミラーが自動で格納します。
UNLOCK スイッチを押して解錠するとドアミラーは元の位置に戻ります。

アドバイス

- メーターでドアミラーの自動格納・復帰機能の設定を変更することができます。
→「車両設定」P.4-47

3 ドア限定アンロック機能

J10203000086

ドアからの不正侵入を防止するため、キーレスエントリーシステムまたはキーレスオペレーション機能で解錠されるドアを限定することができます。

- キーレスエントリーシステム：運転席ドアに限定
- キーレスオペレーション機能：運転席ドアまたは助手席ドアに限定

この機能をありにした場合、キーレスオペレーションキーの UNLOCK スイッチ、運転席ドアまたは助手席ドアのスイッチを続けて 2 回押すことにより、すべてのドアを解錠することが可能です。

工場出荷時は、UNLOCK スイッチ、運転席ドアスイッチまたは助手席ドアスイッチを 1 回押すと、すべてのドアが解錠する設定になっています。

設定を変更するときは「ドア限定アンロック機能の設定のしかた」の手順に従って操作してください。

3-4 運転する前に

→P.3-4

アドバイス

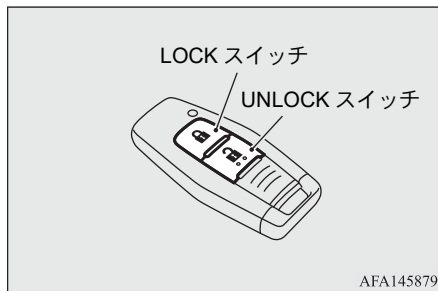
- メーターでドア限定アンロック機能の設定を変更することもできます。
→「車両設定」P.4-47

ドア限定アンロック機能の設定のしかた

J10203100087

設定を変更するときは、次の手順に従って操作してください。

1. エンジンスイッチの電源モードを OFF にします。
2. キーレスオペレーションキーの LOCK スイッチと UNLOCK スイッチを同時に 4 秒以上押し続けます。



AF145879

3. 設定状態を非常点滅灯の点滅回数によって確認します。

非常点滅灯の点滅回数	ドア限定アンロック機能の設定状態
1 回 (機能なし)	●UNLOCK スイッチ、運転席ドアのスイッチまたは助手席ドアのスイッチを 1 回押すと、すべてのドアを解錠する (工場出荷状態)
3 回 (機能あり)	●UNLOCK スイッチまたは運転席ドアのスイッチを 1 回押すと運転席ドアのみ解錠し、2 秒以内に再度同じスイッチを押すとすべてのドアを解錠する ●助手席ドアのスイッチを 1 回押すと助手席ドアのみ解錠し、2 秒以内に再度同じスイッチを押すとすべてのドアを解錠する

やり直すときは手順2.からもう一度操作してください。

電池交換のしかた

J10210500054

電池交換をする前に部屋のドアノブなどの金属部分に触れて、身体の静電気を除去してください。

警告

- 電池および取り外した部品は、誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。

アドバイス

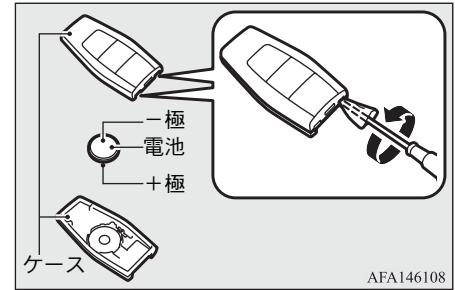
- 電池交換をする際は、キーを破損するおそれがあるため、三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。

アドバイス

- キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため、内部の金属部分や回路に触れないでください。また、水やゴミを付着させないでください。
- 電池は三菱自動車販売会社、時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

使用電池：CR2032

1. エマージェンシーキーを取り外します。
→「エマージェンシーキー」P.3-11
2. スイッチを上にして、先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを開きます。



3. 消耗した電池を取り外し、新しい電池は＋極を下にして取り付けます。
4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

キーレスオペレーションシステム

J10200400089

キーレスオペレーションキーを携帯するだけで、ドアの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作ができるシステムです。

→「エンジンの始動・停止」P.4-5

また、キーレスオペレーションキーはキーレスエントリーシステムのリモコンスイッチとしても使えます。

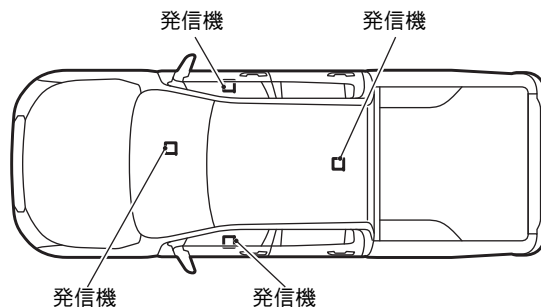
→「キーレスエントリーシステム」P.3-2

キーレスオペレーションシステム

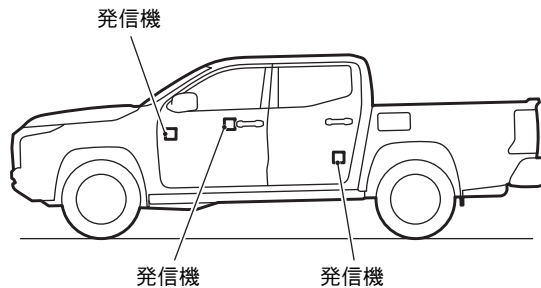
キーレスオペレーションキーは必ず運転者が携帯してください。ドアの施錠・解錠やエンジンの始動など車を操作するために必要ですので、車から離れるときは必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。

警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用している方は、発信機から約 22cm 以内に近づかないようにしてください。キーレスオペレーションシステムに使用している電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。



AFM118556



AFM118569

警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用している方は、キーレスオペレーションシステムに使用している電波による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してからご使用ください。電波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

キーレスオペレーションシステムを働かないようにすることができます。ただし、キーレスオペレーションキーはキーレスエントリーシステムのリモコンスイッチとして使用できます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3

アドバイス

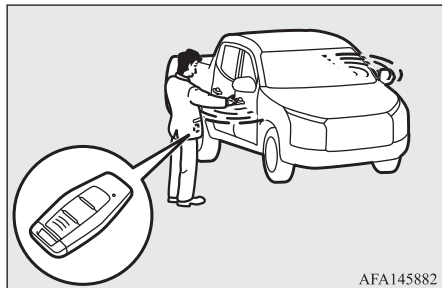
- キーレスオペレーションキーは、微弱な電波を使用しています。
次のような場合、正しく作動しなかったり、不安定な作動となることがあります。
 - ・ 近くに TV 塔や変電所、放送局、空港、電気自動車の急速充電器など強い電波を発生する設備があるとき
 - ・ 携帯電話や無線機などの通信機器やパソコンなどの電化製品と一緒に携帯しているとき
 - ・ キーレスオペレーションキーが金属製の物に接したり、覆われているとき
 - ・ 近くでキーレスエントリーシステムを使用しているとき
 - ・ キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき
 - ・ 強い電波、ノイズのある場所に置いたとき
 - ・ 電波で車両の検出を行っているコインパーキングに駐車したとき
 このようなときは、次のいずれかの方法でドアの施錠・解錠を行ってください。
 - ・ キーレスオペレーションキーの LOCK または UNLOCK スイッチを押す
→ 「キーレスエントリーシステム」 P.3-2
 - ・ エマージェンシーキーを使用する
→ 「キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」 P.3-11
- キーレスオペレーションキーは、車両との通信のために常時受信動作をしているため、キーレスオペレーションキーの使用に関係なく常に電池を消耗しています。使用状況にもよりますが、電池の寿命は約 1 年～2 年です。電池が消耗した場合は、新しい電池に交換してください。
→ 「電池交換のしかた」 P.3-5
- キーレスオペレーションキーは、常時受信動作をしているため、強い電波の受信は電池の消耗につながります。テレビ、パソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

キーレスオペレーションシステムの作動範囲について

J10203200088

キーレスオペレーションキーを携帯してキーレスオペレーションシステムの作動範囲内に入り、ドアのスイッチを押すとIDコードの照合を行います。

車両とキーレスオペレーションキーのIDコードが一致した場合のみ、ドアの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作が可能になります。

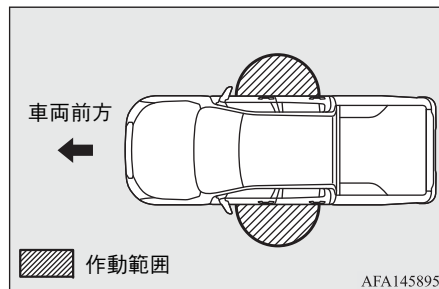


アドバイス

- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているときや、強い電波またはノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、不安定な作動となることがあります。

ドアを施錠・解錠するときの作動範囲

作動範囲はフロントドアのハンドルから周囲約70cm以内です。



アドバイス

- キーレスオペレーションキーを検知したドアの操作でのみ施錠・解錠ができます。
- キーレスオペレーションキーがフロントドア、ドアガラスのすぐ近くにあるときは作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーがフロントドアのハンドルから周囲約70cm以内でも、地面の近くや高い場所にあるときは、作動しないことがあります。

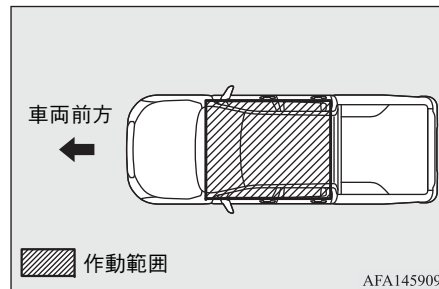
アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内であれば、キーレスオペレーションキーを携帯していない人でも、フロントドアの操作で施錠・解錠ができます。

エンジンを始動する、電源モードを切り換えるときの作動範囲

J10203300076

作動範囲は車室内です。



アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあっても、グローブボックスなどの小物入れやインストルメントパネル周辺またはドアポケットなどにあるときは、エンジン始動ができないことがあります。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーが車外にあっても、ドア、ドアガラス、フロントガラスまたは荷台前端的のすぐ近くにあるときは、エンジン始動または電源モードの切り換えができることがあります。

キーレスオペレーション機能を使って操作するときは

J10203400107

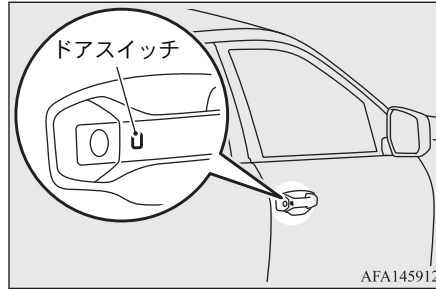
ドアの施錠・解錠

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき、作動範囲内でフロントドアスイッチを押すとすべてのドアが施錠または解錠します。

フロントドアスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内にドアを開けなければ自動的に施錠されます。次の項も併せてお読みください。

→「ドア」 P.3-12

→「集中ドアロック」 P.3-13



アドバイス

- 必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。車内の次の場所などにキーレスオペレーションキーを置いたままでも、周囲の環境または電波状態などにより、施錠されることがあります。
 - ・グローブボックスなどの小物入れ
 - ・インストルメントパネル周辺
 - ・ドアポケット
- ドアスイッチで施錠・解錠すると、ドアミラーは自動格納・自動復帰します。詳しくは「ドアミラー」をお読みください。→P.3-24
- 次のようなときは、キーレスオペレーション機能は作動しません。
 - ・車内にキーレスオペレーションキーがあるとき
 - ・ドアが開いている、または半ドアのとき（施錠時）
 - ・エンジンがかかっているとき

アドバイス

- ドア限定アンロック機能を使って、解錠するドアをフロントドアスイッチを押したドアのみに限定することができます。この機能を使いたいときは「ドア限定アンロック機能の設定のしかた」をお読みください。→P.3-4

施錠・解錠時の作動確認

次の通り作動を確認することができます。ただし、ルームランプの点灯はドア連動が ON のときに限られます。

→「室内灯」 P.5-16

施錠時： 非常点滅灯が 1 回点滅し、車外ブザーが 1 回鳴る



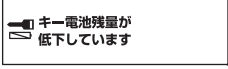

解錠時： ルームランプが約 20 秒点灯し、非常点滅灯が 2 回点滅し、車外ブザーが 2 回鳴る


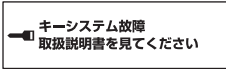
アドバイス

- メーターの車両設定で「自動室内灯」が OFF の場合、ルームランプのドア連動が ON になっていても、解錠時にルームランプは点灯しません。→「車両設定」 P.4-47

警告表示について

J10203500108

項目	表示	原因および処置
<p>3</p> <p>キーレスオペレーション キー持ち出し警告</p>		<p>エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、キーレスオペレーションキーが車外に持ち出された状態でドアを閉めると表示します。 キーレスオペレーションキーが車内にあることを確認してください。 →「キーレスオペレーションシステムの作動範囲について」P.3-8</p>
		<p>緊急時など、強制的にエンジンを停止させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エンジンスイッチを 1.5 秒以内に 3 回押す ●エンジンスイッチを 2 秒以上押し続ける <p>エンジンを停止させた後は、通常の状態に戻すため、ドアを開けてください。</p>
<p>キーレスオペレーション キー電池切れ表示</p>		<p>キーレスオペレーションキーの電池が消耗していると表示します。できるだけ早くキーレスオペレーションキーの電池を交換してください。 →「電池交換のしかた」P.3-5</p>
<p>キーレスオペレーション キー非作動時エンジン始動表示</p>		<p>キーレスオペレーションキーの電池が切れたときや、使用環境により、キーレスオペレーションキーと車両の通信が正常に行われないうちに表示します。 エンジンを始動するときは、キーレスオペレーションキーをエンジンスイッチに接触させ、ブザーが鳴ってから 10 秒以内にブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを押します。 →「キーレスオペレーションキーが正常に作動しないとき（電池切れなど）にエンジンを始動するときは」P.4-7</p>

項目	表示	原因および処置
ドア開き警告		ドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。
キーシステム警告		<p>キーレスオペレーションキーに異常があると表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エンジン停止中に表示が出た場合、エンジンが始動できません。 ● エンジンがかかっているときに表示が出た場合、車両を運転することができます。 <p>できるだけ早く三菱自動車販売会社にご相談ください。</p>

キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは

J10203600079

エマージェンシーキー

エマージェンシーキーはキーレスオペレーションキーに内蔵されています。キーレスオペレーションキーの電池切れやバッテリー上がりなどによりキーレスオペレーション機能が使用できないとき、ドアの施錠・解錠操作をすることができます。

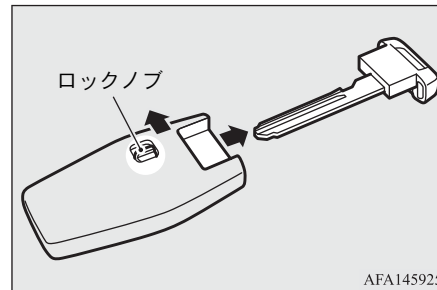
→「ドア」P.3-12

また、リヤゲートやグローブボックスの施錠・解錠操作をすることができます。

→「リヤゲート」P.3-15

→「グローブボックス」P.5-19

ロックノブを矢印の方向に押しながら、キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り外します。



アドバイス

- エマージェンシーキーはリヤゲートやグローブボックスの施錠・解錠操作をする場合および緊急を要する場合のみご使用ください。
キーレスオペレーションキーの電池が切れたときなどはできるだけ早く電池交換をして、キーレスオペレーションキーとして使用するようにしてください。
→「電池交換のしかた」P.3-5
- エマージェンシーキーを使用した後は、必ずキーレスオペレーションキーに戻しておいてください。

警告

- 車から離れるときは、火災や盗難などを未然に防ぐため、必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
法的にも義務付けられています。
お子さま連れの場合は必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
また、車内に貴重品を置いたままにしないでください。
- 走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。半ドアのときは、メーター内のインフォメーション画面にドア開き警告を表示します。
確実に閉まっていないと、走行中にドアが開いて乗員が車外に放り出されるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

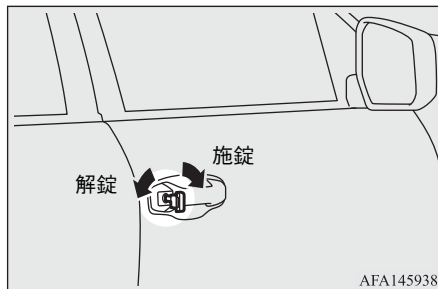
アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは、キー閉じ込め防止のため運転席ドアをエマージェンシーキーまたはロックノブを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

車外から施錠・解錠するときは

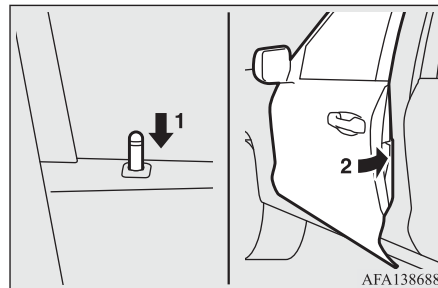
エマージェンシーキーを使って施錠・解錠するときは（運転席ドア）

エマージェンシーキーを車両前方に回すと施錠、車両後方に回すと解錠されます。



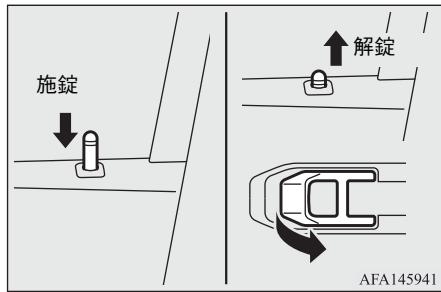
キーを使わずに施錠するときは（助手席、後席ドア）

ドア内側のロックノブを押し込み（1）、ドアを閉じます（2）。



車内から施錠・解錠するときは

- 施錠するときは、施錠するドアのロックノブを押し込みます。
- 運転席ドアを解錠するときは、ドア内側のドアハンドルを引くと、解錠と同時にドアが開きます。
- 助手席、後席ドアを解錠するときは、解錠するドア内側のドアハンドルを引きます。



アドバイス

- すべてのドアを施錠・解錠するときは、集中ドアロック、キーレスエントリーシステムまたはキーレスオペレーション機能の操作で施錠・解錠してください。
→「集中ドアロック」P.3-13
→「キーレスエントリーシステム」P.3-2
→「キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P.3-9

集中ドアロック

J10200600052

次の操作ですべてのドアの施錠・解錠ができます。

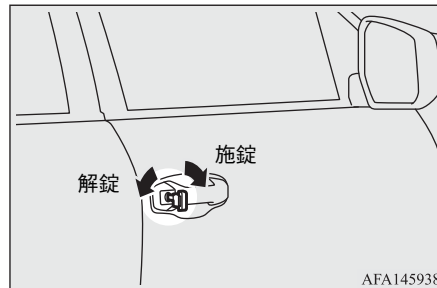
アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは、キー閉じ込め防止のため集中ドアロックスイッチを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いて集中ドアロックが一時的に作動しなくなることがあります。このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

エマージェンシーキーを使って施錠・解錠するときは（運転席ドア）



J10214100045

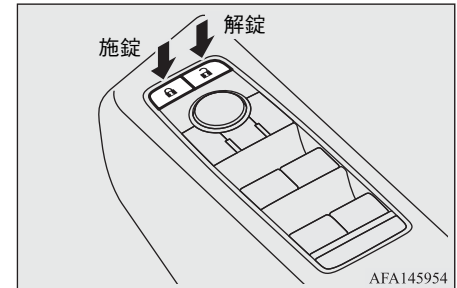
エマージェンシーキーを車両前方に回すとすべてのドアが施錠、車両後方に回すとすべてのドアが解錠されます。



集中ドアロックスイッチを使って施錠・解錠するときは

J10203900056

集中ドアロックスイッチのを押すとすべてのドアが施錠し、を押すとすべてのドアが解錠します。



車速感応オートドアロック（衝撃感知ドアロック解除システム付）

J10237900040

車速が約 15km/h 以上になると、すべてのドアが自動的に施錠されます。また、走行中に運転者または同乗者に危害がおよぶような強い衝撃を受けたときは、すべてのドアが自動的に解錠されま

集中ドアロック

す。これは、万一事故が発生したときの救助活動に備えるものです。


警告

- 次のようなときは、車速感応オートドアロックや衝撃感知ドアロック解除システムが正しく作動しないことがあります。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 車速が約 15km/h 以上になっても、ドアが自動的に施錠しないとき
- 走行中にドアが自動的に解錠したとき
- エンジンスイッチの電源モードを ON にしても、SRS エアバッグ／プリテンショナー機構の警告灯が点灯しないときや点灯したままのとき
- 走行中に SRS エアバッグ／プリテンショナー機構の警告灯が点灯したとき
- 集中ドアロック機能が故障したとき

アドバイス

- 衝突などにより車両が大きく変形しても、衝突した位置や角度、衝突した物の形状や状態などによっては、ドアが解錠しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとドアの解錠は必ずしも一致しません。
- 走行中にドアを解錠した場合、ドアは自動的に施錠されません。

アドバイス

- 車速が約 4km/h 以下のときに運転席ドアを開けると、すべてのドアが自動的に解錠されます。
- これらの機能は工場出荷時は「作動する」に設定されています。「作動しない」に変更したいときは、次の手順で設定を変更してください。
 1. すべてのドアを閉めます。
 2. エンジンスイッチの電源モードを ON にします。
 3. エンジンスイッチの電源モードを ON にした後、20 秒以内に集中ドアロックスイッチの  を 5 秒以上押し続け、「作動する」と「作動しない」を切り換えます。
作動する：非常点滅灯が 2 回点滅
作動しない：非常点滅灯が 1 回点滅

エンジンスイッチを使って解錠するときは

J1020400041

エンジンスイッチを使って解錠することができます。この機能は工場出荷時は「解錠する」に設定されています。「解錠しない」に変更したいときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

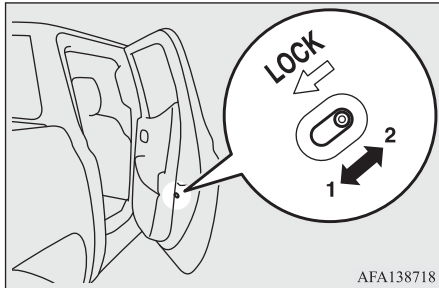
解錠するときは

エンジンスイッチの電源モードを OFF にするとすべてのドアが解錠します。

チャイルドプルーフ（後席 ドア安全施錠装置）

J10200700037

レバーを施錠側（1）にしてドアを閉めると、ドアのロックノブの位置に関係なく、車内からはドアが開けられなくなります。
安全上、お子さまを乗せるときにご使用ください。



AFA138718

- 1- 施錠
- 2- 解錠

ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

アドバイス

- 万一の場合、車内からドアを開けたいときは、ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ、窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。

リヤゲート

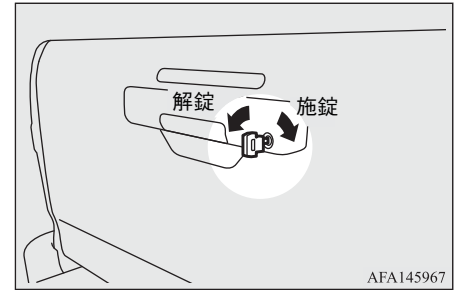
J10216900021

⚠ 注意

- 積荷を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。
排気熱によりやけどをするおそれがあります。
- リヤゲートで指をはさまないように、注意してください。
- リヤゲートには積荷の重量をかけないでください。
- 走行前に必ずリヤゲートが確実に閉じていることを確認してください。
走行中に開くと、積荷が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

エマージェンシーキーを使って施錠・解錠するときは

エマージェンシーキーを右に回すと施錠、左に回すと解錠されます。
→「エマージェンシーキー」P.3-11

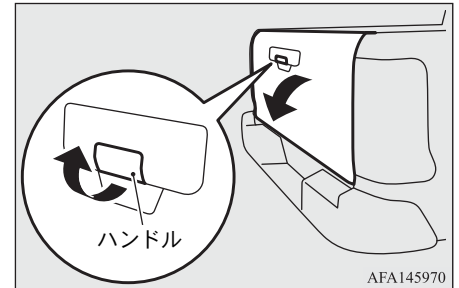


AFA145967

3

開けるときは

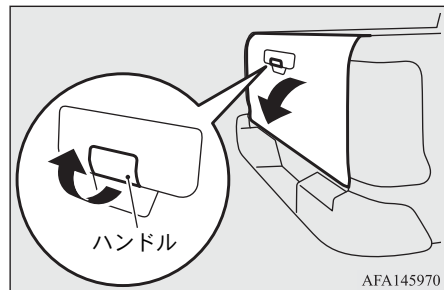
解錠後、ハンドルを引いて、リヤゲートをゆっくり倒します。



AFA145970

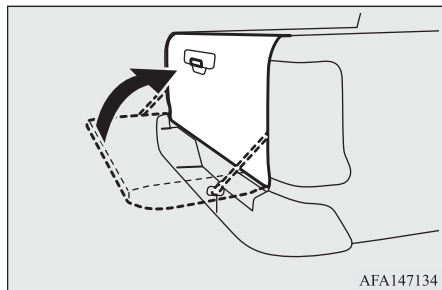
開けるときは

解錠後、ハンドルを引いて、リヤゲート
をゆっくり倒します。



閉めるときは

リヤゲートを持ち上げ、確実にロックす
るまで押さえます。



警告

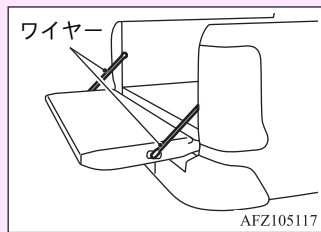
- パワーウィンドウを閉じるときは、安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウィンドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。車内にキーを残したままにしておくと、お子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

アドバイス

- エンジンをかけずに何度もパワーウィンドウを開閉するとバッテリーが上がることがあります。なるべくエンジンがかかっているときに操作してください。

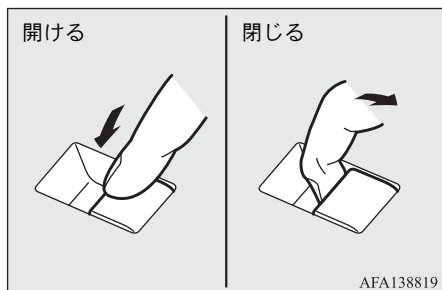
注意

- リヤゲートを開けたときは、ワイヤーを取り外さないでください。リヤゲートが倒れ、リヤゲートが破損するおそれがあります。

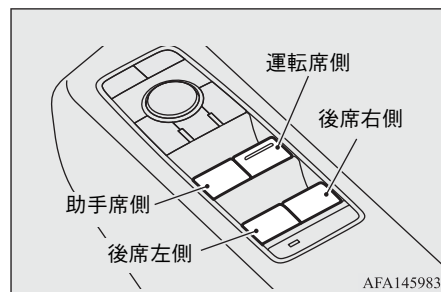


パワーウィンドウ

J1020090097



運転席スイッチ



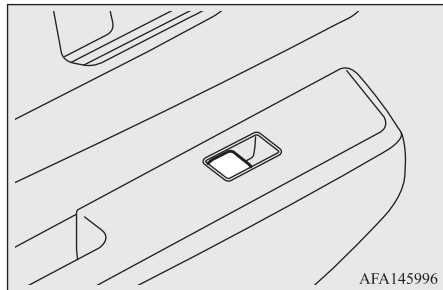
運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。

エンジンスイッチの電源モードが ON のときにスイッチを押すと開き、引き上げると閉まります。

運転席ドアガラスは、運転席側のスイッチを強く押ししたり、強く引き上げると自動的に全開、全閉します。

途中で止めたいときはスイッチを反対方向に操作します。

助手席、後席スイッチ



エンジンスイッチの電源モードが ON のときにスイッチを押すと開き、引き上げると閉まります。

後席ドアガラスは全開しません。

タイマー機構

J10206100062

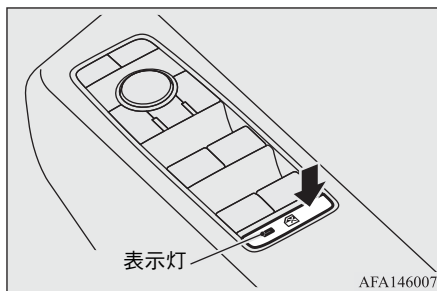
エンジンを止めた後でも約45秒間はドアガラスを開閉することができます。ただし、運転席ドアまたは助手席ドアを開けるとドアガラスの開閉操作はできなくなります。

ロックスイッチ

J10206200050

お子さまを乗せるときはロックスイッチを押し、表示灯を点灯させてください。助手席、後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。

解除するときにはもう一度押し、表示灯を消灯させます。



アドバイス

- ロックスイッチが ON のときは、運転席スイッチでは運転席ドアガラスのみ開閉することができます。

セーフティ機構

J10206300077

運転席ドアガラス

万一、手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的に運転席ドアガラスが少し下がります。

ドアガラスが下がった後、再度スイッチを引き上げると運転席ドアガラスを閉めることができます。

警告

- 手や首などをはさんで故意にセーフティ機構を働かせないでください。万一、手や首をはさんだ場合、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

- 運転席ドアガラスを確実に閉めるため、閉め切り直前ではセーフティ機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

アドバイス

- 環境や走行条件により、手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると、セーフティ機構が働くことがあります。
- 次の動作をしたときは、セーフティ機構が働かなくなります。また、運転席ドアガラスが自動的に完全に開かなくなったり、閉じなくなったりします。
 - ・バッテリーを外したとき
 - ・パワーウィンドウのヒューズを外したとき
 - ・セーフティ機構を5回以上連続して働かせたときこの場合は、次の操作をすれば正常に戻ります。
運転席ドアガラスが完全に閉じるまで、繰り返し運転席スイッチを引き上げてください。次に、一旦スイッチから手を離し、再度約1秒間スイッチを引き上げて保持してください。

シート調整

J10201300069

シート各部の調整は走行前に行ってください。

警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり、重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をした後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き、重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、身体がシートベルトの下にもぐり、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、シートなどの故障の原因になります。

注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- フロントシート（手動式）の背もたれを調整するときは、背もたれに身体を添わせるか、手を添えて行ってください。背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

注意

- シートを操作しているときは、シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。
- シートの下に落とした物を拾うときや車内を清掃するときなど、シートの下に手を入れるときは十分注意してください。シートレールやシートフレームなどでけがをするおそれがあります。

フロントシート

J10201400028

正しい運転姿勢がとれるように、次の点に注意してシートを調整してください。



警告

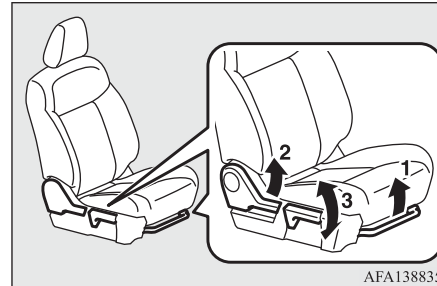
●背もたれと背中の中にクッションなどを入れないでください。
正しい運転姿勢がとれないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

調整のしかた

J10206900060

手動式

タイプ別装備



- 1- 前後調整
レバーを引き上げたまま調整します。
- 2- 背もたれの角度調整
レバーを引き上げたまま調整します。
- 3- 高さ調整（運転席）
レバーを繰り返し操作して調整します。

電動式

タイプ別装備



- 1- 前後調整
スイッチを前後に操作して調整します。
- 2- 背もたれの角度調整
スイッチの上部を前後に操作して調整します。
- 3- 高さ調整
スイッチの後部を上下に操作して調整します。
- 4- シートクッションの角度調整
スイッチの前部を上下に操作して調整します。
- 5- ランバーサポート（腰部張出量調整）
スイッチを押して調整します。

3

アドバイス

- バッテリー上がりを防止するため、エンジンをかけた状態で操作してください。

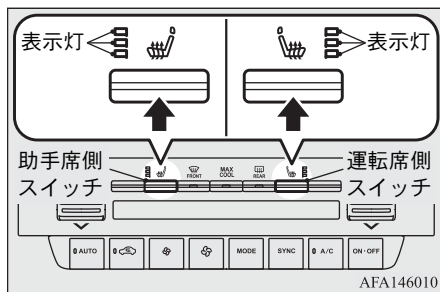
3 運転席 & 助手席シートヒーター

J10207000055

フロントシートはシートクッションおよび背もたれに内蔵されたヒーターで暖めることができます。

エアコンパネル内のスイッチで、運転席・助手席を独立して操作することができます。

1. エンジンを始動します。
2. シートヒータースイッチを押し、好みの作動状態を選択します。
 - 暖房（強）で使うときは、スイッチを1回押します。（急速暖房）
 - 暖房（中）で使うときは、スイッチを2回押します。
 - 暖房（弱）で使うときは、スイッチを3回押します。（通常暖房）



表示灯	シートヒーターの作動状態
3つ点灯	暖房（強）
2つ点灯	暖房（中）
1つ点灯	暖房（弱）

3. シートヒーターをOFFにするときは、表示灯が消灯するまでシートヒータースイッチを押します。

注意

- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特に次のような方は注意してください。
 - 乳幼児、お子さま、お年寄り、病気の方、身体の不自由な方
 - 皮膚の弱い方
 - 疲労の激しい方

注意

- 飲酒した方およびぬいけをさそう薬を飲んだ方（かぜ薬など）
- 重い荷物をシートの上に置いたり、針や釘などをシートに刺したりしないでください。
- 毛布や座ぶとんなど保温性のよい物をシートに掛けしないでください。過熱の原因となります。
- シートをお手入れするときは、ベンジン、ガソリン、およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷原因となります。
- 水、ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。
- シートヒーター使用中、作動がおかしいと感じたときは、ただちに使用を中止してください。

アドバイス

- シートの温度により自動的にヒーターのONとOFFを切り換えますが、シートヒーターがONになっている限り、表示灯は点灯したままになります。車内が暖まっているとき、または車を離れるときは、必ずシートヒーターをOFFにしてください。
- 暖房（強）は消費電力が大きいのでシートが適温に暖められたら暖房（弱）またはOFFにしてください。

アドバイス

- 運転席シートヒーターは、エンジンスタートの電源モードを OFF にしても、シートヒーターの状態を記憶しています。

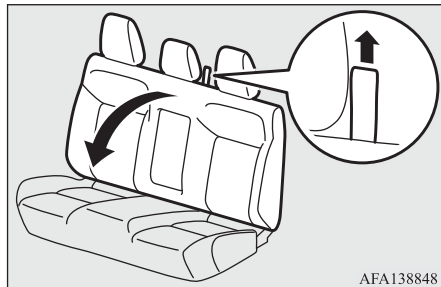
リヤシート

J10201500074

背もたれの前倒し

J10241600022

背もたれ上部のバンドを引き上げたまま、背もたれを前に倒します。



AFA138848

戻すときは

J10241700023

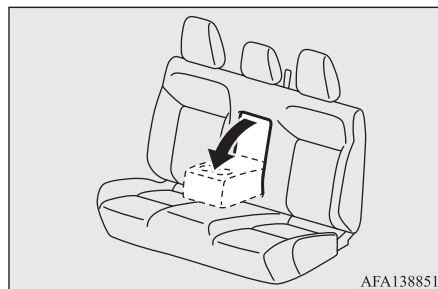
背もたれを確実に固定するまで起こします。

背もたれを戻した後は背もたれを軽くゆすり、確実に固定されていることを確認します。

アームレスト（ひじ掛け）

J10207100085

手前に倒して使用します。
元に戻すときは、背もたれと同じ面になるまで後ろに押しつめます。



AFA138851

注意

- アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

アドバイス

- アームレストを倒すとドリンクホルダー（リヤシート用）があります。
→ 「ドリンクホルダー」 P.5-20

ヘッドレスト

J10201700021

警告

- ヘッドレストは走行前に必ず取り付けてください。
ヘッドレストを取り外したままで走行すると、万一、衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ヘッドレストの効果を十分に発揮させるため、次のことをお守りください。
 - ・ヘッドレストを正しい位置に調整する。
 - ・背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。

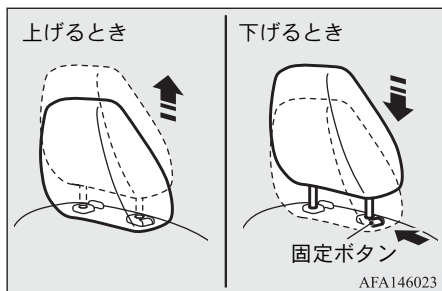
上下調整（フロントシート）

J10207300074

ヘッドレストの中央部ができるだけ耳の高さになるように調整します。
耳の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は、固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。
上げるときはそのまま引き上げ、下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。

ヘッドレスト

3



アドバイス

- リヤシートのヘッドレストは上下調整できません。

取り外すときは

J10207400075

固定ボタンを押したまま、いっぱい引き上げて取り外します。

アドバイス

- フロントシートのヘッドレストを取り外すときは、ヘッドレストが天井に当たらない位置まで、フロントシートの背もたれを後方に倒します。
→「フロントシート」P.3-18

アドバイス

- リヤシート左右席のヘッドレストを取り外すときは、ヘッドレストが天井に当たらない位置まで、リヤシートの背もたれを前方に倒します。
→「リヤシート」P.3-21

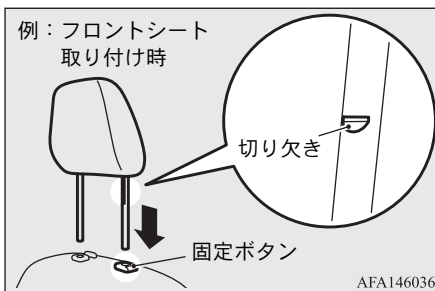
取り付けるときは

J10207500076

アドバイス

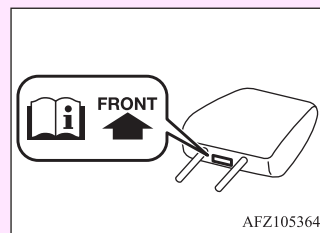
- フロントシートにヘッドレストを取り付けるときは、ヘッドレストが天井に当たらない位置まで、フロントシートの背もたれを後方に倒します。
→「フロントシート」P.3-18
- リヤシート左右席にヘッドレストを取り付けるときは、ヘッドレストが天井に当たらない位置まで、リヤシートの背もたれを前方に倒します。
→「リヤシート」P.3-21

切り欠きのあるヘッドレストステーが固定ボタン側になるように、固定ボタンを押しながら差し込みます。



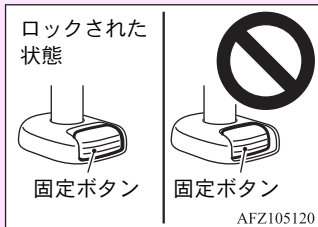
注意

- 前後の向きを間違えて取り付けると、ヘッドレストは固定できません。リヤシートのヘッドレストは下面に前方を示す矢印があります。矢印の方向を車両前方にして、ヘッドレストを取り付けてください。



⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けた後、固定ボタンがロックされていることを確認してください。



チルト&テレスコピックステアリング

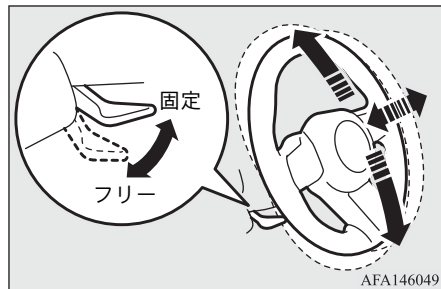
J10202200052

⚠ 注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ、ハンドルを前後、上下に動かして調整します。レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。調整後はハンドルを前後、上下に動かして固定されていることを確認してください。

固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ルームミラー

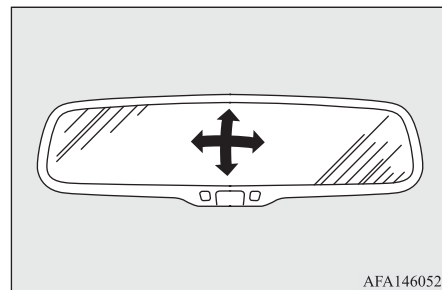
J10202300066

⚠ 注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

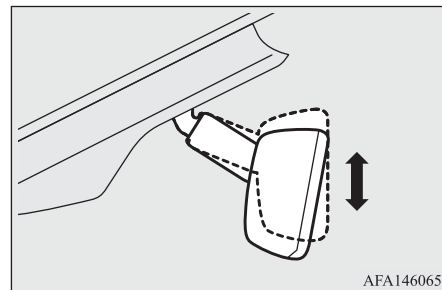
ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。



ミラーの上下位置調整

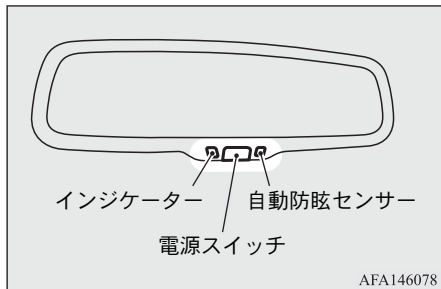
ミラーの本体を上下方向に動かして調整します。



防眩切り換え

後続車のライトがまぶしいとき、まぶしさの度合いに応じて自動的に防眩機能が作動します。

エンジンスイッチの電源モードを ON にするとインジケーターが点灯し、自動防眩機能が作動します。



アドバイス

- 自動防眩センサーの周辺にアクセサリを取り付けたり、ガラスクリーナーをかけたらないでください。
自動防眩機能が誤作動する原因になります。
- 自動防眩機能を停止するときは、電源スイッチを押してインジケーターを消灯させます。
自動防眩機能を再開するときは、次のいずれかの操作をします。

アドバイス

- 電源スイッチを再度押す
- エンジンスイッチの電源モードを OFF にして、再度 ON にする
- 外気温が低いときは自動防眩機能の切り換え速度が遅くなります。

ドアミラー

J10202400025

ミラーの角度調整

J10210000062

⚠ 注意

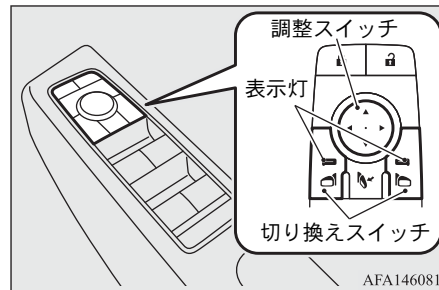
- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
凸面鏡は平面鏡に比べ、物が遠くに見え、実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

エンジンスイッチの電源モードが ON のときに調整できます。

エンジンスイッチの電源モードを OFF にした後でも、約 45 秒間は調整することができますが、フロントドアを開けると約 45 秒以内であっても調整できなくなります。

1. 調整したいミラー側の切り換えスイッチを押します。(スイッチの表示灯が点灯)

2. 調整スイッチを押して角度を調整します。



3. 調整が終わったら調整したミラー側の切り換えスイッチを再度押し、スイッチの表示灯を消灯させます。

ドアミラーの格納・復帰

J10210100047

⚠ 注意

- ドアミラーを格納したまま運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

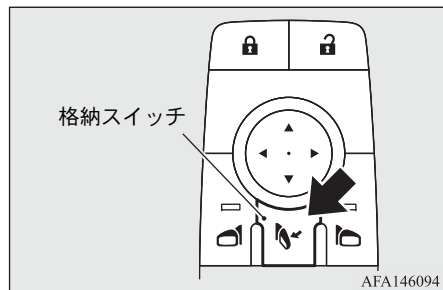
格納スイッチによるドアミラーの格納・復帰

J10210200077

エンジンスイッチの電源モードが ON のときに操作できます。

格納スイッチを押すとドアミラーが格納されます。

もう一度押すと元の位置に戻ります。エンジンスイッチの電源モードをOFFにした後でも、約45秒間はドアミラーを格納・復帰することができますが、フロントドアを開けると約45秒以内であっても格納・復帰できなくなります。



AFA146094

⚠ 注意

- ドアミラーは手で格納することも復帰することもできますが、格納スイッチの操作で格納したドアミラーは手で戻さず、再度格納スイッチを押してドアミラーを元の位置に戻してください。

格納スイッチで格納したドアミラーを手で戻すとドアミラーの固定が不完全になり、走行中の振動および風の影響などでドアミラーが動き、後方の確認ができなくなるおそれがあります。

📖 アドバイス

- ドアミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
- ドアミラーを手で動かしたり、人や物に当たってドアミラーが動いた場合、格納スイッチを押してもドアミラーが元の位置に戻せない場合があります。この場合、格納スイッチを押してドアミラーを一度格納してから、再度格納スイッチを押してドアミラーを元の位置に戻してください。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

格納スイッチの操作以外による ドアミラーの格納・復帰

J10210300081

キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能を使ってすべてのドアを施錠・解錠するとドアミラーが自動格納・自動復帰します。

📖 アドバイス

- メーターでドアミラーの自動格納・自動復帰の設定を変更することができます。→「車両設定」P.4-47
- 格納スイッチを使わずにドアミラーを自動復帰させる機能は、格納スイッチを操作した場合、機能しません。

ヒートッドアミラー

J10210400079

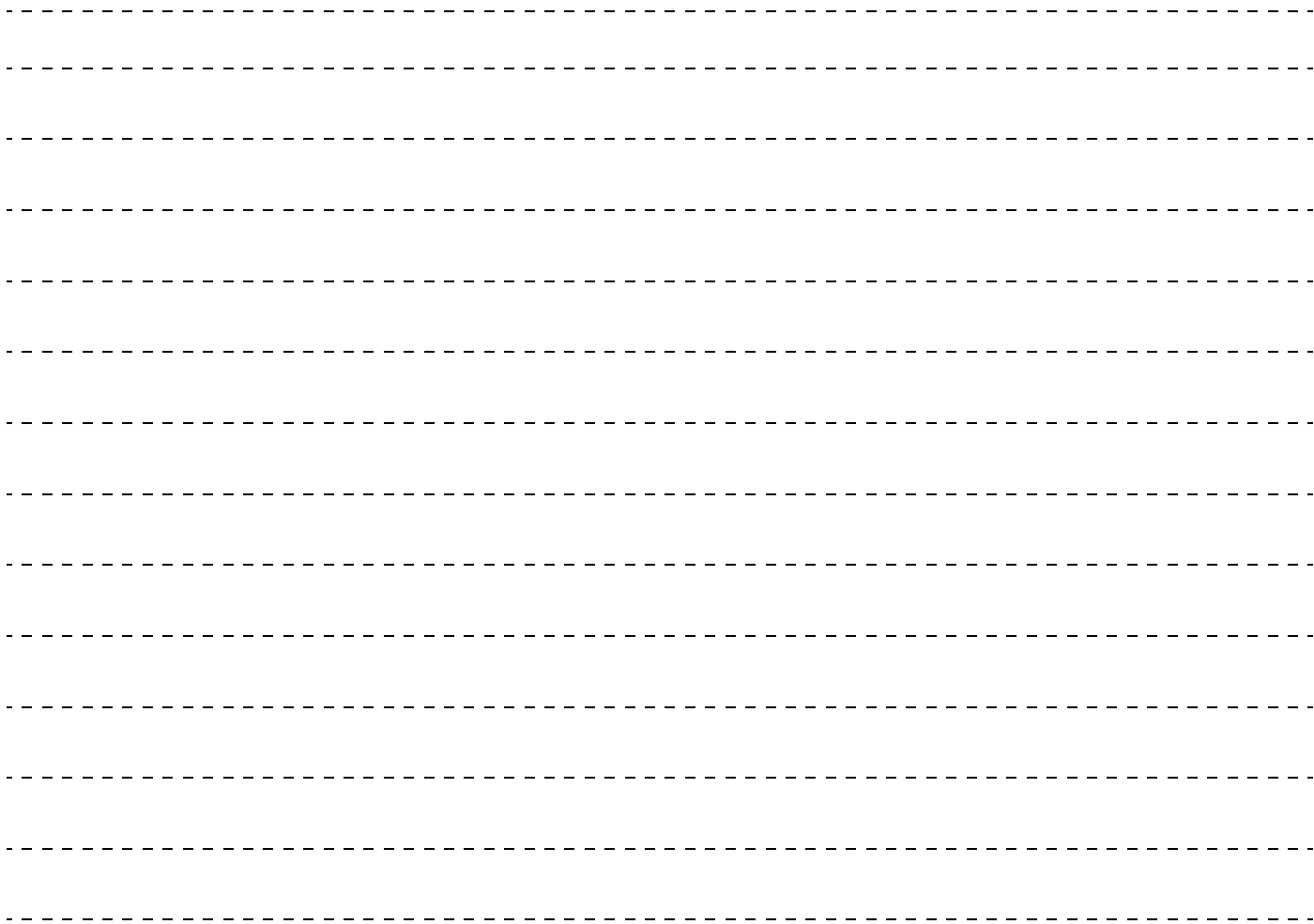
エンジンがかかっているときにリヤデフォグスイッチを押すと、ドアミラー内部のヒーターが作動し、ミラーの曇りを取ることができます。

ヒーターは約20分後に自動的に切れます。

→「リヤデフォグ（曇り取り）スイッチ」P.4-72

📖 アドバイス

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。万一、スイッチを切り忘れても約20分後に自動的に切れます。



運転するときは

エンジンの始動・停止

エンジンスイッチ	4-3
エンジンの始動・停止	4-5
ターボ車の取り扱い	4-7
オイル交換時期リマインダー	4-8
ディーゼルパティキュレートフィルター [DPF]	4-9
燃料噴射量学習機能	4-10
尿素 SCR システム (AdBlue® の関連システム)	4-10

運転装置

パーキング (駐車) ブレーキ	4-12
オートマチックトランスミッション	4-13
オートマチック車の運転のしかた	4-17
スーパーセレクト 4WD-II	4-19
ドライブモード	4-25
リヤデフロック	4-27
4WD 車の取り扱い	4-31
オフロードを走行した後は	4-37

メーターの見方

計器盤	4-37
マルチインフォメーションディスプレイ	4-39
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧	4-50
表示灯	4-61
警告灯	4-61

インフォメーション画面表示	4-63
---------------	------

スイッチ類

ライトスイッチ	4-64
ヘッドライトレベリング	4-67
フロントフォグランプスイッチ	4-68
方向指示レバー	4-68
非常点滅灯スイッチ	4-69
ワイパー/ウォッシャースイッチ	4-69
リヤデフォグガー (曇り取り) スイッチ	4-72
ステアリングヒータースイッチ	4-73
ホーンスイッチ	4-73
フューエルリッド (燃料補給口)	4-73

運転支援システム

e-Assist	4-75
衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]	4-75
踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]	4-82
車線逸脱警報システム [LDW]	4-91
車線逸脱防止支援機能 [LDP]	4-93
オートマチックハイビーム [AHB]	4-97
後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA]	4-99
後退時交差車両検知警報システム [RCTA]	4-105
ふらつき警報 [DAA]	4-108
標識認識システム [TSR]	4-109

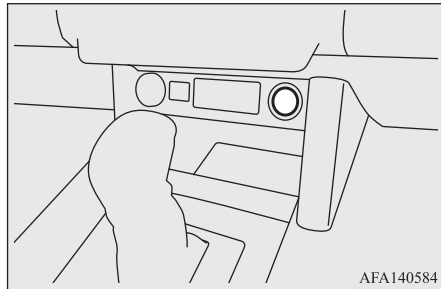
運転するとき

パーキングセンサー（フロント／リヤ）	4-112
マルチアラウンドモニター	4-116
移動物検知機能 [MOD]	4-128
レーダークルーズコントロールシステム [ACC]	4-131
オートストップ&ゴー [AS&G]	4-143
アクティブスタビリティ& トラクションコントロール [ASTC]	4-146
トレーラースタビリティアシスト [TSA]	4-149
緊急制動信号システム	4-150
ヒルスタートアシスト [HSA]	4-150
ヒルディセントコントロール [HDC]	4-151
ブレーキアシスト	4-153
シャーシコントロール	4-153
アンチロックブレーキシステム [ABS]	4-154
電動パワーステアリング [EPS]	4-156

エンジンスイッチ

J10300200062

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき、エンジンの始動ができます。車両盗難防止のため、あらかじめ登録されたキーレスオペレーションキー以外ではエンジンがかかりません。(イモビライザー機能)



AFA140584

⚠ 注意

- エンジンスイッチに引っかかりがあるときは、エンジンスイッチの操作をせず、ただちに三菱自動車販売会社にご連絡ください。

📖 アドバイス

- エンジンスイッチは奥まで確実に押ししてください。押し方が不十分な場合は、電源モードの切り換えやエンジンの始動ができない場合があります。確実に操作すれば、エンジンスイッチを押し続ける必要はありません。
- キーレスオペレーションキーが電池切れ、または、作動範囲外にあるときは、インフォメーション画面に警告が表示されます。

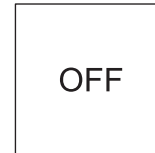
🔑 キーが
見つけられません

- キーレスオペレーションキーが電池切れ、または、エンジンが始動しているときにキーレスオペレーションキーが作動範囲外にあるときは、インフォメーション画面に警告が表示されます。

🔑 キーなし
START STOP ENGINE
長押しでエンジン停止します

エンジンスイッチの電源モードと働き

J10311000044



エンジンが停止します。



すべての電気系統が働くモード
次の条件がそろい、走行せずに一定時間が経過すると、バッテリー保護機能が働いて電源モードが自動的に OFF になります。

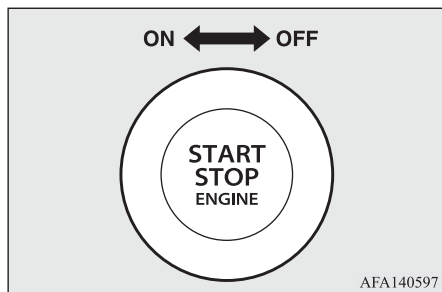
- すべてのドアが閉まっている
- セレクターレバーが P の位置にある

4

電源モードの切り換え方

J10311000045

ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと、電源モードが「OFF」→「ON」→「OFF」の順に切り換わります。



AFA140597

📖 アドバイス

- エンジンを止めたままオーディオなどの電気製品を使用したり、電源モードを長時間ONのままにしておくと、バッテリー上がりを起こし、エンジンの始動やハンドルロックの作動および解除ができなくなります。
- バッテリーを外しても電源モードの状態は記憶されます。バッテリーを再接続したときは、電源が絶たれる前の電源モードの状態に戻ります。修理などでバッテリーを外すときは、必ず電源モードをOFFにしてから行ってください。
バッテリー上がりのときに、バッテリーが上がる前の電源モードの状態が分からない場合は十分注意をしてください。
- キーレスオペレーションキーが車室内にないと電源モードをOFFからONに切り換えることはできません。
→「エンジンを始動する、電源モードを切り換えるときの作動範囲」P.3-8

📖 アドバイス

- キーレスオペレーションキーが車室内にあって電源モードが切り換わらないときは、キーの電池切れなどが考えられます。
→「警告表示について」P.3-10
- 電源モードがOFFにならない場合は、次の手順で対応してください。
 1. セクターレバーをPに入れてから電源モードをOFFにしてください。
 2. 他の原因の一つとして、バッテリーの電圧が低下している可能性があります。このとき、キーレスエントリーシステム、キーレスオペレーション機能やハンドルロックも作動しません。三菱自動車販売会社にご連絡ください。

オートACC機能

J10342000024

セクターレバーがPまたはNの位置にあり、電源モードをONからOFFにしたときは、次の状態だとしばらくの時間はオーディオなどが使用できます。

- キーレスオペレーションキーを携帯しているとき
- 運転席ドアを開けたとき
また、しばらくしてオーディオなどがOFFになっても、次の操作を行うと最大30分間オーディオなどが使用できます。

- 再度オーディオなどを起動したとき
- キーレスオペレーションキーのUNLOCKスイッチを押したとき

ハンドルロック

J10311500052

エンジンスイッチを押して電源モードをOFFにした後、運転席ドアを開くとハンドルが固定されます。
解除するときはエンジンスイッチを押します。

⚠️ 警告

- 走行中にインストしたときは、車が安全な場所に停車するまでドアを開いたり、キーレスオペレーションキーでLOCKスイッチを押して施錠しないでください。ハンドルロックが作動する可能性があるため、重大な事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- セクターレバーがPの位置にあり、エンジンスイッチの電源モードがOFFのときに次の操作を行うとハンドルが固定されます。
 - ・運転席ドアを閉じる
 - ・すべてのドアを閉じる
 - ・すべてのドアが閉じているときに、いずれかのドアを開く

アドバイス

- キーレスエントリーシステムまたはキーレスオペレーション機能の操作でドアを施錠する

エンジンの始動・停止

J10300300119

警告

- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- 排気音が変わったり、車内で燃料や排気ガスの臭いが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

注意

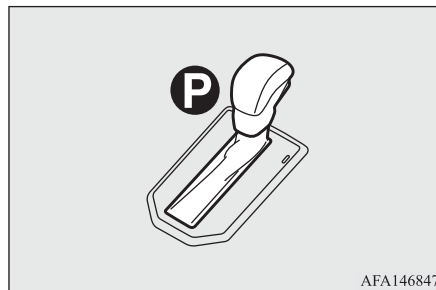
- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯または点滅したときは、高速走行を避けてただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
→「エンジン警告灯」 P.4-62

アドバイス

- エンジンが冷えているときや、再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり、高速運転は避けてください。
- エンジンルームから、エンジン始動直後に特有の音が聞こえることがあります。エンジンが暖まれば音は止まります。
- 外気温が低いときは、暖房効果を高めるために、通常の走行時よりもエンジン回転数が高くなることがありますが異常ではありません。

エンジンのかけ方

1. 正しい運転姿勢がとれるように、シートを調整します。
→「フロントシート」 P.3-18
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーがPにあることを確認します。



AFA146847

アドバイス

- キーレスオペレーションキーを携帯していても、セレクターレバーがPまたはN以外ではエンジンがかかりません。安全のため車輪が固定できるPでエンジンをかけてください。また、エンジンをかけるときにブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押した場合、インフォメーション画面に警告が表示されます。ブレーキペダルを踏む力が弱いときもインフォメーション画面に警告が表示されます。その場合は、通常よりブレーキペダルを強く踏んでください。



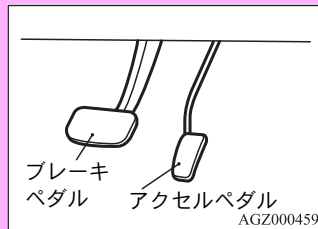
4. ブレーキペダルを右足でしっかり踏み、エンジンスイッチを押します。
5. エンジンの予熱が始まり、メーター内のグロー（予熱）スタート表示灯が消灯すると自動でエンジンが始動します。
→「グロー（予熱）スタート表示灯」 P.4-61

📖 アドバイス

- エンジンをかけている途中でエンジンスイッチから手を離しても、エンジン始動のために数秒間スターチングモーターが回り続けます。
- エンジン冷却水の温度が低いほど、グロー（予熱）スタート表示灯の点灯時間が長くなります。
- グロー（予熱）スタート表示灯が消灯した後、しばらくの間エンジンをかけなかったときは、エンジンスイッチをOFFに戻し、再度グロープラグの予熱を行ってからエンジンをかけてください。
- エンジンがかかっていないときはブレーキペダルが踏み込みにくくなることがあり、ペダル操作が検出されず、エンジンが始動しないことがあります。そのような場合は通常よりも強くブレーキペダルを踏んでください。
- バッテリーの交換直後などはバッテリーの状態を把握するため、エンジン始動に若干の遅れを生じる場合があります。

⚠️ 警告

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため、各ペダルの位置を右足で確認してください。アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり、両方のペダルを同時に踏んでしまうと、車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。



📖 アドバイス

- どの電源モードのときでもエンジンが始動できます。
- エンジンの始動操作をしてすぐにエンジンスイッチから手を離すと、エンジン始動のために最大で約15秒間スターチングモーターが回り続けます。スターチングモーターが回転中に再度エンジンスイッチを押すと、スターチングモーターが止まります。エンジンスイッチを押したままでも、最大で約30秒間スターチングモーターが回り続けます。

📖 アドバイス

- エンジンがかからないときは、しばらくしてから再度エンジンの始動操作を行ってください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作を繰り返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンの始動操作を連続して行ったり、エンジンスイッチの電源モードをOFFにした後、すぐに再始動操作を行った場合、エンジンが始動しないことがあります。そのような場合は、数秒待ってから再度エンジンの始動操作を行ってください。
 - スターチングモーターが回っている間は、セクターレバーを操作しないでください。
 - エンジンがかからないときは、次の手順に従ってください。
 - ・ブレーキペダルを踏んだまま、アクセルペダルを半分程度踏みながらエンジンをかけてください。
 - ・エンジンがかかったらアクセルペダルをすみやかに戻してください。

エンジンの止め方

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを確実にかけます。
3. セクターレバーを①に入れてから、エンジンスイッチを押してエンジンを止めます。

警告

- 緊急を要する場合以外は走行中にエンジンを止めないでください。ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

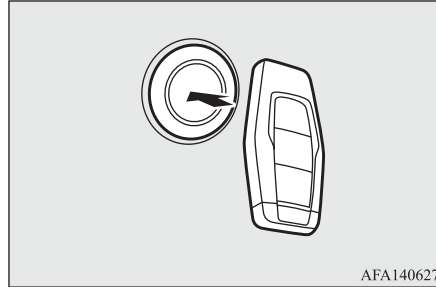
- 緊急時以外は走行中にエンジンスイッチを操作しないでください。万一、走行中にエンジンを緊急停止したい場合は、エンジンスイッチを2秒以上押し続けるか、素早く3回以上押してください。エンジンが止まり、電源モードがOFFになります。
- セレクターレバーがP以外でエンジンを止めないでください。セレクターレバーをPに入れてから電源モードをOFFにしてください。

キーレスオペレーションキーが正常に作動しないとき(電池切れなど)にエンジンを始動するときは

J10311600040

次の操作で、エンジンの始動や電源モードの切り換えが可能です。

1. ブレーキペダルを右足でしっかり踏みます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま、キーレスオペレーションキーを図のようにエンジンスイッチに接触させます。



3. キーレスオペレーションキーが認識されるとブザーが鳴り、約10秒間エンジンの始動や電源モードの切り換え操作が可能になります。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーが車内にあり、電源モードをONにする、またはエンジンを始動したときに、インフォメーション画面に「キー電池残量が低下しています」が表示されることがあります。表示を消すには再度、キーレスオペレーションキーをエンジンスイッチに接触させてください。

アドバイス

- インフォメーション画面に「キー電池残量が低下しています」が表示される場合は、できるだけ早くキーレスオペレーションキーの電池を交換してください。→「電池交換のしかた」P.3-5
- キーレスオペレーションキーの近くに金属や他のキーなどがある場合、キーレスオペレーションキーが認識されない場合があります。
- ブレーキペダルを踏む代わりにエンジンスイッチを押してから約30秒の間も、同じようにキーレスオペレーションキーの認識をさせることができます。
- エンジンを始動させずに電源モードを切り換えるときは、ブザーが鳴った後に、ブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを押します。

ターボ車の取り扱い

J10328100034

注意

- エンジンをかけた直後は、空ぶかしや急加速などでエンジンを高回転させないでください。
- 高速走行または登坂走行をした後は、低速走行やアイドリング運転でターボが冷えるのを待ってからエンジンを止めてください。

オイル交換時期リマインダー

⚠ 注意

- エンジンオイルは定められた時期に交換してください。交換しないと、ターボ装置の故障の原因となります。

オイル交換時期リマインダー

J10355200020

4

オイル交換時期リマインダーは、次のエンジンオイル交換までの走行距離を見積り、オイル交換時期がくるとインフォメーション画面に表示して知らせる機能です。

オイル交換までの走行距離の表示

次のエンジンオイル交換までの走行距離が 1,500km 以下になると、電源モードが ON になるたびに、現在の残りの走行距離がインフォメーション画面に表示されます。

オイル交換まで
1500km

車両がエンジンオイル交換をする走行距離に達すると、電源モードが ON になるたびに、警告がインフォメーション画面に表示されます。

4-8 運転するときは

オイル交換してください

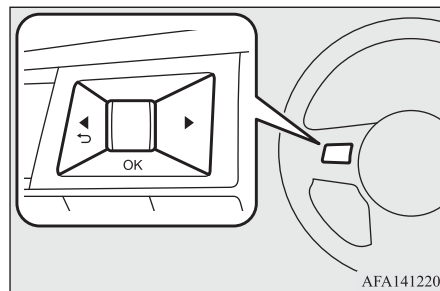
警告が表示されたら、エンジンオイル交換を行い、走行距離をリセットしてください。

📖 アドバイス

- エンジンオイル交換をしたときは、次のエンジンオイル交換までの走行距離をリセットしてください。
- この警告とディーゼルパティキュレートフィルター [DPF] 警告が同時に表示されたときは、過度の量のすすが DPF に蓄積しています。DPF で集めたすすを燃焼・除去してください。
→「ディーゼルパティキュレートフィルター [DPF]」P.4-9

オイル交換までの走行距離のリセット方法

次のエンジンオイル交換までの走行距離をリセットするには、以下の手順を行ってください。



1. インフォメーション画面に「設定」が表示されるまで、◀または▶ボタンを押します。
2. ダイヤルスイッチを回して、「設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押します。
3. ダイヤルスイッチを回して「メンテナンス」を選択し、ダイヤルスイッチを押します。
→「マルチインフォメーションディスプレイ」P.4-39
4. ダイヤルスイッチを回して「オイル交換時期」を選択し、ダイヤルスイッチを押します。
次のオイル交換までの走行距離が表示されます。

エンジンオイル
オイル交換まで

 0 km

5. ダイヤルスイッチを押すと、リセット確認画面が表示されるので、ダイヤルスイッチを回して「はい」を選択し、ダイヤルスイッチを押します。

本当にリセットしますか？

いいえ
はい

ディーゼルパーティキュレートフィルター [DPF]

J10328200064

ディーゼルパーティキュレートフィルター [DPF] は、ディーゼルエンジンの排気ガスに含まれるすすを燃焼・除去する装置です。

DPF で集めたすすは、運転中に自動的に燃焼・除去されます。ただし次のような場合、燃焼・除去されないことがあります。

- 低速で長時間走行を続けたとき。

- 短時間または短距離走行を繰り返したとき。

警告

- 枯草や紙など燃えやすい物の近くには車を止めないでください。走行後の DPF および排気管は、高温になっているため、火災になるおそれがあります。

注意

- 指定以外の燃料およびエンジンオイルを補給しないでください。また、燃料添加剤や水抜き剤などを使用しないでください。DPF に悪影響をおよぼすおそれがあります。
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P.8-2
→「メンテナンスデータ：エンジンオイルの量と種類」P.8-3

アドバイス

- 運転中に自動ですすを燃焼・除去しているとき、排気ガスの臭いの変化したりアイドル回転数が高くなる場合がありますが、異常ではありません。また、すすの燃焼を促進させる制御が働くと、アクセルペダルを離れたときのエンジンブレーキの効きが弱くなりますが、異常ではありません。

DPF 警告表示

J10328700069

インフォメーション画面に警告が表示されたときは、次の方法で処置してください。

 DPF 異常

アドバイス

- DPF 警告表示が表示されたときに、オイル交換時期リマインダー警告表示も表示されることがあります。その場合は、エンジンオイルを交換してから、DPF のすすを燃焼・除去してください。項目内の「DPF 警告表示のみ表示したときは」をお読みください。エンジンオイルの交換時期を確認するには、次の項をお読みください。
→「オイル交換時期リマインダー」P.4-8

DPF 警告表示のみ表示したときは

DPF で集めたすすを、燃焼・除去する必要があります。DPF で集めたすすの燃焼・除去を促進させるため、低速での連続走行や短距離走

燃料噴射量学習機能

行の繰り返しを避け、次のことを目安に走行してください。

< 走行の目安 >

水温計の中間近くで指針が安定した状態で、約 40km/h 以上で約 30 分間走行する。

通常であれば数分後に、DPF にたまったすすの燃焼・除去を開始します。

燃焼・除去中は、グロー（予熱）スタート表示灯が点灯します。通常 30 分程度の走行で警告表示とグロー（予熱）スタート表示灯が消え、燃焼・除去を終了します。

→「グロー（予熱）スタート表示灯」P.4-61

上記の条件で走行しても警告が表示したままのときは、三菱自動車販売会社へご連絡ください。

⚠ 注意

- 必ず目安の条件で連続走行をしなければならぬわけではありません。常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。

📖 アドバイス

- 警告が表示されても、すぐに問題があるわけではありません。警告が表示されてからも、50km 以内の距離であればそれまで通りの使用を続けても問題ありません。

DPF 警告表示とエンジン警告灯が同時に表示／点灯したときは

警告灯



警告表示

🔊 DPF 異常

DPF 関連システムに何らかの異常が発生しています。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠ 注意

- DPF 警告表示とエンジン警告灯が同時に表示／点灯したまま走行を続けると、エンジンの不調および DPF の破損につながるおそれがあります。DPF が破損した場合は、エンジン警告灯のみ点灯します。

燃料噴射量学習機能

J10328300052

排気ガスの濃度およびエンジン音を低く抑えておくために、燃料噴射量の学習を自動的に行います。学習中、エンジン音がわずかに変化しますが異常ではありません。

尿素 SCR システム (AdBlue® の関連システム)

J10337900054

AdBlue® はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

尿素 SCR システムは、高品位の尿素水（AdBlue®）を使用して、ディーゼルエンジンの排気ガスに含まれる NOx（窒素酸化物）を低減させる装置です。

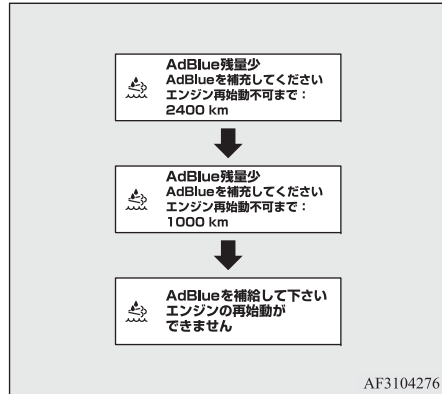
尿素水（AdBlue®）は燃料と同様に、走行に伴い消費されるため、走行距離に応じて補給が必要です。

尿素水（AdBlue®）残量警告

警告灯



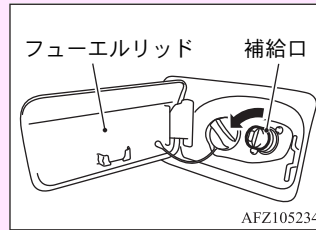
警告表示



走行可能距離が約 2,400km 以下になると、マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に残量警告が表示されます。尿素水 (AdBlue®) の残量に応じて、段階的に残量警告とおおよその走行可能距離が表示されます。また、同時にメーター内の警告灯が点灯または点滅します。警告が表示されたら、ただちに補給してください。もしくは、三菱自動車販売会社で点検、補給を受けてください。

注意

- 尿素水 (AdBlue®) の残量がなくなり、走行可能距離表示が 0km になると、エンジンの再始動ができなくなります。
- 尿素水 (AdBlue®) の取り扱いには注意が必要です。尿素水 (AdBlue®) は三菱自動車販売会社での補給をおすすめします。

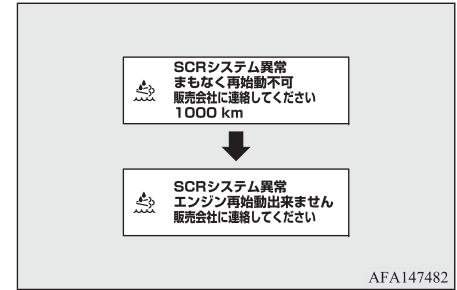


尿素 SCR システム警告

警告灯



警告表示



システムに異常があるときは、その状態により、マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告が表示されます。また、同時にメーター内の警告灯が点滅します。警告が表示されたら、ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

注意

- 尿素SCRシステム警告灯と警告画面が表示されてから約 600km でエンジンの再始動ができなくなります。

アドバイス

- システムに異常があるときは、エンジン警告灯が同時に点灯する場合があります。



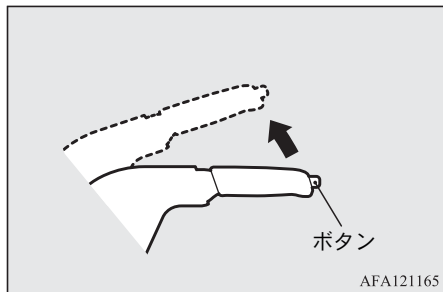
4 パーキング（駐車）ブレーキ

J10300400022

かけるときは

J10342200026

ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押さずにパーキングブレーキレバーをいっぱいまで引きます。メーター内のブレーキ警告灯が点灯していることを確認してください。



AFA121165

注意

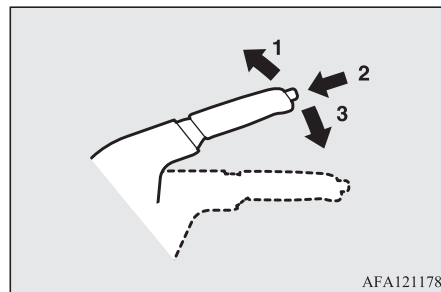
- 坂道に駐車するときは、パーキングブレーキを確実にかけ、セクターレバーをPに入れてください。
- パーキングブレーキをかけるときは、ブレーキペダルをしっかり踏み、完全に停車してからパーキングブレーキレバーを引いてください。車が動いているうちにパーキングブレーキレバーを引くと、後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。また、パーキングブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

J10342300027

1. ブレーキペダルを踏んだまま、レバーを少し引き上げます。
2. レバーのボタンを押し続けます。
3. 完全にレバーを戻します。

解除したときは、メーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



AFA121178

注意

- パーキングブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

アドバイス

- パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で運転すると、メーター内に警告が表示されます。

警告灯



警告表示

パーキングブレーキを
解除してください

オートマチックトランスミッション

J10328500041

スポーツモード 6A/T

スポーツモード 6A/T は、路面や走行状況に応じて、適切にシフトチェンジを行い、低燃費でスムーズな走行を実現します。

⚠ 注意

- エンジンブレーキの効きが弱いと感じたときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んだり、スポーツモードを使ってシフトダウンしてください。
なお、滑りやすい路面ではシフトダウンするとタイヤがスリップするおそれがありますので、常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

スポーツモード

「スポーツモード」では、マニュアルトランスミッション感覚でスポーティな運転を楽しむことができます。
→ 「スポーツモード」 P.4-14

4

セレクターレバーの位置・働き (メインゲート)

J10329100044



(パーキング)
駐車およびエンジンをかけるとき

車輪が固定されます。駐車の際は必ずパーキングブレーキをかけて **P** にしてください。



(リバース)
後退させるとき

R にするとブザーが鳴り、**R** にあることを運転者に知らせます。

⚠ 注意

- ブザーは車外の人には聞こえません。



(ニュートラル)
動力が伝達されません

この位置でもエンジンをかけることができますが、安全のため **P** で行ってください。

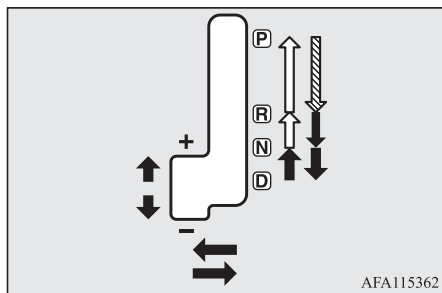
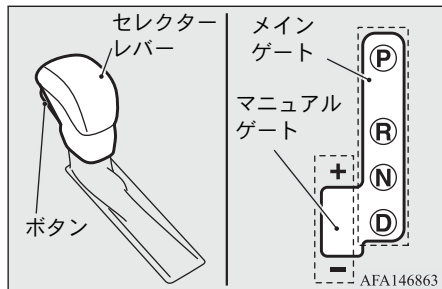


(ドライブ) 通常走行

発進から高速走行まで自動的に変速されます。(1速から6速まで自動的に変速されます。)

セレクターレバーの動かし方

J10328800044



- ⚡ ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押して操作します。
- ↓ ボタンを押さずに操作します。

↓ ボタンを押したまま操作します。

⚠ 警告

- ↓の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると、誤ってPやRに入れてしまい、思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セレクターレバーをN→DまたはN→Rに操作するときは、安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- レバーの操作は誤操作防止のため、各位置ごとに一旦止めて確실히行ってください。操作後は必ずメーター内の表示でポジションを確認してください。

📖 アドバイス

- ブレーキペダルを踏んでいないと、シフトロック装置が働いてPから他の位置に操作できません。また、エンジンスイッチの電源モードがOFFのときはブレーキペダルを踏んでもPから他の位置に操作できません。
- ⚡の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると、セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- DからR、RからDおよびPに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み、完全に停車してから入れてください。車が動いているうちにPやRに入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

スポーツモード

J10329200045

スポーツモードでは、セレクターレバーをマニュアルゲートに入れ前後に操作するだけで、素早くシフトチェンジすることができます。

マニュアルトランスミッションと違って、アクセルペダルを踏み込んだままシフトチェンジをすることができます。カーブの手前の軽快なシフトダウンによる減速と素早いコーナーの立ち上がりなどができます。

⚠ 注意

- スポーツモードで走行中は、道路状況に合わせて、エンジン回転がレッドゾーンに入らないよう適切にシフトチェンジしてください。
- 滑りやすい路面ではシフトダウンするとタイヤがスリップするおそれがありますので、常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

📖 アドバイス

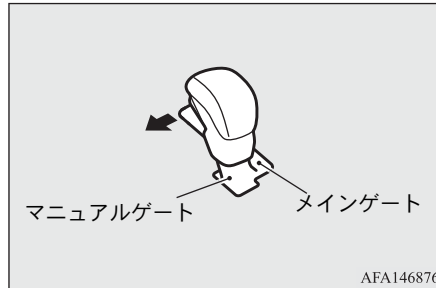
- 1速から6速の前進しか選択できません。後退、駐車するときはセレクターレバーを、**R**、**P**に入れてください。
- スポーツモードで走行中に車速が下がると自動的にシフトダウンし、停車前に1速に入ります。
- 走行性能を確保するため、車速によってはセレクターレバーを操作してもシフトアップしない場合があります。また、エンジンの過回転を防止するため、車速によってはセレクターレバーを操作してもブザーが鳴ってシフトダウンしない場合があります。

📖 アドバイス

- 滑りやすい路面での発進性を良くするため、停止中に**+**(車両前方)側へ1回操作すると2速で発進できます。**-**(車両後方)側へ操作すると1速に戻ります。

スポーツモードを選択するとき

停車中または走行中にセレクターレバーをメインゲートの**D**からマニュアルゲートに入れることで、スポーツモードが選択されます。

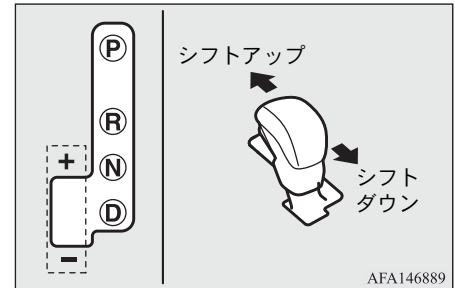


📖 アドバイス

- 停車中選択できる変速段は1速または2速です。

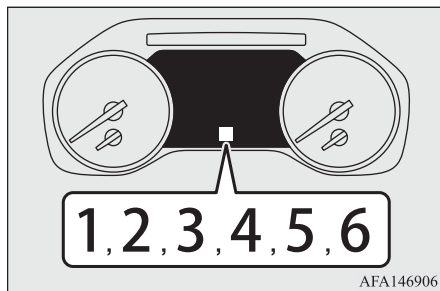
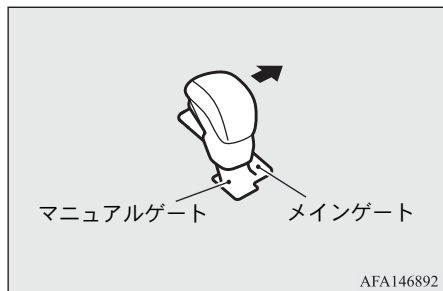
シフトアップ、シフトダウンするときは

セレクターレバーを**+**(車両前方)側へ押すごとに1段ずつシフトアップします。また、セレクターレバーを**-**(車両後方)側へ引くごとに1段ずつシフトダウンします。



Ⓧ 走行に戻すときは

セレクターレバーをマニュアルゲートからメインゲートに入れると**Ⓧ**走行に戻ります。



- 車を安全な場所に止めてセレクターレバーをPに入れ、エンジンをかけたままエンジンフード（ボンネット）を開けて冷やします。

しばらくしたらセレクターレバーをP以外に入れて警告表示が消えていることを確認します。

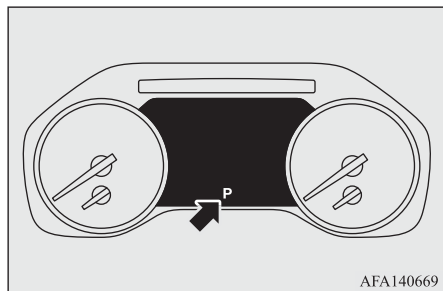
表示が消えれば元のように走行できます。

警告表示が消えないときは、ただちに三菱自動車販売会社にご連絡ください。

セレクターレバー位置表示灯

J10328900045

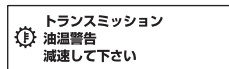
セレクターレバーの位置をメーター内に表示します。
スポーツモードで走行中は変速段を表示します。



警告表示

J10329000043

インフォメーション画面に警告が表示されたときは、次の方法で処置してください。



オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなっています。
高くなったオートマチックトランスミッションオイルの温度を下げるためにエンジン制御が働き、エンジン回転数と車速が下がることがあります。
このようなときは、次のいずれかの方法で処置してください。

- 車速を下げて走行します。



トランスミッションに何らかの異常が発生し、安全装置が働いていると考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

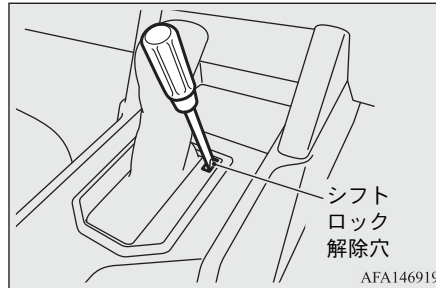
- インフォメーション画面に警告が表示されたときは、警告音が鳴ることがあります。
- “B”が点灯するときは、A/Tポジションスイッチが故障しています。通常走行では表示しません。

セレクターレバーをPから操作できないときは

J10338600032

万一、エンジンスイッチの電源モードがONでブレーキペダルを踏んだ状態でも、Pから他の位置に操作できないときは、バッテリー上がりやシフトロック装置の故障が考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。また、お車を移動させる必要がある場合は次の手順でセレクターレバーを操作してください。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. エンジンをかけている場合は、エンジンを切ります。
3. ブレーキペダルを右足で踏みます。
4. シフトロック解除穴にマイナスドライバーまたはエマージェンシーキーなどを差し込み、押し下げながらセレクターレバーをNに入れます。



オートマチック車の運転のしかた

J10300600079

⚠ 注意

- 車を少し移動させるときでも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは、セレクターレバーがRに入っていることを忘れてしまうことがあります。後退した後は、すぐにRからPまたはNに戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは、身体を後ろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。

⚠ 注意

- 切り返しなどでDからR、RからDと何度もレバーを操作するときは、その都度ブレーキペダルをしっかりと踏み、車を完全に止めてから行ってください。車が動いているうちにPやRに入れると、トランスミッションの故障の原因になります。

発進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠ 警告

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

- セクターレバーを**P**、**N**以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリーブ現象により、ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。特に冷暖房中やエンジン始動直後などエンジン回転数が高くなるとクリーブ現象が強くなりますので、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。



走行

⚠ 警告

- 走行中はセクターレバーを**N**に入れないでください。誤って**P**、**R**に入れてしまったり、エンジンブレーキが効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションの故障の原因になります。

クリーブ現象とは...

- セクターレバーを**P**、**N**以外に入れると動力が繋がった状態となり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車特有の現象。

2. セクターレバーを前進は**D**、後退は**R**に入れます。

⚠ 警告

- セクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

3. セクターレバーの位置を確認します。

4. 周囲の安全を確認し、パーキングブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々に緩め、アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないようパーキングブレーキをかけたまま、ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら、車が動き出す感触を確認し、パーキングブレーキを解除して発進します。
→「パーキング（駐車）ブレーキ」P.4-12

⚠ 注意

- セクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。坂道などで、**D**（前進）にしたまま惰性で後退したり、**R**（後退）にしたまま惰性で前進しないでください。エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり、ハンドルが非常に重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

通常走行

セクターレバーを**D**で走行します。発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。

急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。自動的に低速ギヤに切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。

停車

1. セクターレバーは**D**のままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠ 注意

- 冷暖房中やエンジン始動直後などは、自動的にエンジン回転数が高くなり、クリーブ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

2. 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。

⚠ 注意

- 急な上り坂ではクリーブ現象が働いても、車が後退することがあります。停車時はブレーキペダルを踏み、しっかりとパーキングブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときは、セクターレバーを**N**に入れます。

⚠ 注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一、セクターレバーが**P**、**N**以外に入っていると認め急発進の原因になります。

4. 再発進するときには、セクターレバーが**D**にあることを確認してから発進してください。

駐車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを確実にかけます。
3. セクターレバーを**P**に入れます。

⚠ 注意

- **P**では車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセクターレバーが**P**に入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちに**P**に入れると、急停車しけがをするおそれがあります。また、トランスミッションの故障の原因になります。

📖 アドバイス

- 坂道では、まずパーキングブレーキをかけてから次にセクターレバーを**P**に入れてください。パーキングブレーキをかけずに**P**に入ると発進時にセクターレバーの操作力が重くなる場合があります。

4. エンジンを止めます。

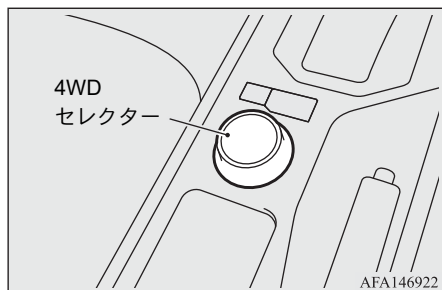
⚠ 注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止めてください。エンジンをかけたままにしておくと、万一、セクターレバーが**P**以外に入っていた場合、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

スーパーセレクト 4WD-II

J1034240020

スーパーセレクト 4WD-II は、4WD セクターの操作により走行状況に合わせて4種類の駆動モードを選択できる4WDシステムです。路面の状態に応じて4WDセクターを各位置に切り換えます。



4

4WD セレクター位置および 2WD/4WD 作動表示

J10342500029

4WD セレクター位置／駆動モード		2WD/4WD 作動表示	働き
2H	2WD		乾いた一般道路や高速道路を経済的に走行するときの位置です。後輪駆動で走行します。
4H	フルタイム 4WD		一般道路、高速道路や滑りやすい路面を走行するときの位置です。4 輪駆動で走行します。
4HLc	センターデフロック 4WD		悪路、砂地、ぬかるみ、深い雪道走行するときの位置です。4 輪駆動で走行します。
4LLc	ローレンジセンターデフロック 4WD		急登坂、急降坂などの急勾配を走行するとき（特に大きな駆動力が必要な低速走行）の位置です。4 輪駆動で走行します。

□ : 点灯

■ : 消灯

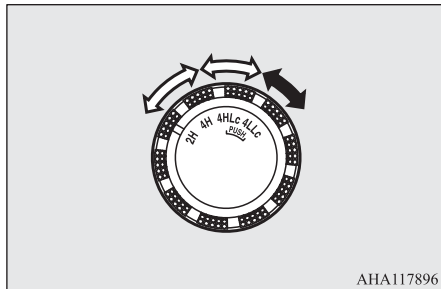
⚠ 注意

- 「4LLc」では約 70km/h を超えないようにしてください。

4WD セクターの操作

J10342600020

4WD モードは 4WD セクターのダイヤルに表示してあります。



4WD セクターは次の手順に従って操作してください。

⇨: 押さずに回す

2H ↔ 4H ↔ 4HLc

走行中でも停車中でも操作できます。

停車中

セクターレバーを **N** に入れ、4WD セクターを操作します。

走行中

セクターレバーを **D** に入れ、車を直進状態にします。
次にアクセルペダルを戻した状態で 4WD セクターを操作します。

➡: 押したまま回す

4HLc ↔ 4LLc

停車して操作します。

アクセルペダルを戻した状態でセクターレバーを **N** に入れ、4WD セクターを操作します。

⚠ 注意

- 雪道などで後輪を空転させたまま、4WD セクターを操作しないでください。

⚠ 注意

- 4WD セクター操作時に、セレクトレバーが **N** 以外に入っていると、ギヤ鳴り音がする場合があります。
- 乾いた舗装道路は「4H」または「2H」で走行してください。特に乾いた高速道路は絶対に「4HLc」または「4LLc」で走行しないでください。乾いた舗装道路を「4HLc」または「4LLc」で走行すると燃料の消費量が多くなったり、騒音、タイヤの早期摩耗を発生することがあります。また、駆動系部品に無理がかかり、オイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となるおそれがあります。必ず「4H」または「2H」で走行してください。

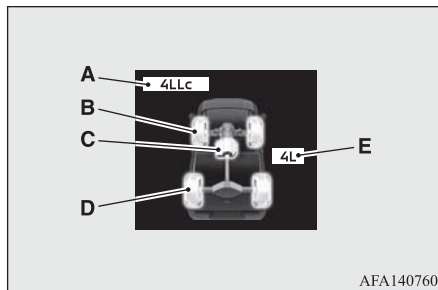
📖 アドバイス

- 「2H」 ↔ 「4H」 ↔ 「4HLc」の切り換えは時速 100km/h 以下で行ってください。

アドバイス

- 「4HLc」 ↔ 「4LLc」の切り換え中にセクターレバーを操作するとギヤ鳴り音がある場合があります。2WD/4WD 作動表示で「4HLc」または「4LLc」に切り換わったことを確認してからセクターレバーを操作してください。
- 寒冷時に、走り始めてすぐに「2H」→「4H」に切り換えるとギヤ鳴り音がある場合があります。寒冷時は停車して切り換えてください。
- 「4HLc」 ↔ 「4LLc」に切り換えるときに、ギヤ鳴り音がある場合があります。
- 停車中に「2H」 ↔ 「4H」 ↔ 「4HLc」に切り換え 2WD/4WD 作動表示が点滅しているときは、作動切り換え中です。徐行し、表示が点滅から点灯状態になったことを確認してから、通常走行してください。
→「2WD/4WD 作動表示」P.4-22
- 寒冷時は「4HLc」 ↔ 「4LLc」の切り換え操作をしても、切り換わらない場合があります。その場合、4WD セクターを切り換え前の位置に戻し、エンジンが暖まってから、再度切り換え操作を行ってください。

表示され、トランスファーの切り換え状態を表示します。



- A: 4WD 表示
- B: フロントホイール表示
- C: センターデフロック表示
- D: リヤホイール表示
- E: ローレンジ表示

各 4WD セクター位置での 2WD/4WD 作動表示の表示は次の通りです。

「2H」 ↔ 「4H」

4WD セクター位置	2WD/4WD 作動表示
2H	
作動切り換え中	
4H	



- : 点滅
- : 点灯
- : 消灯

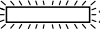


2WD/4WD 作動表示

J10342700021







エンジンスイッチがONのとき、インフォメーション画面に 2WD/4WD 作動表示が

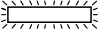


「4H」 ↔ 「4HLc」

4WD セレクター位置	2WD/4WD 作動表示
4H	
作動切り換え 中	
4HLc	

: 点滅
: 点灯
: 消灯

「4HLc」 ↔ 「4LLc」

4WD セレクター位置	2WD/4WD 作動表示	
4HLc		
作動切り換え 中		
4LLc		

: 点滅
: 点灯
: 消灯

注意

- インフォメーション画面に警告が表示されたときは、スーパーセレクト 4WD-II に何らかの異常が発生し、安全装置が働いていると考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。


4WD システム異常
取扱説明書をご覧ください

アドバイス


- 作動切り換え中は各表示部が点滅します。点滅状態のときは次のことに注意してください。
- ハンドルを切りながら発進するとギヤ鳴り音がする場合や切り換わらない場合があります。直進状態で「2H」 ↔ 「4H」 ↔ 「4HLc」の切り換えをしてください。
- 停車中に「2H」 ↔ 「4H」 ↔ 「4HLc」の切り換え操作をした後、フロントホイール表示またはセンターデフロック表示が点滅したままのときは、車を直進状態にして前進してください。
- 走行中に「2H」 ↔ 「4H」 ↔ 「4HLc」の切り換え操作をした後、フロントホイール表示またはセンターデフロック表示が点滅したままのときは、車を直進状態にして、アクセルペダルをゆっくり数回踏んでください。

アドバイス

- 「4HLc」 ↔ 「4LLc」の切り換え作動中は、フロント／リヤホイール表示が点滅します。フロント／リヤホイール表示が点滅から点灯に変わったら 4WD セクターを再度操作してください。
- 駐車するときは、フロント／リヤホイール表示が点滅していないことを確認し、エンジンを停止する前にパーキングブレーキをかけてください。「4HLc」 ↔ 「4LLc」の切り換え作動中は、セクターレバーが **P** に入っている場合、車両が予期せず動くことがあります。
- 「4HLc」 ↔ 「4LLc」の切り換え操作をした後、フロント／リヤホイール表示が点滅したまま切り換わらないときは、4WD セクターを切り換え前の位置に戻し、車を直進状態にして前進した後、停車してアクセルペダルを戻します。次に、セクターレバーを **N** に入れてから、再度切り換え操作を行ってください。
- 「4HLc」 ↔ 「4LLc」の切り換え途中でセクターレバーを **N** 以外へ入れたときは、警告が表示され切り換えが停止します。

 ブレーキを踏んで
N ポジションに
入れて下さい

アドバイス

- 「4LLc」(ローレンジ) が選択されている間は、ASTC は停止します。停止している間は、 表示灯が点灯しますが、異常ではありません。「2H」、「4H」または「4HLc」を選択したときは、表示灯は消灯します。
→ 「ASTC 作動表示灯または ASTC OFF 表示灯」 P.4-148

ドライブモード

J10305500044

ドライブモードは路面状況に応じて、エンジン、トランスミッション、ステアリング、AYC、ブレーキコントロールを最適な特性に選択することで、幅広い運転スタイルや走行状況における走行性能と車両の安定性の向上に貢献する機能です。

アドバイス

- ドライブモードは、路面状況に適切なモードを選択してください。
- 選択したモードによっては、車両から作動音が聞こえたり、振動やショックを感じたりすることがあります。

ドライブモード

J10358500024

路面状況によって次の中からドライブモードを選択することができます。

ドライブモード	働き	4WD セレクター位置
NORMAL	乾燥舗装路、ウェット路など通常使用するモードです。 様々な路面状況に対し、駆動モードに応じて適切なバランスのとれた走行性能を実現するモードです。	全モード
ECO	エコロジカルで経済的な走行に適したモードです。	2H
GRAVEL	未舗装路やウェット路など、悪条件下での運転をサポートするモードです。 アドバイス： GRAVEL モードが選ばれているときは、レーダークルーズコントロールシステム [ACC] ^{*1} と車線逸脱防止機能 [LDP] ^{*2} の作動に影響します。	4H
SNOW	主に雪道での走行に適したモードです。 滑りやすい路面で安定性が向上します。 アドバイス： SNOW モードが選ばれているときは、レーダークルーズコントロールシステム [ACC] ^{*1} と車線逸脱防止機能 [LDP] ^{*2} の作動に影響します。	4H

ドライブモード

ドライブモード	働き	4WD セレクター位置
MUD	ぬかるみや深い雪道での走行など大きな駆動力が必要なときに使用するモードです。 発進性と安定性が向上します。 アドバイス： MUD モードが選ばれているときは、レーダークルーズコントロールシステム [ACC] ^{*1} と車線逸脱防止機能 [LDP] ^{*2} の作動に影響します。	4HLc
SAND	砂地など大きな駆動力が必要なときに使用するモードです。 発進性と安定性が向上します。 アドバイス： SAND モードが選ばれているときは、レーダークルーズコントロールシステム [ACC] ^{*1} と車線逸脱防止機能 [LDP] ^{*2} の作動に影響します。	4HLc
ROCK	岩場など、タイヤが空転するような場所を走行するときに使用するモードです。 発進性と安定性が向上します。 アドバイス： ROCK モードが選ばれているときは、レーダークルーズコントロールシステム [ACC] ^{*1} と車線逸脱防止機能 [LDP] ^{*2} の作動に影響します。	4LLc

詳細については、各項目に記載の参照先をお読みください。

*1:レーダークルーズコントロールシステム [ACC] P.4-131

*2:線逸脱防止支援機能 [LDP] P.4-93

アドバイス

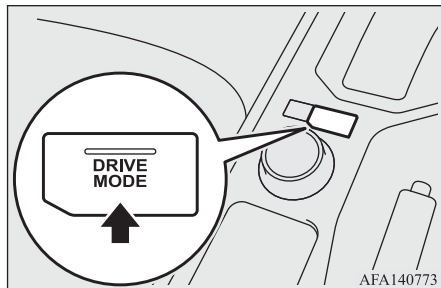
- 車両がぬかるみなどにはまり動けないときは、リヤデフロックを使用してください。
→「リヤデフロック」 P.4-27

ドライブモードセレクターの操作

J1035860025

ドライブモードセレクターを押すと、4WDセレクター位置に対応するドライブモードに切り換わります。

4WDセレクターを変更すると、ドライブモードは自動的に「NORMAL」に切り換わります。



AFA140773

アドバイス

- 4WD セレクターを変更するとドライブモード表示が点滅します。
- 4WDセレクターの切り換えが完了するとドライブモード表示が点灯します。
- ドライブモード表示はドライブモード選択後、約4秒で表示が消えます。

アドバイス

- エンジンスイッチの電源モードをOFFにする前に「NORMAL」以外のドライブモードを選択していても、電源モードを再度ONにしたときは、ドライブモードは「NORMAL」になります。

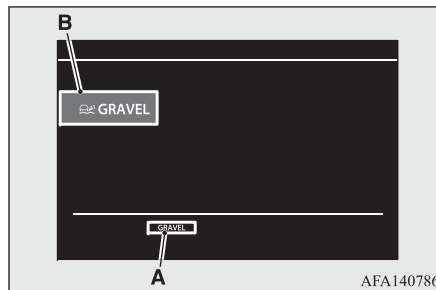
ドライブモードセレクターでドライブモードを変更できないときは、システムの点検が必要です。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告

- 運転中にドライブモードの表示画面を見るときは必要最小限にしてください。画面に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドライブモード表示画面

J1035870026



AFA140786

選択したドライブモードがマルチインフォメーションディスプレイ (A) の位置に表示されます。

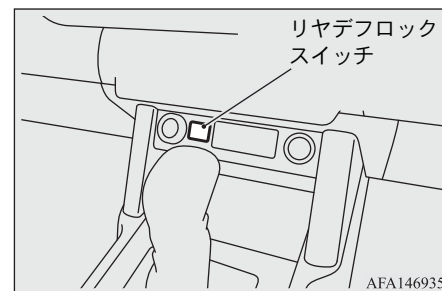
ドライブモードを切り換えると、選択したドライブモードがマルチインフォメーションディスプレイ (B) の位置に割り込み表示でドライブモードが表示されません。

(B) の位置のドライブモードの表示は、数秒後に元の画面に戻ります。

リヤデフロック

J1034320023

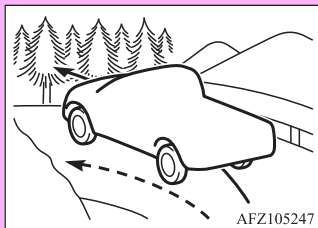
リヤデフロックは後輪の片輪が空転し、抜け出せなくなったときにリヤデフロックスイッチの操作で、リヤディファレンシャルを固定 (リヤデフロック状態) して脱出を容易にする装置です。



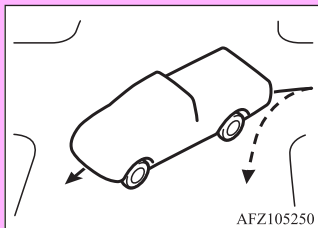
AFA146935

⚠警告

- 4WD セレクターを「4HLc」または「4LLc」にして、リヤデフロック状態のまま走行すると次のような現象が現れ大変危険です。一般走行時には必ずリヤデフロックを解除してください。
- 舗装路では直進する力が非常に強くなりハンドルが切れにくくなる場合があります。



- カーブを曲がる時や交差点などで右折、左折するとき旋回ができず直進するおそれがあります。



⚠警告

- 雪上、氷結路では安定した旋回ができにくくなります。



また、左右のタイヤの接地する路面状況が異なる時(例:片側アスファルト、他方氷上など)にエンジンプレーキをかけた時、加速すると車両の向きが急に変わることがあります。

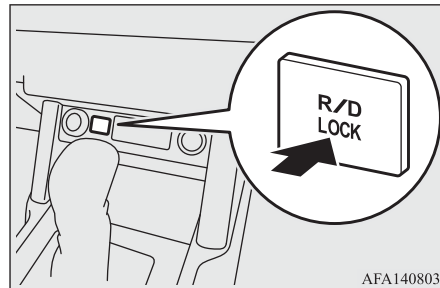
リヤデフロックスイッチの操作

⚠注意

- スイッチを操作するときは、必ず空転しているタイヤを止めて操作してください。タイヤが空転している状態でスイッチを操作すると車両が思わぬ方向へ飛び出すおそれがあります。

- 1.車を完全に止めます。

- 2.4WD セレクターを「4HLc」または「4LLc」にします。
→「4WD セレクターの操作」P.4-21
- 3.リヤデフロックを作動させるときは、リヤデフロックスイッチを押します。
- 4.リヤデフロックを解除するときには、リヤデフロックスイッチをもう1度押します。



📖アドバイス

- 4WD セレクターが「4H」または「2H」のときはリヤデフロックは作動しません。
- 4WD セレクターを「4H」または「2H」に操作することにより、リヤデフロックを解除することができます。
- 次の状況でリヤデフロックスイッチをONにすると、警告が表示され、ブザーが鳴り、リヤデフロックは作動を停止します。
・運転しているとき

アドバイス

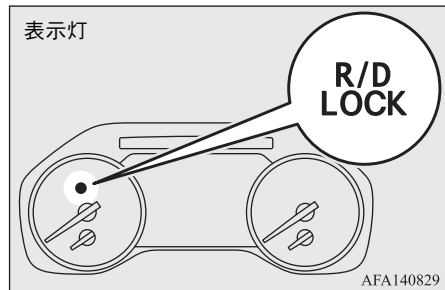
•4WD セレクターが「2H」または「4H」にあるとき

停車して
R/D LOCK
操作して下さい

リヤデフロック作動表示

J10343300024

エンジンスイッチをONにしたとき、メーター内のリヤデフロック作動表示灯や画面表示が数秒間点灯した後、リヤデフロックの作動状態を表示します。



アドバイス

●リヤデフロックの状態（リヤデフロックスイッチによる選択）は、リヤデフロック作動表示灯や画面表示の点滅または点灯で表示されます。

次の通り作動状態を表示します。

リヤデフロックの作動状態	リヤデフロック作動表示灯 / 画面表示	
	表示灯	画面表示
リヤデフロック解除	R/D LOCK ↑↓	
作動切り換え 中	R/D LOCK 点滅	
リヤデフロック作動	R/D LOCK 点灯	

- : 点滅
- : 点灯
- : 消灯

⚠️ 注意

- リヤデフロックシステムに何らかの異常が発生すると安全装置が作動します。リヤデフロック表示灯が速く点滅（1秒につき2回）して、リヤデフロックの作動を停止します。

R/D LOCK R/D LOCK 点検

- リヤデフロック表示灯が速く点滅したときは、次の手順で処置してください。
 1. 安全な場所に停車し、エンジンを止めます。
 2. 再度エンジンをかけ、通常の表示に戻れば元のように走行できます。再度リヤデフロックを作動させたときに点滅する場合はただちに三菱自動車販売会社へ連絡してください。

📖 アドバイス

- 作動切り換え中はリヤデフロック作動表示灯および画面表示が点滅し、リヤデフロックの切り換えが完了すると点灯または消灯します。

📖 アドバイス

- リヤデフロックを作動させると、ASTC作動表示灯、ASTC OFF 表示灯および ABS 警告灯が点灯し、ASTC および ABS の機能を停止しますが故障ではありません。リヤデフロックを解除すると各表示灯、警告灯は消灯し、再度 ASTC および ABS が機能し始めます。
 - 「ABS 警告灯」 P.4-154
 - 「ASTC 作動表示灯 / ASTC OFF 表示灯」 P.4-148
- リヤデフロックスイッチを押しても、リヤデフロック作動表示灯 / 表示が点滅したままのときは次のことに注意してください。
 - ・車速が約 12km/h 以上のときは、車速を約 2.5km/h 以下にすると、リヤデフロックの切り換えが完了しリヤデフロック作動表示灯 / 表示が点灯に変わります。
 - ・車速が約 12km/h 以下のときは、リヤデフロック作動表示灯 / 表示が点灯に変わるまでハンドルを左右に動かしてください。
 - ・ぬかるみなどにはまり込んだ状態では、周囲の安全を確認して前進、後退を繰り返してください。リヤデフロックの切り換えが完了すると、リヤデフロック作動表示灯 / 表示が点灯に変わります。

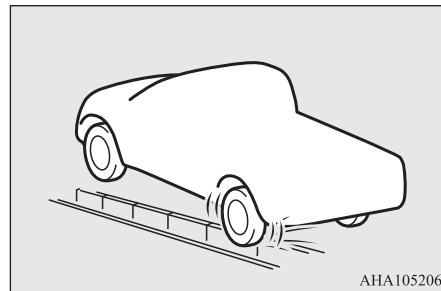
リヤデフロックの使用例

J10343400025

⚠️ 注意

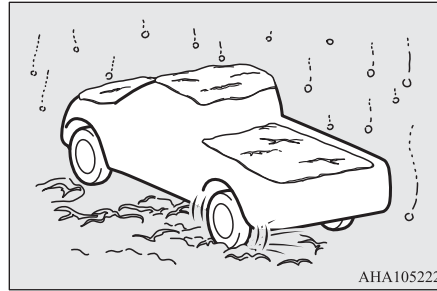
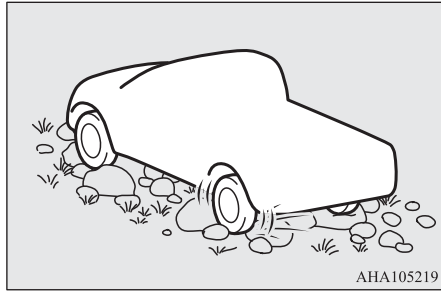
- リヤデフロックは、4WD セレクターを「4LLc」または「4HLc」にしても脱出できない緊急時のみ使用してください。また緊急脱出後は、ただちにリヤデフロックを解除してください。

脱輪時



岩石路脱出時

片輪が宙に浮き、脱出できなくなった場合



雪上脱出時

片輪が雪上で他方がアスファルトなどで脱出ができない場合

4WD 車の取り扱い

J10301000070

4WD 車を運転するときは

4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。

路面や傾斜の状態に十分注意して安全運転を心がけてください。

⚠ 注意

- 無理な運転はしないでください。
- ブレーキ性能は 2WD 車とあまり差はありません。極端な急ハンドル、急ブレーキは避けて十分な車間距離をとって走行してください。

📖 アドバイス

- 正しい運転姿勢でハンドル操作やペダル操作が行えるようにシートを調整して、シートベルトを必ず着用してください。
- オフロードを走行した後は必ず車体各部を点検し、きれいな水で念入りに洗車してください。
→「オフロードを走行した後は」P.4-37

それぞれの道路状態で推奨するモードを以下に記載していますので、参考にしてください。

4WD セレクターの操作	道路状況				
	乾燥した舗装路および高速道路	雪道	砂利道	深い雪道およびぬかるんだ道	砂地や岩場
スーパーセレクト 4WD-II (→P.4-19)	2H または 4H	4H		4HLc または 4LLc	
リヤデフロック (→P.4-27)	—	—	—	作動	

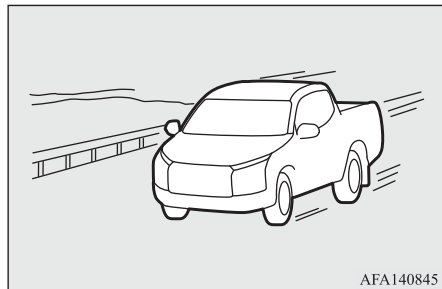
⚠ 注意

- オフロードを走行するときは、路面や地形の状況を確認め、サスペンションやバンパーなどが路面と接触しないことを確認してから運転してください。

乾燥した舗装道路および高速道路を走行するときは

J10343500026

乾燥した舗装道路を走行するときは、4WD セレクターは「2H」または「4H」を選択してください。特に、乾燥した高速道路を走行するときは、「4HLc」および「4LLc」を選択しないでください。



AFA140845

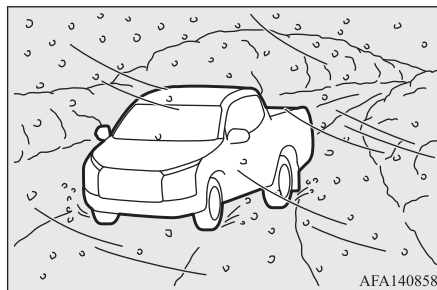
⚠ 注意

- 乾いた舗装道路を「4HLc」または「4LLc」モードで走行すると燃料の消費量が多くなったり、騒音、タイヤの早期消耗が発生することがあります。また、駆動系部品に無理がかかり、オイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となるおそれがあります。

雪道を走行するときは

J10343600027

雪道を走行するときは、4WD セレクターは「4H」を選択してください。発進時はアクセルペダルを徐々に踏み込んでください。



AFA140858

⚠ 注意

- 運転中の急加速、急ブレーキ、急ハンドルはスリップや横滑りが起こりやすいので行わないでください。

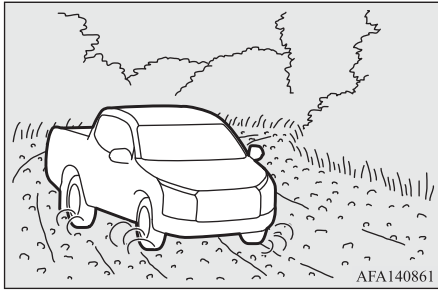
📖 アドバイス

- タイヤチェーンや冬用タイヤを使用することをおすすめします。
- 車間距離を十分に取り、急ブレーキは絶対に避けて、エンジンブレーキを上手に使ってください。

未舗装路を走行するときは

J10343700031

路面状況を確認し、4WD セレクターは「4H」を選択してください。



AFA140861

深い雪道またはぬかるみを走行するときは

J10343800029

4WD セレクターは「4HLc」または「4LLc」を選択してください。発進時はアクセルペダルを徐々に踏み込んでください。アクセルペダルはできる限り一定に踏み込み、低速で走行してください。

⚠ 警告

- 車の反動を利用して脱出するときは、車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。

⚠ 注意

- 走行中に次の状況が発生した場合は、すみやかに安全な場所に車両を止めて手順に従って対処してください。

⚠ 注意

- エンジン冷却水温表示が高温を示しているとき
→「オーバーヒートしたとき」P.7-28
- オートマチックトランスミッションオイルの温度警告が表示されたとき
→「警告表示」P.4-16

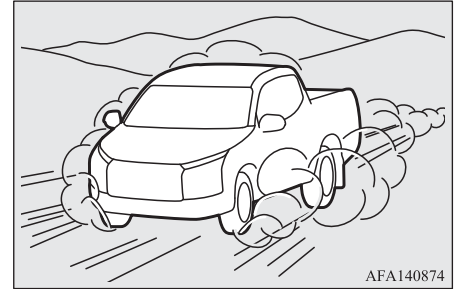
📖 アドバイス

- 運転中の急加速、急ブレーキ、急ハンドルはタイヤが砂に埋もれて車が動かなくなりやすいため、極力避けてください。
- 雪やぬかるみで動けなくなったら、前進後退を交互に行い、車の反動で脱出できる場合があります。
- 特にひどいぬかるみを走行する必要があるときは、タイヤチェーンをかける有効です。
- ぬかるみでは、路面の状況が分かりにくいので、深みにはまり込むことがありますので、できれば車から降りて路面の状況を確認してから低速で運転してください。
- 海岸線や融雪剤をまいた道路を走行した後は、さび防止のためできるだけ早く洗車をしてください。

砂道を走行するときは

J10343900020

砂の道路状況を確認し、4WD セレクターは「4HLc」または「4LLc」を選択してください。発進時はアクセルペダルを徐々に踏み込み、走行時は一定の低速で走行してください。必要に応じて、リヤデフロックを使用してください。



AFA140874

⚠ 注意

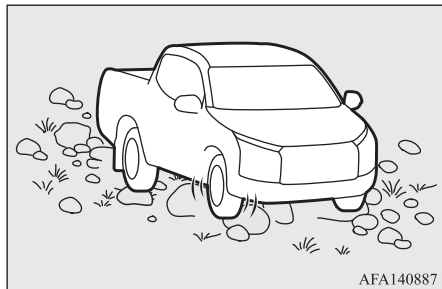
- 砂地では無理な走行をしないでください。一般道路と比べてエンジンや駆動系部品に大きな負荷がかかり、思いがけない故障や事故の原因となります。

4WD車の取り扱い

岩場を走行するときは

J10344000028

4WD セレクターは「4HLc」または「4LLc」を選択して、低速で走行してください。車が動かなくなりそうなときは、リヤデフロックを使用してください。



⚠ 注意

- 岩場は単独で走行しないでください。岩場を走行するときは安全運転のため、経験豊富なドライバーの指示に従ってください。

📖 アドバイス

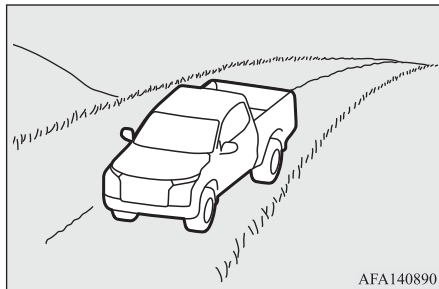
- タイヤができるだけ岩と接触するように走行してください。

急斜面を降りるときは

J10344100029

4WD セレクターは「4HLc」または「4LLc」を選択して、エンジンプレーキを使用して低速で降りてください。エンジンプレーキを使用しても低速で降りられない場合はヒルディセントコントロール[HDC]を使用してください。

→「ヒルディセントコントロール[HDC]」
P.4-151



⚠ 注意

- 斜めに蛇行しながら降りることは避け、できるだけまっすぐに降りてください。

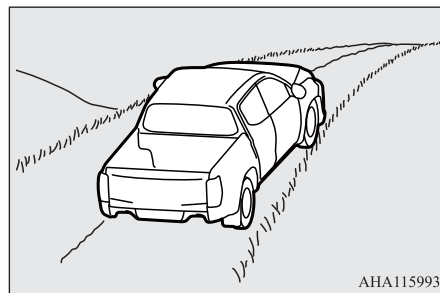
📖 アドバイス

- 坂を降りているとき、前方に障害を見つけてあわててブレーキをかけると、車のコントロールを失うことがあります。できるだけ降りる前に歩いて斜面の状態を確認してください。
- 坂を降りているときに、途中で変速することを避けて、あらかじめ坂の状態に応じた変速ギヤを選んでおく必要があります。

急斜面を登るときは

J10344200020

4WD セレクターは最大のエンジントルクを得るために「4LLc」を選択してください。



⚠ 注意

- 斜めに蛇行しながら登坂することは避け、できるだけまっすぐに登坂してください。
- 登坂中に推進力が失われる場合は、アクセルを緩めてハンドルを左右に緩やかに回し、推進力の回復を図ってください。

📖 アドバイス

- 石、砂および凸凹の少ないところを選び、登り始めと終わりはなだらかな傾斜を選んでください。
- 登る前には、車はその斜面を登れるかどうか、一度自分の足で頂上まで歩いて確認してください。

急カーブを回るときは

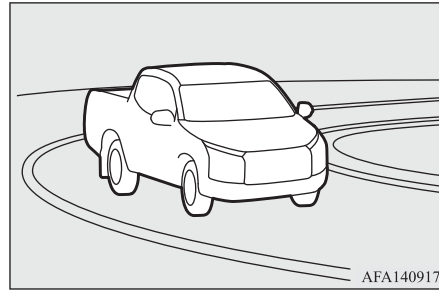
J10344300021

「4HLc」または「4LLc」で急なカーブを低速で旋回した場合、ブレーキをかけた状態と同じような現象が発生することがあります。

これはタイトコーナーブレーキング現象と呼ばれているもので、4つのタイヤの軌跡（回転差）が違うために発生する4輪駆動車特有の現象です。

このような現象が発生したときには、ハンドルを直進状態に戻すか、「2H」また

は「4H」に切り換えることによって解消することができます。



AFA140917

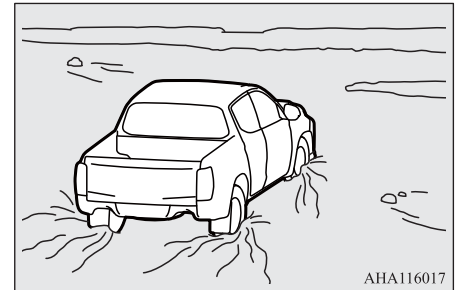
渡河など水中走行するときは

J10344400022

渡河など水中走行するときは4WD車といっても水に対して万全ではありません。電気系統が浸水すれば走行不能となります。水中走行はできるだけ避けてください。やむを得ず水中走行しなければならないときは必ず次のことをお守りください。

- 渡河する前に、あらかじめ川の深さや地形を確認してください。
- 海水など塩分を含んだ水には入らないでください。
- 4WDセレクターを「4LLc」に入れてください。

- できるだけ浅い場所を選んで約5km/hで波が立たないようにゆっくり走行してください。
- 河川に対し、直角または下流方向へ横断し、途中変速は避けて一気に渡ってください。



AHA116017

⚠ 注意

- 水深が深い場所は決して横断しないでください。
- 河川横断中は変速をしないでください。
- 水中走行は緊急を要する場合に一時的に行い、長時間の水中走行は避けてください。
- 水中走行後はブレーキの効きが悪くなります。前後の車に十分注意して低速で走行しながらブレーキペダルを軽く数回踏んで効きを回復してください。

📖 アドバイス

- 頻繁に水中走行することは車の寿命に大きく影響します。水中走行後は三菱自動車販売会社にご相談の上、適切な処置および点検を行ってください。

タイヤ、ホイールについて

J10344500023

4WD車は4輪に駆動力がかかるため、タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤには細心の注意をしてください。

- 4輪とも指定のタイヤ、ホイールを装着してください。
→「タイヤ、ホイールのサイズ」P.8-9
- タイヤ、ホイールを交換するときは、4輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは、5,000kmごとに行ってください。
→「タイヤローテーション」P.6-7
- タイヤの空気圧は、定期的に点検してください。
→「タイヤの空気圧」P.8-9

⚠️ 注意

- 同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、駆動系部品に無理がかかり、オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

けん引について

J10344600024

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。

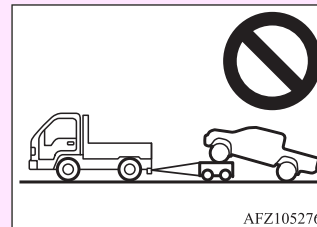
4WD車は、必ず4輪を持ち上げてレッカー車で搬送するか、4輪接地の状態でのけん引してください。

ただし、次の場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し、オイルなどが漏れている。

⚠️ 注意

- 前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと、駆動系部品が損傷したり、車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
→「けん引するとき」P.7-39



- 4WDセレクトターを「2H」にしても、前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はできません。

📖 アドバイス

- レッカー車による搬送は、別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

J10346600028

⚠ 注意

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり、ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

オフロードを走行した後は

J10344700025

- 路面の突起物（石など）により損傷した箇所がないか点検してください。
- きれいな水で念入りに洗車してください。特に砂浜や凍結防止剤の散布された道路を走行したときは塩分で車にさびが発生しやすくなります。

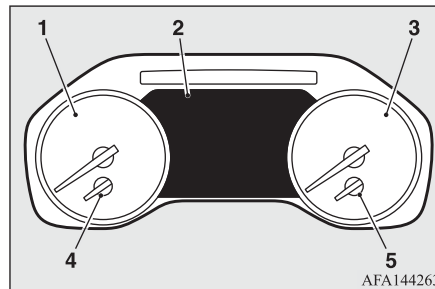
⚠ 注意

- 洗車後は、低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。
ブレーキの効き具合が悪いときは、ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください
- ラジエーターやオイルクーラーの目詰まりとなる虫や枯れ草などを取り除いてください。
- 渡河など水中走行した後は、必ず三菱自動車販売会社で次の項目を点検し、必要な処置を行ってください。

- ブレーキの効き具合を点検します。必要な場合は分解整備を行ってください。
- エンジン、トランスミッション、トランスファー、ディファレンシャルの各オイルまたはグリース量と濁りを点検します。白く濁っている場合は水が混入していますので、オイルまたはグリースを交換してください。
- プロペラシャフトのグリースアップを行ってください。
- 室内への水の浸入がないかを点検します。水が浸入している場合はカーペットなどを乾燥させてください。
- ヘッドライト内への水の浸入がないかを点検します。水が浸入している場合は水抜きを行ってください。

計器盤

J10301100055



AFA144263

- 1- タコメーター
毎分のエンジン回転数を示します。

⚠ 注意

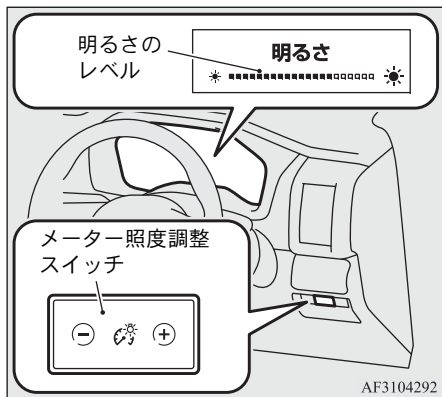
- 指針がレッドゾーン（赤色表示部）に入らないようにしてください。エンジンの寿命が短くなり、破損するおそれがあります。

- 2- マルチインフォメーションディスプレイ →P.4-39
インフォメーション画面表示 →P.4-51
- 3- スピードメーター
走行速度を表示します。
- 4- エンジン冷却水温計 →P.4-38
- 5- 燃料残量計 →P.4-38

メーター照度調整

J10313300083

エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、メーター照度調整スイッチを操作して、メーターの明るさを変更できます。明るくするときはスイッチの +（プラス）側を、暗くするときは -（マイナス）側を押します。



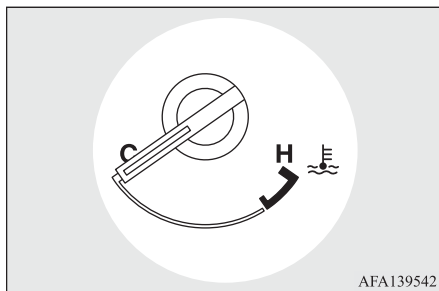
📖 アドバイス

- 車幅灯の点灯・消灯に応じてそれぞれ 22 段階ずつ調整することができます。
- ライトスイッチが AUTO の位置にあるときは、車外の明るさに応じてメーターの照明が自動的に調整した明るさに切り換わります。
- エンジンスイッチの電源モードを OFF にしても、メーターの明るさの状態を記憶しています。

エンジン冷却水温計

J10344900027

エンジンスイッチが ON のとき、エンジン冷却水の温度を示します。



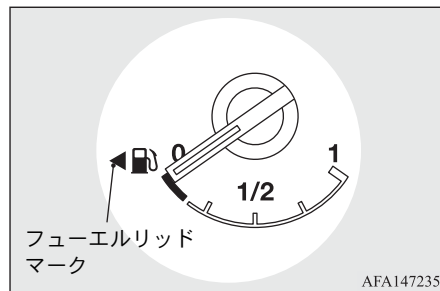
⚠️ 注意

- 指針が「H」表示部に近づいたときはオーバーヒートのおそれがあります。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となりますので、ただちに安全な場所に車を止め、処置してください。→「オーバーヒートしたとき」P.7-28

燃料残量計

J10345000025

エンジンスイッチが ON のとき、燃料の残量を示します。



- 1- 満タンです。
- 0- 燃料を補給してください。

⚠️ 注意

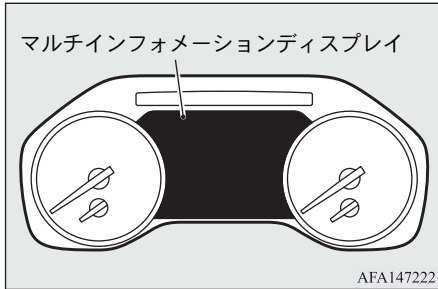
- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告表示が出たらただちに燃料を補給してください。

📖 アドバイス

- 燃料補給後、表示が安定するまで少し時間がかかります。
- エンジンスイッチの電源モードが ON のまま燃料を補給すると、正しい燃料残量が表示できません。
- フューエルリッドマークは、フューエルリッド（燃料補給口）が車体の左側に付いていることを示しています。

マルチインフォメーションディスプレイ

J10313400068

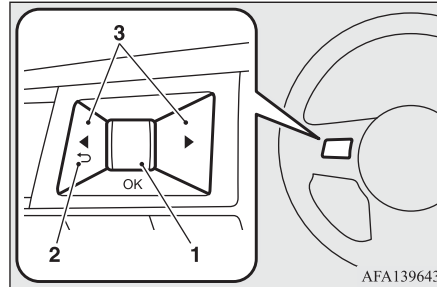


マルチインフォメーションディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。

マルチインフォメーションディスプレイの使い方

J10345100026

ステアリングスイッチを操作して、マルチインフォメーションディスプレイの表示を切り換えたり、設定したりすることができます。



- 1- ダイヤルスイッチ
上下に回すと項目が切り換わります。押すと選択した項目を決定することができます。
- 2- ♪スイッチ
押すと前のメニューに戻ることができます。
- 3- ◀▶スイッチ
押すとメインメニューの表示画面が切り換わります。

メインメニュー

J10345200027

エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、マルチインフォメーションディスプレイにメインメニューが表示されません。

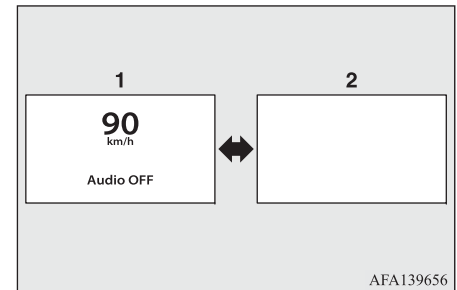
◀▶スイッチを押すと、次の順で表示画面が切り換わります。

- ホーム画面
- 運転情報画面
- 車両情報画面
- ナビゲーション情報画面
- オーディオ情報画面
- 走行支援グループ画面
- 警告画面 *
- 設定画面

* : 警告表示があるとき
警告表示の詳細は、次の項をお読みください。→「警告表示一覧」P.4-52

ホーム画面

J10358900028



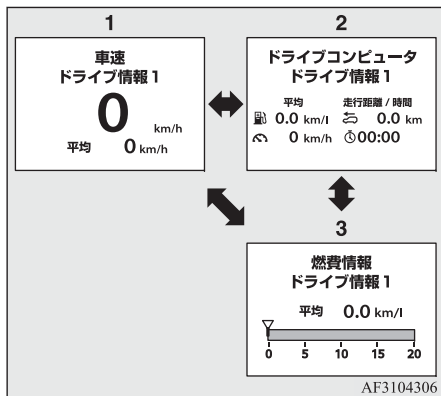
- 1- スピードメーター
- 2- 表示なし

アドバイス

- オーディオやスマートフォン連携ナビゲーションの使用状況によって、オーディオ情報やナビゲーション情報がポップアップで表示されます。

運転情報画面

J10359000026



- 1- 走行速度／平均車速表示
- 2- ドライブコンピューター
- 3- 燃費表示

ダイヤルスイッチを押すごとに「ドライブ情報 1」、「ドライブ情報 2」、「給油後走行情報」の順で表示が切り換わります。「ドライブ情報 1」、「ドライブ情報 2」を

リセットするときは、リセットしたい画面を表示中にダイヤルスイッチを長押しします。

その後「リセット」メニューからリセットする項目を選択し、再度ダイヤルスイッチを押します。リセット画面が表示されるので、「はい」を選択し、再度ダイヤルスイッチを押すとリセットされます。

「給油後走行情報」は、給油するたびにリセットされます。

■ 走行速度／平均車速表示



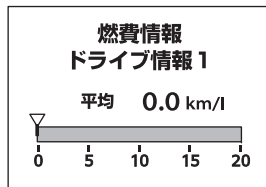
現在の走行速度およびリセットしてから現在までの平均車速を表示します。

■ ドライブコンピューター



リセットしてから現在までの平均燃費、平均車速、走行距離（トリップメーター）および走行時間を表示します。

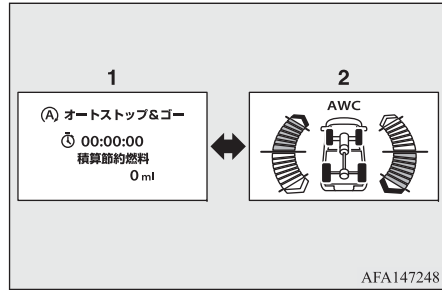
■ 燃費表示



瞬間燃費およびリセットしてから現在までの平均燃費を表示します。

車両情報画面

J10359100027

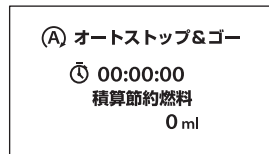


AFA147248

- 1- オートストップ&ゴー [AS&G] モニター
- 2- 2WD/4WD 作動表示 →P.4-22
リヤデフロック作動表示 →P.4-29
AWC 作動表示

■ オートストップ&ゴー [AS&G] モニター

J10359200028

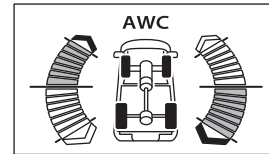


エンジンがオートストップ&ゴー [AS&G] の働きによって停止していた累

積時間および節約したおおよその燃料量を表示します。ダイヤルスイッチを長押しするとリセットされます。
→「オートストップ&ゴー [AS&G]」
P.4-143

■ AWC 作動表示

J10359300029



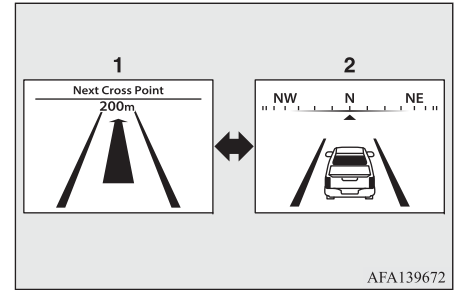
AWC のヨーコントロール機能制御を表示します。
→「アクティブヨーコントロール [AYC]」
P.4-153

⚠ 警告

- 運転中に AWC 作動画面を見るときは必要最小限にしてください。画面に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

ナビゲーション情報画面

J10359400020

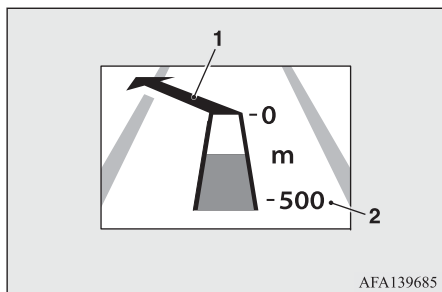


AFA139672

- 1- スマートフォン連携ナビゲーションで目的地を設定していると、ナビゲーションシステムと連動し、次の右左折点までの距離などを表示します。
- 2- コンパス (車両の進行方位) を表示します。

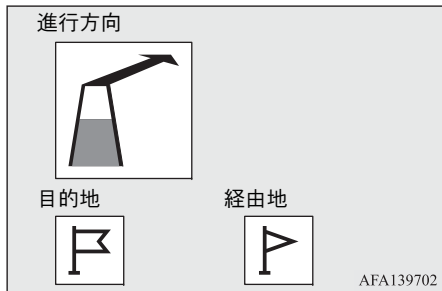
目的地を設定してルート案内が開始されているときは、道路分岐や目的地などの案内ポイントが近づくと、次のようなナビゲーション情報の案内が表示されません。

4



- 1- 案内表示
進行方向や案内地を表示します。
- 2- 残り距離
表示案内表示された地点までの距離を表示します。

表示例



アドバイス

- 目的地を設定していないときは、案内は表示されません。

アドバイス

- 別冊の「スマートフォン連携ナビゲーション」取扱説明書を併せてお読みください。

オーディオ情報画面

J1035950021

AFA139715

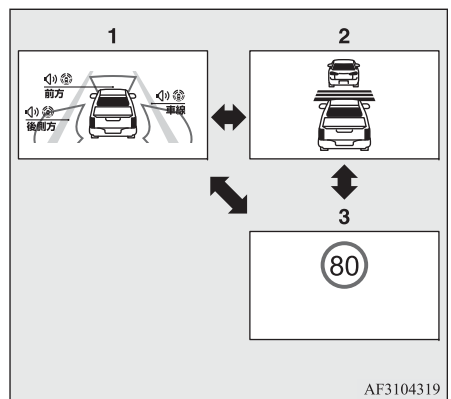
現在使用中のオーディオ情報を表示します。

アドバイス

- 画面表示はオーディオの使用状況によって変わります。
携帯電話をスマートフォン連携ナビゲーションに Bluetooth® 接続しているとき、着信中や通話中は表示が切り換わりません。
Bluetooth® は BLUETOOTH SIG, INC. の登録商標です。

走行支援グループ画面

J10359600022

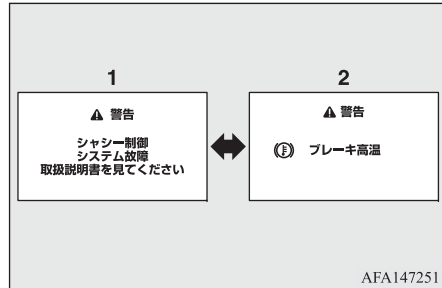


- 1- 走行支援
走行支援システムのON/OFF状態を表示します。画面表示中にダイヤルスイッチを押すと走行支援システムの設定メニュー画面が表示され、各システムのON/OFFを設定できます。
衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]→P.4-75
車線逸脱警報システム [LDW]→P.4-91
車線逸脱防止支援機能 [LDP]→P.4-93
後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA]→P.4-99

- 2- レーダークルーズコントロールシステム [ACC]→P.4-131
- 3- 標識認識システム [TSR]→P.4-109

警告画面

J1035970023



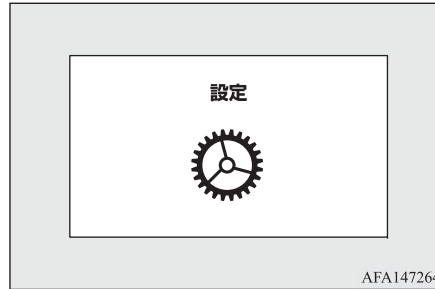
- 1- 警告があるとき (表示例)
- 2- 他の警告があるとき (表示例)

アドバイス

- 警告が複数ある場合、ダイヤルスイッチを回すと他の警告に切り換わります。

設定画面

J1035980024



AFA147264

次の各機能の設定ができます。

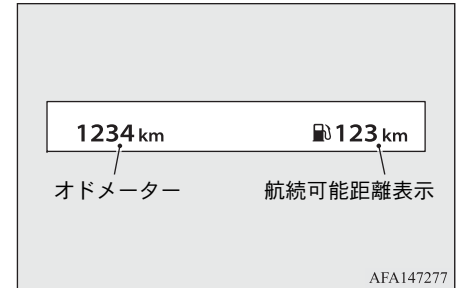
- ASC 設定 →P.4-44
- 運転支援 →P.4-44
- エコ →P.4-46
- 時計 →P.4-46
- 車両設定 →P.4-47
- メンテナンス →P.4-48
- 画面カスタマイズ →P.4-48
- 単位 / 言語 →P.4-49
- 工場出荷設定 →P.4-49

⚠ 注意

- 安全のため停車してから操作してください。走行中は設定変更できません。

オドメーター／航続可能距離表示

J1034530028



AFA147277

オドメーターおよび航続可能距離はマルチインフォメーションディスプレイの下部に表示されます。

オドメーター

走行した総距離を表示します。

航続可能距離表示

おおよその航続可能距離（あと何 km 走行できるか）を表示します。航続可能距離は、現在の燃料残量および燃費から算出されており、30秒ごとに更新されます。燃料残量が少なくなると、画面に警告が表示されます。燃料残量がさらに少なく

運転するときは 4-43

なると、航続可能距離は“---”表示に変わります。

アドバイス

- 給油量が少ないと正しい数値が表示されないことがあります。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、正しく表示しないことがあります。

4

時計／外気温計

J10345500020



時計および外気温計はマルチインフォメーションディスプレイの上部に表示されます。

時計

時刻の調整は、次の項をお読みください。→「時計」P.4-46
別冊の「スマートフォン連携ナビゲーション」取扱説明書を併せてお読みください。

外気温計

-40 ~ 60 °C の範囲で外気温を表示します。外気温が 3°C 以下になると凍結警報を表示します。

外気温センサーはラジエーターの前にあるため、道路やエンジンの熱、風向き、およびその他の走行状況などの影響により、外気温計の表示が実際の外気温と異なる場合があります。

設定項目

J10345400029

走行支援システムの ON/OFF 設定をはじめ、時計の調整やアラームの設定などができます。

→「マルチインフォメーションディスプレイの使い方」P.4-39

ASC 設定

J10353600020

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチを押してメインメニューから「設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと設定項目が表示されます。

→「マルチインフォメーションディスプレイの使い方」P.4-39

→「メインメニュー」P.4-39

ダイヤルスイッチを回して「ASC 設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと次の項目が表示されます。ダイヤルスイッチを操作して設定を変更してください。

● システム

アクティブスタビリティ & トラクションコントロール [ASTC] 機能の ON/OFF を設定します。

→「アクティブスタビリティ & トラクションコントロール [ASTC]」P.4-146

⚠ 注意

- 通常走行時は必ず ASTC を ON にしてください。

運転支援

J10353700021

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチを押してメインメニューから「設定」を選

択し、ダイヤルスイッチを押すと設定項目が表示されます。

→「マルチインフォメーションディスプレイの使い方」P.4-39

→「メインメニュー」P.4-39

ダイヤルスイッチを回して「運転支援」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと次の項目が表示されます。ダイヤルスイッチを操作して設定を変更してください。

- 車線逸脱
- 後側方車両検知
- 緊急支援
- 道路標識
- パーキングセンサー
- 後退時交差車両検知警報システム
- ふらつき警報
- タイマーアラーム設定
- 凍結注意

■ 車線逸脱

- 車線逸脱警報
車線逸脱警報システム [LDW] の ON/OFF を設定します。
→「車線逸脱警報システム [LDW]」P.4-91
- 車線逸脱防止支援
車線逸脱防止支援機能 [LDP] の ON/OFF を設定します。

→「車線逸脱防止支援機能 [LDP]」P.4-93

■ 後側方車両検知

- 後側方車両検知警報
後側方車両検知警報システム（レーンチェンジアシスト機能付）[BSW/LCA] の ON/OFF を設定します。
→「後側方車両検知警報システム（レーンチェンジアシスト機能付）[BSW/LCA]」P.4-99

■ 緊急支援

- 前方衝突防止支援
衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] の ON/OFF を設定します。
→「衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]」P.4-75
- 踏み間違い衝突防止アシスト
踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] の ON/OFF を設定します。
→「踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]」P.4-82

■ 道路標識

標識認識システム [TSR] の ON/OFF を設定します。
→「標識認識システム [TSR]」P.4-109

■ パーキングセンサー

- 移動物検知
移動物検知機能 [MOD] の ON/OFF を設定します。
- センサー自動表示
障害物に近づいたときの、割り込み表示の ON/OFF を設定します。
- 前方センサー
フロントセンサーの ON/OFF を設定します。
- 後方センサー
リヤセンサーの ON/OFF を設定します。
- センサー検知距離
センサー感度を、遠、中、近から選択します。障害物をより遠い状態から検知させたいときは、センサー感度を「遠」に設定します。
- センサー音量
センサーの音量を、大、中、小から選択します。

→「移動物検知機能 [MOD]」P.4-128
→「パーキングセンサー（フロント／リヤ）」P.4-112

■ 後退時交差車両検知警報システム

後退時交差車両検知警報システム [RCTA] の ON/OFF を設定します。

マルチインフォメーションディスプレイ

→「後退時交差車両検知警報システム [RCTA]」 P.4-105

■ ふらつき警報

ふらつき警報 [DAA] の ON/OFF を設定します。

→「ふらつき警報 [DAA]」 P.4-108

■ タイマーアラーム設定

● --- 分 / --- 分

設定した時間まで連続走行したことをお知らせします。

ダイヤルスイッチを回すと分が切り換わり、ダイヤルスイッチを押すと決定します。

- 最大 360 分まで設定できます。
- 設定時間は 30 分単位で切り換わります。
(◀スイッチを押すと設定前の画面に戻ります。)

● リセット

「はい」を選択すると、走行した時間をリセットできます。

■ 凍結注意

外気温が 3°C 以下になったときに表示する凍結警報の ON/OFF を設定します。

4-46 運転するとき

→「時計／外気温計」 P.4-44

エコ

J10353800022

ステアリングスイッチの◀▶スイッチを押してメインメニューから「設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと設定項目が表示されます。

→「マルチインフォメーションディスプレイの使い方」 P.4-39

→「メインメニュー」 P.4-39

ダイヤルスイッチを回して「エコ」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと次の項目が表示されます。ダイヤルスイッチを操作して設定を変更してください。

■ エコモード設定

● クルーズコントロール

ECO モード使用時にレーダークルーズコントロールシステム [ACC] での加速を緩やかにする機能の ON/OFF を設定します。

● 空調

ECO モード使用時に燃費を優先してエアコンを制御する機能の ON/OFF を設定します。

■ エコ情報設定

● エコインジケータ

エコインジケータの ON/OFF を設定します。OFF にすると、エコインジケータが表示されなくなります。

● エコドライブレポート

エコドライブレポートの ON/OFF を設定します。OFF にすると、エコドライブレポートが表示されなくなります。

■ 燃費履歴リセット

燃費履歴が表示されます。

リセットするときは、この画面を表示中にダイヤルスイッチを押します。

リセット画面が表示されるので、「はい」を選択し、再度ダイヤルスイッチを押すとリセットされます。

時計

J10353900023

ステアリングスイッチの◀▶スイッチを押してメインメニューから「設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと設定項目が表示されます。

→「マルチインフォメーションディスプレイの使い方」 P.4-39

→「メインメニュー」 P.4-39

ダイヤルスイッチを回して「時計」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと次の項目が表示されます。ダイヤルスイッチを操作して設定を変更してください。

■ 表示

時計表示の ON/OFF を切り換えます。

■ 時計設定

時計を調整します。

1. ダイヤルスイッチを押すと「時」調整画面に切り換わります。
2. ダイヤルスイッチを回して「時」を調整します。
3. ダイヤルスイッチを押すと「分」調整画面に切り換わります。
4. ダイヤルスイッチを回して「分」を調整します。
5. ダイヤルスイッチを押すと時刻が設定されます。

◀スイッチを押すと前の調整画面に戻ります。
スマートフォン連携ナビゲーション画面の操作で時計を調整することもできます。詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。

■ 時間表示

ダイヤルスイッチを押すと 12 時間表示、24 時間表示が切り換わります。

車両設定

J10354000021

ステアリングスイッチの◀▶スイッチを押してメインメニューから「設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと設定項目が表示されます。

→「マルチインフォメーションディスプレイの使い方」P.4-39

→「メインメニュー」P.4-39

ダイヤルスイッチを回して「車両設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと次の項目が表示されます。ダイヤルスイッチを操作して設定を変更してください。

- ライト／照明
- ロック
- ワイパー
- ドアミラー

■ ライト／照明

- ウェルカムライト
ウェルカムライト機能のON/OFFを設定します。
- 自動室内灯
室内灯の自動点灯機能のON/OFFを設定します。

■ ロック

- ドアハンドルスイッチ

ドアスイッチでの施錠・解錠機能のON/OFFを設定します。

- ドア限定アンロック
ドア限定アンロック機能のON/OFFを設定します。

■ ワイパー

- 車速連動
車速連動機能の ON/OFF を設定します。
- 雨滴感知
雨滴感知式ワイパーのON/OFFを設定します。
- インテリジェントウォッシャー
約3秒後にワイパーがもう1回作動する機能のON/OFFを設定します。

■ ドアミラー

● 自動格納 OFF

ドアミラー自動格納 / 復帰機能が OFF になります。

● イグニッション ON 連動

ドアミラー自動格納 / 復帰機能が ON になります。エンジンスイッチの電源モードを ON にしたときにドアミラーが開く設定になります。

● 解錠時展開

ドアミラー自動格納 / 復帰機能が ON になります。キーレスオペレーションキーのスイッチまたは、ドアスイッチで解錠すると、ドアミラーが開く設定になります。また、エンジンスイッチの電源モードを ON にしたときもドアミラーが開きます。

メンテナンス

J10354100022

ステアリングスイッチの◀▶スイッチを押してメインメニューから「設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと設定項目が表示されます。

→「マルチインフォメーションディスプレイの使い方」P.4-39

→「メインメニュー」P.4-39

ダイヤルスイッチを回して「メンテナンス」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと次の項目が表示されます。ダイヤルス

スイッチを操作して設定を変更してください。

■ オイル交換時期

次回エンジンオイル交換までの推定残り走行距離を表示します。残り走行距離をリセットすることができます。

→「オイル交換時期リマインダー」P.4-8

■ エアフィルター / タイヤ / ユーザー

次回メンテナンスを行うまでの距離を設定できます。設定値を超えるとメンテナンスする距離がきたことを表示で知らせます。定期交換部品などの交換距離については、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

● ---km / ---km

ダイヤルスイッチを回すと距離が切り換わり、ダイヤルスイッチを押すと決定します。(◀スイッチを押すと設定前の画面に戻ります。)

• 500km ~ 30,000km までの範囲内で距離を設定できます。

• 設定距離は 500km 単位で切り換わります。

• 停止する場合は、距離表示を「—」に合わせダイヤルスイッチを押して決定します。

● リセット

ダイヤルスイッチを押すとリセット画面が表示されます。「はい」を選択し、再度ダイヤルスイッチを押すと走行した距離をリセットできます。

画面カスタマイズ

J10354200023

ステアリングスイッチの◀▶スイッチを押してメインメニューから「設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと設定項目が表示されます。

→「マルチインフォメーションディスプレイの使い方」P.4-39

→「メインメニュー」P.4-39

ダイヤルスイッチを回して「画面カスタマイズ」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと次の項目が表示されます。ダイヤルスイッチを操作して設定を変更してください。

■ メインメニュー選択

車両情報画面で表示させたい項目を選択することができます。

■ ナビゲーション設定

走行中、次の右左折点に接近したとき、メーター内にポップアップでお知らせする機能の ON/OFF を設定します。

■ クルーズ画面自動切替

クルーズ画面切り換えの ON/OFF を設定します。
ON にすると、レーダークルーズコントロールシステム [ACC] を ON にしたとき、画面がクルーズ画面に切り換わります。

■ メーター演出

- スイープ演出
メーター演出の ON/OFF を設定します。OFF にすると、エンジン始動時にスピードメーターおよびタコメーターの指針が往復する演出が OFF になります。
- アニメーション
ディスプレイ演出の ON/OFF を設定します。OFF にすると、エンジン始動時のアニメーションが OFF になります。

■ オペレーションガイダンス

- ライト

ライトスイッチを回したとき、スイッチ位置をメーター内にポップアップで表示する機能の ON/OFF を設定します。

- ワイパー
ワイパースイッチを動かしてワイパーを作動させたときに、スイッチ位置をメーター内にポップアップで表示する機能の ON/OFF を設定します。
- オートマチックハイビーム
オートマチックハイビーム [AHB] を ON にしたとき、メーター内にポップアップで表示する機能の ON/OFF を設定します。

単位／言語

J10354300024

ステアリングスイッチの◀▶スイッチを押してメインメニューから「設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと設定項目が表示されます。
→「マルチインフォメーションディスプレイの使い方」P.4-39
→「メインメニュー」P.4-39
ダイヤルスイッチを回して「単位／言語」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと次の項目が表示されます。ダイヤルスイッチを操作して設定を変更してください。

■ 距離／燃費

距離と燃費の表示単位を km, km/l または km, l/100km に切り換えます。

■ 温度

温度の単位を °C または °F に切り換えます。

■ 言語

表示言語を、日本語または English に切り換えます。

工場出荷設定

J10354400025

工場出荷時の設定にリセットすることができます。

ステアリングスイッチの◀▶スイッチを押してメインメニューから「設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押すと設定項目が表示されます。
→「マルチインフォメーションディスプレイの使い方」P.4-39
→「メインメニュー」P.4-39
ダイヤルスイッチを回して「工場出荷設定」を選択し、ダイヤルスイッチを押す

表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧

とリセット画面が表示されます。「はい」を選択し、再度ダイヤルスイッチを押すと各種設定が初期化されます。

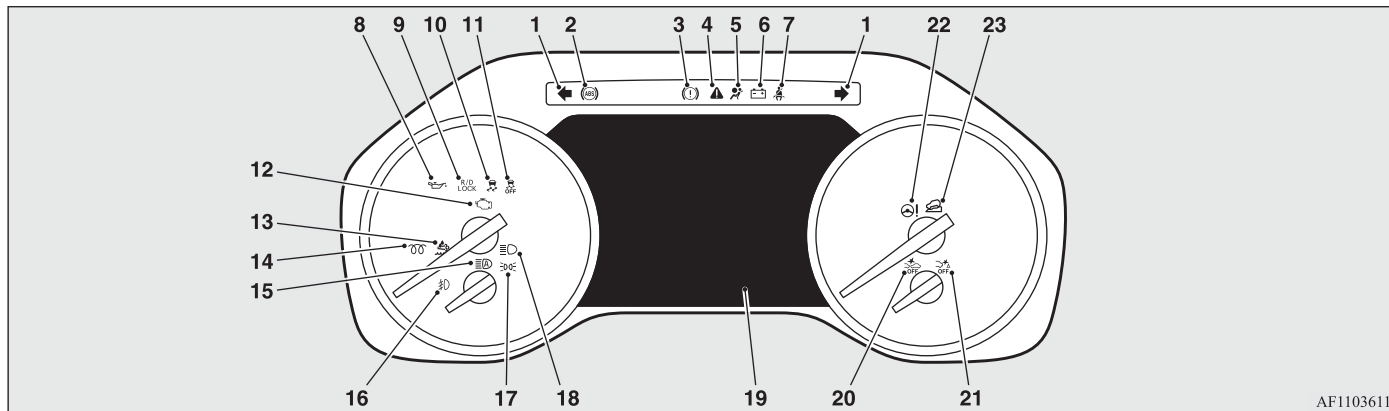
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧

J1030120027

表示灯・警告灯一覧

J10316900110

4



AF1103611

- 1- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯
→P.4-61
- 2- ABS 警告灯 →P.4-154
- 3- ブレーキ警告灯 →P.4-62
- 4- マスターウォーニング →P.4-61
- 5- SRS エアバッグ／プリテンショ
ナー機構警告灯 →P.2-15

- 6- 充電警告灯 →P.4-62
- 7- シートベルト非着用警告灯
→P.2-13
- 8- 油圧警告灯 →P.4-63
- 9- リヤデフロック作動表示灯
→P.4-29

- 10- アクティブスタビリティ&トラク
ションコントロール [ASTC] 作動表
示灯 →P.4-148
- 11- アクティブスタビリティ&トラク
ションコントロール [ASTC] OFF 表
示灯 →P.4-148
- 12- エンジン警告灯 →P.4-62]

4-50 運転するとき

- 13- 尿素 SCR システム警告灯 →P.4-10
- 14- グロー（予熱）スタート表示灯
→P.4-61
- 15- オートマチックハイビーム[AHB]表示灯 →P.4-97
- 16- フロントフォグランプ表示灯
→P.4-61
- 17- 車幅灯表示灯 →P.4-61
- 18- ヘッドライト上向き表示灯
→P.4-61
- 19- インフォメーション画面表示
→P.4-51
- 20- 衝突被害軽減ブレーキシステム
[FCM] OFF 表示灯 →P.4-79
- 21- 踏み間違い衝突防止アシスト
[EAPM] OFF 表示灯 →P.4-90
- 22- 電動パワーステアリング[EPS]警告
灯 →P.4-156
- 23- ヒルディセントコントロール[HDC]
表示灯 →P.4-151

インフォメーション画面表示

J10317000062

ランプ類の消し忘れなどお知らせしたい情報が発生したとき、次の画面に切り換わります。

該当ページをお読みいただき必要な処置を行ってください。

警告表示の要因が解消されると、警告表示は自動的に消えます。

→「警告表示一覧」P.4-52





→「その他の割り込み表示」P.4-58








📖 アドバイス

- 次のようなとき、まれに数秒間、インフォメーション画面に警告を表示することがあります。
これは、強い電磁波、ノイズなどを受けたことによって起こるもので、機能上の問題はありません。
 - 違法無線や電線の火花、レーダー施設などの非常に強い電磁波を受けたとき
 - 車載電気機器（後付け品含む）の作動時に発生する異常電圧や静電気の放電などがあったとき
- ただし、何回も警告表示したときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。


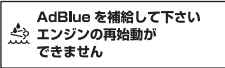
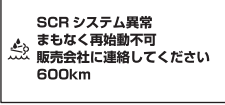
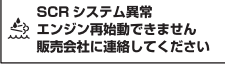
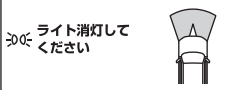
警告表示一覧

J10317100164

画面	要因	処置（参照先）
 キー電池残量が低下しています	<ul style="list-style-type: none"> ● キーレスオペレーションシステムに何らかの異常が発生しています。 	→ 「警告表示について」 P.3-10
 キーが見つかりません		
 キーシステム故障 取扱説明書を見てください		
 キーなし 長押しでエンジン停止します	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン回転中に、キーレスオペレーションキーの電池が切れた、またはキーレスオペレーションキーが車外に持ち出されました。 	緊急時など、強制的にエンジンを停止させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ● エンジンスイッチを 1.5 秒以内に 3 回押す ● エンジンスイッチを 2 秒以上押し続ける エンジンを停止させた後は、通常の状態に戻すため、ドアを開けてください。

画面	要因	処置 (参照先)
 <p>キーをエンジンスイッチに接触させてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● キーレスオペレーションキーの電池が切れた、または使用環境により、キーレスオペレーションキーと車両の通信が正常に行われていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジンを始動するときは、キーレスオペレーションキーをエンジンスイッチに接触させ、ブザーが鳴ってから 10 秒以内にブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを押します。 →「キーレスオペレーションキーが正常に作動しないとき (電池切れなど) にエンジンを始動するときは」 P.4-7
	<ul style="list-style-type: none"> ● 後席のシートベルトが着用されていません。着用していない席を  (赤色) で表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 後席の乗員にシートベルトを着用させてください。 →「シートベルト非着用警告システム」 P.2-13
 給油してください	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料の残量が少なくなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ただちに燃料を補給してください。 →「燃料残量警告表示」 P.4-63
	<ul style="list-style-type: none"> ● いずれかのドアが完全に閉められていません。開いているドアが表示されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアを閉めてください。 →「半ドア警告表示」 P.4-64
 DPF 異常	<ul style="list-style-type: none"> ● ディーゼルパティキュレートフィルター [DPF] に規定値以上のすすがたい積しています。 	<ul style="list-style-type: none"> →「ディーゼルパティキュレートフィルター [DPF]」 P.4-9
<p>AdBlue 残量少 AdBlue を補充してください エンジン再始動不可まで： 2400km</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 尿素水 (AdBlue[®]) の残量が少なくなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 早めに三菱自動車販売会社で尿素水 (AdBlue[®]) を補充してください。 →「尿素 SCR システム (AdBlue[®] の関連システム)」 P.4-10



表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧

画面	要因	処置（参照先）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 尿素水（AdBlue[®]）の残量がほとんどありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ただちに三菱自動車販売会社で尿素水（AdBlue[®]）を補充してください。尿素水（AdBlue[®]）の残量がなくなると、エンジンの再始動ができなくなります。 →「尿素 SCR システム（AdBlue[®] の関連システム）」P.4-10
	<ul style="list-style-type: none"> ● 尿素水（AdBlue[®]）の残量がなくなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ただちに三菱自動車販売会社で尿素水（AdBlue[®]）を補充してください。エンジンを停止させると再始動ができなくなります。 →「尿素 SCR システム（AdBlue[®] の関連システム）」P.4-10
	<ul style="list-style-type: none"> ● 尿素 SCR システム（AdBlue[®] の関連システム）に異常が発生しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、エンジンの再始動ができなくなります。 →「尿素 SCR システム（AdBlue[®] の関連システム）」P.4-10
	<ul style="list-style-type: none"> ● 尿素 SCR システム（AdBlue[®] の関連システム）に異常が発生しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ただちに三菱自動車販売会社にご連絡ください。エンジンを停止させると再始動ができなくなります。 →「尿素 SCR システム（AdBlue[®] の関連システム）」P.4-10
	<ul style="list-style-type: none"> ● ライト類を消し忘れていました。 	<ul style="list-style-type: none"> →「ライトスイッチ」P.4-64







画面	要因	処置 (参照先)
ヘッドランプシステム異常 取扱説明書を見てください	●LED ヘッドライトに何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
Pレンジに入れてください	●セレクターレバーがP以外の位置にあるときにエンジン停止操作をしています。	●エンジンスイッチの電源モードをOFFにするときは、セレクターレバーをPに入れてください。 →「エンジンの始動・停止：エンジンの止め方」P.4-5
トランスミッション 油温警告 減速して下さい	●オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなっています。	→「オートマチックトランスミッション：警告表示」P.4-16
トランスミッション故障 販売店で点検してください	●オートマチックトランスミッションに何らかの異常が発生しています。	●ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「オートマチックトランスミッション：警告表示」P.4-16
ブレーキを踏んで Nポジションに 入れて下さい	●「4HLc」 ↔ 「4LLc」の切り換え中にセレクターレバーをN以外の位置に入れています。	→「2WD/4WD 作動表示」P.4-22
4WDシステム異常 取扱説明書を見てください	●スーパーセレクト4WD-IIに何らかの異常が発生しています。	●ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「2WD/4WD 作動表示」P.4-22
シャシー制御 システム故障 取扱説明書を見てください	●シャシー制御システムに何らかの異常が発生しています。	●ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「シャシーコントロール」P.4-153
R/D LOCK R/D LOCK 点検	●リヤデフロックシステムに何らかの異常が発生しています。	●ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「リヤデフロック作動表示」P.4-29

表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧

画面	要因	処置（参照先）
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 停車して NO LOCK R/D LOCK 操作して下さい </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●4WD セレクターが「2H」または「4H」のとき、または走行中にリヤデフロックスイッチを ON にしています。 	→「リヤデフロック」P.4-27
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> パーキングブレーキを 解除してください </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●パーキングブレーキをかけたまま走行していません。 	<ul style="list-style-type: none"> ●パーキングブレーキを解除してください。 →「ブレーキ警告灯」P.4-62
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> システム故障 取扱説明書を見てください </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●次のシステムに何らかの異常が発生しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・車線逸脱警報システム [LDW] ・車線逸脱防止支援機能 [LDP] ・レーダークルーズコントロールシステム [ACC] ・後側方車両検知警報システム（レーンチェンジアシスト機能付）[BSW/LCA] ・後退時交差車両検知警報システム [RCTA] ・標識認識システム [TSR] ・衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] ・踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] 	<ul style="list-style-type: none"> →「車線逸脱警報システム [LDW]」P.4-91 →「車線逸脱防止支援機能 [LDP]」P.4-93 →「レーダークルーズコントロールシステム [ACC]」P.4-131 →「後側方車両検知警報システム（レーンチェンジアシスト機能付）[BSW/LCA]」P.4-99 →「後退時交差車両検知警報システム [RCTA]」P.4-105 →「標識認識システム [TSR]」P.4-109 →「衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]」P.4-75 →「踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]」P.4-82
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> カメラが高温のため 現在使用できません </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●炎天下に駐車したときなど、室内が高温になり、車線逸脱警報システム [LDW]、車線逸脱防止支援機能 [LDP] および標識認識システム [TSR] のカメラが一時的に作動できない状態です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●室内の温度が規定の範囲内になると警告表示は消えます。 警告表示が消えないときはカメラの異常の可能性があるので、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 →「車線逸脱警報システム [LDW]」P.4-91 →「車線逸脱防止支援機能 [LDP]」P.4-93 →「標識認識システム [TSR]」P.4-109
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 滑りやすい路面のため 現在使用できません </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●滑りやすい路面のため、レーダークルーズコントロールシステム [ACC] および車線逸脱防止支援機能 [LDP] が使用できない状態です。 	<ul style="list-style-type: none"> →「レーダークルーズコントロールシステム [ACC]」P.4-131 →「車線逸脱防止支援機能 [LDP]」P.4-93



画面	要因	処置 (参照先)
<div data-bbox="129 213 357 281" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 作動範囲外のため 現在使用できません </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のいずれかの条件により、レーダークルーズコントロールシステム [ACC] および車線逸脱防止支援機能 [LDP] が使用できない状態です。 ・ アクティブスタビリティ & トラクションコントロール [ASTC] が OFF のとき ・ ドライブモードが「GRAVEL」、「SNOW」、「MUD」または「SAND」のとき 	<p>→ 「レーダークルーズコントロールシステム [ACC]」 P.4-131</p> <p>→ 「車線逸脱防止支援機能 [LDP]」 P.4-93</p>
<div data-bbox="129 477 357 544" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> フロントレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● センサー周辺のフロントバンパー表面に汚れや、雪、氷などが付着し、前方車両が検知できないため、衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] およびレーダークルーズコントロールシステム [ACC] が OFF になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ● センサー周辺のバンパー表面の汚れや、雪、氷などを取り除き、エンジンを再始動してください。バンパー表面をきれいにしても警告表示が消えないときは、三菱自動車販売会社にご連絡ください。 → 「衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]」 P.4-75 → 「レーダークルーズコントロールシステム [ACC]」 P.4-131
<div data-bbox="129 706 357 773" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> サイドレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 汚れや、雪、氷などでレーダーセンサーがさえぎられたため、後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] および後退時交差車両検知警報システム [RCTA] が使用できない状態です。 	<p>→ 「後側方車両検知警報システム (レーンチェンジアシスト機能付) [BSW/LCA]」 P.4-99</p> <p>→ 「後退時交差車両検知警報システム [RCTA]」 P.4-105</p>
<div data-bbox="129 829 357 891" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  踏み間違い衝突防止 アシストが作動しました </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] が作動しています。 	<p>→ 「踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]」 P.4-82</p>
<div data-bbox="129 912 357 974" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  休憩しませんか？ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断されました。 	<p>→ 「ふらつき警報 [DAA]」 P.4-108</p>

表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧



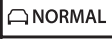




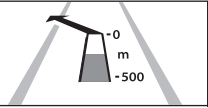
画面	要因	処置（参照先）
 システム故障 取扱説明書を見てください	●ふらつき警報[DAA]に何らかの異常が発生しています。	→「ふらつき警報 [DAA]」 P.4-108
 エンジン高温 取扱書を確認してください	●エンジンがオーバーヒートしています。	●安全な場所に停車し処置を行ってください。 →「オーバーヒートしたとき」 P.7-28
 センサー故障 取扱説明書を見てください	●パーキングセンサーに何らかの異常が発生しています。	→「パーキングセンサー（フロント/リヤ）」 P.4-112
 燃料フィルターの 水抜きをしてください	●フューエルフィルター内に規定値以上の水がたまってます。	●ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
 オイル交換まで 1500km	●エンジンオイルの交換時期が近づいています。	●エンジンオイルの交換をご検討ください。 →「オイル交換時期リマインダー」 P.4-8
 交換してください	●エンジンオイルを交換する走行距離に達しています。 ●エンジンオイルの量が異常です。	●エンジンオイルを交換してください。 →「オイル交換時期リマインダー」 P.4-8

その他の割り込み表示


J10317200107

画面	要因	処置（参照先）
  BRAKE 始動時はブレーキを踏み エンジンスイッチを押してください	●次の条件がそろったときに表示します。 ・キーレスオペレーションキーが車室内にある ・セレクトレバーがPまたはNの位置にある ・ブレーキペダルを踏んでいない	●エンジンを始動させるときは右足でブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを押してください。 →「エンジンの始動・停止」 P.4-5







各システムの作動状態をインフォメーション画面に表示します。
詳しくは各システムの該当ページをお読みください。

画面	システムの作動状態	参照先
	●4WDセレクターを操作して4WDモードを切り換えたとき	→「スーパーセレクト 4WD- II」 P.4-19
	●ドライブモードセレクターで「ECO」モードを選択したとき	→「ドライブモード」 P.4-25
	●ドライブモードセレクターで「NORMAL」モードを選択したとき	→「ドライブモード」 P.4-25
	●ドライブモードセレクターで「ROCK」モードを選択したとき	→「ドライブモード」 P.4-25
	●ドライブモードセレクターで「MUD」モードを選択したとき	→「ドライブモード」 P.4-25
	●ドライブモードセレクターで「SAND」モードを選択したとき	→「ドライブモード」 P.4-25
	●ドライブモードセレクターで「GRAVEL」モードを選択したとき	→「ドライブモード」 P.4-25
	●ライブモードセレクターで「SNOW」モードを選択したとき	→「ドライブモード」 P.4-25
	●ナビゲーション作動中、案内ポイントなどが近づいたとき	→「メインメニュー」 P.4-39


表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧

画面	システムの作動状態	参照先
	● パーキングセンサーが障害物を感知したとき	→ 「パーキングセンサー（フロント／リヤ）」 P.4-112

設定したメンテナンスまでの走行距離に達したことをお知らせします。

画面	要因	参照先
 メンテナンス  エアフィルター	設定したエアフィルター交換距離に達しています。	→ 「メンテナンス」 P.4-48
 メンテナンス  タイヤ	設定したタイヤ交換距離に達しています。	→ 「メンテナンス」 P.4-48
 メンテナンス  ユーザー	設定したメンテナンス距離に達しています。	→ 「メンテナンス」 P.4-48

設定した時間まで連続走行したことをお知らせします。

画面	処置
 休息してください	安全な場所に停車し、エンジンを止めて休憩してください。 長距離走行の途中で休憩をとるための、目安としてご使用ください。 運転を開始してから表示が出るまでの時間を設定することができます。 → 「運転支援」 P.4-44

表示灯

J10301300028

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J10317400024



次の場合に点滅します。

- 方向指示レバーを操作し、方向指示灯を作動させたとき。
→「方向指示レバー」P.4-68
- 非常点滅灯スイッチを押し、非常点滅灯を作動させたとき。
→「非常点滅灯スイッチ」P.4-69
- 走行中に急ブレーキを踏んで、自動的に非常点滅灯が作動したとき。
→「緊急制動信号システム」P.4-150

ヘッドライト上向き表示灯

J10317500025



ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

フロントフォグランプ表示灯

J10317600068



フロントフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

車幅灯表示灯

J10317700027



車幅灯を点灯させると表示灯が点灯します。

グロー（予熱）スタート表示灯

J10332800045



- グロープラグの予熱状態を表示します。エンジンスイッチの電源モードをONにすると点灯し、グロープラグの予熱が完了すると消灯します。消灯後、自動でエンジンが始動します。
- DPF 警告が表示したときに、DPF が自動的にすすの燃焼・除去を開始したら点灯します。
→「DPF 警告表示」P.4-9

アドバイス

- エンジン冷却水の温度によって消灯するまでの時間が異なります。
- エンジンが暖かいときは、電源モードをONにしても表示灯は点灯しません。

警告灯

J10301400029

マスターウォーニング

J10345600021



マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されると同時に点灯します。
→「警告表示一覧」P.4-52

ブレーキ警告灯

J10317800073



エンジンスイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。

走行する前に、必ず警告灯が消えていることを確認してください。

エンジンをかけても、次のようなときは点灯します。

- パーキングブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキ力配分機能の異常

パーキングブレーキをかけたまま走行するとブザーが鳴り、解除忘れを知らせます。

⚠ 注意

- 次の場合はブレーキの効が悪くなり、急ブレーキをかけたとき車体姿勢が不安定になるおそれがありますので、急ブレーキや高速走行を避け、ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- パーキングブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき
- 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき

⚠ 注意

- ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したとき
→ 「走行中に警告灯が点灯したときは：ABS 警告灯とブレーキ警告灯が点灯したときは」 P.4-155
- ブレーキの効が悪い場合は、次の処置により車を止めてください。
- ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが、そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 万一、ブレーキが効かないときは、エンジンブレーキでスピードを落としてからパーキングブレーキを慎重に引いてください。
このとき後続車に注意を促すため、ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

エンジン警告灯

J10317900087



エンジン制御システム、尿素 SCR システム、またはオートマチックトランスミッション制御システムに異常があると点灯または点滅します。

正常なときはエンジンスイッチの電源モードを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

⚠ 注意

- エンジン回転中に点灯したときは、高速走行を避けてただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドル回転数が高くなり、クリープ現象が強くなることもあるため、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

充電警告灯

J10318000056



充電システムに異常があると点灯します。

正常なときはエンジンスイッチの電源モードを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

⚠ 注意

- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社にご連絡ください。

油圧警告灯

J10345700022



エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

⚠ 注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり、エンジンオイルの量が正規であっても点灯したまま運転するとエンジンが焼き付き、破損するおそれがあります。
- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。(点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。)
- エンジンオイル量が正常で点灯するときは、三菱自動車販売会社へご連絡ください。

📖 アドバイス

- 油圧警告灯はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

インフォメーション画面表示

J10301500020

DPF 警告表示

J10345800023

📞 DPF異常

エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、ディーゼルパーティキュレートフィルター [DPF] に規定値以上のすすがたい積すると警告表示します。
→「ディーゼルパーティキュレートフィルター [DPF]」P.4-9

⚠ 注意

- DPF 警告表示とエンジン警告灯が同時に表示/点灯したときは、ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

燃料残量警告表示

J10345900024

🛢 給油してください

燃料が約10L以下になると、インフォメーション画面が燃料残量警告表示の割り込み表示に切り換わります。スクロールダイヤルを押すと元の画面に戻ります。警告表示が出たらただちに燃料を補給してください。

→「フューエルリッド (燃料補給口)」P.4-73

→「燃料の量と種類」P.8-2

⚠ 注意

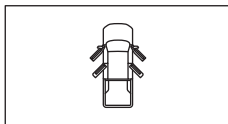
- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告表示が出たらただちに燃料を補給してください。

📖 アドバイス

- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、正しく表示しないことがあります。

半ドア警告表示

J10346000022



いずれかのドアが完全に閉められていないとき、開いているドアを表示します。

⚠️ 注意

- 走行する前に、警告表示が出ていないことを確認してください。

ライトスイッチ

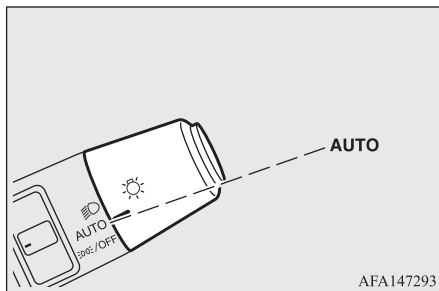
J10301700110

📖 アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇ると同様の現象で、機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし、ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

自動で使うときは(オートライ トコントロール)

エンジンスイッチの電源モードが ON のときに使用できます。レバー先端のツマミを AUTO 位置にすると、車外の明るさに応じてヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯などが自動的に点灯・消灯します。電源モードを OFF にすると自動的に消灯します。



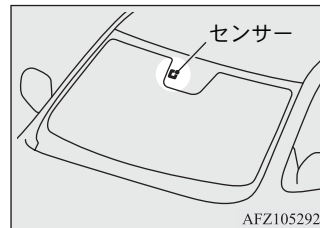
AFA147293

📖 アドバイス

- ライトスイッチを回したとき、インフォメーション画面にスイッチ位置が表示されます。メーターの画面カスタマイズで表示の ON/OFF を切り換えることができます。→「画面カスタマイズ」P.4-48

📖 アドバイス

- トンネルの出口などで急に周囲が明るくなっても、しばらくはヘッドライトが点灯し続けます。
- ライトスイッチが AUTO の位置でフロントフォグランプが点灯しているとき、周りの明るさに応じてヘッドライトが自動消灯すると、フロントフォグランプも自動消灯します。
- フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってセンサーを覆わないでください。センサーが車外の明るさを検知できなくなり、ライトが自動では点灯・消灯しなくなるおそれがあります。



AFZ105292

フロントガラスの交換・センサー付近のガラス補修をするときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

- AUTO の位置で点灯・消灯しないときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

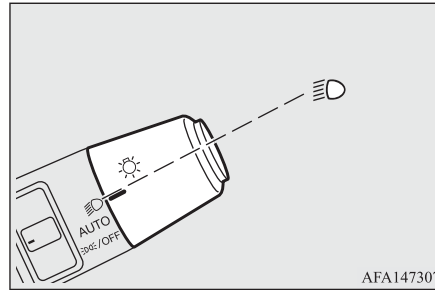
手動で使うときは

エンジンスイッチの電源モードの状態に関係なく使用できます。レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	☾
ヘッドライト	○
車幅灯	○
尾灯	○
番号灯	○
計器類照明灯、LED インテリアイルミネーション	○

アドバイス

- ライトスイッチを回したとき、インフォメーション画面にスイッチ位置が表示されます。メーターの画面カスタマイズで表示のON/OFFを切り換えることができます。→「画面カスタマイズ」P.4-48



自動点灯時のライト消灯

J10340200051

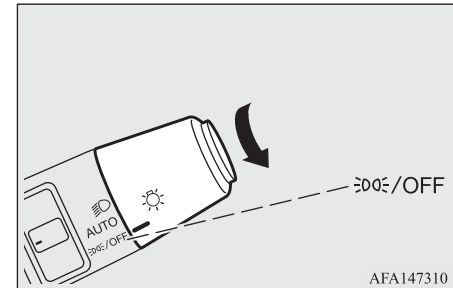
夜間など暗い場所を走行しているときはヘッドライトを消灯させることができませんが、停車中は消灯させることができます。

ヘッドライトを消灯させるときは

1. レバー先端のツマミを☾/OFFの位置に回します。

アドバイス

- レバー先端のツマミは☾/OFF位置にしても手を離すと自動でAUTO位置に戻ります。



2. ヘッドライトのみが消灯し、車幅灯、尾灯および番号灯が点灯した状態になります。

アドバイス

- 消灯中に次のいずれかの操作をすると、消灯状態が解除されます。
 - ・ 走行する

ライトスイッチ

📖 アドバイス

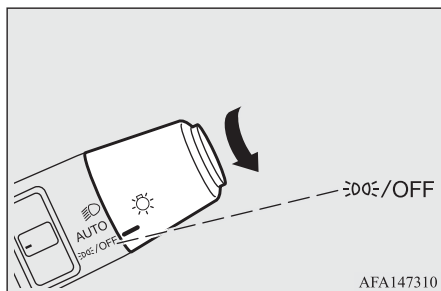
- 再度レバー先端のつまみを ③OFF/位置に回す
- レバー先端のつまみを ②の位置にしてから AUTO の位置にする

すべてのライトを消灯させるときは

1. レバー先端のつまみを ③OFF/位置に回して約 1.5 秒以上保持します。

📖 アドバイス

- レバー先端のつまみは ③OFF/位置にしても手を離すと自動で AUTO 位置に戻ります。



2. すべてのライトが消灯します。

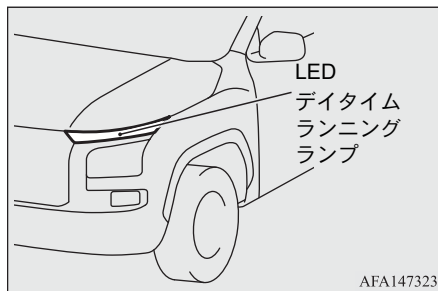
📖 アドバイス

- 消灯中に次のいずれかの操作をすると、消灯状態が解除されます。
 - 走行する
 - 再度レバー先端のつまみを ③OFF/位置に回す
 - レバー先端のつまみを ②の位置にしてから AUTO の位置にする

LED デイタイムランニングランプ

J10339100047

エンジン回転中にパーキングブレーキを解除したとき、ライトスイッチが AUTO の位置で尾灯が消灯している場合、LED デイタイムランニングランプが点灯します。



📖 アドバイス

- ライトスイッチが ②の位置のとき、または AUTO の位置で尾灯が点灯しているときは車幅灯として点灯します。

ヘッドライト* オートカット機能 (自動消灯)

J10318400089

*ヘッドライトやフォグランプなどの車外照明

- ライトスイッチが ②の位置でも、エンジンスイッチの電源モードを OFF にして一定時間が経過するとランプ類が自動的に消灯します。
- ライトスイッチが ③の位置でランプ類が自動消灯した後、エンジンスイッチの電源モードを ON にすると再度点灯します。

📖 アドバイス

- ランプ類が自動消灯した後に再点灯した場合、ランプ類は自動的に消灯しません。バッテリー上がりを防止するため、車から長時間離れるときは必ずライトスイッチを AUTO 位置にしてください。
- ランプ類が自動消灯するとしても、エンジンがかかっていないときにライトスイッチを長時間 ②位置のままにしないでください。

ライト消し忘れブザー

J10318600078

ライトスイッチがDの位置のままでエンジンスイッチの電源モードをOFFにして運転席のドアを開くと、ブザーが鳴り、ランプ類の消し忘れを知らせます。

上下切り換え

J10318700082

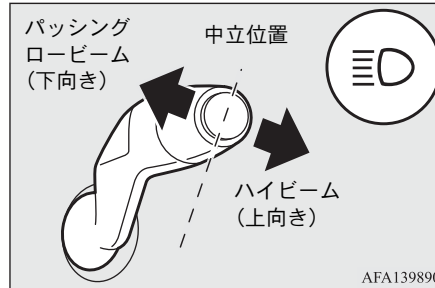
ライトスイッチがD位置のとき

- ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り換わります。ロービームに戻りたいときは、ライトスイッチを車両前方、または後方に動かします。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。

ライトスイッチがAUTO位置のとき

- ヘッドライトが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に押すとハイビームに切り換わります。
- ロービームに戻りたいときは、ライトスイッチを車両前方、または後方に動かします。

- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。



アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。
- ハイビームに切り換えているときは、メーター内のヘッドライト上向き表示灯が点灯します。
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

ウェルカムライト

J10318800063

- ドアの解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が一時的に点灯します。

- メーターの車両設定でウェルカムライト機能のON/OFFを切り換えることができます。
→ 「車両設定」 P.4-47

カミングホームライト

J10318900084

夜間など周囲が暗い場所で車から降りるときに、以下の操作を行うと、ヘッドライトが周囲を照らします。

- エンジンスイッチの電源モードがON以外のとき、ヘッドライトおよび車幅灯が消灯している状態でライトスイッチを手前に1回引くごとに、ヘッドライトが約30秒間(最大120秒間)点灯した後、消灯します。

ヘッドライトレベリング

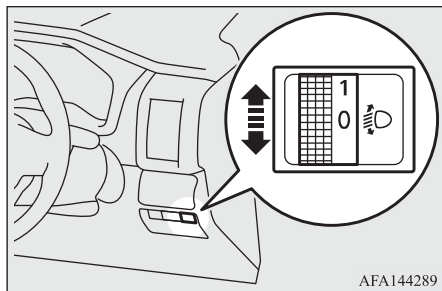
J10301800078

ヘッドライトレベリングダイヤル

ヘッドライトの照らす方向(光軸)は、乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物を乗せて、ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は、ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの

フロントフォグランプスイッチ

数字が大きくなるほど下向きになります。





乗員の人数や荷物の重さに応じて次の表を目安にダイヤル位置を調整してください。

人や荷物を降ろした後は、必ずダイヤルを“0”の位置に戻してください。

⚠ 注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

乗員や荷台の状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0

乗員や荷台の状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時 + 荷台最大積載時	3

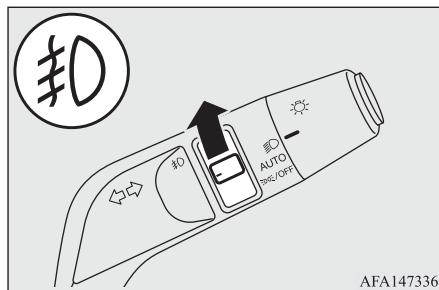
📖 アドバイス

- 車検などで光軸調整をするときは、ダイヤルを“0”の位置（光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

フロントフォグランプスイッチ

J10302100078

霧の出ているとき、雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。ヘッドライトまたは車幅灯が点灯しているときにスイッチを上に戻すと、フロントフォグランプが点灯し、メーター内の表示灯も点灯します。消灯するときはスイッチを下に戻します。



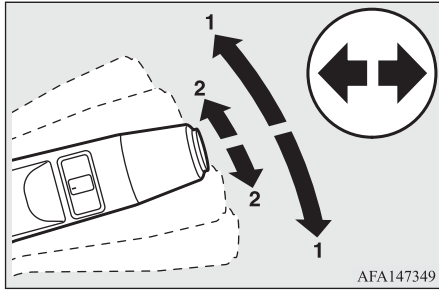
方向指示レバー

J10301900079

エンジンスイッチの電源モードが ON のときにレバーを (1) まで操作すると、方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。

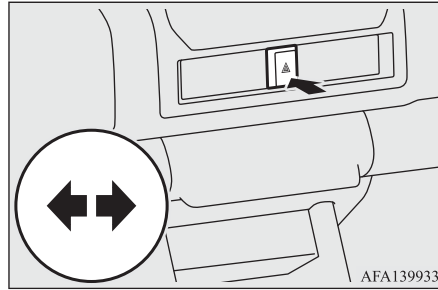
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。緩いカーブなどで戻らないときは手で戻してください。

車線変更などのときは、レバーを (2) まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。また、レバーを (2) まで軽く操作し、すぐ離すと方向指示灯とメーター内の表示灯が 3 回点滅します。



- 1- 方向指示
- 2- 車線変更

AFA147349



AFA139933

アドバイス

- 点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

非常点滅灯スイッチ

J1030200064

故障したときなど、やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し、メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J10302200065

注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴き付けられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤデフォグラーを使って、ガラスを暖めてください。
- ガラスがほこりや泥で汚れているときは、洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量を点検してください。→「ウォッシャー液の点検・補給」P.6-6
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり、ワイパーモーターが故障するおそれがあります。凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がリ、エンジンがかからなくなることがあります。
- スイッチを押して非常点滅灯を点滅させているときは、緊急制動信号システムは作動しません。→「緊急制動信号システム」P.4-150

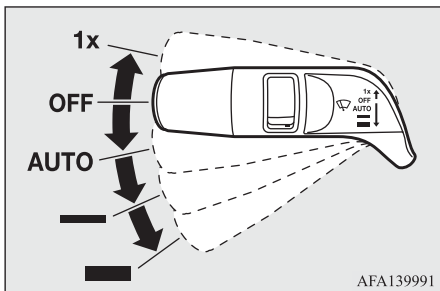
📖 アドバイス

- ワイパーを作動中、積雪などによりワイパーブレードが途中で止まったときは、モーターの過熱を防ぐためワイパーの作動が一時的に停止することがあります。このようなときは、必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチの電源モードをOFFにして積雪などを取り除いてください。モーターが冷えればワイパーは再び使用できるようになりますので、ワイパーが作動することを確認してからご使用ください。

ワイパースイッチ

J10319100100

エンジンスイッチの電源モードが ON のときに使用できます。



AFA139991

- 1x 1回作動
(ワイパーミスト機能)

4-70 運転するときは

- OFF 停止
- AUTO 自動作動 (雨滴感応)
雨の程度に応じて、自動的にワイパーが作動します。
- 低速作動
- 高速作動

📖 アドバイス

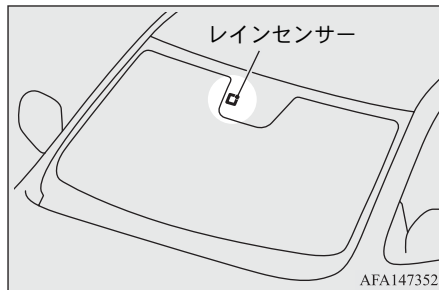
- レバーを操作したとき、インフォメーション画面にワイパーの状態が表示されます。メーターの画面カスタマイズで表示のON/OFFを切り換えることができます。→「画面カスタマイズ」P.4-48
- メーターの車両設定でワイパーの自動操作 (雨滴感応) 機能のON/OFFを切り換えることができます。→「車両設定」P.4-47
- エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、レバーを AUTO の位置にするとワイパーが 1 回だけ作動し、その後は雨の程度に応じてワイパーが作動します。

レインセンサー

エンジンスイッチの電源モードが ON のときに使用できます。レバーを AUTO の位置にすると、雨の程度 (雪やその他の液体、ほこりなどを含む) をレインセンサーが感知し、ワイパーが自動作動します。

ただし、次のような場合、フロントガラスに傷がついたり、ワイパーブレードを傷めるおそれがありますので、レバーを OFF の位置にしてください。

- 晴れた日が続き、フロントガラスが汚れているとき
- 空気が乾燥し、フロントガラスが汚れているとき



AFA147352

⚠️ 注意

- エンジンスイッチの電源モードが ON の状態で、レバーが AUTO の位置のとき、次のような場合、ワイパーが自動作動することがあります。手や指をはさむと、けがをしたり、ワイパーを損傷するおそれがありますので電源モードを OFF にするか、レバーを OFF にして、レインセンサーを停止するよう注意してください。

⚠ 注意

- フロントガラス掃除の際、レインセンサーをフロントガラス越しに触れたとき
- フロントガラス掃除の際、レインセンサーをフロントガラス越しに拭いたとき
- 自動洗車機を使用するとき
- フロントガラスまたはレインセンサーに衝撃を与えたとき

📖 アドバイス

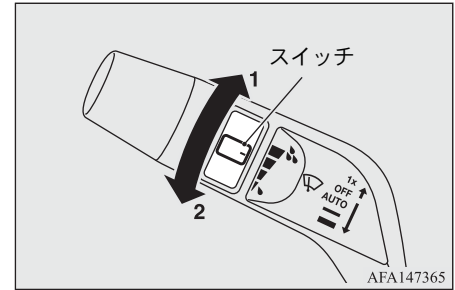
- フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってセンサーを覆わないでください。また、フロントガラスにコーティングをしないでください。センサーが雨を検知できなくなり、ワイパーが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 次のような場合は、レインセンサーの故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
 - 雨の程度が変化しているにもかかわらず、ワイパーが一定間隔作動しているとき
 - 雨が降っているにもかかわらず、ワイパーが動かないとき

📖 アドバイス

- レインセンサー上部のウィンドウガラスに虫や異物などが付着したり、ウィンドウガラスが凍結しているときは、ワイパーが自動的に作動することがあります。ワイパーでフロントガラスの付着物を取り除けないときは、ワイパーが自動的に停止します。ワイパーを作動させたいときは、レバーを **1** または **2** の位置にしてください。また、強い直射日光や電磁波などの原因によってもワイパーが自動的に作動することがあります。ワイパーを停止させたいときは、レバーを OFF の位置にしてください。
- フロントガラスの交換・センサー付近のガラス補修をするときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

雨滴感応の調整のしかた

レバーが AUTO の位置のときに、スイッチを操作するレインセンサーの感度を調整できます。



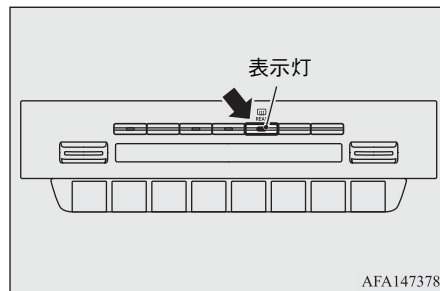
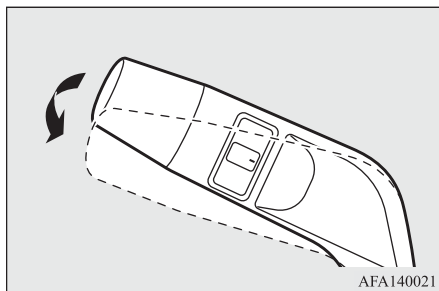
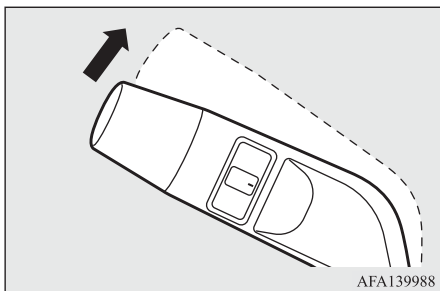
- 1- 高感度（雨に反応しやすい）
- 2- 低感度（雨に反応しにくい）

📖 アドバイス

- スイッチを操作したとき、インフォメーション画面にワイパーの状態が表示されます。メーターの画面カスタマイズで表示の ON/OFF を切り換えることができます。→「画面カスタマイズ」P.4-48

ワイパーミスト機能

エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、レバーを 1x 位置に上げて離すとワイパーが 1 回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーを 1x 位置に上げている間は、ワイパーが連続作動します。



4

ウォッシャースイッチ

J10319200071

エンジンスイッチの電源モードが ON のときに使用できます。

レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射します。

ワイパーが作動していないときや間欠作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。さらに約 3 秒後にワイパーがもう 1 回作動します。

アドバイス

- メーターの車両設定で約 3 秒後にワイパーがもう 1 回作動する機能の ON/OFF を切り換えることができます。
→「車両設定」P.4-47

リヤデフォグガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができません。

→「ヒータードアミラー」P.3-25

リヤデフォグガー（曇り取り）スイッチ

J10302300083

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に、ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。

エンジンがかかっているときにスイッチを押すと作動し、表示灯が点灯します。もう一度押すとスイッチが切れます。

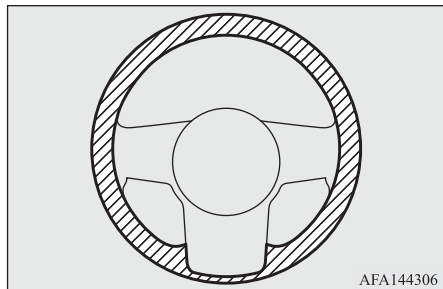
アドバイス

- この装置は消費電力が大きいため曇りが取れたらスイッチを切ってください。万一、スイッチを切り忘れても約 15 ～ 20 分後に自動的に切れます。
- リヤガラス付近に物を置かないください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿って拭いてください。


ステアリングヒータースイッチ

J10325200076

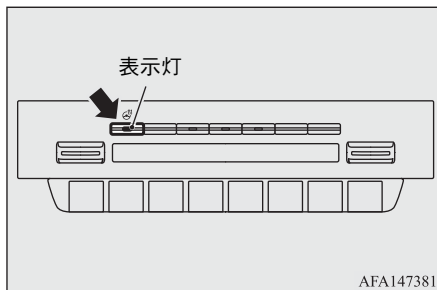
ステアリング内部のヒーターによりステアリングのリム部分を温めます。



AFA144306

: 加温範囲

エンジンがかかっているときにスイッチを押すとステアリングヒーターが作動し、スイッチ内の表示灯が点灯します。ステアリングヒーターは、作動してから約 30 分後に自動で停止します。途中で停止したいときは、スイッチをもう一度押します。表示灯が消灯し、ステアリングヒーターが停止します。



AFA147381

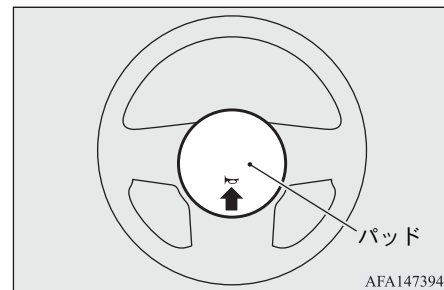
⚠ 注意

- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特に次のような方は注意してください。
 - ・お年寄り
 - ・皮膚の弱い方
- 水、ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

ホーンスイッチ

J10302400055

ハンドルのパッドを押すとホーン（警音器）が鳴ります。



AFA147394

4

フューエルリッド（燃料補給口）

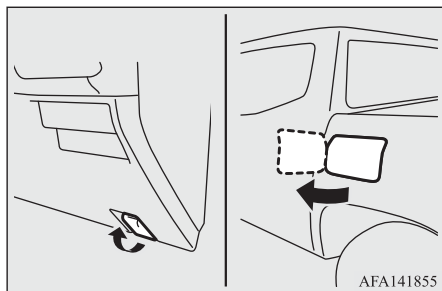
J10324300025

フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。

開けるときは

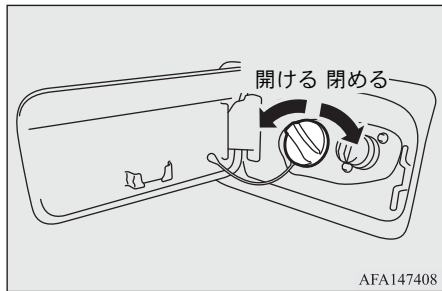
J10324400097

1. 計器盤右下のレバーを引いてリッド（補給口）を開けます。



AFA141855

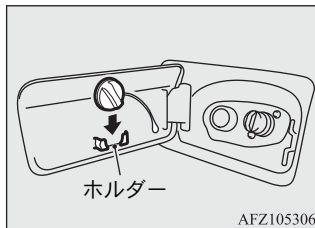
2. フューエルキャップのつまみを持ち、ゆっくり左に回して外します。



AFA147408

アドバイス

- 給油中、フューエルキャップをリッド裏側のホルダーに取めておくことができます。



AFZ105306

- 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
→「燃料の量と種類」P.8-2

閉めるときは

J10324500027

1. フューエルキャップをカチッカチツと音がするまで右に回して閉めます。
2. フューエルリッドを手で軽く押して閉めます。

給油するときは

J10337000026

給油するときは、次の内容をしっかり読んでから給油を行ってください。

警告

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・必ずエンジンを止める
 - ・タバコ、ライター、携帯電話などは使用しない
- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて、必ず身体の静電気を除去してください。静電気を帯びていると、放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開閉、フューエルキャップの取り付け、取り外しなど、給油操作は必ず一人で行い、補給口に他の人を近づけないでください。複数で行うと他の人が帯電していた場合、気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中、シートに座るなどすると、再帯電するおそれがあります。
- 急激にフューエルキャップを回さないでください。急激に回すと、燃料タンク内の圧力により、補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップを緩めたときにシューツという音がしたときは、音がなくなるまで待つてから、フューエルキャップをゆっくり回してください。

警告

- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
給油ノズルが正しく差し込まれていないと、燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
つき足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- フューエルキャップを閉めたときは、確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ、火災になるおそれがあります。
- 三菱自動車純正以外のフューエルキャップは使用しないでください。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色、しみ、ひび割れの原因になります。付着したときは、柔らかい布などで拭き取ってください。
- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 給油方法についてご不明な点は、ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

e-Assist

J10325300080

e-Assist とは、各種センサーによって事故の危険を検知して運転者に知らせるとともに、できる限り事故被害を予防・回避・軽減できるよう支援する安全技術です。

e-Assist には次の機能があります。

- 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]
→P.4-75
- 踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]
→P.4-82
- 車線逸脱警報システム [LDW]
→P.4-91
- 車線逸脱防止支援機能 [LDP]
→P.4-93
- オートマチックハイビーム [AHB]
→P.4-97
- 後側方車両検知警報システム（レーンチェンジアシスト機能付）[BSW/LCA]
→P.4-99
- 後退時交差車両検知警報システム [RCTA]
→P.4-105
- ふらつき警報 [DAA]
→P.4-108
- 標識認識システム [TSR]
→P.4-109

警告

- e-Assist の各機能は、運転者の安全運転を前提としたシステムであり、運転操作の負担や衝突被害を軽減することを目的としています。システムの検知性能・制御性能には限界があるため、これらのシステムに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。

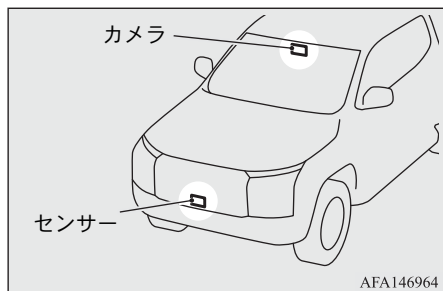
衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]

J10357900021

FCM: Forward Collision Mitigation system

衝突被害軽減ブレーキシステム[FCM]は、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

FCM は、フロントガラス上部のカメラおよび車両前部のセンサーにより、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車を検知します。



4

警告

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。
FCMは、可能な範囲で衝突被害を軽減または衝突を回避するシステムであり、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意を許容したり、雨・霧などの視界不良を補助したりするものではありません。周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなど、常に安全運転に心がけてください。
- FCMは、可能な範囲で衝突を回避できるよう作動しますが、走行状態、天候や道路環境、ハンドル、アクセル、ブレーキの操作など、様々な条件によってその効果は変化し、常に同じ性能が発揮できるわけではありません。
衝突の危険があるときは、システム作動の有無にかかわらず、ブレーキペダルを強く踏むなどの回避操作を行ってください。

警告

- システムの作動確認をお客様自身が行わないでください。状況によっては、システムが作動しなかったり車両が止まりきれず重大な事故につながるおそれがあります。

FCMの作動

J1035800029

FCMは車速約10km/hから作動します。
歩行者・人が乗車している自転車には車速約10～80km/hの範囲で作動します。

- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音（ブザー）とともにインフォメーション画面のFCM表示（接近警報表示）が黄色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、インフォメーション画面のFCM表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音（ブザー）とともに、やや強いブレーキがかかります。
- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキがかかります。

警報	表示	警報音
1段階		断続的なブザー音
2段階		間隔の短い断続的なブザー音

アドバイス

- FCMによるブレーキが作動しているときは、制動灯（ブレーキランプ）が点灯します。

次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。

- アクセルペダルを強く踏み込んだとき
- ハンドルを大きく、または素早く切ったとき
- 前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突の危険がなくなると判断したとき

⚠警告

- システムによるブレーキを通常のブレーキとして利用しないでください。
- システムによるブレーキ作動で停車した約 2 秒後にブレーキ制御が解除され、クリーブ現象により自車が動き出すので、必ずブレーキペダルを踏んで、停止させてください。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、FCM の作動が遅れる、または作動しない場合があります。
- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
- ブレーキ制御中にブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが固く感じられることがあります。異常ではありません。さらに踏み込むことで踏み増すこともできます。
- 次のような障害物は検知しません。
 - ・子供などの背の低い人、動物
 - ・車いす、子供のおもちゃやスケートボードに乗っている人
 - ・横切って通過する車両
 - ・道路脇の障害物
 - ・駐車車両
- 車速約 80km/h 以上で走行中は、停止した車両を検知しません。
- 以下の対象物にはシステムが作動しない場合があります。
 - ・夜間やトンネル内など暗い場所にいる、歩行者や人が乗車している自転車

⚠警告

- ・細い車両（二輪車など）
- ・近接している複数の対象物
- 次のような場合は、前方の車両、歩行者、人が乗車している自転車を検知できず、システムが正しく作動しないことがあります。
 - ・夜間やトンネル内などでヘッドライトを点灯していない、あるいはヘッドライトのレンズが極端に汚れているとき
 - ・夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - ・カメラの向きがずれているとき
 - ・悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - ・前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - ・カーブを走行しているとき
 - ・勾配の変化があるところを走行しているとき
 - ・未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - ・センサー周辺に泥、氷、雪などが付着しているとき
 - ・放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - ・カメラ前方のフロントガラスに油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき

⚠警告

- ・前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
- ・トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- ・歩行者、人が乗車している自転車が、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- ・歩行者、人が乗車している自転車が大きな荷物を持っているとき
- ・対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
- ・前方の車両、歩行者、人が乗車している自転車が急に大きく動いたとき
- ・前方の至近距離に割り込んだ車両
- ・前方の至近距離に飛び出してきた歩行者、自転車
- ・自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者、人が乗車している自転車
- ・自車と対象車の速度差が小さいとき
- ・起動してから約 15 秒間
- ・最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
- ・特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- ・後端の面積が小さい車両（空荷のトラックや二輪車など）

⚠️ 警告

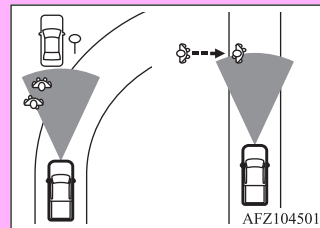
- 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
- 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合（周りの風景が水たまりに映りこむなど）
- 複数の対象物同士が近接している場合
- 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
- トレーラーをけん引しているとき
- 白っぽい衣装の歩行者、白っぽい衣装の人が乗車している自転車
- 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - 勾配のある路面を走行しているとき
 - 車両が傾いているとき（後席や荷台に極端に重い荷物を積んでいるとき）
- システムは自動的にセンサーとカメラが正常であるか確認していますが、センサーやカメラ周りを氷や雪が付着している場合でも警告を発しないことがあります。定期的に確認・清掃をしてください。
- 道路や交通状況によっては、予期しないブレーキ作動をするおそれがあります。加速が必要な場合は、アクセルペダルを踏んでシステムの作動を無効にしてください。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- 滑りやすい路面では制動距離が長くなります。

⚠️ 警告

- 前方の車両が右左折した後もシステムが作動し続けることがあります。
- 前方の車両に自車が追いつくために接近したときにシステムが作動することがあります。
- 道路状況（カーブや交通規制）により対向車両に対して一時的に作動することがあります。
- 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。
 - 歩行者や人が乗車している自転車に形が似ているもの
 - 二輪車や車両のテールランプと同じ位置やサイズのもの
 - 路面または壁面の模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）
 - 前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール、電柱や電線、看板）、道路脇の木や建物、照明や影

⚠️ 警告

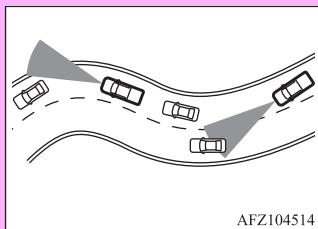
- 道幅が狭い路地などを走行する際の歩行者や人が乗車している自転車



- 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、自転車、人が乗車している自転車、オートバイ、車両など）
- 路肩の障害物を避けるため、一時的に自車前方の走行レーンにはみ出したり、近づく歩行者や人が乗っている自転車
- 道路上部にあるもの（低い橋、交通標識など）
- 路面上にある物（線路、格子、鉄板、マンホール、鉄格子など）
- 駐車場内にある物（梁など）
- 走行車線または隣接する車線にある物（歩行者、車両など）
- 走行車線または隣接する車線に近づいてくる物（歩行者、自転車、車両など）
- 走行路にある物（近接する樹木など）

警告

- 次のような場合は、同一車線の車両を検知できないことや他の車線を走行している車両を一時的に検知することがあります。



AFZ104514

- 連続したカーブを走行するとき
- 下り坂を走行するとき

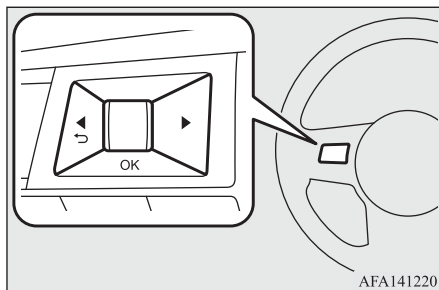
アドバイス

- ブレーキ制御中に車体下から作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

FCM を ON/OFF するときは

J10358100020


インフォメーション画面より FCM の ON/OFF を切り換えることができます。ON/OFF を切り換えるには、次の手順を行ってください。



AFA141220

1. マルチインフォメーションディスプレイのメインメニューから ◀ または ▶ イッチを押して、「設定」を選びダイヤルスイッチを押します。設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからダイヤルスイッチを回して、「運転支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
→「マルチインフォメーションディスプレイ」P.4-39
3. ダイヤルスイッチを回して、「緊急支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
4. ダイヤルスイッチを回して、「前方衝突防止支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
5. FCM 設定画面が表示されるので、ダイヤルスイッチを回して、「ON」または「OFF」を選択します。

ダイヤルスイッチを押すことで、FCM の ON/OFF を切り換えることができます。

システムを OFF にすると  表示灯が点灯します。

アドバイス

- アクティブスタビリティ&トラクションコントロール [ASTC] を OFF にしたときは、FCM は作動しません。
- エンジンスイッチの電源モードを OFF にする前に FCM を OFF にしても、電源モードを再度 ON にしたときは、FCM は ON になります。

システムが一時的に作動しないときは


J10358200021

車両のコンディションにより、システムが作動しない場合があります。各コンディションの処置方法に従い、システムを作動してください。

アドバイス

- 4WD セレクターが 4LLc およびリヤデフロックが ON のときは、FCM は作動しません。

コンディション A

次の状況では、インフォメーション画面にメッセージは表示されず、表示灯が点滅します。その場合、EAPM も作動停止することがあります。


- 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき
- フロントガラスの凍結などで、カメラの視界が確保できなくなったとき
- カメラが正常でないとき
- センサーが、周辺の電波源の影響を受けているとき

システムが停止した状態が解消されたら、自動的に作動を再開します。

アドバイス

- カメラ周辺のフロントガラス内側が曇ったり凍結したりしたときはデフロスターにより曇りを取り除きます。もし、カメラ周辺のフロントガラス内側に、ほこりなどが入り込んだ場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

コンディション B

次の場合、表示灯が点滅し、インフォメーション画面に「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」が表示されます。その場合、EAPM も作動停止することがあります。

- フロントバンパー上部のセンサー周辺が泥などに覆われている

このような状況では、次の方法で処置してください。


1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
2. フロントバンパー上部のセンサー周辺の汚れを、柔らかい布で取り除く。
3. エンジンスイッチの電源モードを ON にして、表示灯の点滅が消えるか確認します。

引き続き表示灯が点滅する場合はセンサーの異常の可能性があるので、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

- 道路形状や周辺の建造物により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき（例：長い橋、雪原、長い壁の横など）。

このような状況では、停止したときの状況が解消されると、システムは自動的に作動を再開します。

コンディション C

次の場合、表示灯が点灯し、インフォメーション画面に「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」が表示されます。その場合、EAPM も作動停止することがあります。

- フロントバンパー上部のセンサー周辺が泥などに覆われている


このような状況では、次の方法で処置してください。

1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
2. フロントバンパー上部のセンサー周辺の汚れを、柔らかい布で取り除く。
3. エンジンスイッチの電源モードを ON にして、数分間の走行してください。

引き続き表示灯が点灯する場合は、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

コンディション D


ASTC が OFF のときは、FCM のブレーキ制御が機能しません。

この場合は、表示灯が点灯し、警告音が鳴ります。


このような状況では、ASTC を ON にすると、システムは自動的に制御を再開します。

システムに異常があるときは

J10358300022

システムに異常があるときは、ブザーが鳴りインフォメーション画面に「システム故障 取扱説明書を見てください」が表示され、表示灯が点灯して FCM 機能は自動的に停止します。その場合、EAPM も作動停止することがあります。このような状況では、次の方法で処置してください。

1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
2. エンジンスイッチの電源モードを ON にします。

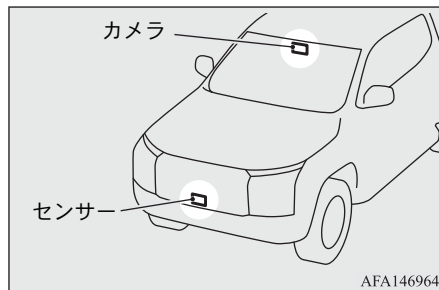
再び表示灯が点灯する場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

カメラおよびセンサーの取り扱い

J10358400023

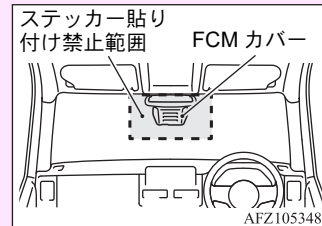
フロントガラス上部のカメラおよびフロントバンパー上部のセンサーが装備され、次のシステムで使用されます。

- 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]
- 踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]
- 車線逸脱警報システム [LDW]
- 車線逸脱防止支援機能 [LDP]
- オートマチックハイビーム [AHB]
- 標識認識システム [TSR]
- レーダークルーズコントロールシステム [ACC]



⚠ 注意

- システムの正しい作動のため、次のことをお守りください。取り扱いを誤ると、システムが正しく作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。
- カメラやセンサー周辺は常にきれいにする。フロントガラスの内側が汚れたときは、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。
- カメラおよび FCM カバー付近のフロントガラスに、ステッカーや赤外線カットフィルムなどを貼らない



- FCM カバーは、塗装や改造をしない
- センサー付近にナンバープレートやグリルガードなど取り付けない
- フロントガラスが曇った場合は、デフロスタースイッチを押して曇りを取り除く

⚠ 注意

- フロントガラスのカメラ前方部分をワイパーで適切に拭き取れない場合は、ワイパーブレードを早めに交換してください
フロントワイパー本体、ワイパーブレードを交換する場合は三菱自動車純正品をご使用ください
- 中性洗剤を薄めて、柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります
- センサー付近に電子機器またはアンテナなど強い電波を発信する機器を取り付けない
- 指定以外のサイズのタイヤを装着しない。または、摩耗差の著しいタイヤを混ぜて装着しない
- サスペンションを改造しない
- カメラ付近のフロントガラスにひび割れや傷などがある状態では、システムが正しく作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。FCM、EAPMのON/OFFを操作してFCMおよびEAPMを停止させ、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。フロントガラスの交換が必要な場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。



R 219 -210017

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:
219-210017
本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)



R 202 -LSG060

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:
202-LSG060
本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM]

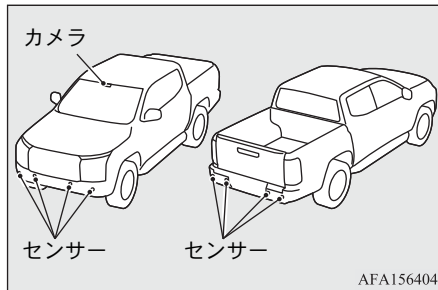
J10346700032

EAPM : Emergency Assist for Pedal Misapplication

踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] は、進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者（前進時のみ）などがある場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。

前進時

- フロントガラス上部のフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- フロントバンパーに取り付けられたセンサーにより、進行方向の障害物を検知します。



後退時

- リヤバンパーに取り付けられたセンサーにより、進行方向の障害物を検知します。

⚠警告

- EAPM は、アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えることにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。
- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、EAPM を OFF にしてください。
 - トレーラーなどに積載するとき
 - 点検などでシャシーダイナモを使用するとき

⚠警告

- リヤゲートを開けて走行するとき
- 荷台から突き出した積荷がセンサーの検知エリアに入るとき
- 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
(車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります)
- 次のような場合は、センサーは検知しません。
 - 雨、雪、氷、汚れなどがセンサーに付着しているとき
 - 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - 周囲に超音波を発するものがあるとき
 - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めるとき
 - くさび形の障害物
- 次のような場合は、センサーは検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
 - センサーまたはその周辺の温度が極端に高い、または低いとき
 - 進行方向側のセンサーが初めて物体を検出したとき (シフト操作により進行方向を切り換えた、物体が車両側面から入り込んだなど)、その物体が車両の近傍にある場合は、ブレーキ作動開始が遅くなるまたは、作動しない場合があります。

⚠警告

- センサーは次のような場合は検知しないことがあります。
 - 背の低い障害物
 - 車両の幅以下の障害物
 - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - バンパーに非常に近い障害物 (後部は 30cm 未満)
 - 急に進行方向に現れた障害物

⚠️ 警告

- センサーは次のような場合は誤作動することがあります。
 - ・周囲に草が生い茂っているとき
 - ・車両側面の近くに壁があるとき
 - ・路面上に段差や突起物、マンホール、鉄格子などがあるとき
 - ・垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
 - ・車両感応センサーや他車のセンサーなど、超音波を発生するものが付近にいたとき
 - ・他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
 - ・壁、料金所の設備、幅が狭いトンネル、駐車場のゲートなどの構造物
 - ・けん引される時
 - ・センサー付近に市販の電装品（字光式ナンバープレート・無線アンテナなど）を取り付けたとき
- フロントカメラは次のような障害物は検知しません。
 - ・子供などの背の低い人、動物、自転車
 - ・動いている対向車両
 - ・道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物）
 - ・バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - ・幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - ・前方を横切って通過する車両

⚠️ 警告

- ・斜めもしくは前向きに止まっている車両
- フロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者、人が乗車している自転車が検知できないことがあります。
 - ・悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - ・前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - ・カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - ・カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - ・前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - ・夜間やトンネル内などでヘッドライトを点灯していない、あるいはヘッドライトのレンズが極端に汚れているとき
 - ・夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - ・トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - ・カーブを走行しているとき
 - ・勾配の変化があるところを走行しているとき
 - ・未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき

⚠️ 警告

- ・歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- ・前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- ・対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
- ・起動してから約 15 秒間
- ・カメラの視界がささぎられているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
- ・カメラの向きがずれているとき

⚠警告

- フロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合（周りの風景が水たまりに映りこむなど）
 - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 以下の対象物にはフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
 - 車高の低い車両
 - 最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者
 - 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者

⚠警告

- 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
- リヤタイヤから車両後端までが長い車両
- 四輪車以外の車両（二輪車など）
- 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- フロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合
 - 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能でのブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しても、自車両のバンパー部のセンサー位置より飛び出ている物などの衝突は回避できない場合があります。
- 車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。低速加速抑制機能が作動した後に低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約 2 秒後にブレーキが解除され、車両が動き出します。

⚠警告

- 障害物などを感知したときは、低速衝突軽減ブレーキ機能の作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行ってください。車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。

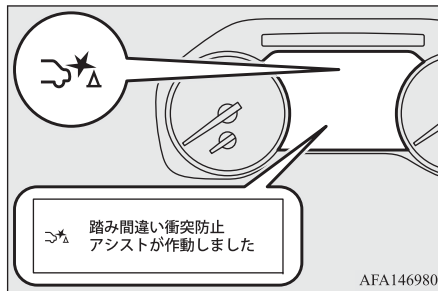
📖 アドバイス

- 次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。
 - ・悪天候（雨、霧、雪、強風など）のとき
 - ・勾配が急な坂道を走行しているとき
 - ・段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
 - ・滑りやすい路面を走行しているとき
 - ・ハンドルを大きく切って旋回しているとき
 - ・外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - ・下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
 - ・水たまり走行後や洗車後などブレーキがぬれてブレーキの効きが悪くなっているとき
 - ・長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
 - ・摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、三菱自動車純正品もしくは三菱自動車販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
 - ・車両が傾いているとき（後席や荷台に極端に重い荷物を積んでいるとき）
- 動いている物体に対して、EAPM は作動しません。

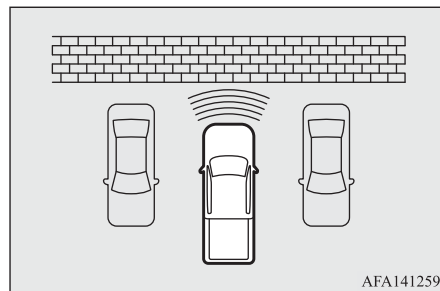
低速加速抑制機能

J10346800020

- 停車時含む前進時や後退時、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検知している状態で、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約 6 秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけることで車速が上がることを制御します。
- 車両、歩行者に対しては、車速約 0 ～ 25km/h の範囲で作動します。
- 壁などの障害物に対しては、車速約 0 ～ 15km/h の範囲で作動します。
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音と EAPM 警告の点滅、インフォメーション画面の表示、およびスマートフォン連携ナビゲーション画面の赤枠表示によって運転者に警告します。
→ 「警告表示」 P.4-52



AFA146980



⚠️ 警告

- 低速加速抑制機能は、アクセルペダルを深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- 車両の幅以下の障害物は検知しないことがあります。
- 運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。
- 渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、アクセルペダルを素早く深く踏み込むと低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。

アドバイス

- 対向車線の右折待ち車と自車との車間距離が短い状態から右折するとき、アクセルペダルを素早く深く踏み込むと低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 路面または壁面の模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール、電柱や電線、看板）、道路脇の木や建物、照明や影などで構成される形状が、車両や歩行者、自転車の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。
- 次の場合は作動しません。
 - セレクターレバーが **D** または **R** 以外のとき
 - アクティブスタビリティ&トラクションコントロール [ASTC] が作動しているとき
 - 勾配が急な坂道を走行しているとき
- 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。
 - 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、車両など）
 - 道路上方にある物（低い橋、道路標識など）
 - 路面上にある物（線路、格子、鉄板、マンホール、鉄格子など）

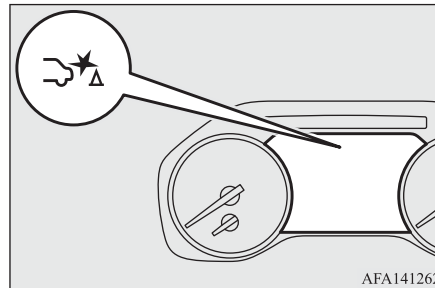
アドバイス

- 駐車場内にある物（梁など）
- スポーツモードのときも、EAPM の制御はセレクターレバーが **D** のときと同様に働きます。

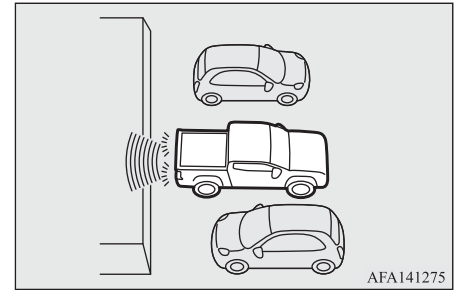
低速衝突軽減ブレーキ機能

J10346900021

- 前進時や後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、ブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約 2～15km/h の範囲で作動します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音と EAPM 警告の点滅、およびスマートフォン連携ナビゲーション画面の赤枠表示によって運転者に警告します。



AFA141262



AFA141275

4

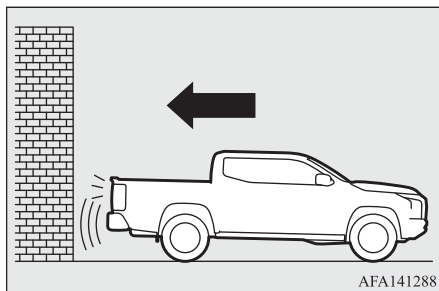
アドバイス

- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- セレクターレバーが **D** または **R** 以外のときは作動しません。
- スポーツモードのときも、EAPM の制御はセレクターレバーが **D** のときと同様に働きます。

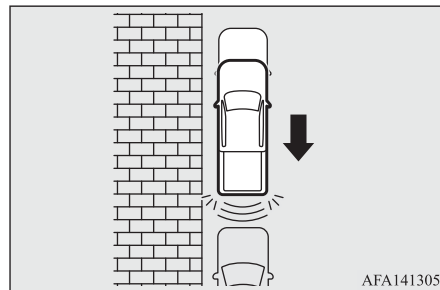
低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

J10347000029

クルマ止めのない駐車場などで、壁などに衝突しそうになったとき



- アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。

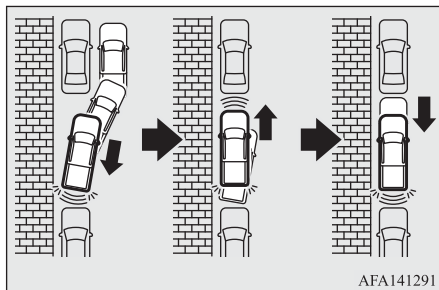


縦列駐車をするとき

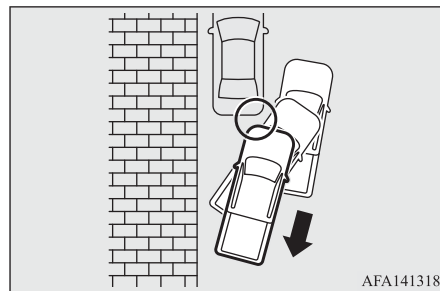
4 万一、運転者のブレーキ操作が遅れ、壁などに衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音（ブザー）と警告灯が点滅、およびインフォメーション画面に警告を表示し、ブレーキをかけて衝突を回避または被害を軽減します。システムは、ブレーキペダルを踏みながら車両を移動する（駐車場での操作）など低速における支援を目的にしています。

- アクセルペダルを踏んで前進・後退する状況などでは作動が遅れ十分に機能しない場合があります。

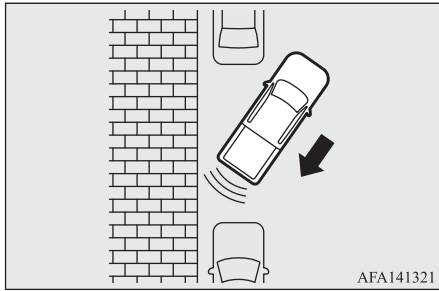
セレクターレバーを **D** から **R**、または **R** から **D** に切り換えたときは、セレクターレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知してブレーキ制御が作動します。



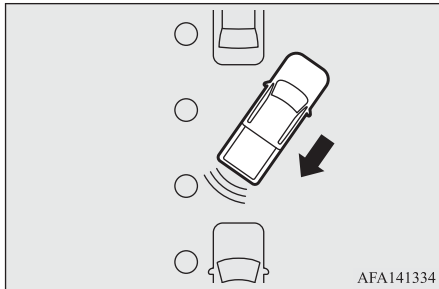
- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対して作動しません。



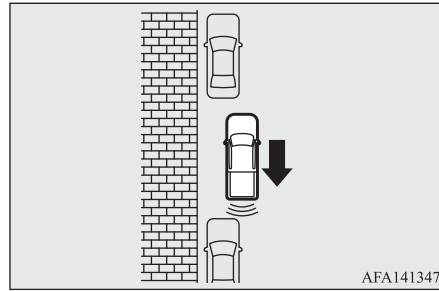
- 障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。



- 幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。

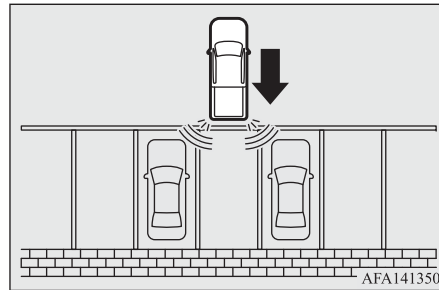


- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。

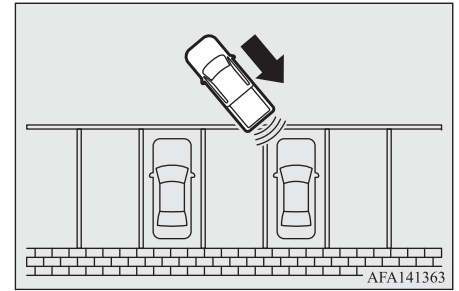


並列駐車をするとき

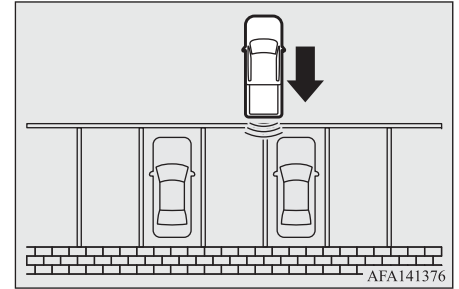
- 狭いスペースに進入するときには作動することがあります。



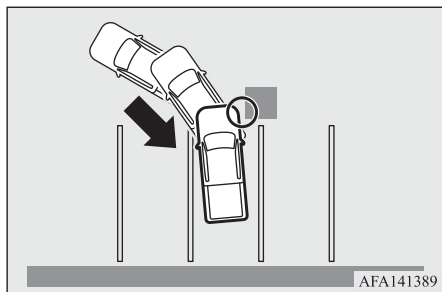
- 他の車両の角部に向かって接近したときは作動しません。



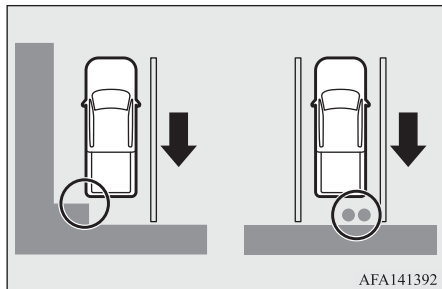
- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。



- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



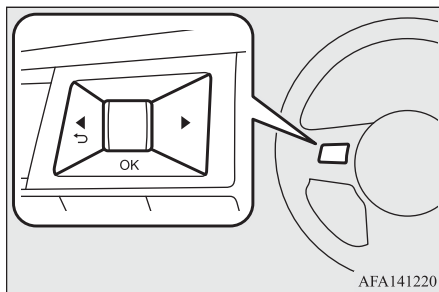
- 壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。



EAPM を ON/OFF するときは

J10347100020

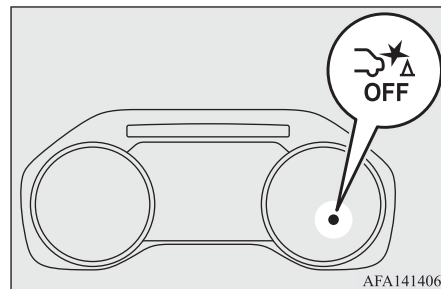
インフォメーション画面より EAPM の ON/OFF を切り換えるには、次の手順を行ってください。



1. マルチインフォメーションディスプレイのメインメニューから◀または▶スイッチを押して、「設定」を選びダイヤルスイッチを押します。設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからダイヤルスイッチを回して、「運転支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
→「マルチインフォメーションディスプレイ」P.4-39
3. ダイヤルスイッチを回して、「緊急支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
4. ダイヤルスイッチを回して、「踏み間違い衝突防止アシスト」を選びダイヤルスイッチを押します。
5. EAPM 設定画面が表示されるので、ダイヤルスイッチを回して、「ON」または「OFF」を選択します。

ダイヤルスイッチを押すことで、EAPM の ON/OFF を切り換えることができます。

機能を OFF にすると、システムが停止し、EAPM OFF 表示灯が点灯します。



アドバイス

- エンジンスイッチの電源モードを OFF にする前に EAPM を OFF にしても、エンジンを再始動すると、EAPM は ON になります。

EAPM の作動が停止するとき

J10347200021

次の場合、メーター内の EAPM OFF 表示灯^{OFF}が点灯し、作動が停止します。

- ASTC が OFF になったとき

システムに異常があると、メーター内の EAPM OFF 表示灯^{OFF}が点灯すると同時に、インフォメーション画面に警告が表示され、システムが停止します。また、FCM OFF 表示灯^{OFF}が点灯/点滅すると、システムが停止することがあります。

アドバイス

- システムを正しく作動させるためにパーキングセンサーはいつもきれいにしておいてください。
→「パーキングセンサー」 P.4-112
- EAPM OFF 表示灯^{OFF}が点灯したとき次の方法で処置してください。
 1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
 2. エンジンスイッチの電源モードを ON にして、警告灯が消灯するか確認します。
 引き続き警告灯が点灯する場合は、センサーの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 4WD セレクターが 4LLc およびリヤデフロックが ON のときは、EAPM は作動しません。

カメラの取り扱い

J10347300022

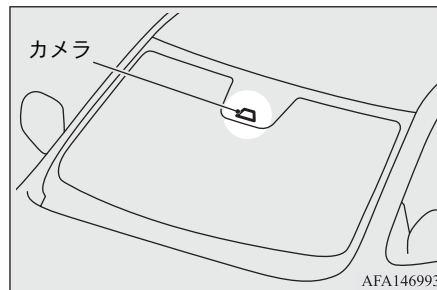
フロントガラス上部にカメラが装備され、EAPM システムで使用しています。
→「カメラおよびセンサーの取り扱い」 P.4-81

車線逸脱警報システム [LDW]

J10355300021

LDW: Lane Departure Warning

車線逸脱警報システム [LDW] は、カメラで走行車線（レーン）を認識し、走行車線を逸脱しそうな状況において表示とステアリング振動で運転者に注意を促します。



AFA146993

フロントガラス上部のカメラにより走行車線の左右の車線を検知します。
→「LDW の作動」 P.4-92

警告

- LDW には限界がありますので、機能を過信しないでください。
- 脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や悪天候などによる視界不良を補助するものではありませんので、常にハンドル操作をして進路を修正し、安全運転に心がけてください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、LDW を使用しないでください。
 - ・悪天候（雨、雪、霧など）のとき
 - ・凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
 - ・急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
 - ・工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
 - ・車線の幅が狭い道路を走行するとき
 - ・摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、三菱自動車純正品もしくは三菱自動車販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
 - ・純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
 - ・トレーラーをけん引するとき

警告

- 次のような状況では、車線を正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
- 検出しにくい車線（不明瞭な車線、黄色の車線、一般的でない車線、水たまり・汚れ・雪などで隠れている車線）がある道路を走行するとき
- 連続していない車線がある道路を走行したとき
- 急なカーブのある道路を走行するとき
- 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものを車線として検出して警報する場合があります）
- 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
- 自車が車線に対してまっすぐに走行していないとき
- 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲がさえぎられるとき
- 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- 汚れなどでヘッドライトの明るさが不十分なときやヘッドライトの光軸調整が適切に行われていないとき
- 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

LDW の作動

J10355400022

次の条件がすべて成立すると、システムが車線を認識することができ、車線を逸脱したときに警報が作動します。

- 車速が約 60km/h 以上のとき
- 方向指示レバーを操作していないとき
- 非常点滅灯が作動していないとき
- 自車の左右にある車線が認識できている環境のとき
- システムが ON のとき

走行車線の右側もしくは、左側の車線に近づいたと判断すると、ステアリングが振動するとともにインフォメーション画面の LDW 表示が点滅します。



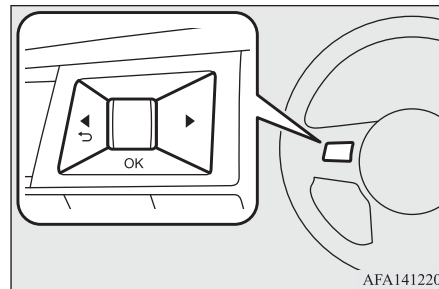
アドバイス

- 車両の移動方向に方向指示レバーを作動させているときは警報を行いません。

LDW を ON/OFF するときは

J10355500023

インフォメーション画面より LDW の ON/OFF を切り換えることができます。ON/OFF を切り換えるには、次の手順を行ってください。



1. マルチインフォメーションディスプレイのメインメニューから◀または▶スイッチを押して、「設定」を選びダイヤルスイッチを押します。設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからダイヤルスイッチを回して、「運転支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
→「マルチインフォメーションディスプレイ」P.4-39
3. ダイヤルスイッチを回して、「車線逸脱」を選びダイヤルスイッチを押します。

- ダイヤルスイッチを回して、「車線逸脱警報」を選びダイヤルスイッチを押します。
- LDW 設定画面が表示されるので、ダイヤルスイッチを回して、「ON」または「OFF」を選択します。
ダイヤルスイッチを押すことで、LDW のON/OFFを切り換えることができます。

アドバイス

- エンジンスイッチの電源モードをOFFにしてもシステムの作動状態（ON またはOFF）を記憶しています。

システムが一時的に作動しないときは

J10355600024

炎天下に駐車したときなど、室内が高温（約 40°C 以上）になり、センサーが一時的に作動できない状態になったときは、インフォメーション画面に警告が表示され、LDW 表示が点滅します。

このとき、一時的にシステムは自動的に停止します。

室内の温度が規定の範囲内になると、警告表示は消えて、システムは自動的に再開します。

システムは、次のような状況では警告しません。

- 車線変更のために方向指示レバーを操作しているとき（方向指示レバーを戻した後も約2秒間は車線を逸脱してもシステムは作動しません。）
- 車速が約 60km/h 未満まで下がるとき

システムに異常があるときは

J10355700025

システムに異常があるときは、インフォメーション画面に「システム故障 取扱説明書を見てください」が表示され、LDW 機能は自動的に停止します。

警告が表示されたときは、次の方法で処置してください。

1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
2. エンジンスイッチの電源モードを ON にします。

再び警告が表示される場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

カメラの取り扱い

J10355800026

フロントガラス上部にカメラが装備され、LDW で使用しています。

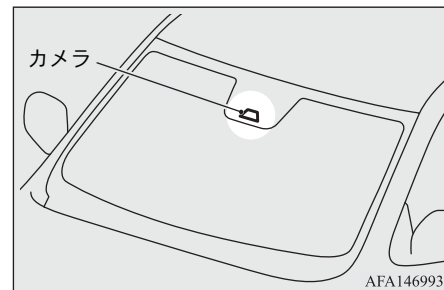
→「カメラおよびセンサーの取り扱い」P.4-81

車線逸脱防止支援機能 [LDP]

J10347800027

LDP: Lane Departure Prevention

車線逸脱防止支援機能 [LDP] は、カメラで走行車線（レーン）を認識し、走行車線を逸脱しそうな状況において運転者が自車を車線内に戻す操作の支援をします。



フロントガラス上部のカメラにより走行車線の左右の車線を検知します。
→「システムの作動」P.4-94

⚠️ 警告

- LDP には限界がありますので、機能を過信しないでください。
- 脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や悪天候などによる視界不良を補助するものではありませんので、常にハンドル操作をして進路を修正し、安全運転に心がけてください。
- 次の注意事項を守り、LDP を正しく使用してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・LDP はハンドル操作をするわけではありません。運転者は必ずハンドルを持ち、車線を逸脱しないように安全運転を心がけてください。
 - ・高速道路などのよく整備された道路で使用してください。天気や道路状況により車線が検出できないことがあります。

⚠️ 注意

- 車両の移動方向に方向指示レバーを作動させずに移動を開始したり、建築地帯などの交通整理ですでにある車線を横断したりするときシステムが作動することがあります。そのときはハンドル操作を行い進路修正してください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、LDP を使用しないでください。
 - ・悪天候（雨、雪、霧など）のとき

⚠️ 注意

- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
- 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
- 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
- 車線の幅が狭い道路を走行するとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、三菱自動車純正品もしくは三菱自動車販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
- 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- トレーラーをけん引するとき
- 次のような状況では、車線を正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - ・検出しにくい車線（不明瞭な車線、黄色の車線、一般的でない車線、水たまり・汚れ・雪などで隠れている車線）がある道路を走行するとき
 - ・連続していない車線がある道路を走行したとき
 - ・急なカーブのある道路を走行するとき
 - ・道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものを車線として検出して警報する場合があります。）
 - ・車線の分岐・合流のある道路を走行したとき

⚠️ 注意

- 自車が車線に対してまっすぐに走行していないとき
- 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲がさげられるとき
- 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- 汚れなどでヘッドライトの明るさが不十分なときやヘッドライトの光軸調整が適切に行われていないとき
- 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

📖 アドバイス

- LDP が作動しているときは、ブレーキの作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。

システムの作動

J10347900028

次の条件がすべて成立すると、システムが作動します。

- 車速が約 60km/h 以上のとき
- 方向指示レバーを操作していないとき
- 非常点滅灯が作動していないとき

- 自車の左右にある車線が認識できている環境のとき
- システムが ON のとき

走行車線の右側もしくは、左側の車線に近づいたと判断すると、ステアリングが振動するとともにインフォメーション画面の LDP 表示が点滅します。

同時にブレーキを短時間制御し、車両を車線内に戻す方向に制御力を短時間発生させて車両を車線内に戻す操作を促します。



アドバイス

- 車両の移動方向に方向指示レバーを操作させているときは警報を行いません。

システムを ON/OFF するとき

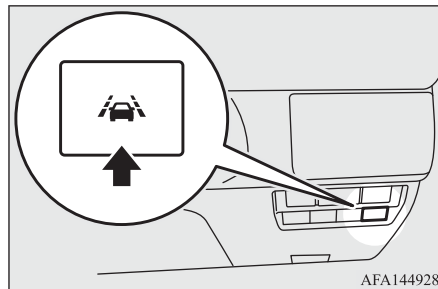
J10348000026

アドバイス

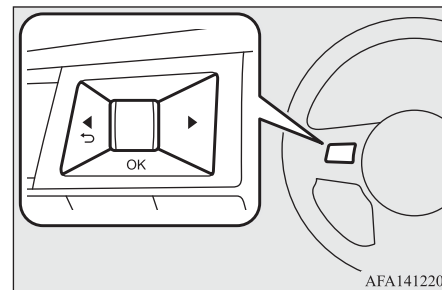
- エンジンスイッチの電源モードを OFF にするとシステムは OFF になります。

LDP スイッチで切り換えるには

LDP スイッチを押すと LDP 表示灯が点灯し、システムが ON になります。もう一度 LDP スイッチを押すと、LDP 表示灯が消灯し、システムが OFF になります。



インフォメーション画面で切り換えるには



1. マルチインフォメーションディスプレイのメインメニューから ◀ または ▶ スイッチを押して、「設定」を選びダイヤルスイッチを押します。設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからダイヤルスイッチを回して、「運転支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
→「マルチインフォメーションディスプレイ」P.4-39
3. ダイヤルスイッチを回して、「車線逸脱」を選びダイヤルスイッチを押します。
4. ダイヤルスイッチを回して、「車線逸脱防止」を選びダイヤルスイッチを押します。

5. LDP 設定画面が表示されるので、ダイヤルスイッチを回して、「OFF」または「ON」を選択します。
ダイヤルスイッチを押すことで、LDP の ON/OFF を切り換えることができます。

システムが一時的に作動しないときは

J10348100027

車両のコンディションにより、システムが一時的に作動しない場合があります。各コンディションの処置方法に従い、システムを作動してください。

コンディション A

次の場合、警報やブレーキ制御の機能が働きません。

- 車線変更のために方向指示レバーを操作しているとき（方向指示レバーを戻した後も約 2 秒間は車線を逸脱してもシステムは作動しません。）
- 車速が約 60km/h 未満のとき

上記の状態が解消されると、システムは自動的に作動を再開します。

コンディション B

次の場合、ブレーキ制御の機能が働きません。（警報は作動します）

- ブレーキペダルを踏んだとき
- 車線を変えるために必要なだけハンドルを切ったとき
- LDP システム作動中に、車両を加速したとき
- 非常点滅灯が作動しているとき
- 高速でカーブを曲がる時

上記の状態が解消されると、システムは自動的に作動を再開し、ブレーキ制御機能が働きます。

コンディション C

次の場合、ブレーキ制御の機能が働きません。

- 警告メッセージ：「滑りやすい路面のため現在使用できません」
 - ・アクティブスタビリティ & トラクションコントロール [ASTC]（トラクションコントロール機能以外）または ABS が作動したとき
- 警告メッセージ：「作動範囲外のため現在使用できません」

- ASTC を OFF にしたとき
- ドライブモードが「GRAVEL」、「SNOW」、「MUD」または「SAND」のとき

システムの停止した状態が解消されたら、次の方法で処置してください。

1. LDP スwitchを押して、LDP を OFF にします。
2. 再度、LDP スwitchを押して、LDP を ON にします。

高温による一時的な作動不良

炎天下に駐車したときなど、車両が高温状況のときは、インフォメーション画面に警告が表示され、一時的に作動が停止します。

カメラの温度が規定の範囲内になると、警告表示は消えて、システムは自動的に再開します。

システムに異常があるときは

J10348200028

システムに異常があるときは、インフォメーション画面に「システム故障 取扱説明書を見てください」が表示され、LDP 機能は自動的に停止します。

警告が表示されたときは、次の方法で処置してください。

1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
2. エンジンスイッチの電源モードを ON にします。

再び警告が表示される場合は、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

カメラの取り扱い

J10348300029

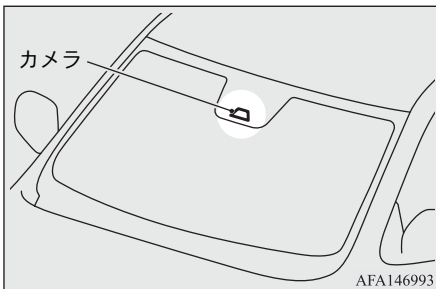
フロントガラス上部にカメラが装備され、LDP システムで使用しています。

→「カメラおよびセンサーの取り扱い」P.4-81

オートマチックハイビーム [AHB]

J10337600093

オートマチックハイビーム [AHB] は、カメラにより先行車または対向車のランプや街路灯などの明るさを検知して、ヘッドライトが上向き（ハイビーム）のときに下向き（ロービーム）への切り換えや上向き（ハイビーム）への復帰を自動的にに行います。




警告

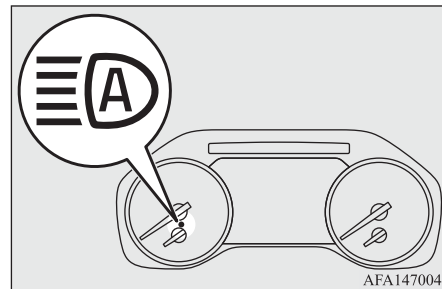
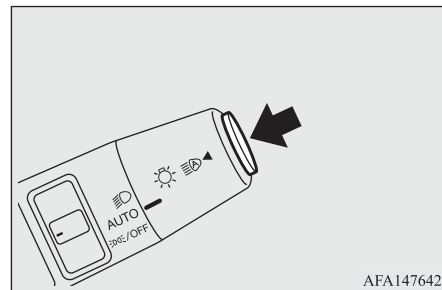
- 状況によっては、ハイビームとロービームが自動で切り換わらない場合があります。システムを過信せず、周囲の状況に応じて手動でハイビームとロービームを切り換えてください。
→「ライトスイッチ：上下切り換え」P.4-67

使い方

1. エンジンスイッチの電源モードが ON のときに、レバー先端のつまみを AUTO の位置にします。
→「ライトスイッチ」P.4-64
2. AHB スイッチを押します。
AHB 表示灯が点灯し、システムが ON になります。

オートマチックハイビーム [AHB]

もう一度 AHB スイッチを押す、またはライトスイッチを  位置にすると、AHB 表示灯が消灯し、システムが OFF になります。



アドバイス

- AHB が ON でロービームのとき、ライトスイッチを車両後方に引くとパッシングになります。（AHB は ON を維持します）

アドバイス

- ライトスイッチは車両前方に押しでも車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

自動切り換えの条件

次の条件をすべて満たしたときに、ハイビームが点灯します。

- 自車の速度が約 30km/h 以上のとき
- 車両の前方が暗いとき
- 先行車または対向車がない、またはランプを点灯していないとき

次の条件のいずれかのときは、ロービームが点灯します。

- 自車の速度が約 25km/h 以下のとき
- 車両の前方が明るいとき
- 先行車または対向車がランプを点灯しているとき

手動での上下の切り換えかた

■ 下向きに切り換えるとき

ライトスイッチを車両後方に引きます。

手動でロービームに切り換わり、AHB が OFF になります。

■ 上向きに切り換えるとき

ライトスイッチを車両前方に押します。
手動でハイビームに切り換わり、AHB が OFF になります。

アドバイス

- AHBをONにするには、AHBスイッチを押します。
- 次の状況では、ハイビームが自動でロービームに切り換わらない場合があります。
 - ・連続するカーブや中央分離帯、標識、街路樹などで先行車または対向車が見え隠れするとき
 - ・見通しの悪いカーブなど、突然対向車とすれ違ったとき
 - ・他車が前方を横切ったとき
- 街路灯や信号、広告などの照明や標識、看板などの反射物により、ハイビームがロービームに切り換わる場合や、ロービームが継続する場合があります。
- 次の原因により、ハイビームとロービームの切り換えのタイミングが変化する場合があります。
 - ・先行車または対向車のランプの明るさ
 - ・先行車または対向車の動きや向き

アドバイス

- 先行車または対向車のランプが片側のみ点灯しているとき
- 先行車または対向車が二輪車のとき
- 道路の状況（勾配やカーブ、路面状況など）
- 乗車人数や荷物の量
- AHBは車両前方のランプの明るさなどで周囲の状況を認識するため、ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切り換わる場合があります。
- 自転車などの軽車両は検知しない場合があります。
- 次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが先行車や対向車の迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切り換えてください。
 - ・悪天候のとき（大雨、霧、雪、砂嵐など）
 - ・フロントガラスが汚れているときや、曇っているとき
 - ・フロントガラスにひび割れや破損があるとき
 - ・カメラが変形しているときや、汚れているとき
 - ・周囲にヘッドライトや尾灯などに似た光があるとき
 - ・先行車または対向車のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があったり光軸がずれているとき
 - ・急激な明るさの変化が連続するとき

📖 アドバイス

- 起伏や段差が多い道路を走行しているとき
- カーブが多い道路を走行しているとき
- 車両前方に標識やミラーのように光を強く反射する物があるとき
- 先行車または対向車のランプが他の光と混在しているとき
- コンテナなど、先行車の後部が光を強く反射するとき
- 自車のヘッドライトが破損または汚れているとき
- バンクやけん引などにより車両が傾いているとき
- 警告が表示されているとき
→「警告表示」P.4-52
- 使用環境を良い状態に保つために、次のことを守ってください。
 - フロントガラスは、いつもきれいにしておく
 - カメラに強い衝撃や力を加えない、また、分解しない
 - カメラ前のフロントガラスにシールなどを貼らない
 - フロントワイパーを交換する場合は、三菱自動車純正品を使用する
- 事故などでカメラが故障している場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

AHB を OFF にする方法

J10354500026

次のいずれかの操作をすると、AHB が OFF になります。

- AHB が制御中のとき
 - AHB スイッチを押す
 - ライトスイッチをⒺ位置にする
 - ライトスイッチを車両前方に押す（手でハイビームに切り換え）
 - ライトスイッチを車両後方に引く（手でロービームに切り換え）
- AHB が制御していないとき
 - AHB スイッチを押す
 - ライトスイッチをⒺ位置にする
 - ライトスイッチを車両前方に押す（手でハイビームに切り換え）

システムに異常があるとき

J10354600027

フロントガラスが汚れたときや、炎天下や極寒の環境などで、カメラの検知性能が低下したと判断したときは、AHB は一時的に機能を停止します。作動できる状態になると、AHB は自動的に再開します。

AHB が正しく作動しなかったり、AHB 作動中メーター内にAHB表示灯が点灯しな

いときは、AHB が故障している可能性がありますので、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

カメラの取り扱い

J10358800027

フロントガラス上部にカメラが装備され、AHB で使用しています。

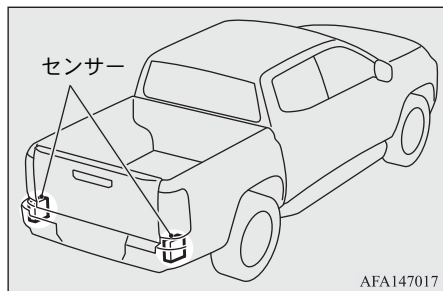
→「カメラおよびセンサーの取り扱い」P.4-81

後側方車両検知警報システム（レーンチェンジアシスト機能付）[BSW/LCA]

J10355900027

BSW: Blind Spot Warning
LCA: Lane Change Assist

後側方車両検知警報システム [BSW] は、隣接車線の後方から自車に接近している車両の存在を知らせることによって、車線変更時の後方確認を援助するシステムです。

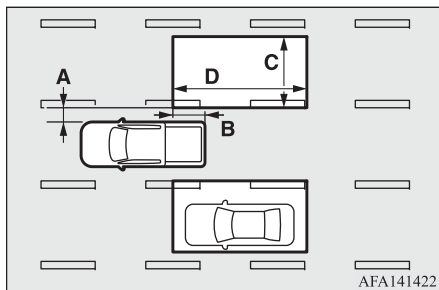


リヤバンパーの内側に 2 つのセンサーがあり、隣接車線の車両を検知します。

警告

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。BSW は、ドアミラーによる周囲の検知を代わりに行ったり、車両や障害物との接触を防ぐ機能ではありません。車線変更を行うときは、機能に頼った確認をせず、必ずドアミラーおよびルームミラーで側方および後方の安全を確認してください。
- BSW を過信しないでください。本システムの作動は、走行状態、道路環境、ハンドル、アクセル、ブレーキなどの操作など、様々な条件によってその効果は変化し、常に同じ性能が発揮できるわけではありません。

車両検知範囲



センサーは、自車両の左右にある検知範囲内にある車両を検知します。センサーが検知できる範囲を図に示します。

- A：約 0.5m
- B：約 1.0m
- C：約 3.0m
- D：約 6.0m

注意

- センサーは次のような障害物は検知しません。
 - ・歩行者、自転車、動物など
 - ・対向車
- 次のようなときは、BSW が作動しない、または作動が遅れることがあります。
 - ・背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両

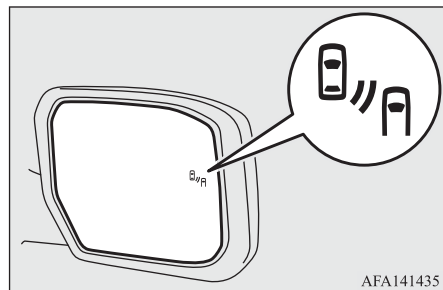
注意

- 停車状態から検知範囲に居続ける車両
- 合流や車線変更で自車両の横にはほぼ同じ速度で移動してきた車両
- 後方から速い速度で接近してくる車両
- 自車両が速い速度で追い越した車両
- センサーの検知範囲は標準的な車線幅の道路に合わせて設計しています。したがって、幅の広い車線を走行している場合は、隣の車線にいる車両を検知できなかったり、幅の狭い車線を走行している場合は、2 つ隣の車両を検知したりすることがあります。
- センサーは静止している障害物を検知しないよう設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、植物、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。
- 悪天候（雨、雪、霧など）や水、雪、砂などの巻き上げが発生して視界が悪いときは隣の車線の車両を検知できないことがあります。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

BSW の作動

BSW は車速約 10km/h 以上で作動しません。

自車の斜め後ろを走行している車両をセンサーが検知すると、ドアミラー鏡面にある警告灯が点灯します。



この状態で警告灯が点灯している側に方向指示レバーを操作すると、警告灯が点滅すると同時にブザーが2回鳴り運転者に危険を知らせます。

また、隣接車線の後方から、自車に接近している車両をセンサーが検知したときにも、同様に運転者に危険を知らせます。（レーンチェンジアシスト機能 [LCA]

ドアミラー鏡面の表示灯はエンジンスイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。

ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって切り換わります。

警告灯の作動状況

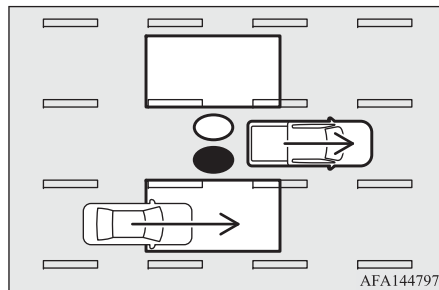
J10356200027

後方から車両が接近してくる状況により、ドアミラー鏡面にある警告灯が換わります。

- 警告灯点灯： ●
- 警告灯消灯： ○
- 警告灯点滅： ◐

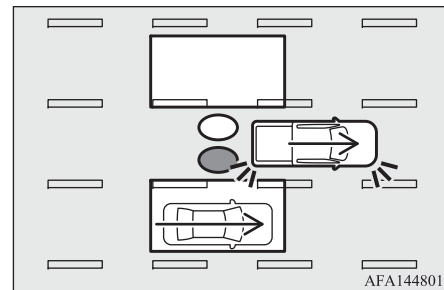
後方から車両が接近してくるとき

後方から車両が接近してくる場合、その車両が検知範囲内に入るとドアミラー鏡面にある表示灯が点灯します。



車両を検知しているときに、検知している側に方向指示レバーを操作すると警報

音（ブザー）が鳴ると同時に、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。



4

注意

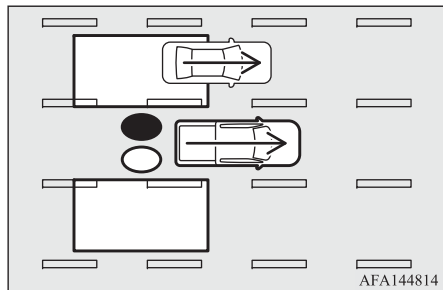
- 自車より極端に速い速度で接近してくる車両は検知できないことがあります。車線変更を行うときは、必ずドアミラーおよびルームミラーを確認して、周囲の安全に注意してください。

アドバイス

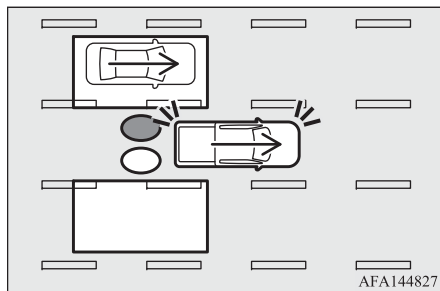
- 後側方車両が検知範囲内に侵入する前に、自車が方向指示レバーを操作している場合は、ドアミラー鏡面の表示灯は点灯しますが、警報は鳴りません。

他の車両を追い越すとき

他の車両を追い越すとき、追い越される車両が検知範囲内に約 2 秒以上とどまるとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。



車両を検知し表示灯が点灯しているときに、検知している側に方向指示レバーを操作すると警報音（ブザー）が鳴るとともに、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。

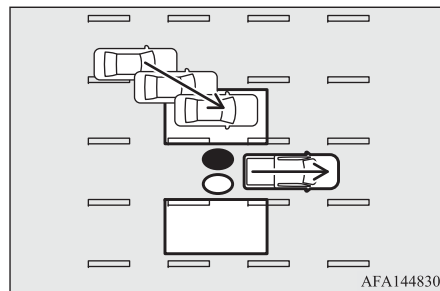


アドバイス

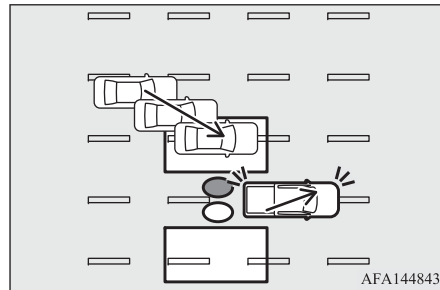
- 複数の車両を連続して追い越すとき、追い越す車両の車間距離が短い場合は、1台目の車両以外が検出されないことがあります。
- 速度の遅い車両を素早く追い越したときはシステムが検知しません。

他の車線から車両が接近してきたとき

車線変更などで車両が接近してきたときは、検知範囲内に入るとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。



車両を検知しているときに、検知している側に方向指示レバーを操作すると警報音（ブザー）が鳴るとともに、ドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。



アドバイス

- 自車とほぼ同じ速度で走行する車両が車線変更してきた場合、検出できないことがあります。

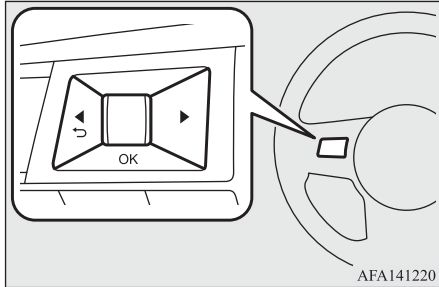
アドバイス

- 後側方車両が検知範囲内に侵入する前に、自車が方向指示レバーを操作している場合は、ドアミラー鏡面の表示灯は点灯しますが、警報は鳴りません。

BSW を ON/OFF するときは

J10356300028

インフォメーション画面より BSW の ON/OFF を切り換えることができます。ON/OFF を切り換えるには、次の手順を行ってください。



AFA141220

1. マルチインフォメーションディスプレイのメインメニューから ◀ または ▶ スイッチを押して、「設定」を選びダイヤルスイッチを押します。設定メニューが表示されます。

2. 設定メニューからダイヤルスイッチを回して、「運転支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
→「マルチインフォメーションディスプレイ」P.4-39
3. ダイヤルスイッチを回して、「後側方車両検知」を選びダイヤルスイッチを押します。
4. ダイヤルスイッチを回して、「後側方車両検知警報」を選びダイヤルスイッチを押します。
5. BSW 設定画面が表示されるので、ダイヤルスイッチを回して、「ON」または「OFF」を選択します。
ダイヤルスイッチを押すことで、BSW の ON/OFF を切り換えることができます。

アドバイス

- エンジンスイッチの電源モードを OFF にしてもシステムの作動状態 (ON または OFF) を記憶しています。

システムが一時的に作動しないときは

J10356400029

次の場合はブザーが鳴ると同時に、インフォメーション画面に「サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてく

ださい」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。

- センサー周辺のバンパー表面が汚れているとき
- センサー周辺のバンパー表面に雨、雪、氷などが付着しているとき

上記の状態が解消されるまで、システムは作動しません。

アドバイス

- BSW が機能停止すると、後退時交差車両検知警報システム [RCTA] も機能を停止します。

システムが停止した状態が解消されたら、自動的に作動を再開します。三菱自動車純正トレーラーヒッチハーネスを使用してトレーラーをけん引しているときは、BSW システムは自動的に停止します。

システムに異常があるときは

J10356500020

システムに異常があるときは、インフォメーション画面に BSW 表示および警告メッセージが表示され、BSW 機能は自動的に停止します。

BSW 表示



アドバイス

- BSW が機能停止すると、RCTA も機能を停止します。

4

BSW 表示が表示されたときは、次の方法で処置してください。

1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
2. エンジンスイッチの電源モードを ON にします。

再び BSW 表示が表示される場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

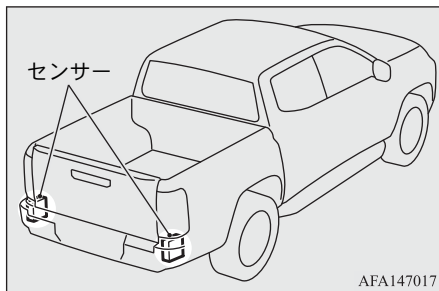
センサーの取り扱い

J10356600021

BSW はリヤバンパーの内側にある2つのセンサーを使用しています。センサー周辺のバンパー表面は常にきれいにしてください。次のシステムで使用されます。

4-104 運転するときは

- 後退時交差車両検知警報システム [RCTA]



- システムを正常に作動させるため、次のことをお守りください。
 - ・センサー周辺のバンパー表面をいつもきれいにしておく
 - ・センサーやその周辺に強い力や衝撃を与えない
 - ・センサーやその周辺のバンパーにステッカーを貼り付けない
 - ・センサーやその周辺のバンパーを塗装しない
 - ・センサーやその周辺に金属製のアクセサリーなどを取り付けない
 - ・センサーやその周辺を改造しない

バンパーをぶつけたときは、センサーの損傷によってシステムが正しく機能しなくなることがありますので、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



R 203 -JN0984

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:
203-JN0984
本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)



R 219 -220008

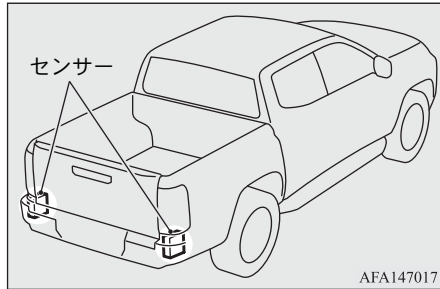
本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:
219-220008
本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

後退時交差車両検知警報システム [RCTA]

J10349100024

RCTA: Rear Cross Traffic Alert

後退時交差車両検知警報システム [RCTA] は、後退時に後方を横切ろうとする車両に衝突するおそれがあるとき、警報と表示によって注意を促します。



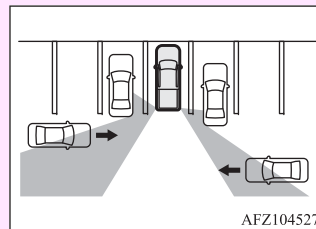
リアバンパーの内側に 2 つのセンサーがあり、後方を横切ろうとする車両を検知します。センサーは、約 20m 先から近づいてくる車両を検知します。

警告

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。RCTA は、運転者の代わりに周囲を確認したり、車両と障害物との接触を防止する機能ではありません。駐車スペースから後退するときは、機能に頼らず、必ず運転者自身で周囲の安全を確認してください。

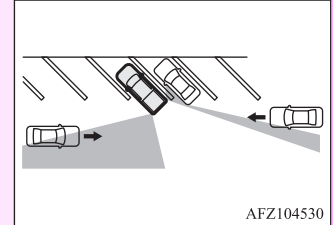
注意

- 後退する前に、必ず目視で周囲の状況を確認してください。センサーは接近している（動いている）車両を検知します。次のようなものは検知できません。
 - 歩行者、自転車、動物など
 - 約 30km/h 以上の速度で通過する車両
 - 約 8km/h 以下の速度で通過する車両
- 次のような状況では、センサーが接近する車両を検知できないことがあります。
 - 隣に駐車している車両などが、センサーの検出エリアを妨げているとき

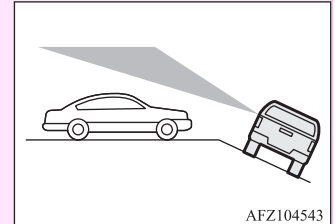


注意

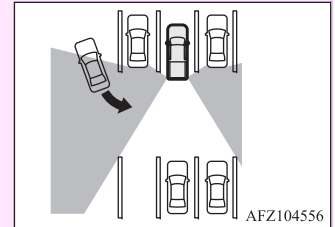
- 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき



- 傾斜した地面に駐車しているとき

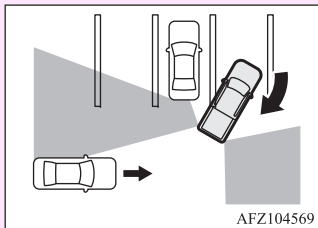


- 回り込むようにして自車両後方へ車両が接近してきたとき



⚠ 注意

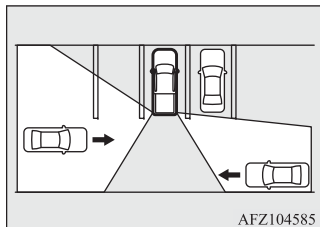
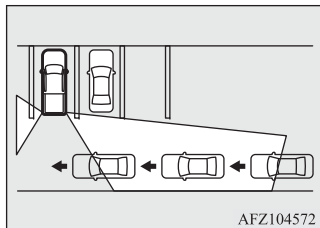
- 接近してきた車両の向きが、自車両の向きと同じまたはそれに近いとき



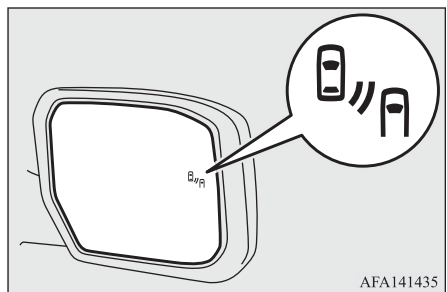
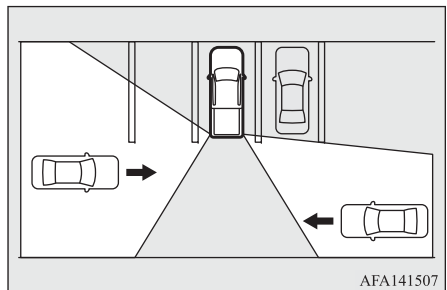
- 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
- 水しぶきが上がっているとき
- 雪や氷、泥などがセンサー周辺に付着しているとき
- センサー周辺にステッカー（透明なステッカーを含む）を貼り付けたとき
- センサー周辺に金属類を取り付けたとき
- センサー周辺に純正品以外のアクセサリを取り付けたとき
- センサー周辺を追加塗装したとき
- センサーは静止している障害物を検知しないように設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、駐車された車両などを検知することがあります
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

📖 アドバイス

- 複数の車両が連続して後方を通過する場合や、最初に検知した車両と逆方向から車両が接近してきた場合は、2 台目以降に対して警報が作動しない場合があります。



ドアミラー鏡面にある警告灯が点滅し
ます。
ドアミラー鏡面の表示灯はエンジンス
イッチの電源モードを ON にすると点灯
し、数秒後に消灯します。
ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両
周囲の明るさによって切り換わります。



RCTA の作動

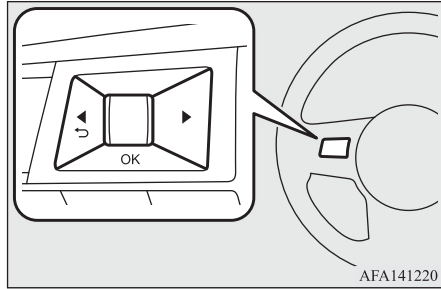
J10349200025

RCTA はセクターレバーが **R** の位置の
とき、車速約 12km/h 以下で作動します。
後方を横切ろうとする車両をセンサーが
検知すると、警報音（ブザー）とともに、

RCTA を ON/OFF するときは

J10349300026

インフォメーション画面より RCTA の ON/OFF を切り換えることができます。ON/OFF を切り換えるには、次の手順を行ってください。



AFA141220

1. マルチインフォメーションディスプレイのメインメニューから ◀ または ▶ スイッチを押して、「設定」を選びダイヤルスイッチを押します。設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからダイヤルスイッチを回して、「運転支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
→ 「マルチインフォメーションディスプレイ」 P.4-39
3. ダイヤルスイッチを回して、「後退時交差車両検知警報システム」を選びダイヤルスイッチを押します。

4. RCTA 設定画面が表示されるので、ダイヤルスイッチを回して、「ON」または「OFF」を選択します。ダイヤルスイッチを押すことで、RCTA の ON/OFF を切り換えることができます。

アドバイス

- エンジンスイッチの電源モードを OFF にしてもシステムの作動状態 (ON または OFF) を記憶しています。

システムが一時的に作動しないとき

J10349400027

次の場合はブザーが鳴ると同時に、インフォメーション画面に「サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。

- センサー周辺のバンパー表面が汚れているとき
- センサー周辺のバンパー表面に雨、雪、氷などが付着しているとき

上記の状態が解消されるまで、システムは作動しません。

アドバイス

- 後方方車両検知警報システム [BSW] が機能停止すると、RCTA も機能を停止します。

システムが停止した状態が解消されたら、自動的に作動を再開します。三菱自動車純正トレーラーヒッチハーネスを使用してトレーラーをけん引しているときは、RCTA システムを自動的に停止します。

システムに異常があるときは

J10349500028

システムに異常があるときは、インフォメーション画面に BSW 表示および警告メッセージが表示され、RCTA 機能は自動的に停止します。

BSW 表示



アドバイス

- BSW が機能停止すると、RCTA も機能を停止します。

ふらつき警報 [DAA]

BSW 表示が表示されたときは、次の方法で処置してください。

- 1.安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
- 2.エンジンスイッチの電源モードを ON にします。

再び BSW 表示が表示される場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

センサーの取り扱い

J10349600029

RCTA はリヤバンパーの内側にある 2 つのセンサーを使用しています。センサー周辺のバンパー表面は常にきれいにしてください。



R 203 -JN0984

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:

203-JN0984

本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)



R 219 -220008

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:

219-220008

本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

ふらつき警報 [DAA]

J10349700020

DAA: Driver Attention Alert

ふらつき警報 [DAA] は、ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、インフォメーション画面の表示と警報音により運転者に休憩を促します。

⚠ 警告

- DAA には限界がありますので、機能を過信しないでください。

⚠ 警告

- このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故に至る危険があるため、運転前に十分に休憩をとり、安全運転に努めてください。

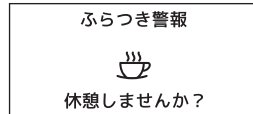
⚠ 注意

- 次のような場合は、DAA の検知が遅れたり、検知できないことがあります。
 - ・ひどい道路状況 (凹凸のある路面やポットホールなど) のとき
 - ・強い横風のとき
 - ・コーナリングスピードが高速または急加速をするとき
 - ・頻繁に車線変更や車速を変えるとき
- 次のような場合は、DAA は検知できません。
 - ・車速が約 60km/h 未満のとき
 - ・システムが検知できないほど軽微な不注意のとき
 - ・物を落としたときなど、瞬間的なよそ見をしたとき

DAA システムの作動

車速約 60km/h 以上で走行中、運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに、警報音とともにイン

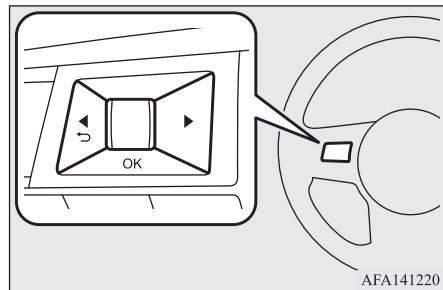
フォーメーション画面に「休憩しませんか?」と警告メッセージを表示します。



エンジンスイッチの電源モードをOFFからONするたびにシステムがリセットして、運転姿勢とステアリング動作を再検知します。

DAA システムを ON/OFF するときは

インフォメーション画面よりDAAシステムのON/OFFを切り換えることができます。ON/OFFを切り換えるには、次の手順を行ってください。



AFA141220

1. マルチインフォメーションディスプレイのメインメニューから◀または▶スイッチを押して、「設定」を選びダイヤルスイッチを押します。設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからダイヤルスイッチを回して、「運転支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
→「マルチインフォメーションディスプレイ」P.4-39
3. ダイヤルスイッチを回して、「ふらつき警報」を選びダイヤルスイッチを押します。
4. DAA 設定画面が表示されるので、ダイヤルスイッチを回して、「ON」または「OFF」を選択します。
ダイヤルスイッチを押すことで、DAAのON/OFFを切り換えることができます。

アドバイス

- DAA システムを OFF にしても、エンジンスイッチの電源モードを OFF から ON にすると、ON に切り換わります。

システムに異常があるときは

システムに異常があるときは、インフォメーション画面に「システム故障 取扱説

明書を見てください」が表示され、DAA機能は自動的に停止します。警告が表示されたときは、次の方法で処置してください。

1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
2. エンジンスイッチの電源モードをONにします。

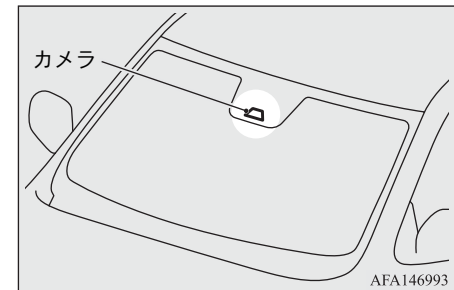
再び警告が表示される場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

標識認識システム [TSR]

J1034980021

TSR: Traffic Sign Recognition System

標識認識システム [TSR] は、ドライバーに検知した最新の標識情報を提供します。標識情報はインフォメーション画面に表示されます。



AFA146993

フロントガラス上部のカメラにより標識を検知します。

警告

- TSR は、運転者の安全運転をサポートする機能です。TSR には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。
- 運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

注意

- 次のような場合は、TSR が正しく機能しないことがあります。
- カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、虫汚れなどが付着しカメラの視界がさえぎられているとき
- 夜間やトンネル内などでヘッドライトを点灯していない、あるいはヘッドライトのレンズが極端に汚れているとき
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- 隣を走る車で視界がさえぎられているとき
- 夜間で標識に自車のヘッドライトの光が届きにくい位置にあるとき
- カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき

注意

- 前方車両から反射した強い光（太陽光など）を受けているとき
- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 標識が曲がり角やカーブの先にあるとき
- 標識の周辺が煩雑で標識を認識しにくいとき
- 標識が自車から遠く離れた位置にあるとき
- 標識が色あせたり、折れ曲がっているとき
- 標識が破損しているなど形状が変わってしまっているとき
- 標識が泥、雪、または霜などで覆われたとき
- 標識の一部が樹木や汚れなどによって隠れて不明瞭なとき
- 標識に光（街灯など）や影が映り込んでいるとき
- 標識が大きすぎたり、小さすぎたりするとき
- 標識が低すぎたり、高すぎたりするとき

注意

- 標識が明るすぎたり、暗すぎたりしたとき
- カメラの向きがずれているとき
- 起動してから約15秒間は標識を検知しません。
- 次のような場合は、標識の検知が適正に行えず、実際の規制内容とは異なるものを表示したり、実際には対象となる標識がないのに表示したりすることがあります。
- 数字が認識しにくい標識（数字が消えかかっているなど）
- 検知対象となる標識の色、形に似たものが周辺にある場合（類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物など）
- 自車の路線に対しての標識ではないが、自車の路線付近にあり、その標識が自車の路線に向いている場合（本線から分岐する側道の最高速度標識など）



- コントラストが低い電光標識

⚠ 注意

- 数字が認識しにくい電光標識（遠く離れた位置にある標識、3桁の標識など）
- 標識の近傍に補助標識（区間の始まり、終わり、曜日、時間）があるとき
- 工事などの通行規制区間に標識があるとき
- ナビゲーションシステムの地図データが最新ではない、または利用できないとき
- ナビゲーションシステムが推奨するルートを走行していないとき
- ナビゲーションシステムが新しいルートを検索しているとき
- ナビゲーションシステムの位置検出が正しく行えないとき
- ナビゲーションシステムの地図にない道路を走行しているとき
- 車両前方に交通標識がない場合でも、TSRシステムに交通標識を表示する場合があります。
- 状況によっては、TSRがスマートフォン連携ナビゲーションとは異なる交通標識を表示する場合があります。
- 標識の近傍にある補助標識は検知しないため、実際の規制内容と異なる表示をする場合があります。必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

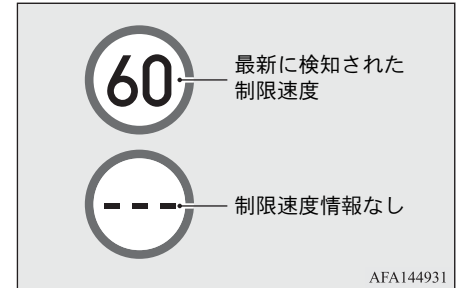
⚠ 注意**📖 アドバイス**

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

TSR の作動

J10349900022

検知した標識を次のように表示します。

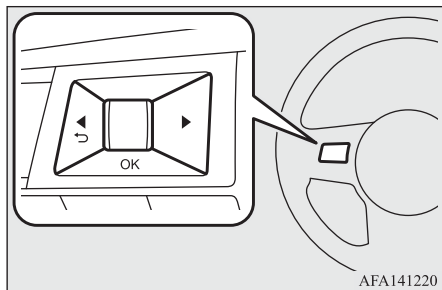


- スマートフォン連携ナビゲーションに最高速度標識のデータがあり、最高速度標識を検知しない場合には、スマートフォン連携ナビゲーションに記録されている情報をインフォメーション画面に表示します。
- 次の場合は、最高速度標識の表示が切り換わります。
 - 表示中の最高速度と異なる最高速度標識を検知したとき
- 次の場合は、最高速度標識の表示を終了し“---”が表示されます。
 - 最高速度標識を検知し、車両がその標識を通過してから一定の距離を走行したとき
 - 右左折などで走行している路線が変わったとシステムが判断したとき

TSR を ON/OFF するとき

J10350100024

インフォメーション画面より TSR システムの ON/OFF を切り換えることができます。ON/OFF を切り換えるには、次の手順を行ってください。



1. マルチインフォメーションディスプレイのメインメニューから◀または▶スイッチを押して、「設定」を選びダイヤルスイッチを押します。設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからダイヤルスイッチを回して、「運転支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
→「マルチインフォメーションディスプレイ」P.4-39
3. ダイヤルスイッチを回して、「道路標識」を選びダイヤルスイッチを押します。

4-112 運転するとき

4. TSR 設定画面が表示されるので、ダイヤルスイッチを回して、「ON」または「OFF」を選択します。
5. ダイヤルスイッチを押すことで、TSR の ON/OFF を切り換えることができます。

アドバイス

- エンジンスイッチの電源モードを OFF にしてもシステムの作動状態（ON または OFF）を記憶しています。

システムが一時的に作動しないときは

J10350200025

炎天下に駐車したときなど、車両が高温状況のときは、インフォメーション画面に警告が表示され、一時的に作動が停止します。室内の温度が下がると、自動的に作動を再開します。

システムに異常があるときは

J10350300026

システムに異常があるときは、インフォメーション画面に「システム故障 取扱説明書を見てください」が表示され、TSR 機能は自動的に停止します。

警告が表示されたときは、次の方法で処置してください。

1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
2. エンジンスイッチの電源モードを ON にします。

再び警告が表示される場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

カメラの取り扱い

J10350400027

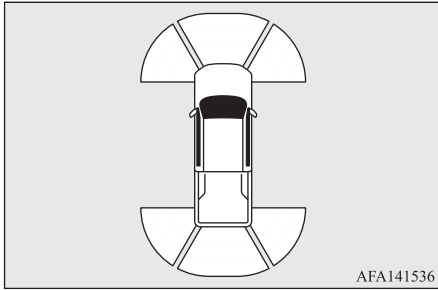
フロントガラス上部にカメラが装備され、TSR で使用しています。

→「カメラおよびセンサーの取り扱い」P.4-81

パーキングセンサー（フロント／リヤ）

J10326500063

パーキングセンサーは車両が障害物に近づくと、ブザー音で運転者に知らせる装置です。また、「センサー自動表示」の設定が ON のとき、インフォメーション画面は自動的にパーキングセンサービューに切り換わります。

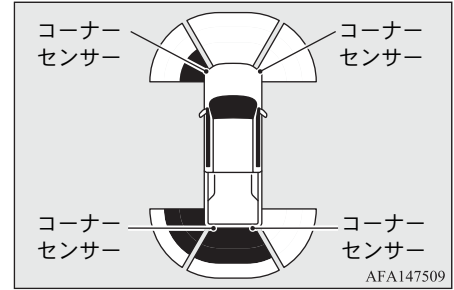


センサーおよびセンサー周辺をぶつけたときは、パーキングセンサーが正しく機能しなくなります。また、センサーやその周辺に雨、氷、雪または泥などが付着していると、メーターに警告を表示します。

→「インフォメーション画面表示」P.4-52

パーキングセンサーの作動

J10350500028

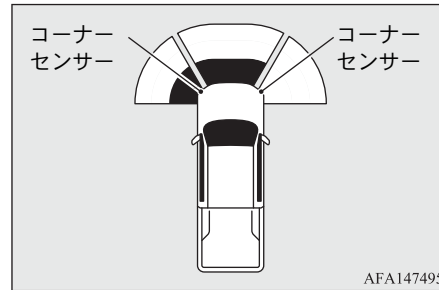


警告

- パーキングセンサーは車と障害物とのおおよその距離の確認を補助する装置です。感知できる範囲および物体は限られています。障害物によっては、正確に感知しないことがありますので、過信せずパーキングセンサーが付いていない場合と同じように慎重に運転してください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。パーキングセンサーだけを頼りに運転しないでください。
- バンパーにへこみなどがあると正確な距離が測定できず、誤検知する場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。また、タイヤサイズの違いにより正常に作動できない場合があります。
- 純正以外の部品を取り付けたとき、正常に作動できない場合があります。

システムは障害物を検知したときに、センサー表示とブザーで警告します。

- セレクトーレバーを①にすると前方の障害物との状況を表示します。



- セレクトーレバーを②にすると前方の障害物との状況を表示します。

システムは 10km/h 以下のときに作動します。

障害物はコーナーセンサーのみで検知され、その障害物との距離が変化しないときは、数秒後にブザーが止まります。また、障害物が車両から離れたときもブザーが止まります。

第一段階の警報は緑色の点滅で表示します。ブザーは鳴りません。

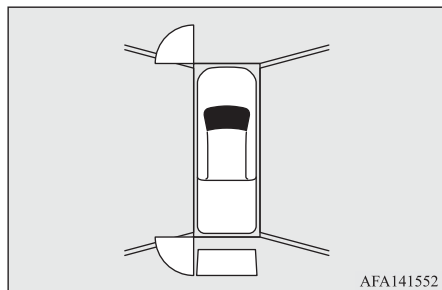
第二段階の警報は緑色の点滅表示と間隔の長い断続音で警告します。コーナーセンサーの警告は第二段階から始まりません。

さらに障害物に近づくと表示は黄色となり、点滅と断続音の間隔が短くなります。障害物との距離が非常に近くなると表示は赤色の点灯に変わり、ブザーは連続音になります。

障害物との距離が遠ざかった場合はブザーが止まり、センサー表示のみとなり

パーキングセンサー（フロント／リア）

まず、障害物を検知しているときは、ステアリングのダイヤルスイッチで警告音をOFFにすることができます。



システムが障害物を検知したとき、スマートフォン連携ナビゲーションの画面にもセンサー表示が出ます。

⚠️ 注意

- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはパーキングセンサーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものにも、パーキングセンサーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。
- 次のような障害物には作動しません。
 - ・背の低い障害物
 - ・幅の狭い障害物
 - ・針金、金網、ロープなどの細い障害物

⚠️ 注意

- ・パーキングセンサーに非常に近い障害物
- ・急に進行方向に現れた障害物
- 次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - ・地面から高い位置に存在する障害物
 - ・スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- パーキングセンサーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。
 - ・雨、雪、氷、汚れなどがパーキングセンサーに付着しているとき
 - ・障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
 - ・リヤゲートを開けたまま走行しているとき
 - ・周囲に草が生い茂っているとき
 - ・車両側面の近くに壁があるとき
 - ・路面上に段差や突起物があるとき
 - ・垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
 - ・車両周辺に雪のかたまりがあるとき
 - ・周囲で大きな音が鳴っているとき
 - ・車両感応センサーやホーン、他車のパーキングセンサー、オートバイの排気音など超音波を発生するものが付近に存在するとき
 - ・炎天下や寒冷時

⚠️ 注意

- ・表面が一様でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸に形状を成している場合）
- ・急な坂道があるとき
- ・縁石などがあるとき
- ・タイヤ止めブロックがあるとき
- ・障害物の周辺が雪、泥、草などで覆われているとき
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- センサー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があってもパーキングセンサーが検知しないことがあります。（氷が解ければ、自動的に作動を再開します）
- センサーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、純正品以外のアクセサリなどを取り付けたりしないでください。
- 後席や荷台に極端に重い荷物を積んでいるときなど車体後部が下がっているときは、パーキングセンサーは路面上の段差などに作動して、警告をする場合があります。

📖 アドバイス

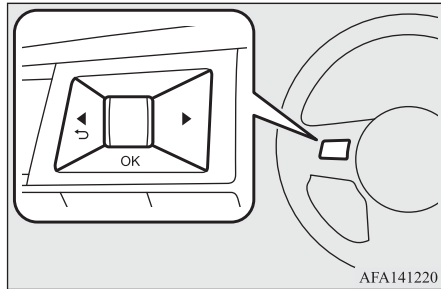
- システムを正しく作動させるためにパーキングセンサーはいつもきれいにしておいてください。

パーキングセンサーの設定

J10350600029

エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、セレクターレバーを **①** または **②** に入れると、システムは自動的に作動します。

パーキングセンサーシステムを設定するには、次の手順を行ってください。



AFA141220

1. マルチインフォメーションディスプレイのメインメニューから ◀ または ▶ スイッチを押して、「設定」を選びダイヤルスイッチを押します。設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからダイヤルスイッチを回して、「運転支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
→「マルチインフォメーションディスプレイ」P.4-39

3. ダイヤルスイッチを回して、「パーキングセンサー」を選びダイヤルスイッチを押します。
4. ダイヤルスイッチを回して、「センサー自動表示」を選びダイヤルスイッチを押します。
5. ダイヤルスイッチで次の項目を選択し、機能の設定を変更することができます。

- 移動物検知
移動物検知機能 [MOD] の ON/OFF を設定します。
→「移動物検知機能 [MOD]」P.4-130
- センサー自動表示
障害物に近づいたときの、割り込み表示の ON/OFF を設定します。
- 前方センサー
フロントセンサーの ON/OFF を設定します。
- 後方センサー
リヤセンサーの ON/OFF を設定します。
- センサー検知距離
センサー感度を、遠、中、近から選択します。
障害物をより遠い状態から検知させたいときは、センサー感度を「遠」に設定します。
- センサー音量

センサーの音量を、大、中、小から選択します。

パーキングセンサーを一時停止する

J10350700020

- パーキングセンサー作動中にステアリングのダイヤルスイッチやクロススイッチを押すと、パーキングセンサーを一時停止することができます。
- 以下の状態のときシステムは自動的に作動を再開します。
 - ・セレクターレバーを **②** に入れたとき
 - ・約 10km/h 以上で走行したとき

システムが一時的に作動しないときは

J10350800021

パーキングセンサーに異物が付着して検知機能が低下すると、システムは自動的に停止します。

異物を取り除くと、システムは復帰します。

パーキングセンサーが、水滴、霧やもやによって遮断され一時的に作動しない場合があります。また、氷、霜またはほこりが付着して検知機能が低下する場合があります。

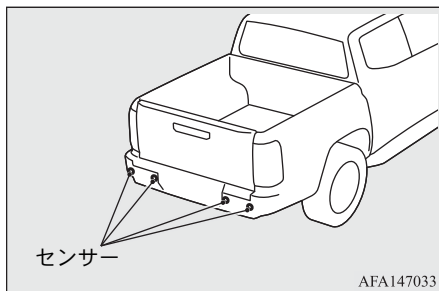
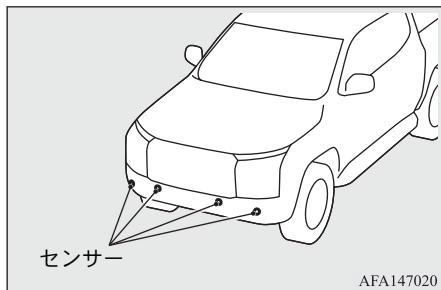
マルチアラウンドモニター

システムが停止した状態が解消されたら、自動的に作動を再開します。三菱自動車純正トレーラーヒッチハーネスを装着してトレーラーをけん引するときは、パーキングセンサーは自動で OFF になります。

パーキングセンサーの取り扱い

J10350900022

フロントバンパーおよびリヤバンパーに各 4 箇所ずつセンサーが装備されます。



システムの正しい作動のため、次のことをお守りください。取り扱いを誤ると、システムが正しく作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。

- センサーまたはその周辺はいつもきれいにしておいてください。
- 汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意して拭き取ってください。強い力で乾拭きしないでください。
- 高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、センサーから十分に離して使用してください。センサーを損傷するおそれがあります。
- センサーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、純正品以外のアクセサリなどを取り付けたりしないでください。故障、誤作動の原因になります。

- センサーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またセンサーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。

事故などでセンサーの取り付け部が破損、変形した場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

マルチアラウンドモニター

J10327000094

マルチアラウンドモニターは「ノーズビューカメラ」、「サイドビューカメラ（左右）」および「リヤビューカメラ」の 4 つのカメラの映像を組み合わせ、スマートフォン連携ナビゲーションに映像を表示させる装置です。

駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

⚠ 注意

- マルチアラウンドモニターは、車両周囲の安全を確認するための補助装置です。映像を表示できる範囲は限られていますので過信せず、マルチアラウンドモニターが付いていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。

⚠ 注意

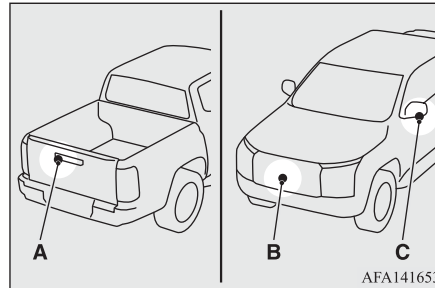
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。特に車両の四隅はマルチアラウンドモニターに障害物が映らない死角になります。マルチアラウンドモニターだけを頼りに運転しないでください。
- ドアミラーを格納した状態およびドアやリヤゲートを開いた状態では使用しないでください。適切な範囲を表示することができません。

📖 アドバイス

- パーキングセンサー付き車は、ブザー音とともにバードアイビュー、サイドビュー表示で障害物までの位置やおおよその距離を知らせる機能があります。詳しくは「パーキングセンサー（フロント/リヤ）」をお読みください。→パーキングセンサー（フロント/リヤ）P.4-112

カメラの取り付け位置

カメラは次の位置に内蔵されています。



- A- リヤビューカメラ
- B- ノーズビューカメラ
- C- サイドビューカメラ（左右）

⚠ 警告

- カメラの取り付け位置周辺に作動を妨げる物を取り付けしないでください。

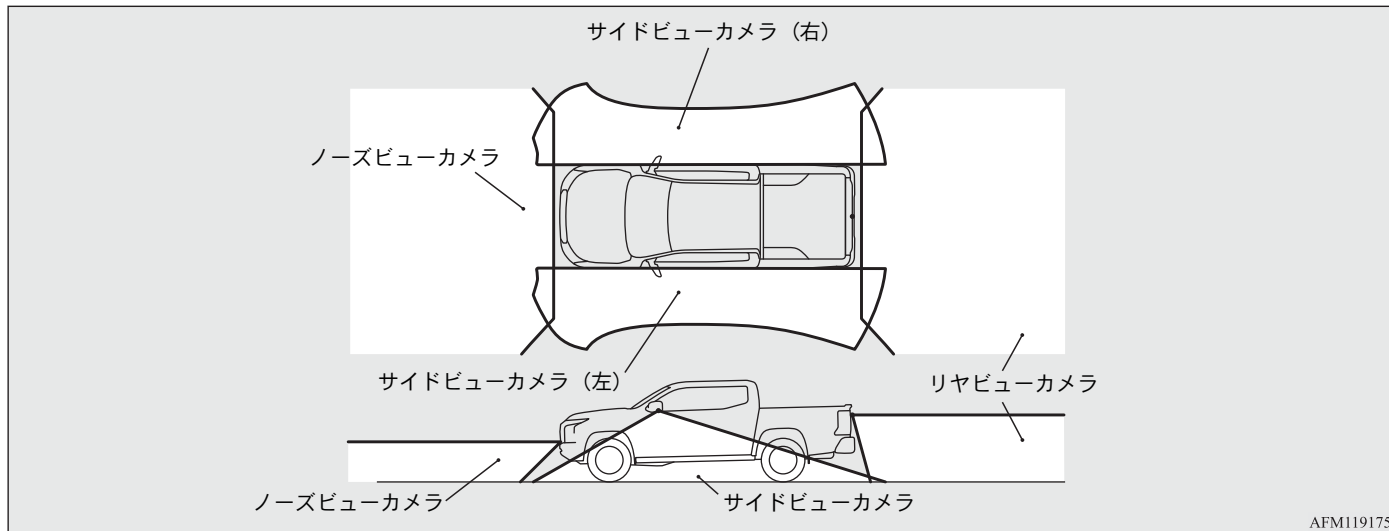
画面に表示できる範囲

J10327100082

カメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。また、前後バンパーの両端周辺および下部などは表示できませんので、必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

カメラの表示範囲

4



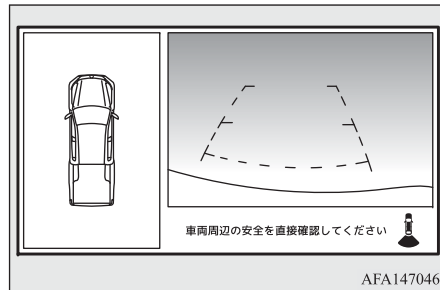
画面に表示できる映像の種類

J10327200096

左側画面と右側画面で構成して表示し
ます。

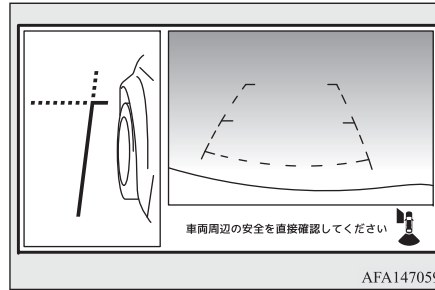
バードアイビュー／リヤビュー 表示

車両周囲および車両後方の映像を表示
します。



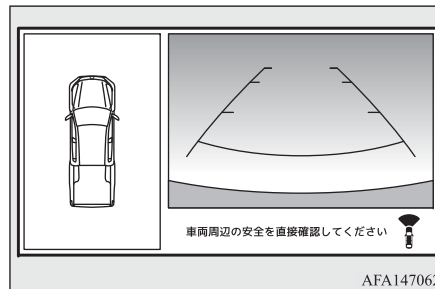
サイドビュー／リヤビュー表示

助手席側車両側方および車両後方の映像
を表示します。



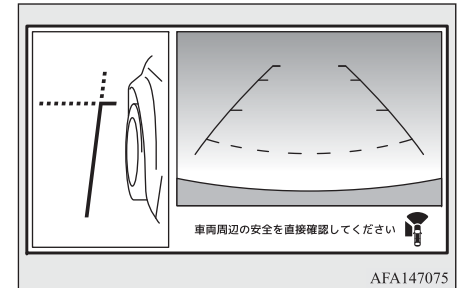
バードアイビュー／ノーズ ビュー表示

車両周囲および車両前方の映像を表示
します。



サイドビュー／ノーズビュー表 示

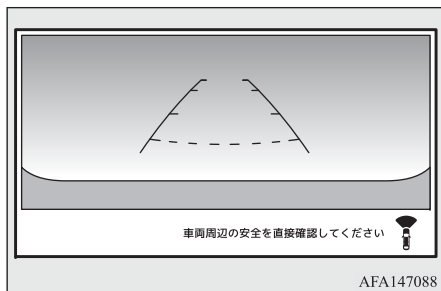
助手席側車両側方および車両前方の映像
を表示します。



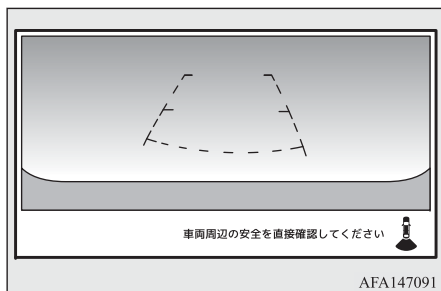
ノーズワイドビュー／リヤワイド ビュー表示

車両前方または車両後方の映像を全画面
で表示します。

ノーズワイドビュー表示



リヤワイドビュー表示



⚠️ 注意

- カメラは特殊レンズを使用しているため、画面の映像は実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

📖 アドバイス

- カメラは特殊なレンズを使用しているため、駐車場などの区画線は、画面内では平行に見えないことがあります。
- 次のような場合、画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
 - ・暗いところ（夜間）
 - ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに入ったとき
 - ・蛍光灯の光が直接カメラのレンズに入ったとき
- カメラが高温になった場合、映像の映りが悪くなるありますが、異常ではありません。
- カメラが熱いとき、雨や洗車などでレンズ付近の温度が低くなるとレンズが曇ることがありますが、故障ではありません。
- 外気温が極端に高いときまたは低いときは、映像の映りが明瞭でない場合がありますが、故障ではありません。
- 無線機などの通信機器がカメラの近くに取り付けられていると、電波の影響でシステムが停止する場合がありますが、故障ではありません。
- カメラのレンズが汚れていると、障害物が十分に確認できません。水滴、雪、泥または油汚れなどが付着したときは、レンズを傷つけないようにていねいに拭き取ってください。
- カメラの故障の原因となりますので、次のことをお守りください。
 - ・衝撃を与えない

📖 アドバイス

- ・ワックスを付着させない
- ・熱湯をかけない
- ・高圧洗車機などの水をかけない
- ・カメラを外したり分解したりしない
- ・レンズ表面をひっかかない

使い方

J10327/300097

エンジンスイッチの電源モードが ON のときに使用できます。

セレクトターレバーでの操作

セレクトターレバーを **R** に入れると、スマートフォン連携ナビゲーションの画面にパードアイビュー／リヤビューが表示されます。

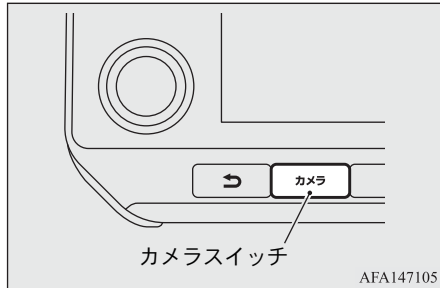
セレクトターレバーを **R** 以外の位置にすると、表示は消えます。

📖 アドバイス

- 助手席側の表示画面を、カメラスイッチを押すことによって、サイドビュー表示に切り換えることができます。

スイッチでの操作

カメラスイッチを押すとバードアイビュー／リヤビューが表示されます。



アドバイス

- セレクターレバーが⑧以外のときにカメラスイッチを押してマルチアラウンドモニターを表示させた後、3分以上何も操作しないと表示は消えます。

画面の切り換え（セレクターレバーが⑧の位置にあるとき）

カメラスイッチを押すたびに、次の通り表示が切り換わります。

バードアイビュー／リヤビュー表示→サイドビュー／リヤビュー表示→リヤワイドビュー表示

画面の切り換え（セレクターレバーが⑧以外の位置にあるとき）

カメラスイッチを押すたびに、次の通り表示が切り換わります。
バードアイビュー／ノーズビュー表示→サイドビュー／ノーズビュー表示→ノーズワイドビュー表示→OFF

アドバイス

- 右側画面がノーズビュー表示のときにセレクターレバーを⑧に入れると、右側画面はリヤビュー表示に切り換わります。セレクターレバーを⑧以外の位置にすると、右側画面はノーズビュー表示に切り換わります。
- 車速が約 10km/h 以上のときにスイッチを押すと左側画面にサイドビューのみ表示させることができます。
- ノーズビュー表示は車速が約 10km/h 以上になると表示されなくなります。
- 表示の切り換わり時は、映像の表示が遅れることがあります。

画面の見方

J10327400085

バードアイビュー以外の表示画面は、画面内の線で次のことを表示しています。目安としてお使いください。

⚠ 注意

- カメラおよびカメラの周辺をぶつけたときは、映像および画面内の線が正しく表示されないことがあります。必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- カメラの映像に異常がある場合（リヤビューガイド線のみ表示になるなど）は、お近くの三菱自動車販売会社へご相談ください。

ノーズビュー／リヤビュー表示

J10351000020

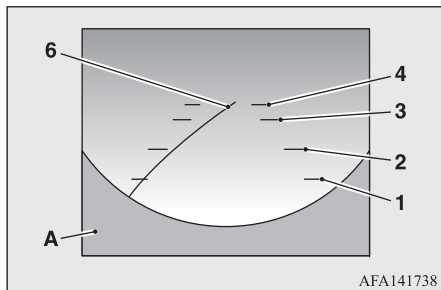
距離と車幅の目安となる線と車体を示す線（A）が画面に表示されます。

- 赤色の線（1）は車体の端から約 50cm の地点を示します。
- 黄色の線（2）は車体の端から約 100cm の地点を示します
- 緑色の線（3）は車体の端から約 200cm の地点を示します
- 緑色の線（4）は車体の端から約 300cm の地点を示します

マルチアラウンドモニター

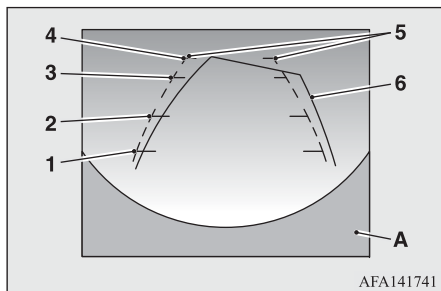
- 車幅線 (5) は後退時のおおよその車体幅を示します
- 予想進路線 (6) はハンドルを切った角度のまま前進または後退したときの予想進路を示します。ハンドルを直進状態にすると表示は消えます。

ノーズビュー表示



AFA141738

リヤビュー表示



AFA141741

アドバイス

- ノーズビューは、車速が 10km/h を超えると表示されなくなります。
- ノーズビューが表示されているときに、中立位置から約90度の範囲内でハンドルを切ると、予想進路線が左右に表示されます。約90度以上ハンドルを切ると、予想進路線はハンドルを切った方向とは逆方向にのみ表示されます。

バードアイビュー表示

J10327900077

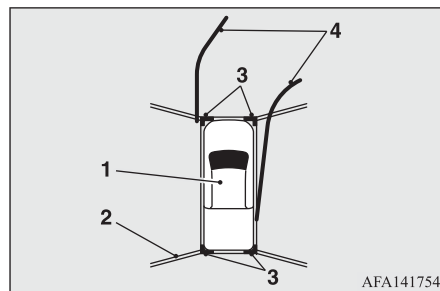
自転車位置や駐車スペースへの進入コースが分かりやすい、車両を上から見たような映像をマルチアラウンドモニター左側画面に表示します。

自転車 (1) は、自転車位置を示しています。バードアイビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。カメラでは撮影できない領域とバードアイビュー境目 (2) は、黒色で表示されます。

エンジンスイッチの電源モードを ON にし、バードアイビューを表示すると、バードアイビュー境目 (2) は、約 3 秒間黄色で強調表示されます。

パーキングセンサー (フロント/リヤ) が OFF のとき、検知しないコーナー部分 (3) は赤色で表示されます。運転操作時にハ

ンドルを切った角度に合わせて予想進路 (4) を示します。



AFA141754

警告

- ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせ処理した疑似的な映像のため、バードアイビューは障害物を実際より遠く映します。
- 囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されないことがあります。
- カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。
- バードアイビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。
- 路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれば、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。

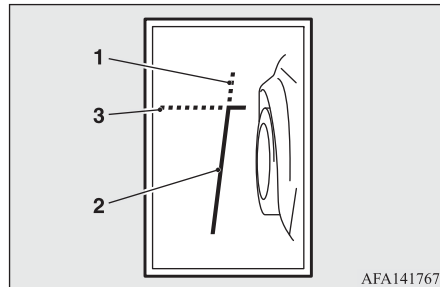
サイドビュー表示

J10327800047

車両の左側前輪付近から前方を、マルチアラウンドモニター左側画面に表示します。道路端への幅寄せ駐車などに便利です。

モニターには車幅と車両の前輪を示す目安ラインが表示されます。

- 前端目安ライン(1)は、車両前部の位置の目安を示します。
- 側方目安ライン(2)は、ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。
- 前端目安ラインと側方目安ラインの延長線(3)は、緑色の破線で表示します。



AFA141767

ノーズワイドビュー／リヤワイドビュー表示

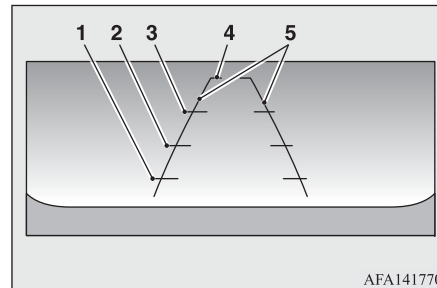
J10351100021

車両の前方または後方の映像を画面幅いっぱいに表示します。予想進路線は表示されません。

モニターには車幅と車両からの距離を示す目安ラインが表示されます。

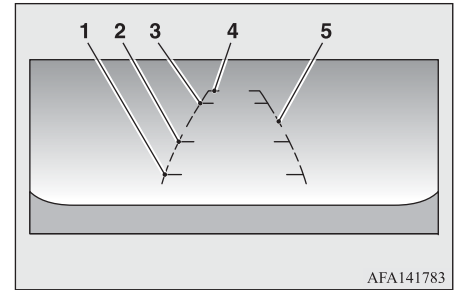
- 赤色の線(1)は車体の端から約 50cm の地点を示します。
- 黄色の線(2)は車体の端から約 100cm の地点を示します
- 緑色の線(3)は車体の端から約 200cm の地点を示します
- 緑色の線(4)は車体の端から約 300cm の地点を示します
- 車幅線(5)は前進時または後退時のおおよその車体幅を示します

ノーズワイドビュー表示



AFA141770

リヤワイドビュー表示



AFA141783

4

画面表示と実際の路面との誤差

J10327700059

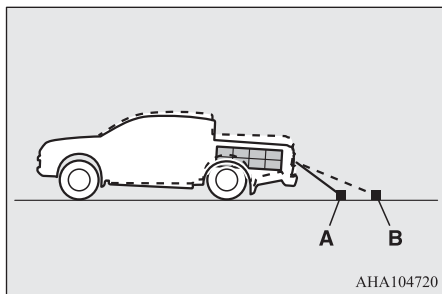
表示される距離と車幅の線は水平な路面を基準としています。

次の場合には、画面に表示される距離を示す線と、実際の距離に誤差が生じます。

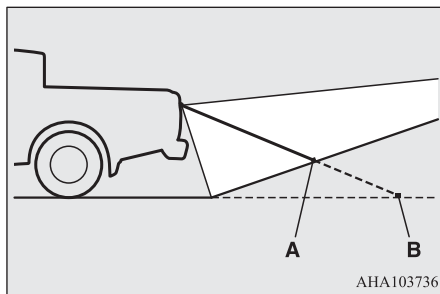
■ 車両後部が乗員の体重と荷物の重さで下がっているとき

画面に映る障害物は、実際の距離より遠くに表示されます。

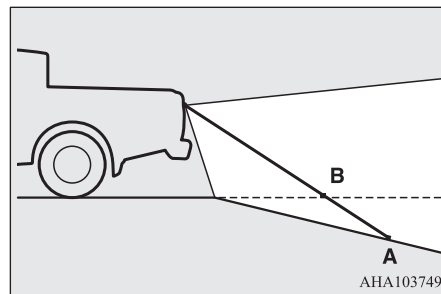
したがって、車両後部が下がっているときには、実際の位置よりも、障害物が遠くに見えます。



- A: 実際の障害物
- B: 画面に映る障害物



- A: 実際の障害物
- B: 画面に映る障害物



- A: 実際の障害物
- B: 画面に映る障害物

■ 車両後方に上り坂があるとき

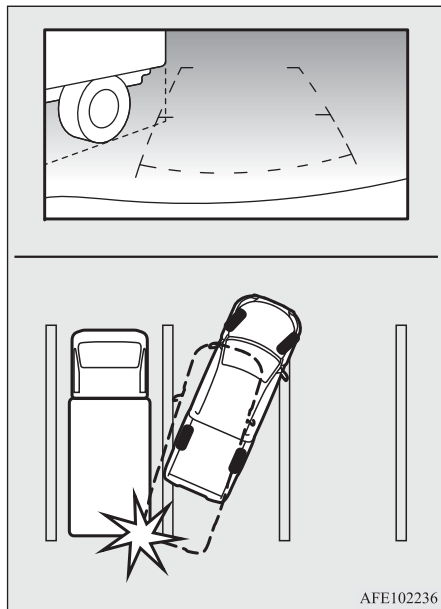
画面に映る障害物は、実際の距離より遠くに表示されます。
したがって、上り坂に障害物があるときには、実際の位置よりも、障害物が遠くに見えます。

■ 車両後方に下り坂があるとき

画面に映る障害物は、実際の距離より近くに表示されます。
したがって、下り坂に障害物があるときには、実際の位置よりも、障害物が近くに見えます。

■ 車両の近くに立体物があるとき

画面に表示される距離は、図のように実際の距離とは異なって表示される場合があります。
車体幅を示す線（緑色）は立体物（トラック）に触れていないため接触しないように見えますが、実際はトラックの後部が自車の進路上に張り出しているため、接触することがあります。

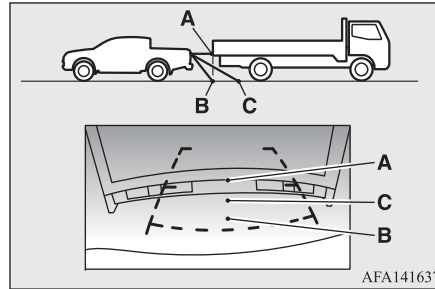


AFE102236

■ 立体物に接近するとき

画面に表示される距離と車幅の線は、道路などの平面物を対象にしています。このため、張り出し部分のある立体物との距離感覚が実際と異なることがあります。画面内の線を立体物までの距離の目安にしないでください。

例：画面の映像では手前からB、C、Aの順に見えますが、実際にはA、Bが同じ距離で、CがA、Bよりも遠い距離にあります。



AFA141637

予想進路線で駐車する方法

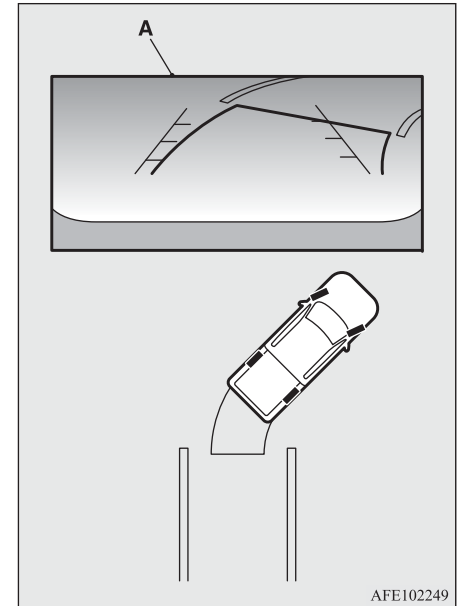
J10351200022

⚠ 警告

- サイズが異なるタイヤを使用すると、予想進路線が正しく表示されないことがあります。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- バッテリーを外したときやバッテリーが上がったときは、予想進路線が正しく表示されないことがあります。その場合は次の手順を行ってください。
 - エンジンがかかっているときにハンドルを左右いっぱい切る

⚠ 警告

- まっすぐな道を5分以上走行する
- エンジンスイッチの電源モードがONの状態ではハンドルを回したとき、予想進路線が正しく表示されないことがあります。

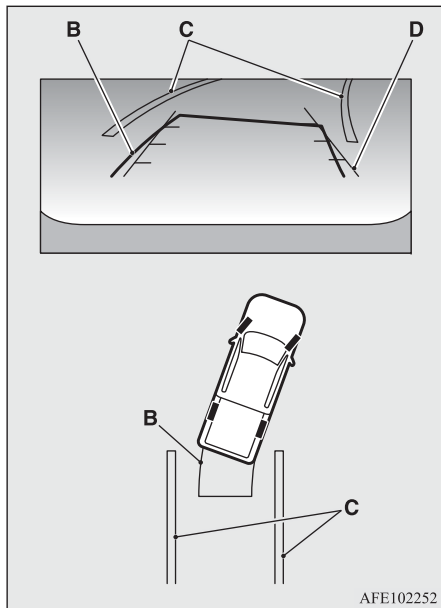


AFE102249

1. 車両を駐車する前に駐車場が安全なことを目視にて確認してください。

マルチアラウンドモニター

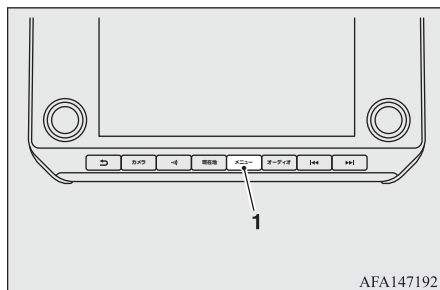
2. セレクターレバーを**Ⓐ**に入れたとき、車両のリビューが画面 (A) に表示されます。



3. 予想進路線(B)が駐車場(C)に入るように、ゆっくりとハンドルを操作して車両を後退させてください。
4. 予想進路線が表示されている間に、車体幅のガイドライン (D) を駐車場 (C) と平行になるようにハンドルを操作してください。

5. 車両が完全に駐車場に駐車できたら、セレクターレバーを**Ⓐ**に入れて、パーキングブレーキをかけてください。

画面の調整



1. メニュースイッチ (1) を押します。
2. 「設定」表示にタッチして、次に「カメラ」表示をタッチします。
3. 「表示設定」をタッチします。
4. 「明るさ」、「コントラスト」、「色合い」、「色の濃さ」または「黒レベル」表示をタッチします。
5. タッチスクリーン表示で「+」または「-」キーをタッチすることによって、選択した項目を調整します。

アドバイス

- 車両が動いている間にマルチアラウンドモニターの画面調整はしないでください。車両を停止し、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。

予想進路線を ON/OFF する方法

セレクターレバーが**Ⓐ**の位置にあるときに予想進路線の ON/OFF を切り換えることができます。ON/OFF を切り換えるには、次の手順を行ってください。

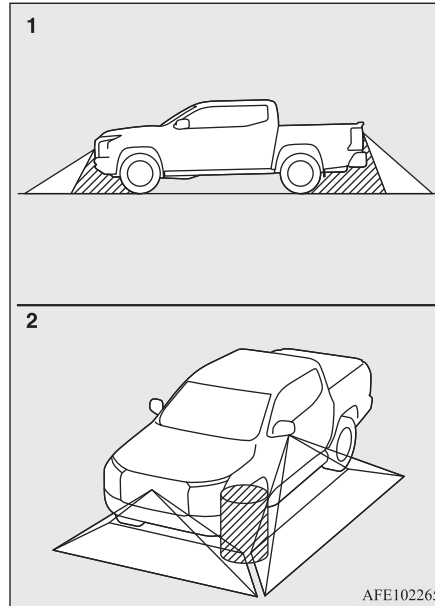
1. メニュースイッチ (1) を押します。
2. 「設定」表示にタッチして、次に「カメラ」表示をタッチします。
3. 「予想進路線」をタッチすることによって、ON/OFF を切り換えます。

セレクターレバーが**Ⓐ**の位置にあるときにカメラスイッチを押すことで予想進路線を ON/OFF することもできます。

映し出す範囲

警告

- マルチアラウンドモニターの機能には限界があります。次のことに注意して車両の運転をしてください。
- ドアミラーを格納した状態およびドアやリヤゲートを開いた状態では使用しないでください。
- マルチアラウンドモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- カメラはフロントグリル下部、ドアミラー、リヤナンバープレート上部に装着されています。作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けしないでください。
- カメラの結露やカメラの故障の原因となりますので、高圧洗車機などの水をかけない
- カメラの故障の原因となりますので、カメラおよびその周囲に強い衝撃を与えないでください。



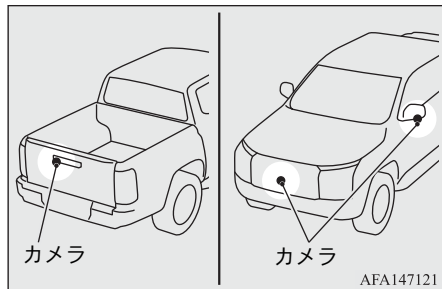
特定の領域は、カメラに映し出されません。ノーズビューまたはリヤビューでは、バンパー下側または地上面の部分は表示されることがあります (1)。パードアイビューではカメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されることがあります (2)。次のような場合がありますが異常ではありません。

- 画面が切り換わるときは、映像の表示が遅れることがあります。
- 外気温が極端に高いか、低いときは、映像の映りが悪くなる場合があります。
- カメラに直接強い光を当てると、映像の映りが悪くなる場合があります。
- 蛍光灯照明が当たると、映像にちらつきが出る場合があります。
- マルチアラウンドモニター映像の色味は、実際とはわずかに異なって見えることがあります。
- 暗いところや夜間時には映りが悪くなり、色味が異なって見えることがあります。
- パードアイビューの各カメラの映像に鮮明さの違いが生じることがあります。
- カメラにはワックスを使用しないでください。中性洗剤を薄めて含ませた清潔な布でワックスを拭き取ってください。

移動物検知機能 [MOD]

マルチアラウンドモニターカメラの取り扱い

J10351500025



アドバイス

- アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因になります。
- モニター映像に悪影響が生じるため、カメラに傷をつけないよう注意してください。

カメラに雨、雪、氷、汚れなどが付着すると、映像の映りが悪くなる場合があります。中性洗剤を薄めて含ませた布で拭き取った後、乾いた布で拭いてください。

移動物検知機能 [MOD]

J10351600026

MOD : Moving Object Detection

4-128 運転するときは

MOD は車庫入れや駐車場からの発進時などに車周辺の移動物を運転者にお知らせすることで、安全確認をサポートする機能です。

車両周辺に移動物があるときに、音と画像の表示にてお知らせします。

警告

- MOD は、車両周囲の移動物との接触を防止する機能ではありません。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。
- 停止している障害物は検知しません。

MOD の作動

J10351700027

MOD は次の条件で自動的に作動します：

- セレクターレバーを **P** に入れたとき
- マルチアラウンドモニターを起動するためにカメラスイッチを押したとき
- 車速が約 10km/h 以下のとき

MOD はカメラ画像が表示されているときに次の条件で自動的に作動します：

- セレクターレバーが **P** または **N** の位置にあり、車両が停止しているときに、移動物を検知すると MOD はバードアイビュー画面が表示されます。どちらかのドアが開いていると、MOD は作動しません。またドアミラーが格納されていると、MOD は正しく作動しないことがあります。
- セレクターレバーが **D** の位置にあり、車速が約 10km/h 以下のときに、移動物を検知するとノーズビュー画面が表示されます。
- セレクターレバーが **R** の位置にあり、車速が約 10km/h 以下のときに、移動物を検知するとリヤビュー画面が表示されます。リヤゲートが開いていると、MOD は作動しません。

MOD がサイドビュー表示の範囲に移動物を検知していないときは、MOD アイコンは表示されません。

MOD が車両の周囲で移動物を検知したときは、ビュー画面を黄色枠で表示し、ブザーが 1 回鳴ります。移動物を検知している間は、ビュー画面は黄色枠で表示し続けます。

アドバイス

- 後退時交差車両感知警報システム [RCTA] が作動してブザーが鳴ると、MOD のブザーは鳴りません。

MOD の表示の種類

J10351800028

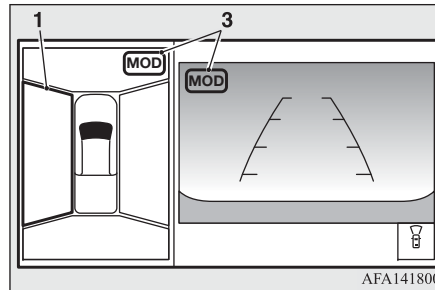
移動物を検知すると、バードアイビュー画面の検知したエリア（前、後、右、左）を黄色枠 (1) で表示します。

黄色枠 (2) は、ノーズビューとリヤビューの画面に表示します。

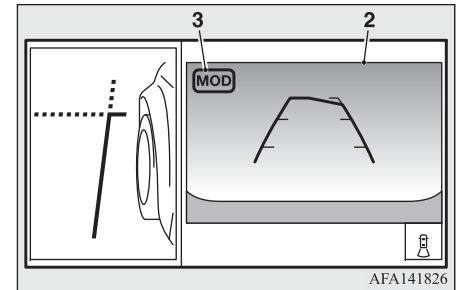
緑色の MOD アイコン (3) は、MOD システムが作動しているエリアの画面に表示されます。灰色の MOD アイコン (3) は、MOD が作動していないエリアの画面に表示されます。

MOD がオフになると、MOD アイコン (3) は表示されません。

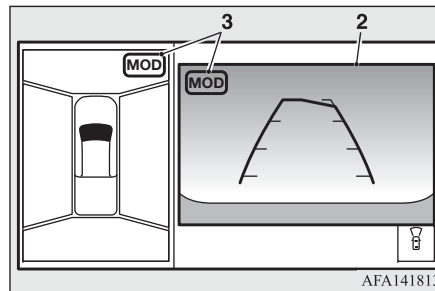
ノーズビューとバードアイビュー表示



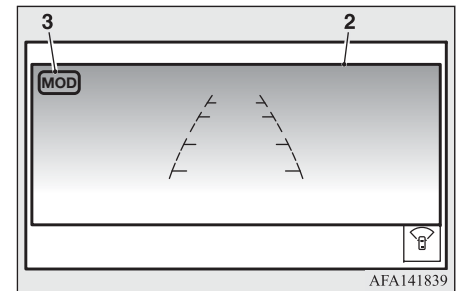
リヤビューとサイドビュー表示



リヤビューとバードアイビュー表示



ノーズビューまたはリヤビュー表示



警告

- MOD の機能には限界があります。次のことに注意して車両の運転をしてください。
 - ・外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

警告

- ・MOD は次のような環境や周囲の障害物によっては正しく作動しません。
 - ・移動物が、背景と同じ色であるとき
 - ・点滅する光源があるとき
 - ・太陽光や他の車両のヘッドライトなど強い光を受けているとき
 - ・ドアミラーが格納されているなどカメラが正しい位置にないとき
 - ・カメラにほこり、水滴、雪などが付着しているとき
 - ・表示中の移動物の位置が変化しないとき
 - ・カメラレンズ上の水滴の移動やマフラーからの白い煙、動く影などを検知することがあります。
 - ・移動物の速度、移動方向、距離、形状によっては正しく作動しないことがあります。
 - ・カメラの取り付け部周辺に変形や曲がりなどの損傷を受けたままにすると、検知範囲が変化し、MOD が正しく作動しません。
 - ・外気温が極端に高いときまたは低いときは、映像の映りが明瞭でない場合がありますが、故障ではありません。

アドバイス

- 次のいずれかの場合、MOD アイコンが緑色から橙色に変化します。
 - ・システムが故障したとき

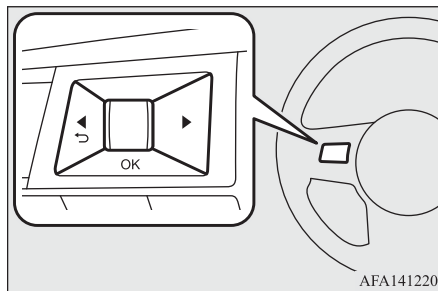
アドバイス

- ・MOD 関連部品が高温になったとき (MOD アイコンは点滅)
- ・リヤビューカメラが異物によりふさがれたとき (MOD アイコンは点滅)
- MOD アイコンが橙色のままのときは MOD システムの故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

MOD を ON / OFF するときは

J10351900029

インフォメーション画面より MOD の ON/OFF を切り換えることができます。ON/OFF を切り換えるには、次の手順を行ってください。



AFA141220

1. マルチインフォメーションディスプレイのメインメニューから ◀ または ▶ スイッチを押して、「設定」を選びダイヤルスイッチを押します。設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからダイヤルスイッチを回して、「運転支援」を選びダイヤルスイッチを押します。
→「マルチインフォメーションディスプレイ」P.4-39
3. ダイヤルスイッチを回して、「パーキングセンサー」を選びダイヤルスイッチを押します。
4. ダイヤルスイッチを回して、「移動物検知」を選びダイヤルスイッチを押します。
5. MOD 設定画面が表示されるので、ダイヤルスイッチを回して、「ON」または「OFF」を選択します。
ダイヤルスイッチを押すことで、MOD の ON/OFF を切り換えることができます。

マルチアラウンドモニターカメラの取り扱い

J10352000027

MOD はフロントグリル下部、ドアミラー、リヤナンバープレート上部にカメラを装着しています。カメラ周辺は常にきれいにしてください。

→「マルチアラウンドモニターカメラの取り扱い」P.4-128

レーダークルーズコントロールシステム [ACC]

J10356700022

ACC: Adaptive Cruise Control system

ACCは前方車両を検出しているとき、運転者がセットした車速を上限に約 25 ～ 135km/h の範囲で、選択した車間距離を保つように車間制御を行い走行します。設定できる速度は 30 ～ 135km/h です。前方車両を検出していないときには運転者がセットした車速で走行します。

警告

- 次の注意事項を守り、ACC を正しく使用してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 手離し運転を行うことはできません。運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。
- 高速道路や自動車専用道路で使用してください。ACC は、高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので、使用しないでください。

警告

- ACCは、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。前方車両との車間距離、車線内の位置、周囲の状況に応じてアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作するなどして、常に安全運転を心がけてください。
- ACC は、運転者の負担を軽減するシステムであり、追突を防止する装置ではありません。
- 常に制限速度を守り、制限速度以上の車速を設定しないでください。
- 停車中の車両には反応しません。料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両に対しては減速しませんので、十分注意してください。
- クルーズコントロール（自動定速走行）モードでは、前方車両に近づいても警告音が鳴りません。車間距離に十分に気をつけて追突の防止を心がけてください。
- 下り坂での急加速が発生すると ACC は作動を停止することがあります。
- 前方車両が減速した場合、自車も追従して減速し車速が約 25km/h 以下になると、警告音が鳴りシステムの作動を自動的に停止します。このとき、前方車両と衝突しないようにブレーキ操作をする必要があります。

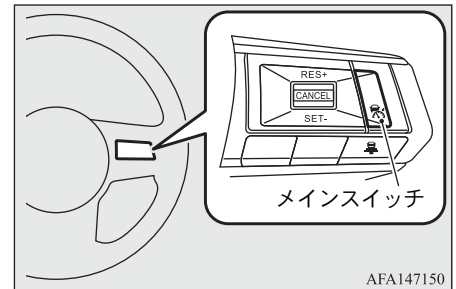
ACC には次の 2 つのモードがあります。

- レーダークルーズコントロール（車間距離制御）モード：前方車両との車間距離制御を行い、設定車速内で走行します。
- クルーズコントロール（自動定速走行）モード：車間距離制御を行わず、一定の車速で走行します。

モードを切り換えるには

J10356800023

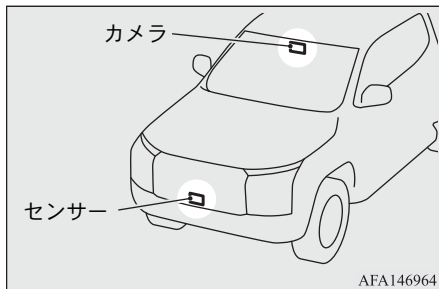
クルーズコントロールのモードを切り換えるときは、メインスイッチを押します。選択したモードはインフォメーション画面で確認してください。システムを起動した状態ではモードの切り換えができません。その場合は、再度メインスイッチを押してシステムを OFF にしてからモードを選択してください。



AFA147150

レーダークルーズコントロール (車間距離制御) モードへの切り換え

レーダークルーズコントロール (車間距離制御) モードにするとときは、メインスイッチを押してすぐに離します。



フロントガラス上部のカメラおよびフロントバンパー上部のセンサーを使用して、自車が走行する車線上の前方車両までの距離を測定します。前方車両の減速を検知したときは、設定した車間距離を保って追従走行をします。

アドバイス

- 正しく作動させるために、カメラおよびセンサーまわりのお手入れを行ってください。
→ 「カメラおよびセンサーの取り扱い」 P.4-81

レーダークルーズコントロール (車間距離制御) モードの作動

J10357000022

車間距離制御モードは、センサーを使用して前方車両との相対速度、相対距離を測定し、前方車両に近づけば減速して設定した車間距離を保って走行する機能です。交通状況により、一定速度で走行できるまたは徐々に速度が変化するときのみ使用することができます。前方へ急な割り込みをされたときや前方車両が急ブレーキをかけたとき、適切な減速が行えず前方車両に接近するおそれがあります。このときは、ブザーとともにインフォメーション画面に警告が表示され、運転者に注意を促します。

荷台に多くの荷物を積載している場合には、十分なブレーキをかけることができないおそれがあるため、ACCを使用しないでください。

車速が約 25km/h 以下になると、警告音が鳴りシステムの作動を停止します。

→ 「接近警報」 P.4-138

車間距離制御モードでは、次のように制御されます。

- 前方車両を検出していないときは、設定した車速で定速走行します。設定できる車速範囲は約30～135km/hです。

4 クルーズコントロール (自動定速走行) モードへの切り換え

クルーズコントロール (自動定速走行) モードにするとときは、メインスイッチを約 1.5 秒以上長押しします。

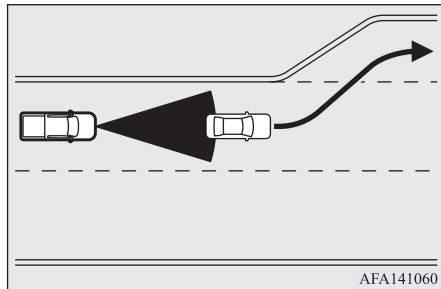
レーダークルーズコントロール (車間距離制御) モード

J10356900024

ACCシステムは同じ車線上の前方車両に追従して走行するための運転操作を支援するシステムです。

- 前方車両を検出しているときは、設定した車速を上限として、設定した車間距離を保つように、必要に応じてブレーキも使用して車間制御を行い追従走行します。前方車両に追従して自車の車速が約 25km/h 以下になると、警告音が鳴り自動的にシステムの作動を停止します。
- 前方車両が同じ車線から出て検出しなくなると、設定した車速までゆっくりと加速します。

停車中または非常に速度が遅い車両に接近したときは、警告や減速をしません。料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両に近づくときは、車間距離に十分注意してください。



設定した速度で高速道路を走行中に、遅い車速の前方車両に近づくとき、設定した車間距離を保つように車速を調整しま

す。前方車両が車線を変更するか高速道路から出ると、設定車速まで加速し、その車速を維持して走行します。カーブや丘などの前方車両が検知しにくいところを走行していると、設定した車速を維持できないことがあります。このような場合は、自車の速度を調整してください。

通常、前方車両の車速に応じて加速、減速を行い、前方車両との車間距離を維持するように制御します。追い越しなどで加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。前方車両の急ブレーキや割込みなどで安全な車間距離を確保するときは、ブレーキペダルを踏んで調整してください。

警告

- レーダークルーズコントロール機能を過信しないでください。システムに頼った運転はせず、常に周囲の状況を把握し安全運転を心がけてください。操作を誤ると重大な事故につながるおそれがあります。
- 高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので、使用しないでください。

警告

- 脇風運転やぼんやり運転などの前方不注意を許容したり、雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなど、常に安全運転に心がけてください。
- 前方車両が減速した場合、自車も追従して減速し車速が約 25km/h 以下になると、警告音が鳴りシステムの作動を自動的に停止します。このとき、前方車両と衝突しないようにブレーキ操作をする必要があります。
- 常に周囲の状況を把握して、必要に応じてブレーキペダルを操作して適切な車間距離を保持してください。ある条件下では車間設定や設定車速を適切に制御できないことがあります。
- 荷台に多くの荷物を積載している場合には、十分なブレーキをかけることができないおそれがあるため、ACC を使用しないでください。
- 次のような天候状況や道路状況によっては前方車両を正しく検出できない場合があります。思わぬ事故につながるおそれがあるので ACC を使用しないでください。
 - ・交通量の多い道や急カーブ、曲がりくねった道
 - ・頻繁な加減速が必要な交通状況
 - ・凍結路、積雪路または未舗装路など滑りやすい路面
 - ・路面がうねっていたり、凹凸がある道

⚠️ 警告

- 急な下り坂（設定車速を超えてしまうおそれがあります。また、ブレーキが過熱して十分な減速ができなくなるおそれがあります。）
- 頻繁に上り坂と下り坂を繰り返す、変化が激しい道
- 悪天候（雨、雪または砂嵐など）のとき
- センサーに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
- 前方車両や対向車などにより、水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 頻繁な加減速が必要な交通状況
- 荷物を積んでいない貨物トレーラーなどに接近したとき
- 他のレーダー源からの干渉を受けたとき
- 極端に重い荷物を積んでいるとき
- けん引されるとき、またはけん引するとき
- 次のような車両は正しく検出できない場合があります
 - 停車中または非常に速度が遅い車両
 - 歩行者または道路上の物
 - 同一車線の対向車
 - 同一車線上で左右にずれて走行している二輪車
- トレーラーをけん引しているときはACCを使用しないでください。前方車両を検出できないことがあります。

⚠️ 警告

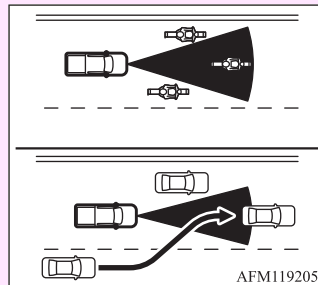
- 次のような状況ではACCを使用しないでください。
 - タイヤの空気圧が適正ではないとき
 - 摩耗しているタイヤ、指定以外のタイヤを使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路や交通状況によっては、前方車両以外のものが検出され、頻繁にブレーキ制御が発生することがあります。その場合はACCを使用しないでください。
- 下り坂で急加速が発生した場合はACCが作動停止することがあります。
- ACCはフロントガラス上部のカメラを使用しています。次の状況では前方車両を検出できなかったり検出が遅れたりすることがあります。
 - 悪天候（雨、雪、霧、砂嵐など）のとき
 - 曇り、雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
 - 太陽光や対向車のヘッドランプの強い光がセンサーに入射したとき
 - トンネルなどの出入口や日陰などで、明るさが急激に変化するとき

⚠️ 注意

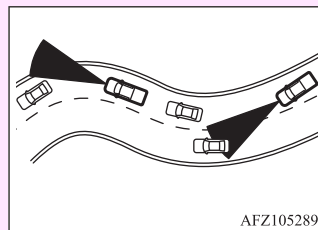
- 次のような状況では一時的に前方車両を検出できなくなったり、前方車両以外の物を検出して制御や警報が作動することがあります。

⚠️ 注意

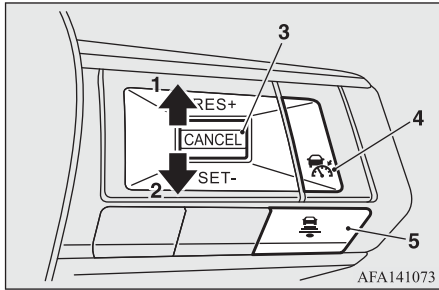
- 自車線の端を走行する二輪車や間近に割り込んでくる先行車があるとき



- カーブが連続する道路やカーブの出入り口を走行するとき（前方車両を認識できない場合や隣車線の車両を認識する場合があります）



レーダークルーズコントロール スイッチ

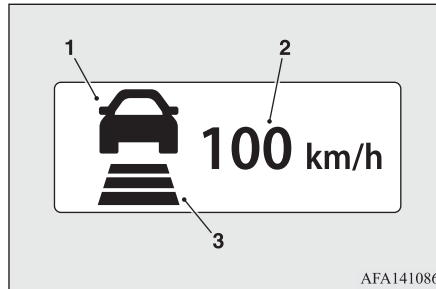


- 1- RES +スイッチ
一度設定した速度で動作させたり、設定した車速を上げたりするときに使います。
- 2- SET -スイッチ
希望する速度に設定したり、設定した速度を下げたりするときに使います。
- 3- CANCEL スイッチ
設定した車速を記憶したまま ACC の制御をキャンセルするときに使います。
- 4- メインスイッチ
ACC の ON/OFF を切り換えます。

- 5- 車間設定スイッチ
前方車両との車間距離の設定を変更するときに使います。

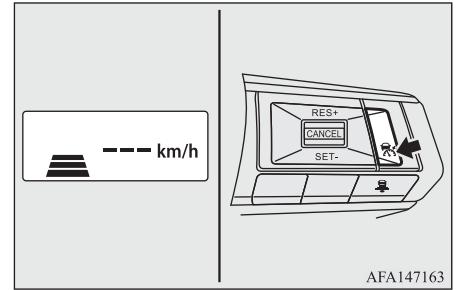
- 長
- 中
- 短

レーダークルーズコントロール 表示画面

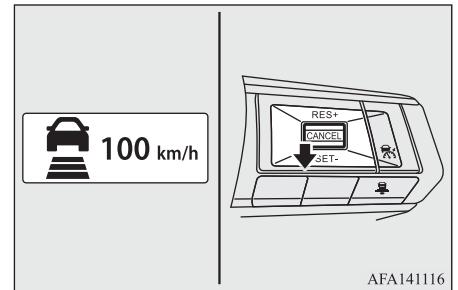


- 1- 前方車両表示
ACC が前方車両を認識しているときに表示します。
- 2- 設定車速表示
設定車速を表示します。
- 3- 車間設定表示
前方車両との車間距離設定を表示します。

レーダークルーズコントロール の使い方

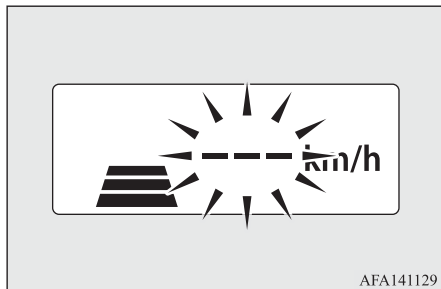


ACC を ON するにはメインスイッチを押してすぐに離します。インフォメーション画面に車間距離表示と設定速度表示が表示されスタンバイ状態になります。



レーダークルーズコントロールシステム [ACC]

設定したい車速まで加速して、SET - スイッチを押し下げて離すと、そのときの車速が設定車速に設定されます。(前方車両表示、車間設定表示、設定車速表示が表示されます) アクセルペダルから足を離しても、設定した車速で走行します。

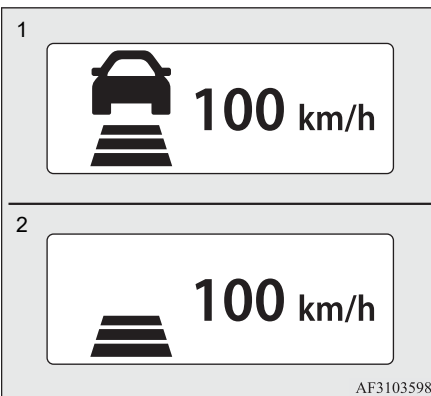


アドバイス

- 次のときは、SET - スイッチを押し下げても、設定車速表示が約 2 秒間点滅し、ACC の制御を開始しません。
 - 車速が約 30km/h 以下のとき
 - セレクターレバーが **D** またはスポーツモード以外のとき
 - パーキングブレーキをかけているとき
 - ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - アクティブスタビリティ & トラクションコントロール [ASTC] が OFF のとき
 - ASTC が作動したとき

アドバイス

- ドライブモードで、「SNOW」「MUD」「SAND」または「GRAVEL」が選択されているとき
- タイヤが空転したとき



- 1- 前方車両を検出しているとき
- 2- 前方車両を検出していないとき

道路状況に合った適切な車両速度を設定してください。前方車両を検出していないときは、設定した車両速度を維持して走行します。設定してある車両速度を表示します。

割り込みを検出したときは

自車の直前などに他の車線から割り込まれたときは、警告音とともに、前方車両表示を点滅させて運転者に注意を促します。

アドバイス

- 隣接している車線より接近する車両を検出すると、ACC は割り込みと判断することがあります。これは事前警告で、故障ではありません。

前方車両を検出しているときは

設定した車速を上限として、車速に応じた車間距離を保つように、必要に応じてブレーキも使用して車間制御を行い追従走行します。

アドバイス

- ACC によりブレーキが作動したときは、制動灯 (ブレーキランプ) が点灯します。
- ACC によるブレーキ中に音が聞こえたり、振動を感じたりすることがありますが、ブレーキ制御によるものであり異常ではありません。

前方車両を検出しているときは、前方車両表示が表示されます。また、設定車速表示、車間設定表示も表示されます。

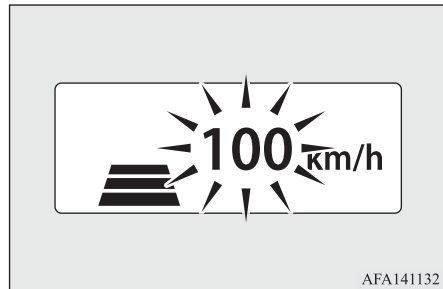
前方車両を検出していないときは

設定車速より走行中の車速が低い場合、設定車速まで加速します。設定車速と走行中の車速が同じ場合、設定車速を維持して走行します。

前方車両を検出していないときは、前方車両表示および設定車速表示は表示されません。(車速制御は維持します)

アドバイス

- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 車速が約 25km/h 以下になると、システムの作動を停止します。



追い越しなどでアクセルペダルを踏んで加速し、設定車速を超えると設定車速表示が点滅します。前方車両を検出なくなると前方車両表示が消えます。アクセ

ルペダルを離すと、車速は設定車速に戻ります。

車速を設定してあっても、必要に応じてアクセルを踏み込むことで設定車速以上に加速することができます。

設定車速を変更するときは

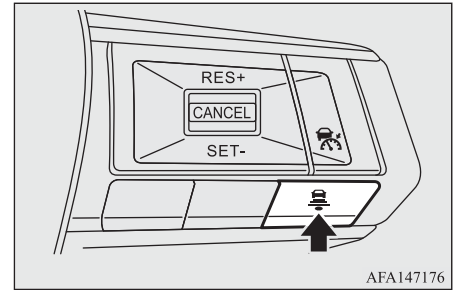
設定車速を上げるときは

- RES +スイッチを押し上げ続けると、設定車速が 5km/h 間隔で上昇します。
- RES +スイッチを一回押し上げると設定車速が 1km/h 上昇します。



設定車速を下げるときは


- SET - スイッチを押し下げ続けると、車速が 5km/h 間隔で減少します。
- SET - スイッチを一回押し下げると設定車速が 1km/h 減少します。

車間設定を変更するときは



車間設定は交通状況によって、いつでも前方車両との距離設定を選択できます。車間設定スイッチを押すごとに設定車間距離が「長」から「中」、「短」へ順に切り換わり、「長」に戻ります。

距離	表示	100km/h 時のおよその車間距離
長	 100 km/h	60m
中	 100 km/h	45m

距離	表示	100km/h 時 のおよその 車間距離
短		30m

アドバイス

- 車間距離は車速に応じて変化し、車速が速いほど長くなります。
- エンジンを再始動しても車間設定を記憶しています。

接近警報

J10357100023

ACC 制御中に、前方車両が急激に減速した場合や他車の割り込みにより十分な減速ができず前方車両に接近したときは、ブザーとともにインフォメーション画面に警告が表示され、運転者に注意を促します。

次の状況ではブレーキペダルを踏み、適切な車間距離を保持してください。

- ブザーが鳴ったとき
- 前方車両表示が点滅したとき
- 必要な車間距離を取りたいと判断したとき

次のように前方車両との車間距離が短い場合でもブザーが鳴らないことがあります。

- 前方車両の走行速度が自車の速度と同じで、車間距離に変化がないとき
- 前方車両の走行速度が速く、車間距離が長くなっているとき
- 近距離で前方車両に割り込まれたとき

次の状況ではブザーは鳴りません。

- 停車中または非常に速度が遅い車両に接近したとき
- アクセルペダルを踏んでいて ACC の制御が停止しているとき

アドバイス

- 車両の側方や道の端にある物を検出してブザーとともに警告を点滅させ、加減速制御を行うことがあります。
- 次のような状況では前方車両を正確に検出できず、車間距離を適切に維持できない場合や、接近警報が作動しないことがあります。ブレーキペダルを踏み、適切な車間距離を維持してください。
 - ・カーブが連続する道路やカーブの出入り口を走行するとき
 - ・急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
 - ・路面がうねっていたり、凹凸があるとき

センサーの感度は車両の状態（多少の損傷があるなど）や交通状況、車両の操作状況に影響を受けます。

追い越し時の加速機能

J10357200024

70km/h 以上で ACC 制御中に方向指示レバーを右側に操作したときに、システムが前方車両の追い越しをすると判断した場合は、設定した車速を上限として加速制御を行います。この制御は右側への方向指示レバー操作のみで有効です。

ハンドルを操作して追い越し車線に移ったときに、前方車両が検出されない場合は、設定速度まで加速します。前方車両を検出した場合は、前方車両の車速に合わせて追従走行します。

追い越し車線に移るハンドル操作をしない場合は、加速制御を中止して車間距離を保って追従走行します。また、ブレーキペダルの操作や CANCEL スイッチを押すことで加速制御を中止することができます。

警告

- 次の事項に注意し、衝突などの重大な危険を回避してください。

警告

- 追い越し車線への車線変更を行わなくても、右側への方向指示レバー操作によって、一時的に加速をする機能です。追い越しではなく高速道路などの右側出口への操作でも作動します。
- 追い越しをする前に、追い越し車線に他の車両がないか確認してください。追い越し中に道路状況が急変することがあります。システムだけに頼った運転はせず、状況に応じて自らブレーキ、ハンドルを操作してください。

システムが一時的に作動しないときは

J10357300025

車両のコンディションにより、システムが一時的に作動しない場合があります。各コンディションの処置方法に従い、システムを作動してください。

コンディション A

次の場合、ブザーが鳴り ACC の制御は自動的にキャンセルされ、ACC の作動ができなくなります。

- 車速が約 25km/h 以下のとき
- セレクターレバーが **D** 位置またはスポーツモード以外のとき
- パーキングブレーキをかけているとき

- ASTC が OFF のとき
- ASTC が作動したとき
- ドライブモードで、「SNOW」「MUD」「SAND」または「GRAVEL」が選択されているとき
- タイヤが空転したとき
- センサーがほこりの付着や障害によって正しく距離を測定できないとき
- センサーが、周辺の電波源の影響を受けているとき

システムが停止した状態が解消されたら、次の方法で処置してください。

1. メインスイッチを押して、ACC を OFF にします。
2. 再度、メインスイッチを押して、ACC を ON にします。

コンディション B

悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）でセンサーの検出が行われないうち、ブザーが鳴りインフォメーション画面に「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」が表示され、ACC は自動的に停止します。

システムの停止した状態が解消されたら、インフォメーション画面の警告表示

が消え、ACC は自動的に作動を再開します。しばらくしても警告が表示される場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

コンディション C

車両前側のセンサー周辺が汚れや障害物などで覆われていると、ブザーが鳴りインフォメーション画面に「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」が表示され、ACC は自動的に停止します。

警告が表示されたときは、次の方法で処置してください。

1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
2. フロントバンパー上部のセンサー周辺の汚れを、柔らかい布で取り除きます。
3. エンジンスイッチの電源モードを ON にします。

再び警告が表示する場合は、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

コンディションD

道路形状や周辺の建造物により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できない道路（例：長い橋、雪原、長い壁の横など）を走行すると、インフォメーション画面に「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」が表示されます。

システムが停止した状態が解消されたら、ACCは自動的に作動を再開します。

システムに異常があるときは

J10357400026

システムに異常があるときは、ブザーが鳴りインフォメーション画面に「システム故障 取扱説明書を見てください」が表示され、ACCは自動的に停止します。

警告が表示されたときは、次の方法で処置してください。

- 1.安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
- 2.エンジンスイッチの電源モードを ON にします。

ACCの作動ができない場合や警告が再び表示される場合は、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

カメラおよびセンサーの取り扱い

J10357500027

フロントガラス上部のカメラおよびフロントバンパー上部のセンサーが装備され、ACCで使用しています。

→「カメラおよびセンサーの取り扱い」P.4-81

クルーズコントロール(自動定速走行)モード

J10357600028

警告

- クルーズコントロール(自動定速走行)モードは、前方車両に対する接近警報や車間距離制御を行いません。
- クルーズコントロールを使用するときは、法定速度を守り、道路状況に合った適切な車速を設定してください。

クルーズコントロール(自動定速走行)モードはアクセルペダルを踏まずに一定のスピード(約30～135km/h)で定速走行する装置です。

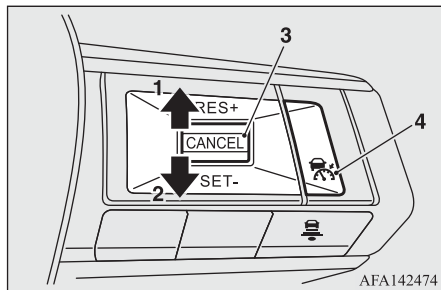
警告

- クルーズコントロール(自動定速走行)モードは、前方車両に接近しても警告のためのブザーは鳴りません。

警告

- 衝突を防止するために、前方車両との車間距離に注意を払ってください。
- 常にクルーズコントロール表示画面で設定を確認してください。
- 次の状況では、クルーズコントロール(自動定速走行)モードを使用しないでください。車両の制御ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・設定した車両速度で走行できないとき
 - ・交通量が多く車間距離が十分取れない道路
 - ・急なカーブや見通しの悪い道路
 - ・滑りやすい道路(凍結路、積雪路、砂利路またはぬれた道路)
 - ・長い急な下り坂

クルーズコントロールスイッチ



1- RES +スイッチ

一度設定した速度で動作させたり、設定した車速を上げたりするときに使います。

2- SET -スイッチ

希望する速度に設定したり、設定した速度を下げたりするときに使います。

3- CANCEL スイッチ

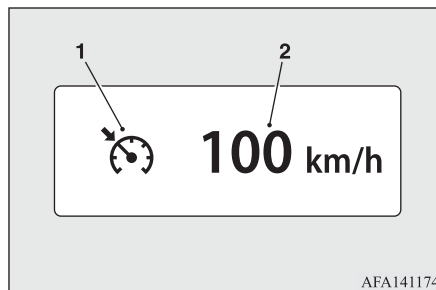
設定した車速を記憶したままクルーズコントロールの制御をキャンセルするときに使います。

4- メインスイッチ

クルーズコントロールのON/OFFを切り換えます。

クルーズコントロール表示画面

インフォメーション画面に表示します。



1- クルーズコントロール表示

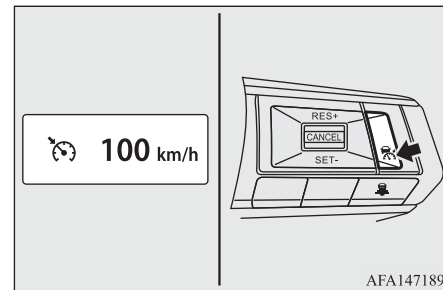
クルーズコントロールの状態を色で表示します。

- クルーズコントロール ON 表示 (灰色):メインスイッチがONであることを示します。
- クルーズコントロール SET 表示 (緑色):車速が設定されていることを示します。
- クルーズコントロール警告 (橙色):クルーズコントロールに異常があることを示します。

2- 設定車速表示

設定車速を表示します。

クルーズコントロールの使い方



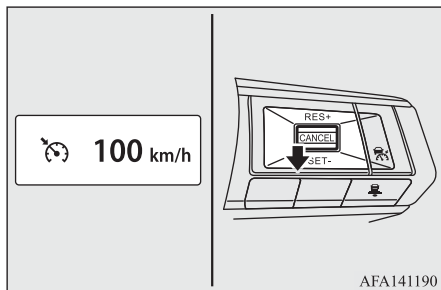
クルーズコントロール (自動定速走行) モードを ON にするには、メインスイッチを約 1.5 秒以上長押しします。

メインスイッチを押すと、クルーズコントロール表示画面がインフォメーション画面に表示されます。希望する車速を設定することができます。もう一度メインスイッチを押すと、クルーズコントロールシステムが OFF になります。エンジンスイッチの電源モードを OFF にしてもシステムを OFF にできません。

もう一度クルーズコントロールを ON にしたいときは、メインスイッチを約 1.5 秒以上長押しします。

警告

- 定速走行しないときは、安全のためクルーズコントロール機能を停止してください。



設定したい車速まで加速して、SET - スイッチを押し下げて離すと、そのときの車速が設定車速に設定されます。(クルーズコントロール表示が緑色になり、設定車速が表示されます。) アクセルペダルから足を離しても、設定した車速で走行します。

- 追い越しするときはアクセルペダルを踏んで加速します。アクセルペダルを離すと、車速は設定車速に戻ります。

- 上り坂や下り坂では、設定した速度を保てない場合があります。このような場合は、アクセルペダルまたはブレーキペダルを踏んで車速を調整します。

次のいずれかの操作で定速走行が終了します。

- CANCEL スイッチを押します。設定車速表示が消えます。
- ブレーキペダルを踏みます。設定車速表示が消えます。
- メインスイッチを OFF にします。クルーズコントロール表示と設定車速表示の両方が消えます。

次のいずれかの操作で設定速度を上げることができます。

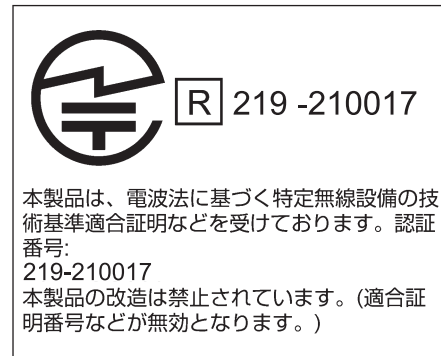
- RES + スイッチを押し上げ続けると、設定車速が 5km/h 間隔で上昇します。
- RES + スイッチを一回押し上げると設定車速が 1km/h 上昇します。

次のいずれかの操作で設定速度を下げるができます。

- ブレーキペダルを踏んで設定したい車速まで減速し、SET - スイッチを押し下げて離します。
- RES - スイッチを押し下げ続けると、設定車速が 5km/h 間隔で減少します。

- RES - スイッチを一回押し下げると設定車速が 1km/h 減少します。

定速走行を終了した後でも車速が約 30km/h 以上であれば、RES + スイッチを押し上げることにより元の設定車速に戻すことができます。





R 202 -LSG060

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。認証番号:

202-LSG060

本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

オートストップ & ゴー [AS&G]

J10303800043

オートストップ&ゴー [AS&G] は、信号待ちや渋滞などで停車する際に、エンジンスイッチを使用することなく自動的にエンジンを停止および再始動して、排気ガスの排出を削減するとともに燃費効率を向上させます。(アイドリングストップ機能)

⚠ 注意

- 自車を長時間停車させたり、自車から離れるときは、エンジンスイッチの電源モードを OFF にしてエンジンを停止させてください。

📖 アドバイス

- AS&G でエンジンを止めた累積時間をインフォメーション画面に表示します。
→「オートストップ&ゴー [AS&G] モニター」 P.4-41

AS&G を起動するには

J10319400028

AS&G は、エンジンスイッチの電源モードを ON にすると自動的に起動します。AS&G を非作動にするには AS&G OFF スイッチを押します。

詳しくは「AS&G を非作動にするには」をお読みください。→P.4-146

エンジンを自動で停止させるには

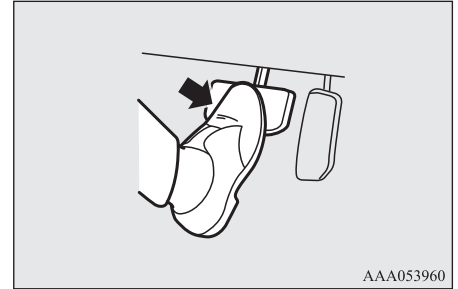
J10319500090

1. AS&G 表示が点灯しているときにブレーキペダルを踏み込んで、停車させます。

AS&G 表示



2. 完全に停車し、ブレーキペダルがしっかり踏み込まれていると、エンジンが自動的に停止します。



AAA053960

⚠ 注意

- エンジンが自動的に停止しているときは、車外に出ようとししないでください。運転者がシートベルトを外したり、運転席ドアを開けたりすると、エンジンが自動的に再始動するため、車両が動き出して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンが自動的に停止しているときは、アクセルペダルを踏み込まないでください。エンジンが自動的に再始動したときに、車両が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- エンジンが自動的に停止した場合、車両停止後は電動パワーステアリング [EPS] が作動なくなり、ハンドル操作が重くなりますので十分注意してください。
- エンジンが自動的に停止した場合、ブレーキの負圧が低くなりブレーキの効きが悪くなります。通常より強めにブレーキペダルを踏み込んでください。
- 次のようなときは、AS&G 表示は点灯せず、エンジンは自動的に停止しません。
 - ・運転者がシートベルトを着用していないとき
 - ・運転席のドアが開いているとき
 - ・エンジンフード（ボンネット）が開いているとき
 - ・エンジンを始動してから、一度も速度が 5km/h 以上になっていないとき
 - ・エンジンスイッチでエンジンをかけてから、30 秒未満のとき
 - ・エンジンが自動的に再始動してから 10 秒以内に再停車したとき
 - ・セレクターレバーが **D** 以外するとき
 - ・エンジン冷却水の温度が低いとき
 - ・車外の気温が低いとき
 - ・バッテリー性能が劣化などの理由により低下しているときや、バッテリー上がりなどにより充電した直後に走行したとき
 - ・エンジン警告灯が点灯しているとき
 - ・AS&G OFF 表示が点滅しているとき

📖 アドバイス

- ・メーター内のセレクターレバー位置表示灯が点滅しているとき
- ・ASTC 作動表示灯と ASTC OFF 表示灯が点灯しているとき
- ・ABS 警告灯が点灯しているとき
- ・車内の温度が高いときに、エアコンを使用しているとき
- ・デフロスタースイッチが押されているとき
- ・設定温度を最高または最低にして、エアコンを AUTO 作動させているとき
- ・リヤデフォグ（曇り取り）や電装品が作動している場合や、エアコンの風量が強に設定されている場合など、消費電力が大きいとき
- ・オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなり、インフォメーション画面に警告が表示されているとき
- ・4WD セレクターで「4HLc」または「4LLc」を選択しているとき
- ・ヒルディセントコントロール[HDC]を使用しているとき
- ・リヤデフロックを使用しているとき
- 次のようなときは、AS&G 表示が点灯していても、エンジンが自動的に停止しない場合があります。
 - ・アクセルペダルを踏んでいるとき
 - ・ブレーキペダルを踏む力が弱いとき
 - ・ブレーキの負圧が低いとき

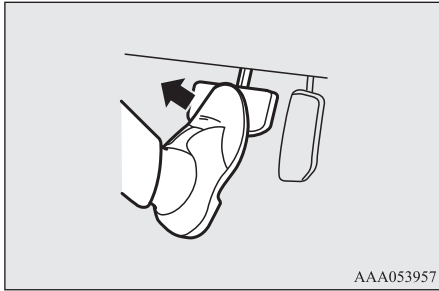
📖 アドバイス

- ・勾配が急な場所で停車したとき
- ・パーキングブレーキをかけているとき
- ・ハンドル操作をしているとき
- エアコン作動中に AS&G が作動した場合、エンジンとエアコンコンプレッサーの両方が停止し、送風のみとなるため、ウインドウガラスが曇ることがあります。ウインドウガラスが曇ったときは、デフロスタースイッチを押してエンジンを再始動させてください。
 - 「ウインドウガラスの曇りや霜を取りたいときは」P.5-6
- エンジンが停止するたびにウインドウガラスが曇る場合は、AS&G OFF スwitch を押して AS&G を非作動にすることをおすすめします。
 - 「AS&G を非作動にするには」P.4-146
- 車外の温度が高い状態でエアコンが作動している場合、エアコンの設定温度を高めに設定すると、エンジンの自動停止時間が延長されます。

エンジンを自動で再始動させるには

J10319600075

ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが自動的に再始動します。



アドバイス

- エンジンを自動で再始動させたときに、ブレーキをかけた状態を一時的に保持して、クリーブ現象などによる車両の不意な飛び出しを防ぐ機能が装備されています。セレクターレバーを **N** にすると、機能は解除されます。
機能作動中に、車体下から作動音がしたり、ブレーキペダルにショックを感じる場合がありますが、これは機能が正常に作動していることを示すもので、異常ではありません。

アドバイス

- エンジンが自動的に再始動しない場合やエンストした場合、充電警告灯およびエンジン警告灯が点灯します。
また、再始動に失敗した場合、AS&G OFF 表示が点灯し、運転者へ知らせます。この状態になると、ブレーキペダルから足を離してもエンジンは自動で再始動しません。
ブレーキペダルを踏み込みながら、セレクターレバーを **P** または **N** に入れ、エンジンスイッチを押してエンジンを手動で始動してください。AS&G OFF 表示はエンジンスイッチの電源モードを OFF にするまで点灯します。
詳しくは「エンジンの始動・停止」をお読みください。→P.4-5

注意

- 次のようなときは、ブレーキペダルから足を離さなくてもエンジンが自動的に再始動します。エンジンの再始動時に思わぬ事故につながるおそれがありますので、十分ご注意ください。
 - 坂道を惰性で下るなど、車速が 3km/h 以上になった
 - ブレーキペダルを繰り返し踏み込んだり、通常より強めに踏み込んだりして、ブレーキの負圧が低いとき
 - エンジン冷却水の温度が低いとき
 - セレクターレバーを **R** に入れたとき

注意

- セレクターレバーを **N** から **D** に入れたとき
- エアコンスイッチを ON にしたとき
- 温度調整スイッチを使用して、エアコンの設定温度を大きく変更したとき
- デフロスタースイッチを ON にしたとき
- エアコンを AUTO で使用しているときに、温度調整スイッチを操作し、最高温度または最低温度に設定したとき
- エアコンを使用しているときに、車内の温度が上昇して、エアコンのコンプレッサーが作動したとき
- リヤデフォグガー（曇り取り）や電装品を作動させた場合や、エアコンの風量を強に設定した場合など、消費電力が大きくなったとき
- バッテリーの充電量が低下したとき
- ハンドル操作をしたとき
- 運転者がシートベルトを外したとき
- 運転席のドアを開けたとき
- HDC スイッチを押したとき
- AS&G OFF スイッチを押したとき

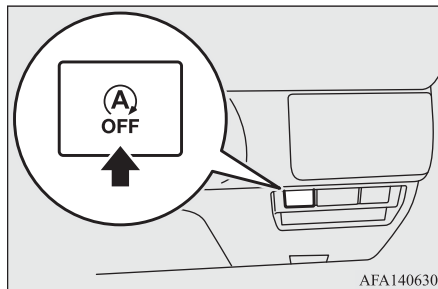
アドバイス

- エンジンが自動停止しているときにブレーキペダルを強く踏み込み、セレクターレバーを素早く **D** から **P** へ操作した後ブレーキペダルから足を離すと、エンジン停止状態を保持することができます。この状態から、エンジンを自動で再始動させるときは、もう一度ブレーキペダルを踏み込みます。電源モードを OFF にするときは、エンジンスイッチを押します。
- エンジンが自動停止しているときにエンジンフード（ボンネット）を開けると、AS&G OFF 表示が点灯してブザーが鳴り、エンジンは自動で再始動しません。再始動する場合は、ブレーキペダルを踏み込みながら、セレクターレバーを **P** に入れ、エンジンスイッチを押してエンジンを手動で始動してください。詳しくは「エンジンの始動・停止」をお読みください。→P.4-5
- エンジンが自動的に再始動するとき、一時的にオーディオの音量が下がることがありますが、故障ではありません。
- エンジンが自動で停止している間、一時的にエアコンの風量に変化することがありますが、故障ではありません。

AS&G を非作動にするには

J10319700050

エンジンスイッチの電源モードを ON にすると、AS&G が自動的に起動します。AS&G が起動しているときに AS&G OFF スイッチを押すと、インフォメーション画面に AS&G OFF 表示が表示され、AS&G が非作動状態になります。もう一度 AS&G OFF スイッチを押すと、AS&G OFF 表示が消え、AS&G が再度起動します。



AS&G OFF 表示



アドバイス

- この表示は、エンジンスイッチを ON にしたときも、数秒間点灯します。

走行中に AS&G OFF 表示が点滅したときは

J10319800048

走行中に AS&G OFF 表示が点滅したときは、AS&G が正常に作動しません。

AS&G OFF 表示が点滅したまま消えないときは、ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アクティブスタビリティ&トラクションコントロール [ASTC]

J10352900026

アクティブスタビリティ&トラクションコントロール [ASTC] はアンチロックブレーキシステム [ABS]、アクティブスタビリティコントロール機能およびアクティブトラクションコントロール機能を総合的に制御し、車両姿勢を安定させるとともに駆動力を確保する装置です。次の項も併せてお読みください。

→「アンチロックブレーキシステム [ABS]」 P.4-154

→「アクティブスタビリティコントロール機能」P.4-148

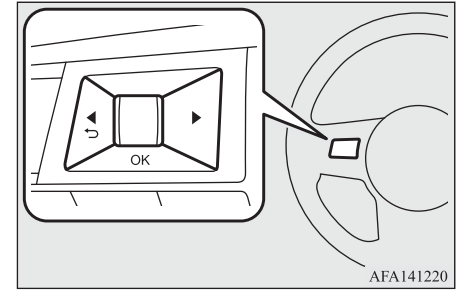
→「アクティブトラクションコントロール機能」P.4-148

注意

- ASTCを過信しないでください。ASTCが作動した状態でも車両の安定確保には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4輪とも指定サイズで同一サイズ、同一種類のタイヤを装着してください。指定以外のものや異なったサイズ、種類のを装着するとASTCが正常に作動しない場合があります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ASTCが正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- エンジンをかけてしばらく走行したとき
- ASTCが作動すると、車体に振動を感じたり、エンジンルーム内より作動音が聞こえたりします。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS警告灯が点灯しているときは、ASTCは作動しません。
- リヤデフロックを作動させると、ASTC作動表示灯、ASTC OFF表示灯およびABS警告灯が点灯し、ASTCおよびABSの機能を停止しますが故障ではありません。リヤデフロックを解除すると各表示灯、警告灯は消灯し、再度ASTCおよびABSが機能し始めます。
→「ABS警告灯」P.4-154
→「ASTC作動表示灯 / ASTC OFF表示灯」P.4-148



AFA141220

4

1. マルチインフォメーションディスプレイのメインメニューから ◀または ▶スイッチを押して、「設定」を選びダイヤルスイッチを押します。設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからダイヤルスイッチを回して、「ASC設定」を選びダイヤルスイッチを押します。
→「マルチインフォメーションディスプレイ」P.4-39
3. ダイヤルスイッチを回して、「システム」を選びダイヤルスイッチを押します。
4. ASTC設定画面が表示されるので、ダイヤルスイッチを回して、「ON」または「OFF」を選択します。
ダイヤルスイッチを押すことで、ASTCのON/OFFを切り換えることができます。

アドバイス

- 次のような場合は、エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また、ブレーキペダルにショックを感じる場合があります。これはASTC装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
●エンジンスイッチの電源モードをONにしたとき

ASTCのON/OFF作動切り換え

J1035300024

インフォメーション画面よりASTCのON/OFFを切り換えることができます。ON/OFFを切り換えるには、次の手順を行ってください。

アクティブスタビリティ&トラクションコントロール [ASTC]

システムを OFF にすると ASTC OFF 表示灯が点灯します。

コントロール機能のブレーキ制御は作動し続けます。)

⚠ 注意

- 安全のため、ASTCのOFFへの切り換え操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ずASTCをONにしてください。

📖 アドバイス

- ASTC を OFF にしてもエンジンを再始動すると自動的に ON に切り換わります。

ASTC を OFF にするときは

J10353100025

ぬかるみや砂地、新雪などからの脱出時に、4WD セレクターを「2H」、「4H」または「4HLc」に入れていると、アクセルを踏み込んでも ASTC の働きによりエンジン回転が上がらない場合があります。エンジン回転が上昇せず抜け出せないときは、4WD セレクターを「4LLc」に入れるか ASTC を OFF にしてください。抜け出しやすくなります。

(アクティブスタビリティコントロール機能を OFF または 4WD セレクターを「4LLc」にしてもアクティブトラクション

📖 アドバイス

- アクティブスタビリティコントロール機能を OFF にしても、車両の挙動によっては起動することがあります。

アクティブスタビリティコントロール機能

J10353200026

アクティブスタビリティコントロール機能は、障害物回避時の急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横滑りを、各車輪のブレーキとエンジン出力を制御することにより抑制し、車両の安定性を向上させる機能です。

📖 アドバイス

- アクティブスタビリティコントロール機能は、車速が約 15km/h 以上で作動します。
- 4WD セレクターが「4LLc」のときアクティブスタビリティコントロール機能は作動しません。4WD セレクターが「2H」、「4H」または「4HLc」のとき「4LLc」に入れると、アクティブスタビリティコントロール機能は自動的に作動を停止します。

📖 アドバイス

- リヤデフロックを作動させると、アクティブスタビリティコントロール機能を停止します。

アクティブトラクションコントロール機能

J10353300027

アクティブトラクションコントロール機能は、エンジン出力の制御と空転する駆動輪に自動的にブレーキをかける制御により、滑りやすい路面で駆動輪が空転するのを防止し車両の駆動力を確保する機能です。

⚠ 注意



- 雪道や凍結路を走行するときは、冬用タイヤを装着して速度は控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。

ASTC 作動表示灯 / ASTC OFF 表示灯


J10353400028

正常なときは、エンジンスイッチの電源モードを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。エンジンスイッチの電源モードを ON にしても表示灯が点灯しない、または点灯したままのときはシステ


ムの異常が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

-  ASTC 作動表示灯
ASTC が作動すると点滅します。
-  ASTC OFF 表示灯
次の操作でアクティブスタビリティコントロール機能がOFFになると点灯します。
 - ASTC を OFF にする
 - 4WD セレクターを「4LLc」にする

⚠ 注意

-  作動表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か、タイヤが滑り始めています。アクセルペダルを緩めて控えめな運転をしてください。

📖 アドバイス

- エンジンをかけると  表示灯が点灯することがあります。これはエンジン始動時にバッテリーの電圧が一時的に低下したため、すぐに消灯すれば故障ではありません。

ASTC 機能表示

ASTC または ABS が作動すると、インフォメーション画面のホイールが点滅します。

📖 アドバイス

- 2WD/4WD 作動表示画面を選択しているときのみ ASTC 機能の表示をします。

ASTC 警告灯

J10353500029

システムに異常があると、次の表示灯が同時に点灯します。

-  -ASTC 作動表示灯
-  -ASTC OFF 表示灯

このような場合は、次の方法で処置してください。

1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ、表示灯が消えるか確認します。

表示灯が消えれば、異常ではありません。消えないときや、たびたび点灯するときは、通常走行には支障はありませんが、で

きるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

けん引されるときは

J10359900025

⚠ 注意

- エンジンスイッチの電源モードを ON にして、前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと、アクティブトラクションコントロール機能が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。正しいけん引方法は、トランスミッションと駆動方式により異なります。→「けん引するとき」P.7-39

トレーラースタビリティアシスト [TSA]

J10352600023

TSA: Trailer Stability Assist

トレーラースタビリティアシスト [TSA] は、トレーラーをけん引していることで走行が不安定になると、エンジンの出力と制動力を制御して車両の走行安定性を保つ装置です。

TSA が作動して制動力の制御を行うと、制動灯（ブレーキランプ）が点灯します。

⚠️ 注意

- TSA を過信しないでください。
滑りやすい路面、強い横風、荷物の重さや積む位置、高速での走行などによっては車両の安定性を保持することができない場合があります。
常に交通状況、路面の状態、天気、荷物の重さや積み位置に注意して運転してください。
- 次のような場合は、TSA は作動しません。
 - ・急ブレーキや下り坂でのブレーキによって車両とトレーラーがくの字になったとき
 - ・急ハンドルによる横滑りが発生したとき

📖 アドバイス

- TSA が作動すると、車体から振動を感じたりエンジンルームから作動音が聞こえたりすることがあります。これは TSA が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- 車速が約 55km/h 以上で TSA は作動します。
- TSA が作動すると ASTC 作動表示灯が点滅します。
- ASTC が ON でないと TSA は作動しません。

緊急制動信号システム

J10302500043

緊急制動信号システムは、急ブレーキ時に、制動灯（ブレーキランプ）を自動的に速く点滅させることで後続車に注意を促し、追突の可能性を低減させる装置です。

⚠️ 注意

- ABS 警告または ASTC 警告が表示されているときは、緊急制動信号システムが作動しないことがあります。
→ 「ABS 警告」 P.4-154
→ 「ASTC 警告表示」 P.4-148

📖 アドバイス

- [緊急制動信号システムの作動条件]
次の条件がそろったときに作動します。
 - ・車速が約 50km/h 以上のとき
 - ・ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度やアンチロックブレーキシステム [ABS] の作動状況から、システムが急ブレーキだと判断したとき
- [緊急制動信号システムの作動停止条件]
次のいずれかの条件で作動を停止します。
 - ・非常点滅灯スイッチを押したとき
 - ・車両減速度や ABS の作動状況から、システムが急ブレーキではないと判断したとき

ヒルスタートアシスト [HSA]

J10302600073

HSA:Hill Start Assist

ヒルスタートアシスト [HSA] は、急な上り坂で発進するときに起こる車両の後退を防止し、発進を容易にする装置です。ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み換えるとき、ブレーキをかけた状態を約 2 秒間保持します。

⚠️ 注意

- HSA を過信しないでください。
極端に急な上り坂、凍結した上り坂、ぬかるんだ上り坂など路面の状態によっては車両を保持することができない場合があります。
また、停止するときにブレーキペダルの踏み方が不十分であったり、乗員の人数、荷物の重さなどによって HSA が作動しないことがあります。
- HSA は、2 秒以上車両の後退を防止することはできません。
- 上り坂でブレーキペダルを踏み込まずに、HSA を使って停止状態を保つことはしないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- HSA が作動中に、エンジンスイッチの電源モードを OFF にしないでください。HSA が作動を停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

使い方

J10319900078

1. ブレーキペダルを踏んで車両を完全に停止させます。
2. セレクターレバーを **D** に入れます。
3. ブレーキペダルから足を離します。HSA がブレーキ力を保持し、車両の後退を約 2 秒間防止します。
4. アクセルペダルを踏み込みます。HSA は、車両の発進に合わせて、徐々にブレーキ力を緩めます。

📖 アドバイス

- HSA は、次の条件がそろったときに作動します。
 - ・エンジンがかかっている
 - ・セレクターレバーが **P** または **N** 以外の位置に入れている
 - ・ブレーキペダルを踏んで、車両が完全に停止している
 - ・パーキングブレーキを解除している
- HSA は、ブレーキペダルから足を離す前にアクセルペダルを踏み込むと作動しません。

📖 アドバイス

- HSA は、坂道を後ろ向きに登るときにも作動します。
- 上り坂を後ろ向きに登るときはセレクターレバーを **R** に入れてください。
- HSA 作動中に車体下から作動音がすることがあります。これは HSA が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

警告灯

J10320000068

システムに異常があると警告灯が点灯します。



このような場合は、次の方法で処置してください。

1. 安全な場所に停車し、エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ、表示が消えるか確認します。

警告灯が消えれば異常ではありません。警告灯が消灯せず、頻繁に表示されるときは、通常走行には支障はありませんが、できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠ 注意

- 警告が表示されると HSA が作動を停止します。慎重に発進してください。

ヒルディセントコントロール [HDC]

J10352700024

HDC: Hill Descent Control

ヒルディセントコントロール [HDC] は、急な下り坂や滑りやすい路面を下るとき、一定の低車速を保ち、下り坂での走行を補助するシステムです。

⚠ 警告

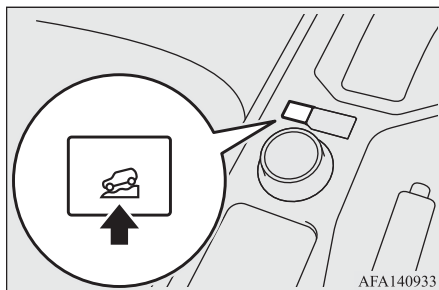
- 安全運転を行う責任は運転者にあります。HDC に頼った運転はせず、道路状況を確認し常に安全運転を心がけてください。
- 極端に急な下り坂、凍結路、泥状の下り坂では必要に応じてブレーキペダルを踏んでください。一定の速度を保持できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

● ブレーキ制御が連続で作動し、ブレーキ装置内部の温度が上昇しすぎた場合は、警告表示が表示されHDCの作動を一時停止します。このとき ASTC 警告灯が点灯することがあります。ブレーキは通常のブレーキとして作動します。

車を安全な場所に停止し、ブレーキ装置内部の温度が低下し、ASTC 警告灯が消灯すれば、HDC は再び作動します。

● HDCに異常があるとアクティブスタビリティ&トラクションコントロール[ASTC]警告灯が点灯します。ASTC 警告灯が点灯した場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



4. HDC 表示灯が点灯することを確認します。HDC 表示灯が点灯すればスタンバイ状態になります。



HDC を起動（スタンバイ）するとき

1. 車両を完全に停止させます。
2. セレクターレバーを **D** または **R** に入れます。
3. HDC スイッチを押します。

📖 アドバイス

- エンジンスイッチの電源モードを ON にすると、HDC 表示灯が点灯し数秒後に消灯します。
- HDC スイッチを押してスタンバイ状態にすぐには HDC スイッチを押すと、保護機能が作動して HDC が OFF になります。その後 HDC スイッチを押してもスタンバイ状態にはなりません。一度、エンジンスイッチの電源モードを OFF にし、再度 ON にしてから HDC スイッチを押してください。

📖 アドバイス

- 次のような状況ではHDCスイッチを押してもスタンバイ状態になりません。
 - ・車速が約 20km/h 以上のとき
 - ・リヤデフロックを使用しているとき
 - ・ブレーキの温度が高いとき
 - ・ASTC 警告灯が点灯しているとき

HDC は、次の条件が満たされたときのみ作動します。

- 車速が約 20km/h 以下のとき
- アクセルペダルとブレーキペダルを踏んでいないとき

制御が働くと HDC 表示灯が点滅し、制動灯（ブレーキランプ）が点灯します。アクセルペダルまたはブレーキペダルの操作で車速を変更することができます。ペダルから足を離れたときの車速で制御を続けます。

📖 アドバイス

- 次のような状況ではHDCがスタンバイ状態でも制御は行いません。
 - ・車速が約 20km/h 以上のとき
- HDC が作動しているとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生したりすることがありますが、異常ではありません。

HDC を非作動にするには

1. HDCスイッチを押します。HDCは徐々に解除されます。
2. HDC 表示灯が消灯することを確認します。

アドバイス

- 次のような状況ではHDCスイッチを押さなくても自動的に OFF となり HDC 表示灯が消灯します。
 - 車速が約 80km/h 以上のとき
 - リヤデフロックを使用しているとき
 - ASTC 警告灯が点灯しているとき
 - ブレーキの温度が高いとき

ブレーキアシスト

J10302700058

ブレーキアシストは、緊急制動時などにブレーキペダルを強く踏み込めない運転者を補助し、より大きな制動力を確保する装置です。ブレーキペダルを素早く踏み込んだときにブレーキが強くなるようになります。

注意

- ブレーキアシストは、ブレーキ性能以上の制動力を発揮させる装置ではありません。ブレーキアシストを過信せず、十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

アドバイス

- 一旦ブレーキアシストが作動すると、ブレーキペダルを緩めても大きな制動力を保持します。ブレーキアシストの作動を停止させたいときは、ブレーキから完全に足を離してください。
- 走行中にブレーキアシストが作動すると、ブレーキペダルが軽く感じられることがあります。また作動音とともにペダルが小刻みに動いたり、車体やハンドルに振動を感じる場合があります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- ASTC警告灯のみが点灯しているときは、ブレーキアシストは作動しない場合があります。

シャーシコントロール

J10352800025

シャーシコントロールはアクティブヨーコントロール [AYC] の機能を含む電気制御システムです。

アクティブヨーコントロール [AYC]

AYC: Active Yaw Control system

アクティブヨーコントロール [AYC] は、ヨーコントロール機能を持ち、ブレーキを制御することで左右輪間の駆動/制動力配分をコントロールするシステムです。

注意

- AYC は、車両の停止性能を向上させる制御ではありません。周囲の安全に十分注意して走行してください。

アドバイス

- AYC が作動すると、ブレーキペダルに振動を感じたり、わずかな減速を感じたり作動音が聞こえることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

ヨーコントロール機能

ヨーコントロール機能は、素早くハンドルを操作したときや滑りやすい路面でハンドル操作したときなどに、左右輪の駆動力差やブレーキ力を制御し車両の旋回する力（ヨーモーメント）をコントロールすることで、車両の旋回性能と安定性を向上させる機能です。

AYC が正しく機能していないときは、インフォメーション画面に「シャシー制御システム故障 取扱説明書を見てください」のメッセージが表示されます。このときはシステムの故障が考えられますので、三菱自動車販売会社に連絡してください。

→「インフォメーション画面表示」P.4-51

アンチロックブレーキシステム [ABS]

J10302800075

アンチロックブレーキシステム[ABS]は、急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し、制動力を維持し、かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠️ 注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとは限りません。ABS を過信せず、十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足まわりに付いた雪や泥を取り除いてください。足まわりを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4 輪とも同一サイズ、同一種類の指定タイヤを装着してください。サイズや、種類の異なるタイヤを混用すると、ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル [LSD] を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

📖 アドバイス

- 次のような場合は、ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなる場合がありますので、速度は控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。
 - ・砂利道や深い新雪路を走行するとき
 - ・タイヤチェーンを装着しているとき
 - ・道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
 - ・凹凸道などの悪路を走行するとき

📖 アドバイス

- マンホール、工事用の鉄板、白線の上、段差を乗り越えるときなど、車輪が滑りやすい状況では、車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。
- ABS が作動すると車体、ハンドル、ブレーキペダルに振動を感じたり、作動音が聞こえます。また、ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じる場合があります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 次のような場合は、エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また、ブレーキペダルにショックを感じる場合があります。これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
 - ・エンジンスイッチの電源モードを ON にしたとき
 - ・エンジンをかけてすぐに走行したとき
- ABS は、発進後車速が約 10km/h になるまで作動しません。

ABS 警告灯

J10357700029



システムに異常があると警告灯が点灯します。
正常なときはエンジンスイッチの電源モードをONにすると警告灯が点灯し、数秒後に消灯します。

⚠ 注意

- 次のように警告灯が点灯したときは、ABSは作動せず普通のブレーキとして作動します。このときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- エンジンスイッチの電源モードをONにしてもABS警告灯が点灯しない、または点灯したまま消灯しないとき
- 走行中にABS警告灯が点灯したとき

📖 アドバイス

- リヤデフロックを作動させると、ASTC作動表示灯、ASTC OFF表示灯およびABS警告灯が点灯し、ASTCおよびABSの機能を停止しますが故障ではありません。リヤデフロックを解除すると各表示灯、警告灯は消灯し、再度ASTCおよびABSが機能し始めます。
→ 「ASTC作動表示灯 / ASTC OFF表示灯」 P.4-148

走行中に警告灯が点灯したときは

J10320200071

ABS 警告灯のみが点灯したときは

- 急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に停車します。
エンジンを停止し、再度エンジンをかけ、しばらく走行した後に、警告灯が消灯したら、ABSの故障ではありません。
しばらく走行しても警告灯の点灯が継続したときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
このとき、ABSは作動せず、普通のブレーキとして作動します。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると、警告を表示することがありますがABSの故障ではありません。このようなときは、しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。充電しても警告が表示されたときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ABS 警告灯とブレーキ警告灯が点灯したときは

ABS 警告灯



ブレーキ警告灯



ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため、急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
急ブレーキや高速走行を避け、ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社にご連絡ください。

📖 アドバイス

- ABS警告灯とブレーキ警告灯は同時に点灯します。

電動パワーステアリング [EPS]

J10302900021

電動パワーステアリング [EPS] は、エンジン回転中にパワーアシストが作動し、ハンドルの操作力を軽くする装置です。もし、パワーアシストが作動しなくなったときは、ハンドルが重くなります。この場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。エンジンを止めると、ハンドルが非常に重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 駐車するときなどにハンドルをいっぱい回す操作を繰り返すと、システムの過熱を防止するため保護機能が働きハンドル操作が徐々に重くなります。この場合、しばらくハンドル操作を控えてください。システムの温度が下がるとハンドルの操作力は元に戻ります。

アドバイス

- ヘッドライトを点灯したままで停車しているとき、ハンドル操作をするとヘッドライトが暗くなることがありますが異常ではありません。しばらくすれば元の明るさに戻ります。

警告灯

J10357800020



システムに異常があるときは、警告灯が点灯します。

正常なときは、エンジンスイッチの電源モードをONにすると警告灯が点灯し、エンジンを始動すると消灯します。

注意

- エンジン回転中に表示したときは、ハンドルが重くなることがありますので、できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

快適装備の使い方

エアコン

エアコンの上手な使い方	5-2
クリーンエアフィルター	5-2
吹き出し口	5-2
左右独立温度コントロール式フルオートエアコン	5-5
スタートアップヒーター	5-9
リヤサーキュレーター	5-10
エアコンのカスタマイズ（機能の設定変更）	5-12

オーディオ

USB ポート	5-12
アンテナ	5-14

室内装備

サンバイザー	5-14
アクセサリソケット (DC12V)	5-15
充電用 USB ポート	5-16
室内灯	5-16
小物入れ	5-18
ドリンクホルダー	5-20
ボトルホルダー	5-21
アシストグリップ	5-22
コンビニエントフック	5-22
フロアマット	5-22

- スマートフォン連携ナビゲーションの操作方法については、別冊の取扱説明書をお読みください。

エアコンの上手な使い方

J10400300077

⚠️ 注意

- 冷暖房中はエンジン回転数が高くなる場合があります。停車中にエンジン回転数が高くなるとクリーブ現象が強くなりますので、停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
→「オートマチック車の運転のしかた：クリーブ現象とは」P.4-17

5

長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してからエアコンを作動させてください。

冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので、少し涼しいと感じる温度に調整してください。

冷媒ガス量の点検を忘れずに

冷媒ガスが不足すると冷房、除湿効果が悪くなります。暑い季節になる前に三菱自動車販売会社で冷媒ガス量の点検を受けてください。

⚠️ 注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は、エンジンフード（ボンネット）内に貼り付けてあるエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合、エアコンコンプレッサーが故障し、エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

📖 アドバイス

- エアコン冷媒は、オゾン層を破壊させない代替フロンガスHFO-1234yf (R1234yf)を使用していますが、この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は、三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い、ガスの大気放出を防止してください。

クリーンエアフィルター

J10400400023

花粉やほこり、粉じんなどを取り除くフィルターを内蔵しています。フィル

ターに花粉やほこりなどが付着すると効果が低下しますので、フィルターは定期的に交換してください。

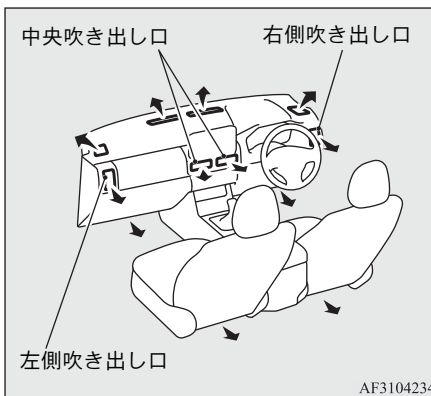
→「クリーンエアフィルターの交換」P.6-8

📖 アドバイス

- フィルターの交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

吹き出し口

J1040010008

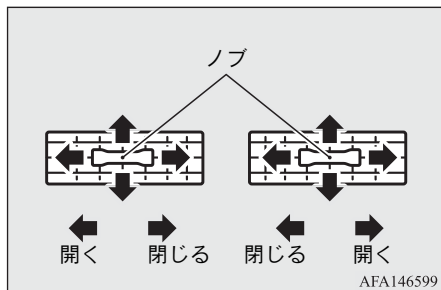


風向き調整

J10401900070

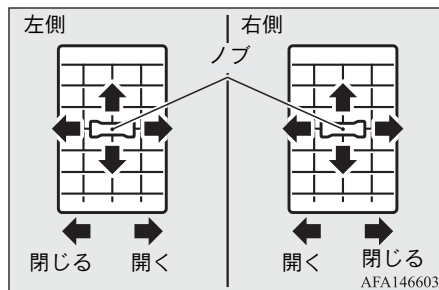
中央吹き出し口

ノブを動かして調整します。
吹き出し口を閉じるときは、ノブを内側
いっぱいまで動かします。



左右吹き出し口

ノブを動かして調整します。
吹き出し口を閉じるときは、ノブを外側
いっぱいまで動かします。



📖 アドバイス

- 吹き出し口に飲み物などが入らないようにしてください。エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。

吹き出し口を切り換えたいときは





J10402000078

MODE スイッチまたはデフロスタースイッチを押して、使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

→: 風量：弱 ↗: 風量：中 ➡: 風量：強

 上半身に送風したいとき	 上半身と足元に送風したいとき	 足元に送風したいとき
 <p style="text-align: center;">AFM116103</p>	 <p style="text-align: center;">AFM118703</p>	 <p style="text-align: center;">AFM118716</p>

5

 足元とウィンドウガラスに送風したいとき	 ウィンドウガラスに送風したいとき
 <p style="text-align: center;">AFM118729</p>	 <p style="text-align: center;">AFM116145</p>

アドバイス

- オートストップ&ゴー [AS&G] が作動中にウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇ったときは、デフロスタースイッチを押して、曇りを取ってください。

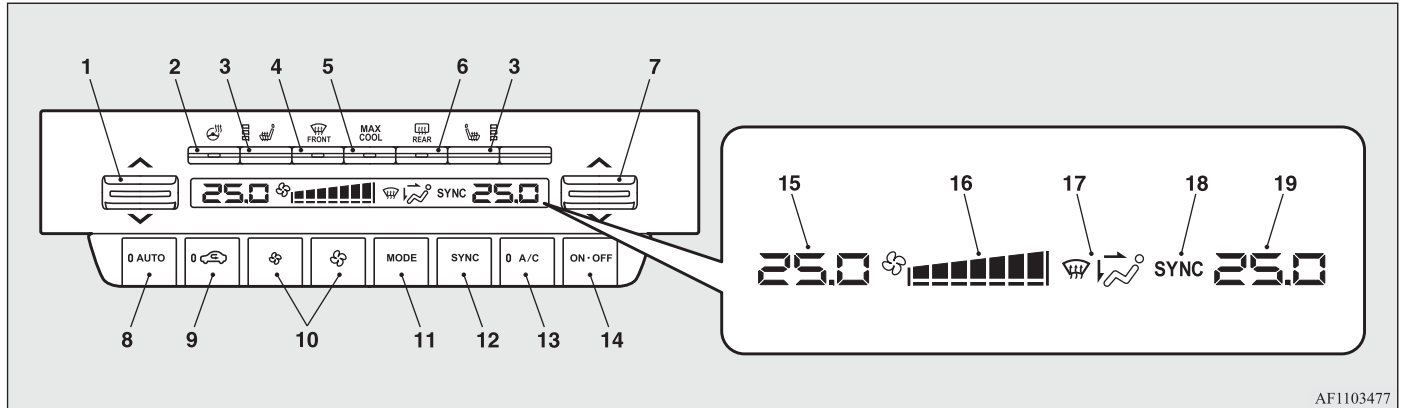
アドバイス

- 吹き出し口または吹き出し口を使用するときは、ウィンドウガラスの曇りを防止するため、内外気切り換えスイッチにて、外気導入にしてください。

左右独立温度コントロール式フルオートエアコン

J1040020050

エンジンスイッチの電源モードが ON の状態のときに使用できます。




AF1103477

- | | | |
|-------------------------------|----------------------------|-------------------------|
| 1- 助手席側温度調整スイッチ
→ P.5-7 | 6- リヤデフォグスイッチ
→ P.4-72 | 12- SYNC スイッチ → P.5-8 |
| 2- ステアリングヒータースイッチ
→ P.4-73 | 7- 運転席側温度調整スイッチ
→ P.5-7 | 13- A/C スイッチ → P.5-8 |
| 3- シートヒータースイッチ → P.3-20 | 8- AUTO スイッチ → P.5-6 | 14- ON・OFF スイッチ → P.5-6 |
| 4- デフロスタースイッチ → P.5-6 | 9- 内外気切り換えスイッチ → P.5-9 | 15- 助手席側設定温度表示灯 → P.5-7 |
| 5- MAX COOL スイッチ → P.5-8 | 10- 風量調整スイッチ → P.5-7 | 16- 風量表示灯 → P.5-7 |
| | 11- MODE スイッチ → P.5-4 | 17- 吹き出し口表示灯 → P.5-4 |
| | | 18- SYNC 作動表示灯 → P.5-8 |
| | | 19- 運転席側設定温度表示灯 → P.5-7 |

● 目的に合った使い方

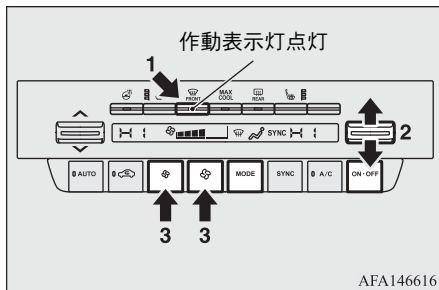
- ウインドウガラスの曇りや霜を取りたいときは → P.5-6
- 自動で使うときは → P.5-6
- 手動で使うときは → P.5-7
- 風量調整したいときは → P.5-7
- 温度調整したいときは → P.5-7
- 早く冷房したいときは → P.5-8
- 運転席側と助手席側の温度を独立して調整したいときは → P.5-8
- エアコン（冷房・除湿機能）を作動／停止したいときは → P.5-8
- 内外気を切り換えたいときは → P.5-9
- 排気ガス、ほこりなどを車室内に入れたくないときは → P.5-9

 **アドバイス**


- 非常に寒いときに画面の動きが遅くなることがありますが、故障ではありません。車室内の温度が、常温に戻れば回復します。

ウインドウガラスの曇りや霜を取りたいときは

J10428500042





1. デフロスタースイッチを押すと、作動表示灯が点灯します。
このとき、エアコンが自動的に作動し、内外気切り換えは外気導入に切り換わります。
2. 運転席側の温度調整スイッチでお好みの温度に設定します。
3. 風量調整スイッチでお好みの風量に設定します。

 **注意**

- 安全のため、ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

 **注意**

- MODE スイッチを押して、吹き出し口を  に切り換えてもウインドウガラスの曇りや霜を取ることができますが、自動的にエアコンは作動しません。また、外気導入にも切り換わりません。エアコンの作動および外気導入への切り換えは、A/C スイッチおよび内外気切り換えスイッチを操作してください。
- デフロスタースイッチを押したときは、設定温度を最低温度付近にしないでください。ウインドウガラスの外側に露が付き、視界を妨げることがあります。

 **アドバイス**

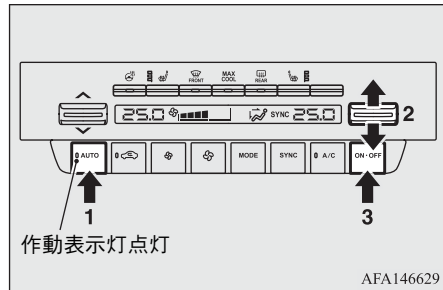
- 曇りや霜を早く取りたいときは風量を最大に、温度を最高に設定します。
- サイドウインドウガラスの曇りを早く取りたいときは、左右の吹き出し口をサイドウインドウガラスに向けてください。
- デフロスタースイッチを押すと、オートストップ&ゴー [AS&G] が作動せず、停車してもエンジンは自動停止しません。これは十分な視界を確保するためです。

自動で使うときは

J10403000059

吹き出し口、風量およびエアコンの ON/OFF を自動的に調整します。AUTO

スイッチを押すと、作動表示灯が点灯します。



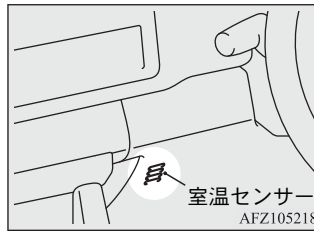
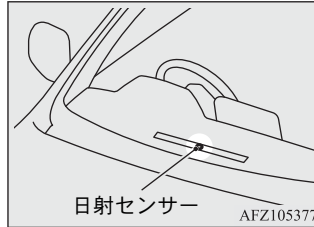
1. AUTO スイッチを押します。
2. 温度調整スイッチで希望温度を設定します。設定温度を LO (18.0) ~ HI (32.0) の間で調整できます。
3. 停止するときには ON・OFF スイッチを押します。再度スイッチを押すと作動します。

アドバイス

- 25.0 を基準に、お好みの温度に調整してください。
- AUTO 作動中にスイッチを操作すると操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。

アドバイス

- フルオートエアコンの自動温度調整は、日射センサーと室温センサーで行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけたりしないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



手動で使うときは

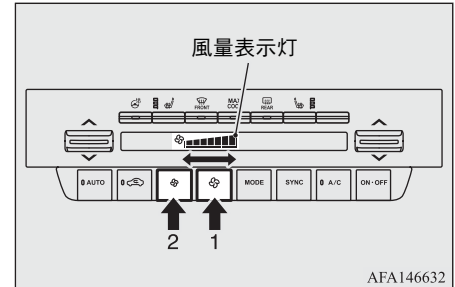
お好みに合わせてスイッチを操作してください。AUTO 作動中でも、操作した機能が優先されます。

操作した機能以外は自動制御されます。停止するときには ON・OFF スイッチを押します。再度スイッチを押すと作動します。

風量調整したいときは

J10428300040

風量を強くするときはスイッチ (1) を、弱くするときはスイッチ (2) を押します。設定した風量は風量表示灯に表示されます。



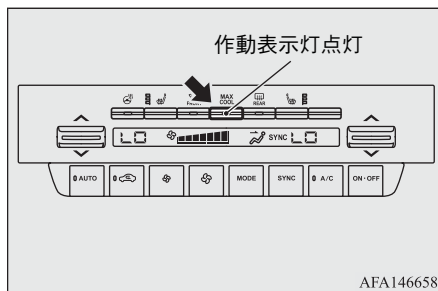
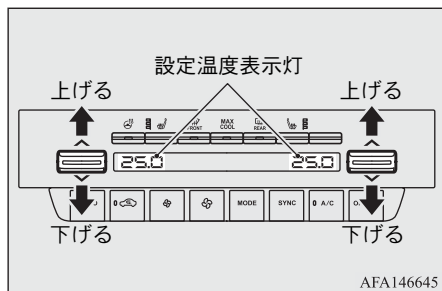
5

温度調整したいときは

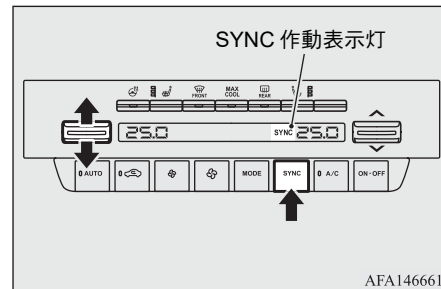
J10428400041

送風温度を上げるときはスイッチを押して上げ、下げるときは押し下げます。設定した温度は設定温度表示灯に表示されます。

左右独立温度コントロール式フルオートエアコン



SYNC スイッチを押すと、運転席と助手席の設定温度は同じになり、SYNC 作動表示灯が点灯します。



5 アドバイス

- 設定温度表示灯の値は、マルチインフォメーションディスプレイの温度単位に連動して切り換わります。
→「単位／言語」P.4-49
- エンジン冷却水の温度が低いときに温度調整スイッチを押しても送風温度は変わりません。

5 アドバイス

- MAX COOL スイッチを押すと、吹き出し口が自動的に切り換わり、エアコンが作動し、内気循環に切り換わります。
- 条件によっては再度スイッチを押しても、風量や吹き出し口が前の状態に戻らない場合があります。

5 アドバイス

- SYNC 作動表示灯が点灯しているときに運転席側の温度調整スイッチを操作すると、助手席側も同じ設定温度になります。

早く冷房したいときは

J10431700022

MAX COOL スイッチを押すと、冷房出力が最大になり、作動表示灯が点灯します。作動表示灯が点灯しているときに再度スイッチを押すと、冷房出力が最大になる前の状態に戻ります。

運転席側と助手席側の温度を独立して調整したいときは

J10428600043

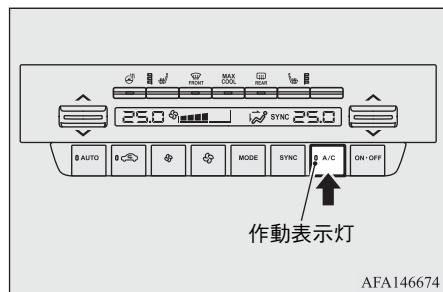
SYNC 作動表示灯が点灯しているときに助手席側の温度調整スイッチ、または SYNC スイッチを操作すると、運転席側と助手席側の温度を独立して設定することができます。

このとき、SYNC 作動表示灯が消灯します。

エアコン（冷房・除湿機能）を作動／停止したいときは

J10428800058

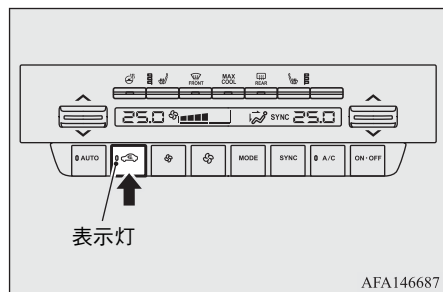
A/C スイッチを押すごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動または停止が切り換わります。エアコン作動中は表示灯が点灯します。



内外気を切り換えたいときは

J10428700044

内外気切り換えスイッチを押すと外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気を遮断する）の切り換えができます。内気循環に切り換わるとスイッチ内の表示灯が点灯します。



⚠ 注意

- ウィンドウガラスの曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。長時間内気循環にしておくとウィンドウガラスが曇りやすくなるため、ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

📖 アドバイス

- 早く冷暖房したいときは、内気循環にすると効果的です。
- 次のいずれかの操作をすると、内外気切り換えスイッチは自動制御になります。
 - 手動で外気導入にしているときにエンジンスイッチの電源モードを OFF にした後、エンジンスイッチの電源モードを ON にする
 - エンジンスイッチの電源モードを ON にしてから初めてデフロスタースイッチを OFF にする
- 表示灯が消灯しているとき、内外気切り換えスイッチを約 2 秒間長押しすると、表示灯が 2 回点滅し、内外気切り換え制御スイッチは自動制御になります。
- 内外気切り換えスイッチが自動制御のときに内外気切り換えスイッチを押すと、自動制御が解除されます。

排気ガス、ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J10428900020

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは、内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。

→ 「内外気を切り換えたいときは」 P.5-9

スタートアップヒーター

J10409000064

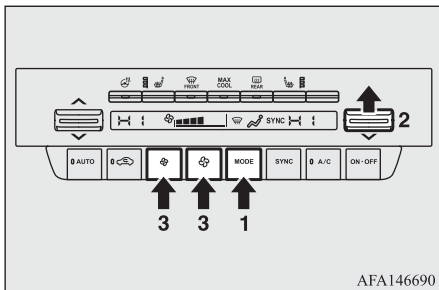
エンジン冷却水の温度が低いとき、暖房性能を向上させるための電気式ヒーターです。

自動で使いたいときは

AUTO スイッチを押し、運転席側または助手席側の温度調整スイッチでお好みの温度に設定してください。エンジン冷却水と車室内の温度から判断して自動で作動、停止を行います。

リヤサーキュレーター

手動で使いたいときは



- 5**
1. MODE スイッチを押して吹き出し口をお好みに設定します。
 2. 運転席側の温度調整スイッチで設定温度表示灯を HI に設定します。
 3. 風量調整スイッチで風量をお好みに設定します。

アドバイス

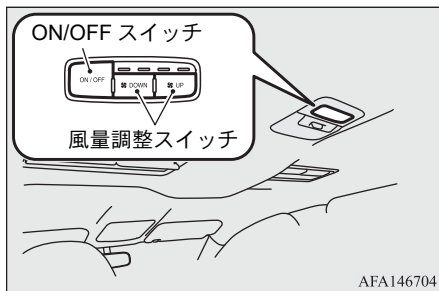
- エンジン冷却水の温度が十分に上昇すると、自動で停止します。

リヤサーキュレーター

J10431500020

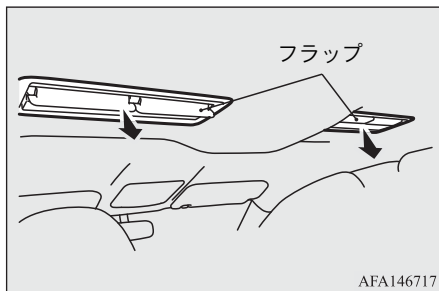
リヤサーキュレーターは、後席に風を送り、空気を循環させる装置です。エンジンスイッチの電源モードが ON の状態のときに使用できます。

5-10 快適装備の使い方



風向きを調整するときは

フラップを動かして調整します。

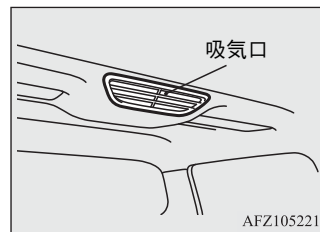


アドバイス

- 中央吹き出し口を上向きに調整すると、エアコンの冷風を効果的に後席に送ることができます。

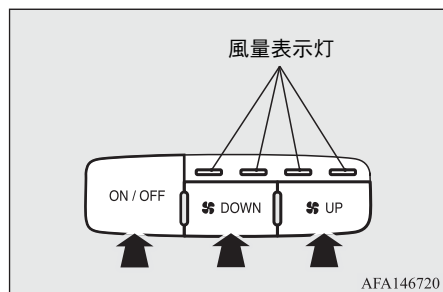
アドバイス

- 吸気口に異物を入れないでください。



リヤサーキュレーターを使うときは

1. 作動させるときは、ON/OFF スイッチを押します。
2. 風量を強くするときは UP スイッチを、弱くするときは DOWN スイッチを押します。
選択した風量は、風量表示灯に表示されます。
3. 作動を停止したいときは、再度 ON/OFF スイッチを押します。



📖 アドバイス

- 次の場合でも風量を記憶しています。
 - ON/OFF スイッチを押してリヤサーキュレーターの作動を停止したとき
 - エンジンスイッチの電源モードを OFF にしたとき
- ただし、バッテリーを外すと記憶は消去され、自動的に風量弱になります。

エアコンのカスタマイズ（機能の設定変更）

J1042900009

次の機能をお好みに合わせて変更することができます。

項目	設定内容	工場出荷時の設定	設定変更方法	
			マルチインフォメーションディスプレイ*2	三菱自動車販売会社
ECOモードのときのエアコンのECO制御	ECOモード動作時に、エアコンのエコ運転*1のON/OFFを選択できます。	ON	○	○

5

*1：エコ運転時は、エアコンの作動を抑制しているため、エアコンの効きが弱いと感じる場合があります。

*2：マルチインフォメーションディスプレイ操作での設定変更は次の項をお読みください。

→「エコ」P.4-46

USBポート

J10401500076

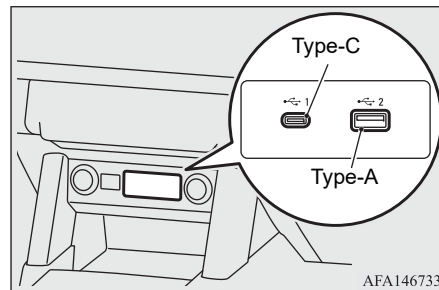
USBデバイスまたはiPod*を接続することができます。

*：“iPod”は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

USBポートはインパネセンターパネルにあります。

⚠ 注意

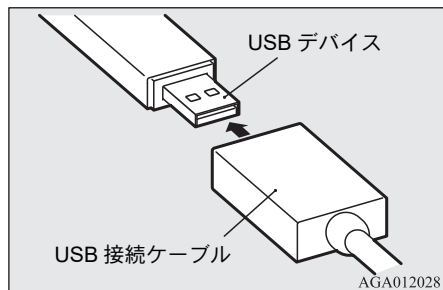
- USB接続ケーブルをUSBポートに無理やり押し込まないでください。USB接続ケーブルを斜めまたは上下逆さまに差し込むと、USBポートが損傷するおそれがあります。USB接続ケーブルをUSBポートに正しく接続してください。
- USB接続ケーブルを意図せず引いてしまいうような場所に置かないでください。USB接続ケーブルを引くとUSBポートが損傷するおそれがあります。



USB デバイス（機器）の接続のしかた

J10403500041

1. 安全な場所に車両を停車して、エンジンスイッチの電源モードを OFF にします。
2. 市販の USB 接続ケーブルを USB デバイスに接続します。



3. USB 接続ケーブルを USB ポートに接続します。

アドバイス

- USB デバイスを USB ポートに直接接続しないでください。

4. USB 接続ケーブルを取り外すときは、電源モードを OFF にしてから、取り付けるときと逆の手順で取り外します。

iPod の接続のしかた

J10403600042

1. 安全な場所に車両を止めて、エンジンスイッチの電源モードを OFF にします。
2. iPod にコネクタケーブルを接続します。

アドバイス

- コネクタケーブルは Apple Inc. 純正品を使用してください。

3. USB ポートにコネクタケーブルを接続します。
4. コネクタケーブルを取り外すときは、電源モードを OFF にしてから、取り付けるときと逆の手順で取り外します。

接続できるデバイス（機器）の種類および対応可能なファイルの仕様

J10403700098

接続できるデバイスの種類および対応可能なファイルの仕様については、別冊の「スマートフォン連携ナビゲーション」取扱説明書をお読みください。

アドバイス

- 接続されている USB デバイスまたはその他のデバイスの種類によっては、正しく機能しなかったり、ご使用いただける機能に制限がある場合があります。
- 最新のファームウェアにした iPod の使用をおすすめします。
- iPod はエンジンスイッチの電源モードが ON のときに USB ポートに接続することで充電することができます。
- iPad の充電には対応していません。
- USB デバイスまたは iPod を車内に置いたままにしないでください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- 接続可能なデバイス以外の機器（ハードディスク、カードリーダー、メモリーリーダーなど）を USB ポートに接続しないでください。デバイスおよびデータが破損するおそれがあります。誤って接続した場合はエンジンスイッチの電源モードを OFF にしてから取り外してください。

USB デバイスの取り扱い

J10431600021

- USB デバイスの端子部分に触れないでください。
- USB デバイスの上に重い物を置かないでください。
- USB デバイスを湿気の多い場所に保管しないでください。

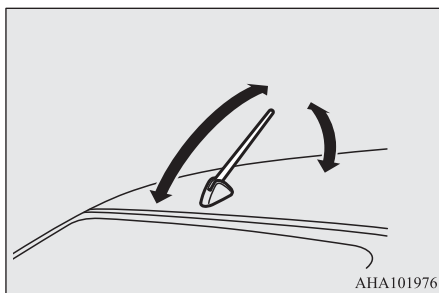
アンテナ

- USB デバイスを直射日光にさらさないでください。
- USB デバイ스에 液体をかけないでください。

詳細はUSBデバイスの取扱説明書をお読みください。

アンテナ

J10400500079



アドバイス

- 次のようなときは、アンテナを損傷するおそれがあるため必ずアンテナを取り外してください。
 - ・自動洗車機を使用するとき
 - ・ポデーカバーをかけるとき
- 立体駐車場など天井の低い所へ入るときは、アンテナが当たらないように倒してください。

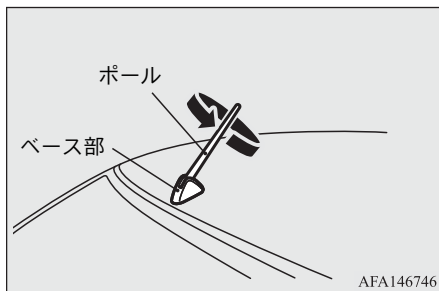
⚠ 注意

- アンテナが凍結すると、ラジオの受信状態が悪くなることがあります。受信状態を回復するには、氷を取り除いてください。
- ルーフから雪を取り除くときは、アンテナに強い力を加えないでください。アンテナが損傷したり、ルーフパネルがへこむおそれがあります。
- 高圧洗浄機を使用するときは、ノズルをアンテナに向けしないでください。シール部が変形または損傷するおそれがあります。
- ルーフ上の荷物で電波がさえぎられると、ラジオの受信状態が悪くなることがあります。できるだけアンテナの近くに荷物を載せないでください。

ラジオを聞くときは、アンテナをカチツと音がする位置まで起こしてからお聞きください。

取り外し方、取り付け方

取り外すときはポールを反時計回りに回します。

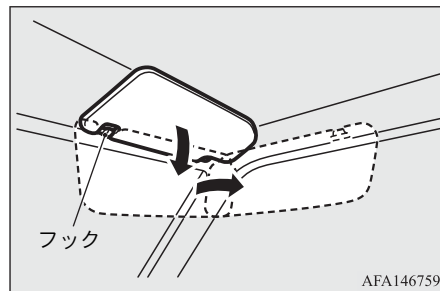


取り付けるときは時計回りに回してポールをベース部にねじ込み、しっかりと取り付けてください。

サンバイザー

J10400600054

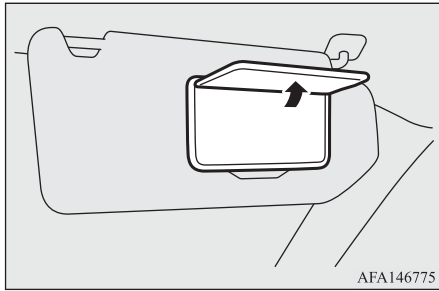
前面だけでなく、フックから外せば側面にも回せます。



バニティミラー

J10404000072

サンバイザーの裏側にあります。

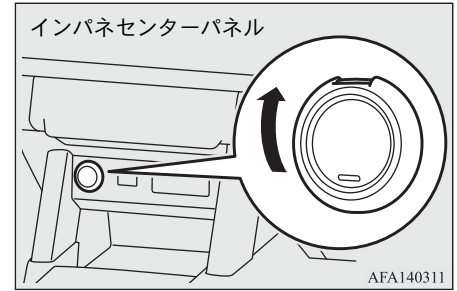


⚠ 注意

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため、プラスチック素材のカードをはさんだままにしないでください。カードが変形やひび割れを起こすおそれがあります。

アクセサリソケット (DC12V)

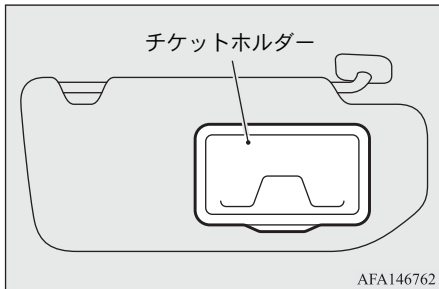
J10400700101



チケットホルダー

J10404100073

サンバイザーの裏側にあります。



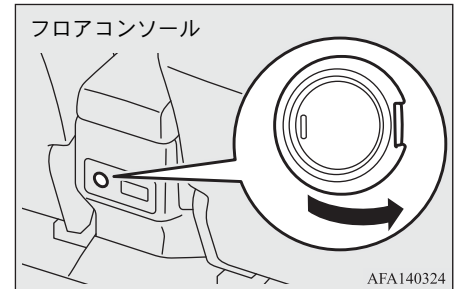
エンジンスイッチの電源モードが ON のときに使用できます。プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。必ず、12V で消費電力が 120W 以下の電気製品を使用してください。

フロント

ふたを開けて使用します。

リヤ

ふたを開けて使用します。



充電用 USB ポート

⚠ 注意

- ソケットを同時に使用するときは、2つのソケットを合わせて 12V で消費電力が 120W 以下の電気製品を使用してください。120W を超える電気製品を使用すると、ヒューズが切れるおそれがあります。
- 市販の電気製品を使用しないでください。バッテリー上がりやアクセサリソケットが損傷する原因となります。
- ソケットのふたを開けたまま放置しないでください。プラグタイプ以外の物をソケットに入ると故障したり、ショートする可能性があります。

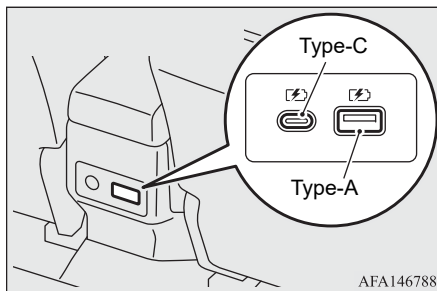
📖 アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間使用すると、バッテリーが上がる可能性があります。

充電用 USB ポート

J10414600042

エンジンスイッチまたは電源モードが ON のときに、USB デバイス（機器）の電源として使用できます。使用するときは、フロアコンソールボックスにある充電用 USB ポートに、USB 接続ケーブルを接続します。



⚠ 注意

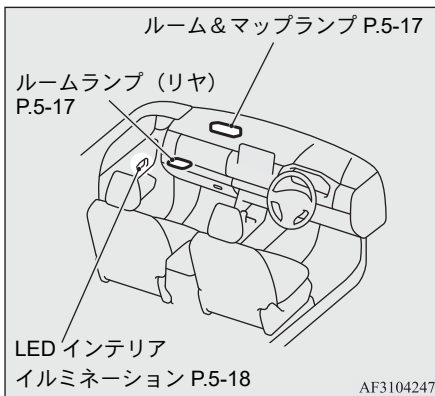
- USB 接続ケーブルを差し込むときは、まっすぐに根元まで差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱によりヒューズが切れるおそれがあります。
- Type-A の充電用 USB ポートを使用するときは、接続する USB デバイスの消費電力が 12W (最大定格出力: 5V-2.4A)、Type-C の充電用 USB ポートを使用するときは、接続する USB デバイスの消費電力が 15W (最大定格出力: 5V-3A) を、それぞれ超えないようにしてください。充電用 USB ポートや接続した USB デバイスが損傷するおそれがあります。
- USB コネクターボードが中央にあるリバーシブルタイプの USB コネクターを接続しないでください。充電用 USB ポートが破損するおそれがあります。

📖 アドバイス

- 充電用 USB ポートは電源としてのみ使用できます。車両のオーディオ機器には接続されません。
- USB ハブなどを使用して、複数の USB デバイスを同時に充電しないでください。
- 万一、飲み物などをこぼした場合は、使用を中止し三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- エンジンがかかっていないときに長い間使用すると、バッテリーが上がる可能性があります。

室内灯

J10400800085



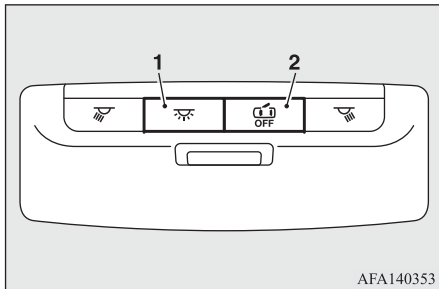
アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくと、バッテリーが上がることがあります。車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

ルームランプ

J10404200074

フロント



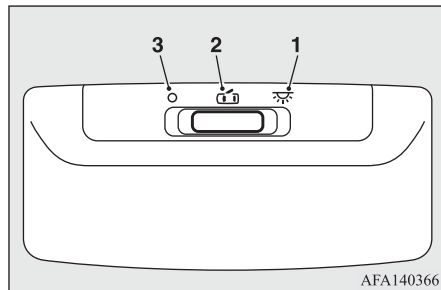
AFA140353

- 1- スイッチを押し込むと、ルームランプが常時点灯します。もう一度押すと、ルームランプが消灯します。

- 2- スイッチを押し込むと、ドアを開けてもルームランプが点灯しなくなります。スイッチが押し込まれていないときは、いずれかのドアを開けるとルームランプが点灯し、閉じると約 20 秒後に消灯します。ただし、次のようなときはすぐに消灯します。

- エンジンスイッチの電源モードを ON にしたとき
- キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき
- キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

リヤ



AFA140366

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
1-ON	常時点灯
2-DOOR	<p>いずれかのドアを開けると点灯、閉じると約 20 秒後に消灯します。ただし、次のようなときはすぐに消灯します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エンジンスイッチの電源モードを ON にしたとき ● キーレスオペレーションキーの LOCK スイッチを押して施錠したとき ● キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき
3-OFF	常時消灯

アドバイス

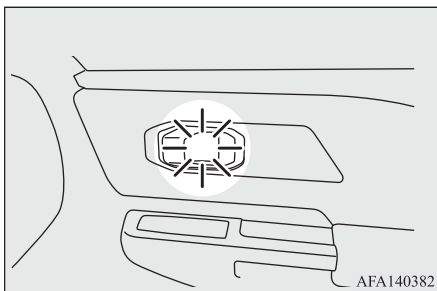
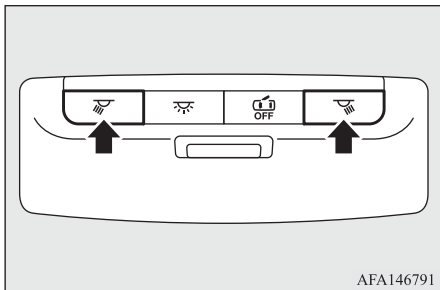
- ドアが閉まっているときに電源モードを OFF にすると点灯し、約 20 秒後に消灯します。

小物入れ

マップランプ

J10404300059

ルームランプ（フロント）消灯時、スイッチを押すと押した側のランプが点灯し、もう一度押すと消灯します。



アドバイス

- エンジンスイッチの電源モードがOFFのときは、運転席ドアを開けるとインナードアハンドルのLEDイルミネーションが常時点灯します。

インテリアランプ* オートカット機能（自動消灯）

J10404500107

*ルーム&マップランプ、ルームランプ（リヤ）およびLEDインテリアイルミネーション（インナードアハンドル）（タイプ別装備）

- エンジンスイッチの電源モードがOFFの状態では、車内照明を点灯したままにすると、約10分後に照明が自動的に消灯します。

- 自動的に消灯した後、エンジンスイッチを操作したり、ドアの開閉やキーレスオペレーションシステムの操作をすると再び点灯します。

小物入れ

J10400900073

⚠ 注意

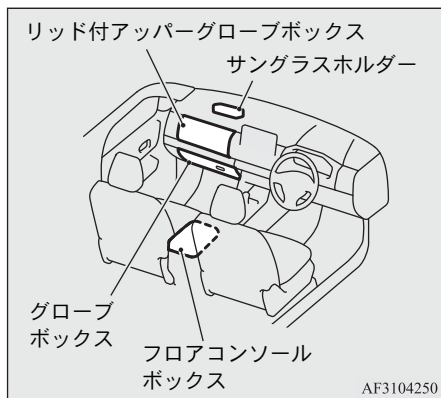
- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため、ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。ライターなどの可燃物は自然発火したり、炭酸飲料などの缶は破裂するおそれがあります。また、プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形、ひび割れを起こすおそれがあります。
- 走行中は小物入れのふたを必ず閉めておいてください。万一の場合、ふたや内部の小物だけがするおそれがあります。

LED インテリアイルミネーション

タイプ別装備

J10429500065

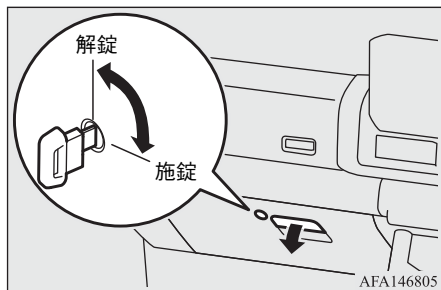
インナードアハンドルのLEDイルミネーション（タイプ別装備）は、エンジンスイッチの電源モードをONからOFFにすると、数秒間点灯します。



グローブボックス

J10404600052

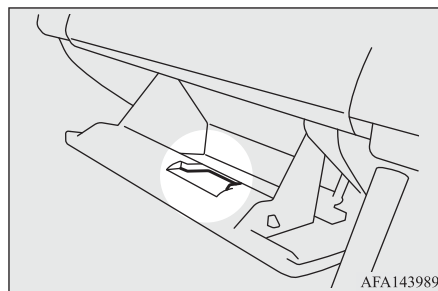
レバーを引くと開きます。エマージェンシーキーで施錠・解錠ができます。



アドバイス

- ライトスイッチがDの位置のとき、またはAUTOの位置でランプ類が点灯しているときにグローブボックスを開けると、グローブボックス内のランプが点灯します。

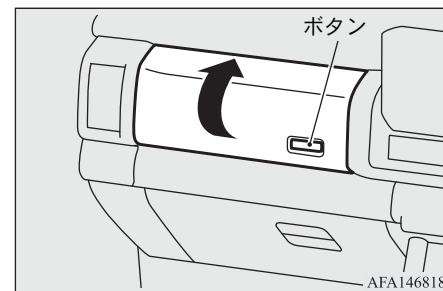
グローブボックスの内側にカードホルダーがあります。



リッド付アップグローブボックス

J10431300028

ボタンを押すと開きます。

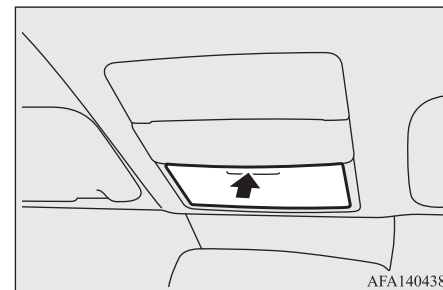


サングラスホルダー

J10431400029

5

リッドを押すと開きます。



閉めるときはロックするまで押します。

ドリンクホルダー

⚠ 注意

- サングラス以外の重い物を入れないでください。落下して思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

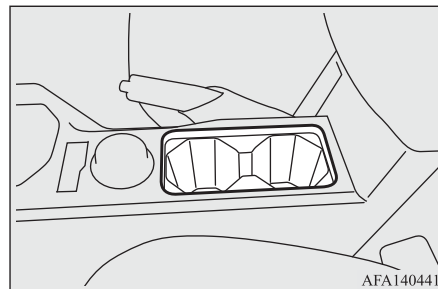
- サングラスの形状によっては収納できない場合がありますので、確かめてからご使用ください。

ドリンクホルダー

J10401000071

⚠ 警告

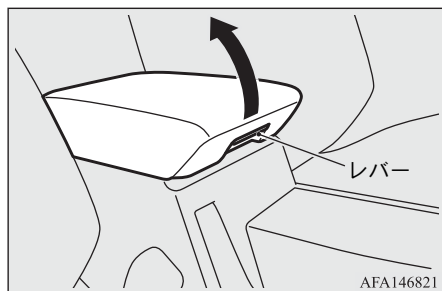
- 車内に水をかけたり、飲み物などをこぼしたりしないでください。スイッチ類、配線や電気部品にかかると、故障や車両火災の原因になります。
万一、飲み物などをこぼした場合は、可能な限り水分を取り除き、すみやかに三菱自動車販売会社にご相談ください。



5 フロアコンソールボックス

J10404700079

レバーを引きながらふたを開けます。
ふたはアームレストとしても使用できます。



⚠ 注意

- 走行中は、飲み物を出し入れしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合、やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用

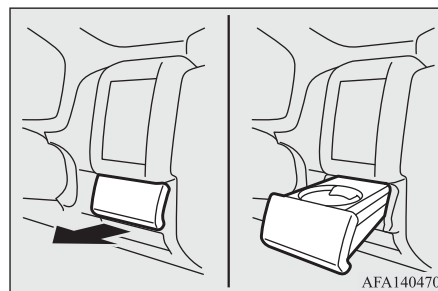
フロアコンソール

フロアコンソールにドリンクホルダーがあります。

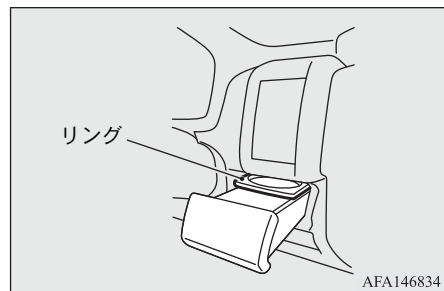
インストルメントパネル

タイプ別装備

左右吹き出し口の下にドリンクホルダーがあります。
引き出して使用します。



ドリンクホルダー上部のリングのみを格納すると、トレイとしても使えます。



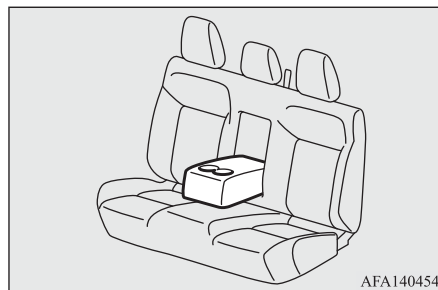
アドバイス

- ドリンクホルダーを使用しないときは格納しておいてください。

リヤシート用

アームレストを倒すとドリンクホルダーがあります。

→「アームレスト (ひじ掛け)」 P.3-21



ボトルホルダー

J10401100056

警告

- 車内に水をかけたり、飲み物などをこぼしたりしないでください。スイッチ類、配線や電気部品にかかると、故障や車両火災の原因になります。万一、飲み物などをこぼした場合は、可能な限り水分を取り除き、すみやかに三菱自動車販売会社にご相談ください。

注意

- 走行中は、飲み物を出し入れしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合、やけどをするおそれがありますので注意してください。

アドバイス

- カップや飲料缶を収納しないでください。
- ペットボトルなどはふたを確実に閉めて収納してください。
- ペットボトルの大きさ、形状によっては収納できないことがあります。

5

ペットボトルなどを入れることができます。

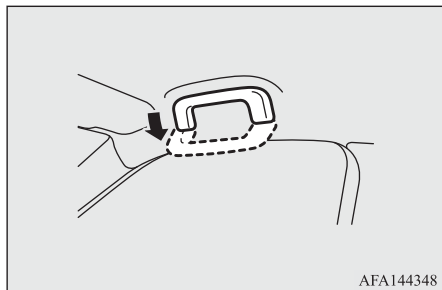


アシストグリップ

アシストグリップ

J10401200073

座ったときに手で身体を支えるためのグリップがあります。



5

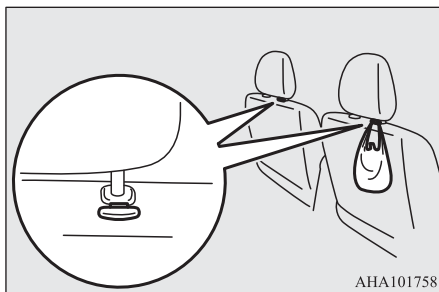
⚠ 注意

- アシストグリップに手を掛けて乗り降りしないでください。アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

コンビニエントフック

J10409500069

軽い荷物を掛けることができます。



📖 アドバイス

- フックの変形または破損を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・4kg以上の荷物を掛けない。
 - ・炎天下などで車内が高温のときは、荷物を掛けたままにしない。

フロアマット

タイプ別装備

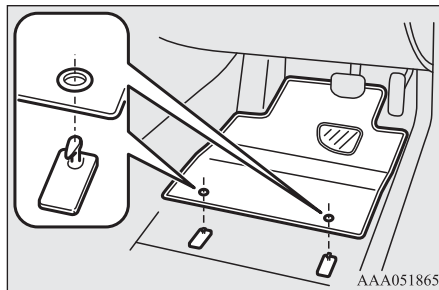
J10401400020

お客様のお車には、専用のフロアマットが設定されています。フロアカーペットに装着されている固定クリップを使用し、次の手順で確実に固定してください。

固定のしかた

J10405100025

- 1.フロアマットを床の形状に合わせて敷きます。
- 2.フロアマットの取り付け穴に固定クリップを通し、確実に固定します。



📖 アドバイス

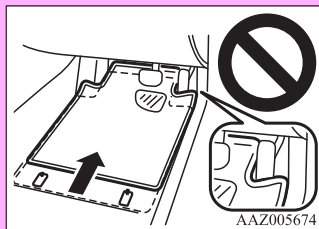
- 車種により、フロアマットの形状や固定クリップの数が異なる場合があります。詳しい固定方法はフロアマットの取扱説明書をお読みください。

⚠ 警告

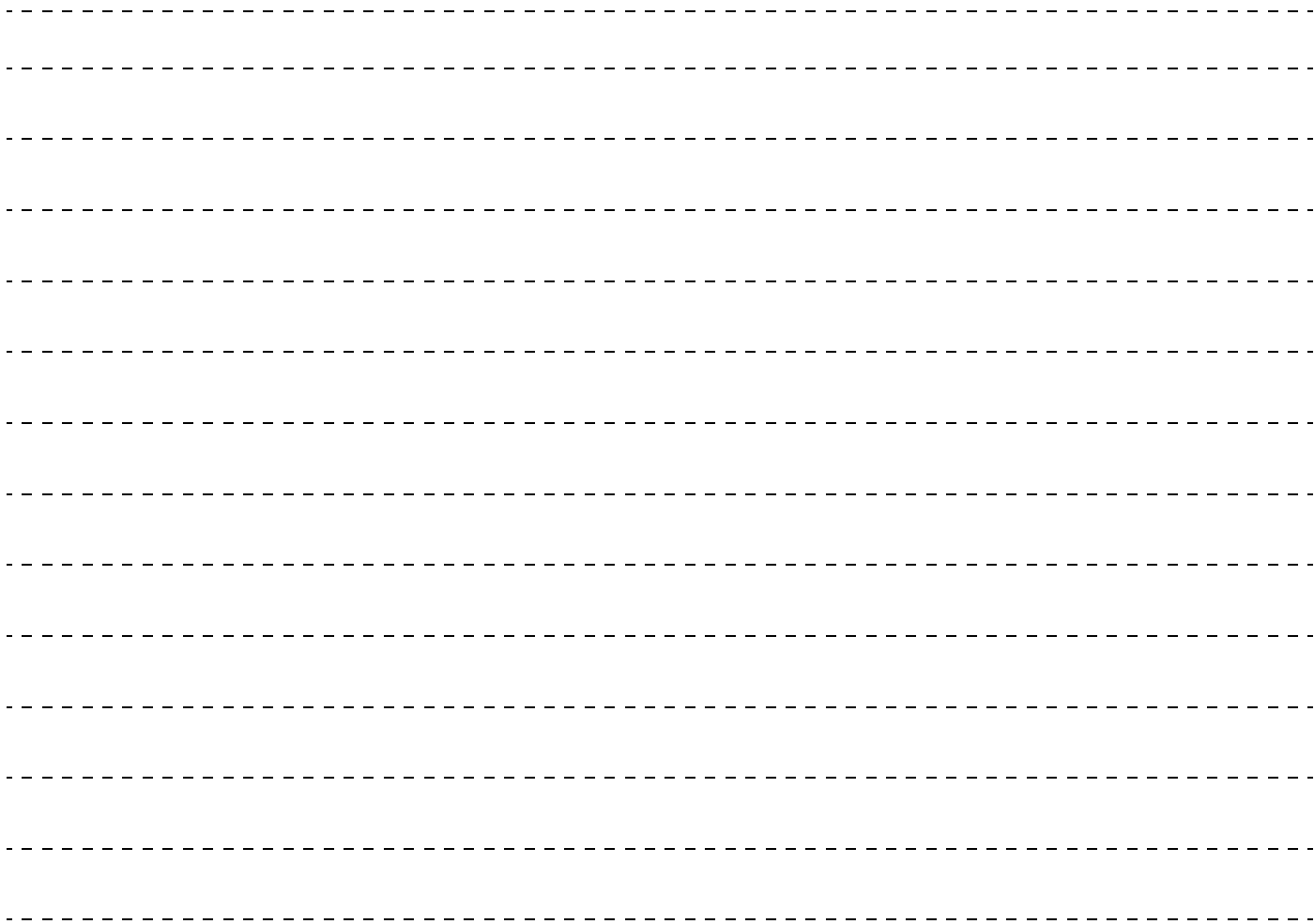
- 運転席にフロアマットを敷くときは、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、フロアマットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど重大な事故につながるおそれがあります。
 - ・固定クリップを使用し確実に固定する

警告

- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない
- フロアマットでペダルを覆わない
- フロアマットの上または下に、別のフロアマットを重ねて敷かない
- アクセルペダルの下に敷かない
- 三菱自動車純正フロアマットであっても、他車種または年式の異なるフロアマットを使用しない



- 運転する前に次のことを確認してください。
 - フロアマットがすべての固定クリップで正しく固定されていることを定期的を確認し、車内の清掃などでフロアマットを取り外した後は必ず確認する
 - エンジン停止時およびセレクターレバーがPのときに、各ペダルをいっばいに踏み込み、フロアマットと干渉がなく運転に支障がないことを確認する



メンテナンス

簡単な整備

日常点検	6-2
環境保護のために守っていただきたいこと	6-4
エンジンフード（ボンネット）	6-4
エンジンオイルの補給	6-6
ウォッシャー液の点検・補給	6-6
バッテリー液の点検・補充	6-6
タイヤメンテナンス	6-7
クリーンエアフィルターの交換	6-8

お手入れ

内装品のお手入れ	6-9
外装品のお手入れ	6-10

日常点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。

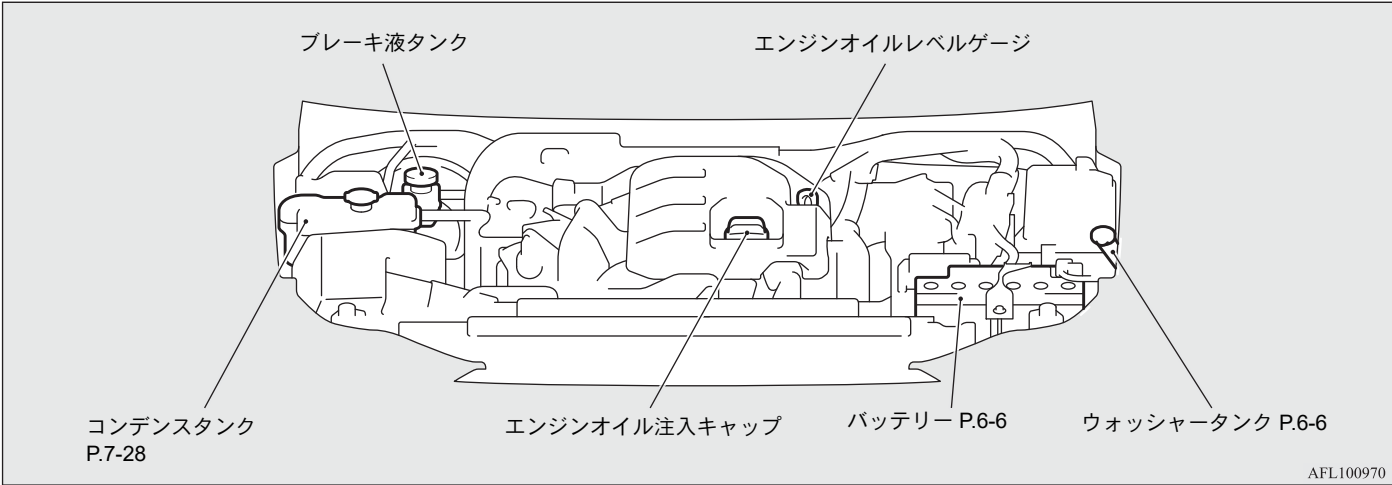
- 日常点検整備は、長距離を走行するときや、洗車、給油時などにお客様自身で行う点検整備です。詳細については、別冊の「メンテナンスノート」に記載していますので併せてお読みください。
- 次のような点に気づいたら、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
 - ・いつもと違う音や臭いや振動がするとき
 - ・ブレーキ液が不足しているとき
 - ・地面に油の漏れた跡が残っているとき

⚠ 警告

- エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。
- エンジンルーム内の部品には高温になる物があります。やけどをするおそれがありますので、各部が十分冷えてから点検してください。

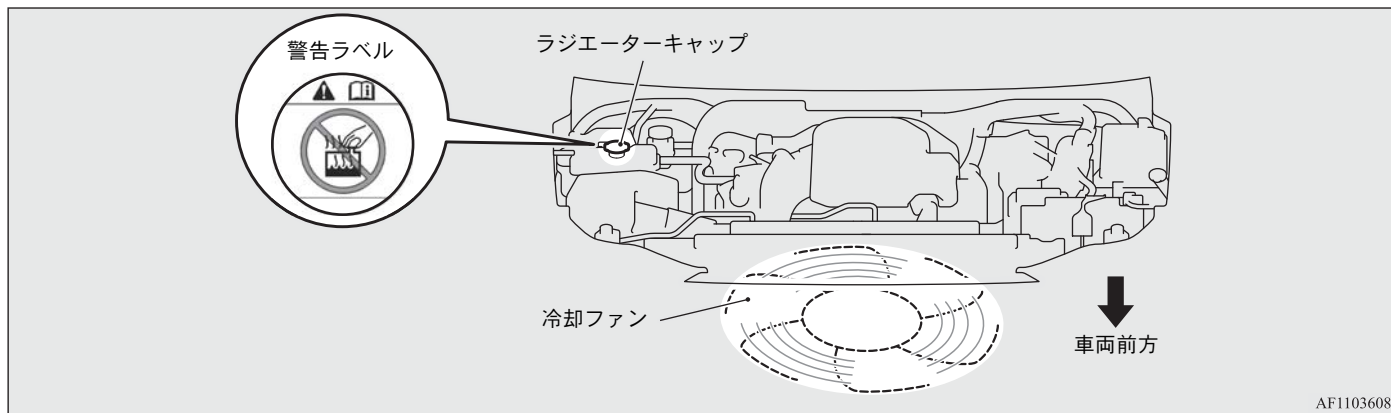
📖 アドバイス

- ディーゼルエンジンは、排気後処理システムの損傷を防ぐために、高速走行や登坂走行、DPF 再生直後はエンジンを止めても電動ウォーターポンプがしばらくの間作動することがあります。そのため、エンジンを止めてからも電動ウォーターポンプの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。一定時間作動した後、電動ウォーターポンプは自動的に停止します。
→ 「ディーゼルパティキュレートフィルター [DPF]」 P.4-9



警告

- 冷却ファンはエンジンが回転していても自動的に回り出すことがあります。
エンジンルーム内で作業する場合は、安全のためにエンジンスイッチの電源モードを OFF にしてください。
- 通常はラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため、冷却水の温度が高いときにキャップを外すと、蒸気や熱湯が噴き出し、やけどをするおそれがあります。
- 点検や交換した後は、工具や布などをエンジンルームに置き忘れていないことを確認してください。
万一の場合、故障や火災になるおそれがあります。



環境保護のために守って いただきたいこと

J1060020023

廃棄物を処理するときは

J10601700025

- 環境保護のために次のことにお守りください。

- 使用済みのバッテリーやタイヤは、新品を購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルや冷却水を交換する場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

エンジンフード（ボンネット）

J10600300079

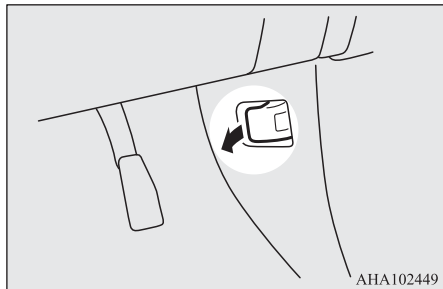
開けるときは

1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

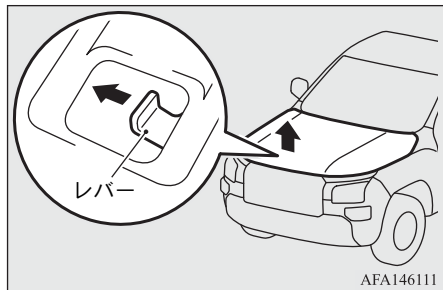
⚠ 注意

- ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

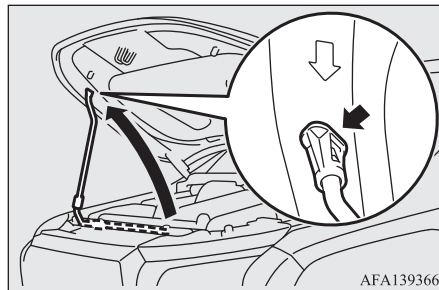
2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。



3. エンジンフードのすき間に手を入れ、前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。



4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

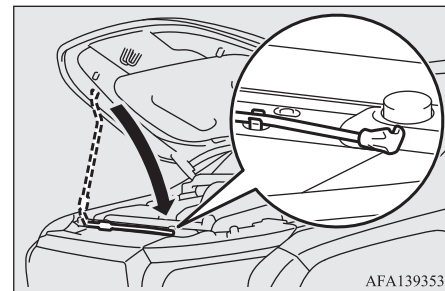


⚠ 注意

- 風の強いときにエンジンフードを開けていると、風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
- 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所には掛けると支持棒が外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。



2. エンジンフードを少し持ち上げた位置 (約 20cm) から離します。

⚠ 注意

- 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠ 注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。
- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては、万一の場合、車体がへこむおそれがあります。

エンジンオイルの補給

J10600400083

エンジンオイルが不足するとエンジンの不調や破損につながるおそれがあります。エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は、三菱自動車純正エンジンオイルを補給してください。

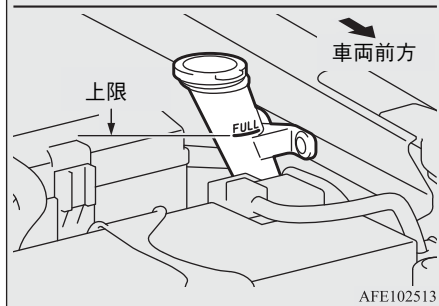
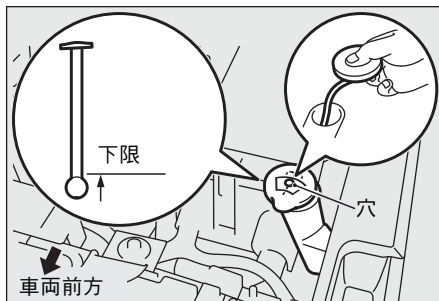
なお、エンジンオイルの点検、補給方法、交換時期についての詳細は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

→「エンジンオイル注入キャップ、

エンジンオイルレベルゲージ」P.6-2

→「エンジンオイルの量と種類」P.8-3

ブを引き抜いて、チューブに残る液量を点検してください。



AFE102513

⚠️ 注意

- ウォッシャー液以外の液体を入れしないでください。石けん水、ガラス洗浄液、冷却水なども使わないでください。ポンプの故障、ノズルの詰まり、塗装のしみなどの原因となります。
- ウォッシャーノズル内に汚れが付着すると、ウォッシャー液が正しくガラスに噴射されないことがあります。ピンなどで汚れを取り除くとノズルが損傷するおそれがありますので、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 冬期は、ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

6

📖 アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも、走行状況に応じて消耗します。オイル量を点検しオイルが不足している場合は、補給してください。
- エンジンの性能や寿命、始動性に大きく影響しますので、補給するときは必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。

ウォッシャー液の点検・補給

J10600500127

ウォッシャータンクのキャップを開け、指でキャップの穴をふさぎながらチュー

ブを抜き、ウォッシャー液が不足している場合は、三菱自動車純正ウォッシャー液を気温に適した濃度になるように補給してください。

希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

バッテリー液の点検・補充

J10600600072

バッテリー液を点検し、液が不足している場合は補充してください。

📖 アドバイス

- 点検および補充方法については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤメンテナンス

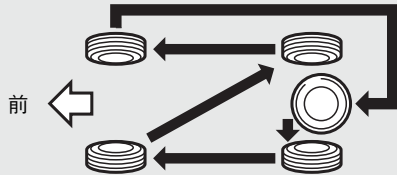
J1060070028

タイヤローテーション

J1060200067

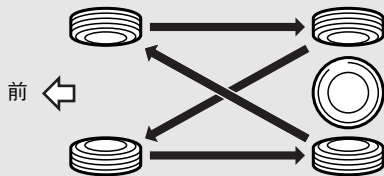
タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため、タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。

スペアタイヤを使用する場合



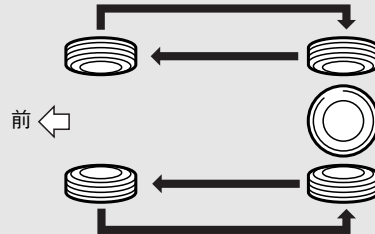
AFA146124

スペアタイヤを使用しない場合



AAA005594

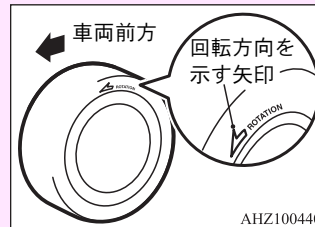
回転方向を示す矢印がついている場合



AAA005608

⚠ 注意

- タイヤに回転方向を示す矢印がついているときは、4 輪で前後ローテーションを行ってください。タイヤを取り付けるときは、車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。



AHZ100440

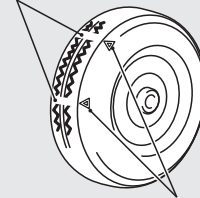
- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは、安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

J10602100026

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら、スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。

ウェアインジケーター（摩耗限度表示）



ウェアインジケーター位置を示すマーク

AAA0055746

📖 アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は、タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J10602200043

タイヤの空気圧は定期的に点検し、必ず規定の空気圧に調整してください。

→ 「タイヤの空気圧」 P.8-9

クリーンエアフィルターの交換

警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、タイヤが偏摩耗したり、車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また、バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

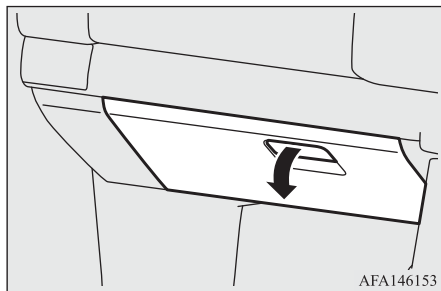
- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

6

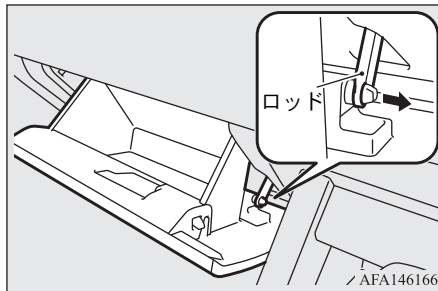
クリーンエアフィルターの交換

J10600800058

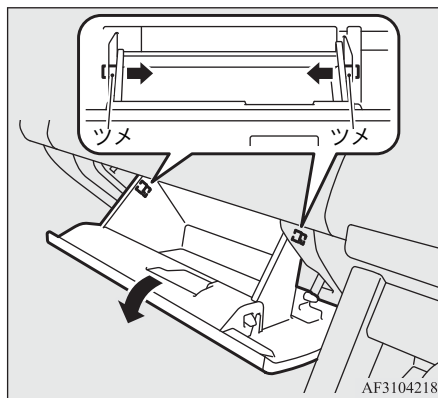
1. グローブボックスを開けます。



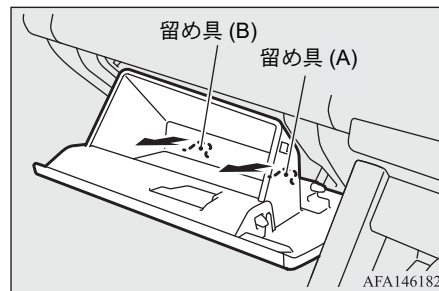
2. グローブボックス右側のロッドを右側に引いて外します。



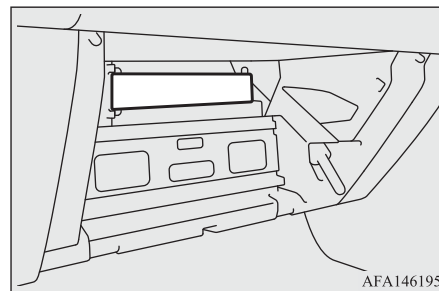
3. グローブボックスの側面を押しながら左右のツメを外し、グローブボックスを下げます。



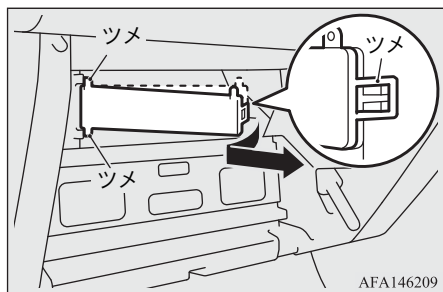
4. グローブボックスの留め具を (A)・(B) の順に手前に引いて外します。



5. グローブボックスを下側に引いて取り外します。
6. グローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。

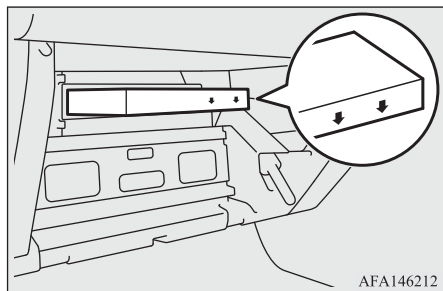


7. カバー右側のツメを外し、次に左側のツメを外して、カバーを取り外します。



AFA146209

8. クリーンエアフィルターを取り出して新品と交換します。交換するときはフィルターの矢印が下向きになるように取り付けてください。



AFA146212

9. 元に戻すときは、取り外したときと逆の手順で取り付けます。

内装品のお手入れ

J10601000028

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に、中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて、軽く拭き取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤をきれいに拭き取ります。
4. 水分をよく拭き取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠ 注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。変色の原因になったり、インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み、視界の妨げになるおそれがあります。また、各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- 見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは、手袋などを使用して、手へのダメージをしないよう注意してください。

⚠ 注意

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ、割れの原因になります。また、各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認の上、使用してください。
- ブラシ、合成繊維類、固い布、乾いた布やウェットティッシュは使用しないでください。使用すると表面を傷つけたり、変色するおそれがあります。
- 液体芳香剤は、こぼれないよう容器を確実に固定してください。また、インストルメントパネルの上やランプ類、メーターの近くには置かないでください。含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色、ひび割れを起こすおそれがあります。

📖 アドバイス

- ガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布で拭いてください。

本革のお手入れ

タイプ別装備

J10602300028

1. ガーゼなどの柔らかい布に、ウール用中性洗剤の5%水溶液を含ませて、汚れを拭き取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤を拭き取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり、雨などでぬれたときは、乾いた柔らかい布で早めに水分を拭き取ってください。
- ナイロンブラシ、合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油污れなどは、早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり、硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

シートベルトのお手入れ

J10604900044

1. ガーゼなどの柔らかい布に、中性洗剤の2.5%水溶液を含ませます。
2. ベルトを軽くたたくようにして汚れを拭き取ります。

またリングに汚れが付着している場合は、この汚れを拭き取ってください。

3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤を拭き取ります。
4. お手入れのために引き出したベルトを巻き取らせる前に、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認してください。

アドバイス

- ベルトやリングが汚れている場合や、ベルトがスムーズに巻き取られなくなってきたときに、清掃を実施してください。

外装品のお手入れ

J10601100029

走行後のお手入れ

お車を美しく保つために、走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。

次のような汚れは、そのままにしておきますと、腐食、変色、しみになるおそれがありますので、できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など

- 工場のばい煙、油煙、粉じん、鉄粉、化学物質（酸、アルカリ、コールトールなど）など
- 鳥のふん、虫の死がい、樹液、花粉など

⚠️ 注意

- 下まわりやホイールを洗うときは、厚手のゴム手袋などを使用して、手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J10602400120

1. 水をかけながら、車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら、スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには、中性洗剤を使用してください。その後は、中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 柔らかい布またはセーム皮で、塗装面にはん点が残らないよう水分を拭き取ります。

⚠ 注意

- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下まわりを洗車するときも、エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。エンジン始動不良などの原因になります。
- 洗車後は、低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。
ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり、凍結やさびによってブレーキが固着し、走行できなくなることがあります。
- 洗車をする前にワイパースイッチを OFF 位置にしてください。AUTO 位置のままフロントガラスに水がかかると、ワイパーが自動作動して手や指などをはさんだり、ワイパーブレードを損傷するおそれがあります。

📖 アドバイス

- 自動洗車機を使用する前に、自動洗車機が使用可能な車両寸法であること、およびルーフレール（タイプ別装備）付きであっても自動洗車機が使用可能か、必ず係員にご相談ください。
係員のいないコイン洗車機などでは、自動洗車機の操作要領に従って洗車してください。
車両寸法については車載の「自動車検査証」をお読みください。

📖 アドバイス

- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり、劣化を早めるおそれがあります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温、高圧の物があります。車体樹脂部品の熱変形、破損、接着式マーク類のはがれ、室内への水浸入などのおそれがありますので、次のことをお守りください。
 - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約 70cm 以上）
 - ドアガラスまわりを洗うときは、洗車ノズルをガラス面に垂直に向け、洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約 70cm 以上）
- 自動洗車機を使用するときは、部品が破損したり、車両を傷つけるおそれがありますので、ドアミラーを格納し、アンテナを取り外してください。
→「アンテナ」P.5-14
- 自動洗車機を使用するときは、室内への水浸入を防ぐため、ドアガラスを閉めてください。
- お客様のお車には衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] および踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] が装着されています。自動洗車機を使用するとき、予期しない作動を防ぐために、FCM および EAPM システムを OFF にしてください。
→「FCM を ON/OFF するときは」P.4-79
→「EAPM を ON/OFF するときは」P.4-90

ワックスを使ったお手入れ

J10602500075

月に1～2回または、水をはじかなくなつたときにかけます。
ワックスがけは、洗車後や塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
ワックスのかけ方はワックスの説明書に従ってください。

📖 アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。
- 洗車やワックスがけを行うときは、車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
力のかけぐあいや場所によっては、万一の場合、車体がへこむおそれがあります。



ウインドウガラスのお手入れ

J10602600021

ワイパーの拭きが悪くなったときは、ウインドウガラス洗剤（ガラスクリーナーなど）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正ウインドウガラス洗剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布で拭いてください。

6 ワイパーのお手入れ

J10602700064

ワイパーゴムに異物が付着していたり、摩耗していると拭きが悪くなりますので、次のように処置してください。

- 異物が付着しているときは、水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは、早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

樹脂部品のお手入れ

J10602900066

スポンジまたはセーム皮で清掃します。黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。ワックスが付着したときは、温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいに拭き取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬い物は、表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。

アドバイス

- ガソリン、軽油、ブレーキ液、エンジンオイル、グリース、塗装用シンナー、硫酸（バッテリー液）を付着させると、変色、しみ、ひび割れの原因になりますので、絶対に避けてください。また、ランプ類にコーティング剤などのケミカル類を付着させると、ひび割れが発生し、ランプ内部へ水が浸入する原因になりますので、絶対に避けてください。

万一、付着したときは、すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などで拭き取った後、多量の水で洗い流してください。


アルミホイールのお手入れ

J10603000022

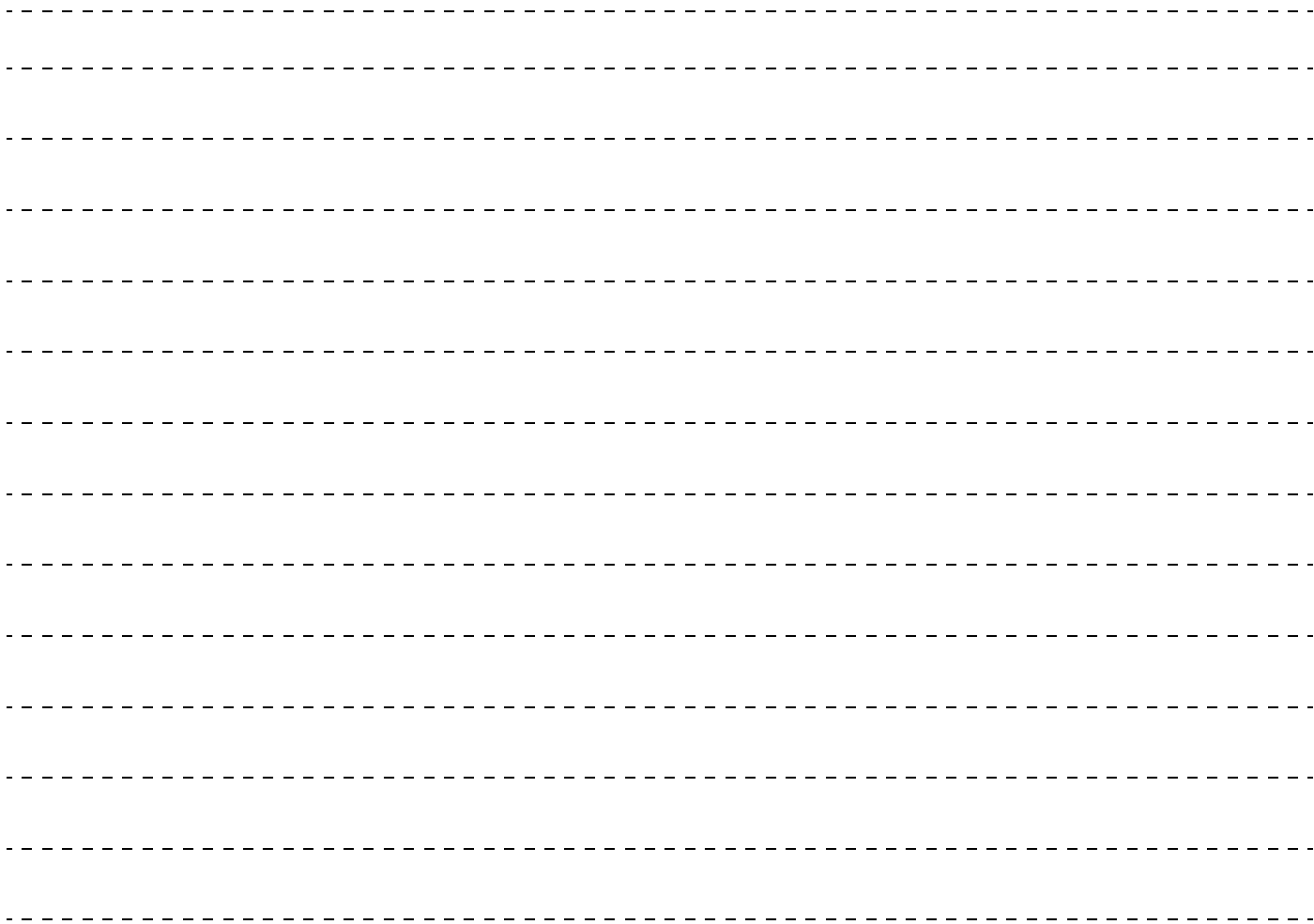
1. 水をかけながら、スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには、中性洗剤を使用してください。洗車後は、中性洗剤を水で洗い落とします。
3. 柔らかい布またはセーム皮で水分を拭き取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬い物は、ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。

 **アドバイス**

- コンパウンド (研磨剤) 入りのクリーナーや、酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。
ホイール塗装表面のはがれ、変色、しみの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水や道路凍結防止剤などが付着したときは、腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。



もしものときの処置

緊急用コールサービス

SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付） 7-2

故障したとき

故障したときの対処方法 7-5

発炎筒 7-6

お困りのとき

こんなことでお困りのとき 7-7

警告灯が点灯または点滅したとき 7-11

緊急時の対処方法

ジャッキと工具 7-16

ジャッキアップするとき 7-17

スペアタイヤ 7-22

タイヤ交換するとき 7-23

バッテリーが上がったとき 7-26

オーバーヒートしたとき 7-28

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたとき 7-30

ヒューズが切れたとき 7-30

バルブ（電球）が切れたとき 7-35

けん引するとき 7-39

水没したとき 7-42

SOS コール (エアバッグ展開時自動通報機能付)

J10705200029

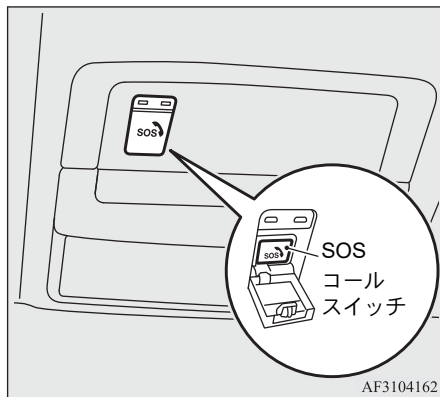
SOS コールとは、急病・犯罪・事故などの緊急時に警察・消防・医療機関への連絡を補助するサービスです。

アドバイス

- SOS コールのご利用は、MITSUBISHI CONNECT のご契約と、車両側の初期設定が必要です。MITSUBISHI CONNECT のご契約後は、三菱自動車販売会社で初期設定を完了してください。
- SOS コールサービスご契約中に車両を手放す場合は、MITSUBISHI CONNECT の退会を行ってください。
- SOS コールのサービス提供は、(株)日本緊急通報サービスからのものです。
- 本システムは、オープンソースを使用したソフトウェアを実装しています。ライセンスについては、次の Web サイトを参照してください。
<http://opensourceautomotive.com/IC/tZ7T3eE6AiV4/>

SOS コールを開始できます。また、事故発生時 (運転席 SRS エアバッグ、助手席 SRS エアバッグ、運転席 SRS ニーエアバッグ、SRS サイドエアバッグ、SRS カーテンエアバッグ展開時) には自動で SOS コールを開始します。

SOS コールスイッチは、マップランプ周辺にあります。



SOS コールについて

エンジンスイッチの電源モードが ON のとき、SOS コールスイッチを押すことで

警告

- SOS コールは無線通信機能を利用しているため、医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用している方、またはそれ以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などに確認してからご使用ください。電波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

注意

- 車両の登録ナンバーを変更するときは MITSUBISHI CONNECT のご登録情報を変更してください。SOS コールご利用時、会員登録上の車両のナンバーと実際の車両のナンバーが一致しない場合、救急隊員の到着が遅れるおそれがあります。
- 救急車両は車両位置/車種/車体色/登録ナンバーを基に現場の通報車両を特定します。元の車体色が分からなくなると、救急車両の到着が遅れるおそれがあります。

アドバイス

- SOS コールは携帯電話と同様のデータ網を使用するため、圏外エリア (トンネル内、地下駐車場など) や電波の届きにくい場所 (山間部) ではご利用できないおそれがあります。

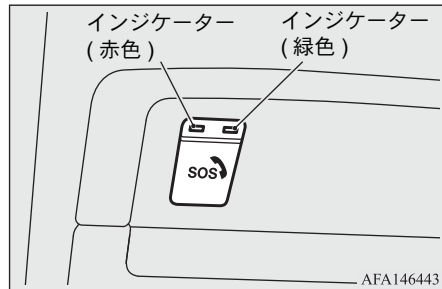
アドバイス

- SOS コールは車載された通信機を使用するため、お客様の携帯電話がなくてもご利用できます。

SOS コールを使用するときは

1. エンジンスイッチの電源モードを ON にします。SOS コールスイッチのインジケータが赤色・緑色ともに点灯し、約 5 秒後に緑色のみ点灯を続けます。
→「SOS コールスイッチのインジケータ点灯パターン」 P.7-4

走行中の場合は車両を安全な場所に止めます。



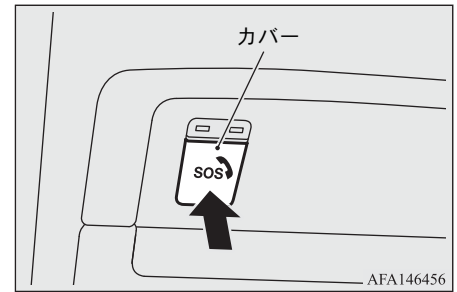
警告

- 走行中は、安全な場所に停車してから SOS コールの操作を行ってください。走行中の操作は、思わぬ事故につながるおそれがあります。

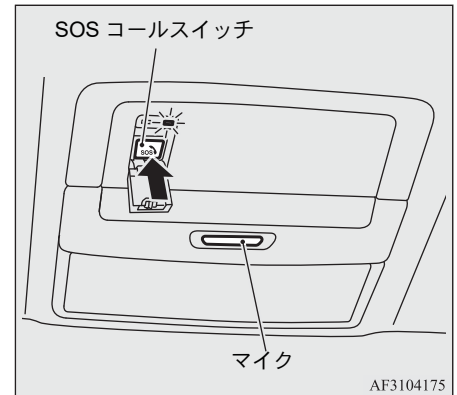
アドバイス

- 次の場合は、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
 - ・エンジンスイッチの電源モードを ON にしても、インジケータが赤色・緑色ともに点灯状態にならないとき。
 - ・インジケータが赤色・緑色ともに点灯してから約 5 秒後、赤色のインジケータのみ点灯しているとき。
→「SOS コールスイッチのインジケータ点灯パターン」 P.7-4
- インジケータが赤色・緑色ともに消灯している場合は、電波環境のよい場所まで車両を移動させてください。
→「SOS コールスイッチのインジケータ点灯パターン」 P.7-4
- SOS コールを使用中は、エンジンをかけたままにしてください。エンジンを停止すると通信が遮断されます。

2. SOS コールスイッチのカバーを押して開きます。



3. SOS コールスイッチを約 1 秒間押します。緑色のインジケータが点滅し、オペレーターにつながります。



SOS コール（エアバッグ展開時自動通報機能付）

アドバイス

- SOS コール開始後は通話のキャンセルはできません。いたずらや機能確認など、緊急の場合以外で SOS コールスイッチを押さないでください。

4. SOS コールサービスのオペレーターと通話します。

状況に応じてオペレーターからの折り返し、もしくは公共機関（警察・消防・医療機関）からの通話着信があります。着信時は自動で音声接続します。

アドバイス

- SOS コールサービスのオペレーターや公共機関との通話中は、車両側から通話を終了させることはできません。

アドバイス

- 通話中の音声は、ボリュームを変更することができません
- 通話中は、マップランプにあるマイクに向かって話してください。

5. 通話が終了したら、カバーを戻し、ロックするまで押します。



SOS コールスイッチのインジケータ点灯パターン



J1070530020

SOS コールスイッチには、システムの状態を表すインジケータがあります。

アドバイス

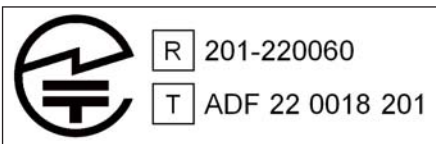
- 緑色のインジケータは、SOS コールの利用可能を表し、赤色のインジケータは、システムの状態を表しています。

インジケータ点灯パターン		システム状態	状態説明または対処方法
赤色	緑色		
 (消灯)	 (消灯)	システム OFF サービスエリア外	<ul style="list-style-type: none"> ● システムが OFF の状態です。 ● エンジンスイッチの電源モードを ON にすると電源が入ります。エンジンスイッチの電源モードを ON にしても、インジケータが赤色・緑色ともに点灯状態にならないときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 ● 電波環境が悪く、SOS コールを開始できない状態です。車両を電波環境のよい場所へ移動させてください。

インジケータ点灯パターン		システム状態	状態説明または対処方法
赤色	緑色		
 (点灯)	 (点灯)	システム ON 通知	<ul style="list-style-type: none"> ● システムが ON になったことを知らせます。 ● システムが ON になると、約 5 秒間点灯します。 ● 車両の初期設定が完了していないと点灯を続けます。
 (消灯)	 (点灯)	SOS コール開始可能	<ul style="list-style-type: none"> ● SOS コールを開始できる状態です。
 (消灯)	 (点滅)	SOS コール利用中	<ul style="list-style-type: none"> ● オペレーターと通話中の状態です。
 (点灯)	 (消灯)	システム異常 SOS コールサービス 契約なし	<ul style="list-style-type: none"> ● システム異常または SOS コールサービス契約がなく、サービスを正常に提供できない状態です。すみやかにサービスの利用契約期限をご確認いただき、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- SOS コールスイッチの赤色のインジケータが点灯していても、SOS コールを開始することができます。ただし、発生している異常によっては、音声通話や救急車両の案内を正常に行えないことがあります。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



故障したときの対処方法

J10700400101

故障して動けなくなったときは、同乗者または付近の人に応援を求め、安全な場所まで車を押し移動します。
このとき、セレクターレバーを **N** に入れてください。

踏み切り内で動けなくなったときは

踏み切り内で脱輪やエンストなどで、すぐに車を動かせないときは、すみやかに同乗者を避難させ、踏み切りの非常ボタンを押します。

⚠️ 注意

- 電車が近づいているときや、緊急を要するときは、発炎筒で合図してください。

📖 アドバイス

- オートマチック車は、マニュアル車と構造が異なるため、エンジンスイッチを押し続けても、緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため、車を路肩に寄せ、非常点滅灯を点滅させるか、停止表示板などで故障表示します。

7 高速道路、自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では、車両後方に停止表示板を置くことが義務付けられています。

人は車内に残らず、路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

📖 アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

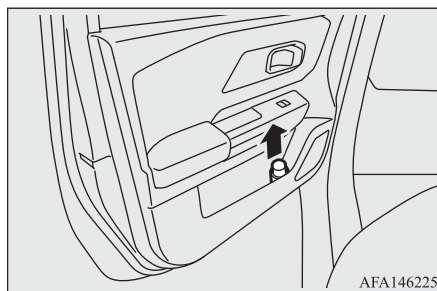
修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

発炎筒

J10700500056

発炎筒は、高速道路や踏み切りなどで故障し、緊急を要するときに使用します。発炎筒は、助手席側ドアポケット内に備え付けてあります。使い方は発炎筒に記載されていますのであらかじめよく読んでおいてください。



AFA146225

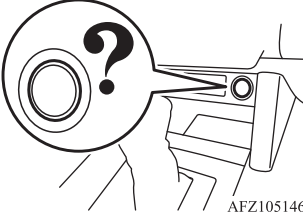
⚠️ 警告

- お子様には、発炎筒を触らせないでください。
- 人の顔や身体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすい物の近くでは使用しないでください。火災を招くおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり、重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

📖 アドバイス



- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
→「非常点滅灯スイッチ」P.4-69
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）がありますので、期限が切れる前に三菱自動車販売会社でお買い求めください。

こんなことでお困りのとき

現象	処置
<p>水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。</p>	<p>前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」 →P.2-3</p>
<p>走行中にエンストした。</p>	<p>通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「万一、走行中にエンストしたときは」 →P.2-4</p>
<p>エンジンスイッチを押してもエンジンがかからない。</p>  <p>AFZ105146</p>	<p>キーレスオペレーションキーが車室内にあることを確認します。 「エンジンを始動する、電源モードを切り換えるときの作動範囲」 →P.3-8 セクターレバーが①に入っていることを確認し、ブレーキを踏みながらエンジンスイッチを押してください。 「エンジンの始動・停止」 →P.4-5</p>
<p>エンジンがかからず、電源モードも OFF にならない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. セクターレバーを①に入れてから電源モードを OFF にしてください。 2. 他の原因の一つとして、バッテリーの電圧が低下している可能性があります。このとき、キーレスエントリーシステム、キーレスオペレーション機能やハンドルロックも作動しません。三菱自動車販売会社にご連絡ください。

現象	処置
キーレスオペレーション機能が作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● キーレスオペレーションキーに内蔵されているエマージェンシーキーを使ってドアの施錠・解錠操作を行ってください。 「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」→P.3-11 ● エンジンスイッチにキーレスオペレーションキーを接触させて、エンジンの始動、電源モードの切り換えを行ってください。 「エンジンの始動・停止：キーレスオペレーションキーが正常に作動しないとき（電池切れなど）にエンジンを始動するときは」→P.4-7
セレクターレバーがPから動かない。	ブレーキペダルを踏んだままセレクターレバーを操作してください。 エンジンスイッチの電源モードがONの状態になっていることを確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」→P.4-14
雨の日、湿気が多い日などに窓が曇る。	エアコンの内外気切り換えが、外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇りや霜を取りたいときは」→P.5-6



現象	処置
<p>パンクした。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. あわてずに、ハンドルをしっかり持ち、安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換するとき」→P.7-23
<p>エンジンがかからない。 ライトが点灯しない、暗い。 ホーンが鳴らない、音が小さい。</p>	<p>バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリーが上がったとき」→P.7-26</p>
<p>インフォメーション画面にエンジン高温表示が表示されると同時に、エンジン冷却水温計の指針が「H」表示部に近づいている。 エンジンの出力が急に低下する。 エンジンルームから蒸気が出ている。</p>  <p>AFM118615</p>	<p>オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたとき」→P.7-28</p>

現象	処置
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ、雪道、凍結路などの発進時)	<ul style="list-style-type: none"> ● スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 毛布か布などがあるときは、それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. 4WD セレクターを「4HLc」または「4LLc」に切り換えるか、「4HLc」を選択してドライブモードを「MUD」にします。 3. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 4. アクティブスタビリティ & トラクションコントロール [ASTC] を OFF にすると、脱出に効果的な場合があります。 「ASTC の ON/OFF 作動切り換え」 → P.4-147 ● 何も滑り止めにする物がないときは、前後進を繰り返して車の反動を利用して脱出します。

⚠ 注意

- 車の反動を利用して脱出するときは、車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは、むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み、かえて脱出しにくくなります。また、エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは、専門業者に依頼してください。

現象	処置
オートマチックトランスミッションが変速しない。	オートマチックトランスミッションに異常が発生し、安全装置が働いていると考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
加速が鈍い。	オートマチックトランスミッションに異常が発生し、安全装置が働いているか、エンジン制御装置に異常が発生していると考えられます。高速走行を避けて、ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 発進しにくいときは、セレクターレバーをマニュアルゲートに入れてから、+ (車両前方) 側へ押してスポーツモードの2速で発進し、その後は D に戻して走行してください。故障の内容によってはこの方法でも効果がないときもあります。

⚠ 注意

- マルチインフォメーションディスプレイ内の ! 警告表示や ! 警告表示が消えないときやたびたび表示するとき、またはエンジン警告灯が点灯や点滅したとき、走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり、クリーブ現象が強くなることもあるため、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

現象	処置
オートストップ&ゴー [AS&G] が作動しない。 もしくは作動頻度が落ちた。	バッテリー性能が劣化などの理由により、低下している可能性があります。 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。


警告灯が点灯または点滅したとき

J10700100111


📖 アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイ内の警告表示は「インフォメーション画面表示一覧」の項をお読みください。→P.4-50


次の警告灯が点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、最寄りの三菱自動車販売会社にご連絡ください。

警告灯	点灯の原因
 <p>ブレーキ警告灯 →P.4-62</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ブレーキ液の不足 ● ブレーキ力配分機能の異常 <p>パーキングブレーキをかけたままのときも点灯します。 パーキングブレーキを解除し、消灯すれば異常ではありません。</p>

警告灯が点灯または点滅したとき

警告灯	点灯の原因
 <p>充電警告灯 →P.4-62</p>	充電系統の異常





次の警告灯が点灯したときは、ただちに最寄りの三菱自動車販売会社にご連絡ください。

警告灯	点灯の原因
 <p>SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 →P.2-22</p>	<ul style="list-style-type: none">● SRS エアバッグシステムの異常● プリテンショナーシステムの異常

7


次の警告灯が点灯または点滅したときは、ただちに最寄りの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

AdBlue® はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。


警告灯	点灯／点滅の原因
 <p>エンジン警告灯 →P.4-62</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン制御システムの異常 ● オートマチックトランスミッション制御システムの異常 ● 尿素 SCR システムの異常
 <p>エンジン警告灯 →P.4-9</p> <p>および  DPF異常</p> <p>DPF 警告表示</p>	<p>DPF システムの異常</p>
 <p>尿素 SCR システム警告灯 →P.4-10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 尿素水（AdBlue®）の残量不足 ● 尿素 SCR システムの異常

警告灯が点灯または点滅したとき

次の警告灯が点灯したときは、できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。





警告灯	点灯の原因
 電動パワーステアリング警告灯 →P.4-156	パワーステアリングシステムの異常

次の警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、まず車を点検してください。点検後も消灯しないときは、ただちに最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

警告灯／表示灯	点灯の原因	処置内容
 油圧警告灯 →P.4-63	エンジンオイルの圧力の低下	エンジンオイル量を点検する →別冊の「メンテナンスノート」 参照


7

次の警告灯または表示灯が点灯したときは、急ブレーキや高速走行を避け、安全な場所に停車し、エンジンを停止してください。再度エンジンをかけ、その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。消灯しないときやたびたび点灯するときは、できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告灯／表示灯	点灯の原因
 <p>ABS 警告灯 →P.4-155</p>	<p>ABS システムの異常</p>
 <p>ASTC 作動表示灯 →P.4-146</p> <p>および</p>  <p>ASTC OFF 表示灯</p>	<p>アクティブスタビリティ&トラクションコントロール [ASTC] システムの異常</p>
 <p>ASTC 作動表示灯 →P.4-151</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● トレーラースタビリティアシスト [TSA] の異常 ● ヒルスタートアシスト [HSA] の異常 ● ヒルディセントコントロール [HDC] の異常

ジャッキと工具

次の警告灯が点灯または点滅したときは、次の通り処置してください。
処置しても消灯しないときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告灯	点灯／点滅の原因	処置内容
 シートベルト非着用警告灯 →P.2-13	運転席シートベルトが着用されていない	シートベルトを着用する

ジャッキと工具

J10700600086

⚠ 注意

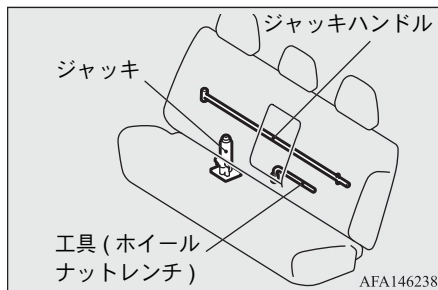
- ジャッキは、タイヤ交換とタイヤチェーンの装着以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは、お客様のお車専用です。他の車両に使用したり、他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- 工具の種類、ジャッキの使い方は、万のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

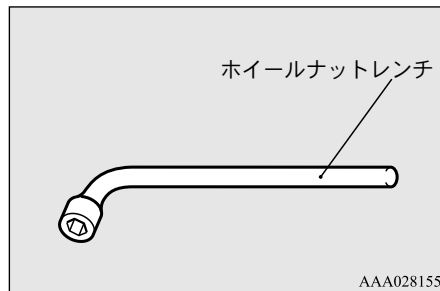
リヤシートの後ろに格納されています。



⚠ 注意

- 工具やジャッキを使用した後は、元の位置に確実に格納してください。室内などに放置すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

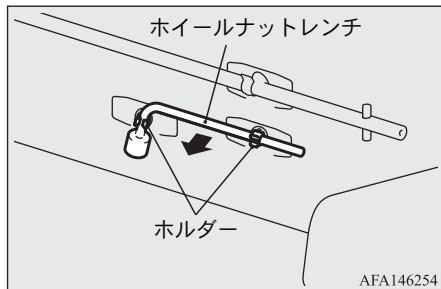


工具、ジャッキおよびジャッキ ハンドルの脱着

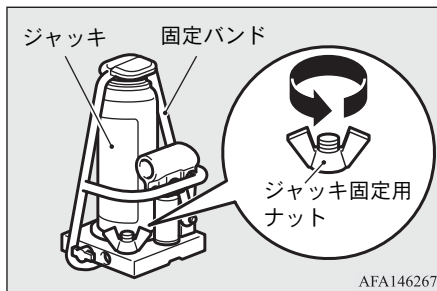
J10705100028

取り外すときは

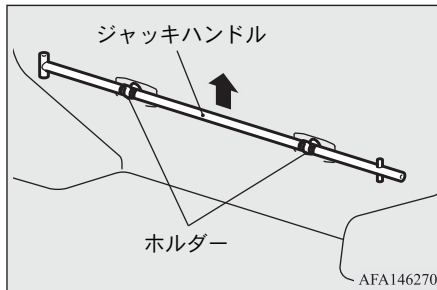
1. リヤシートの背もたれを前に倒しません。
→「背もたれの前倒し」 P.3-21
2. ホイールナットレンチをホルダーから取り外します。



3. ジャッキ固定用ナットを左へ回して外します。ジャッキを取り外し、固定バンドをジャッキから取り外します。



4. ジャッキハンドルをホルダーから取り外します。

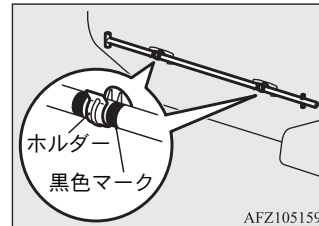


格納するときは

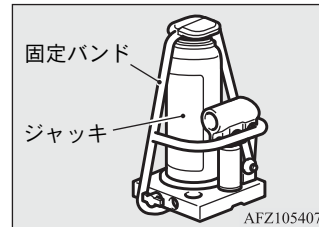
取り外すときと逆の手順で元の位置に戻します。

アドバイス

- ジャッキハンドルの黒色マーク部をホルダーに合わせて格納してください。



- 固定バンドは図のように取り付けてください。



ジャッキアップするとき

J10700700104

警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき、重大な傷害を受けるおそれがあります。

ジャッキアップするとき

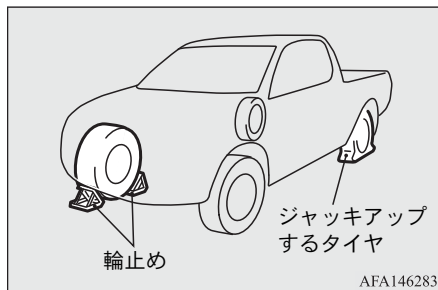
⚠ 注意

- ジャッキアップするときは安全のため、次のことを必ず守ってください。万一の場合、ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンをかけたままにしない。
- 人や荷物を乗せたままにしない。
- 地面が平らで硬い場所以外では使用しない。
- 凍結した路面では使用しない。
- ジャッキの上や下に物をはさまない。
- ジャッキアップ中に車をゆすらない。
- ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
- ジャッキアップしたまま放置しない。

📖 アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておられません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

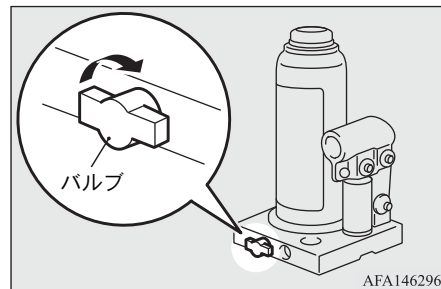
4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



📖 アドバイス

- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. ジャッキとジャッキハンドルを取り出します。
→「工具、ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着」P.7-17
6. ジャッキのバルブが閉まっていることを確認します。



7. ジャッキハンドルをジャッキのブラケットに差し込み、ジャッキハンドル先端の切り欠き部をブラケットのツメにかけ固定します。

7 ジャッキアップするときは

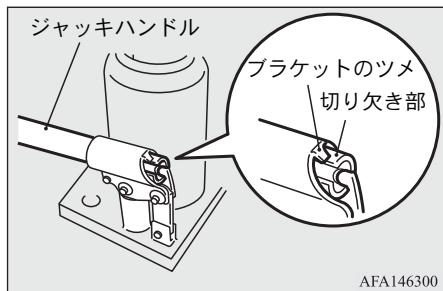
1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. パーキングブレーキを確実にかけ、セレクターレバーをPに入れて、エンジンを止めます。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、停止表示板などを車両後方に置きます。

⚠ 注意

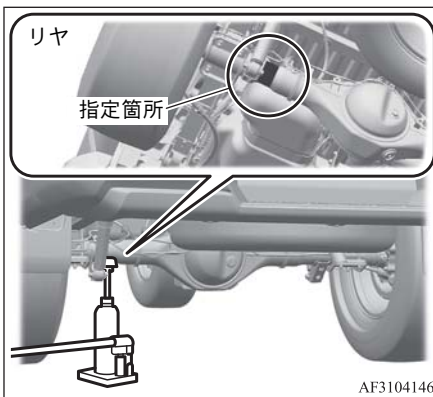
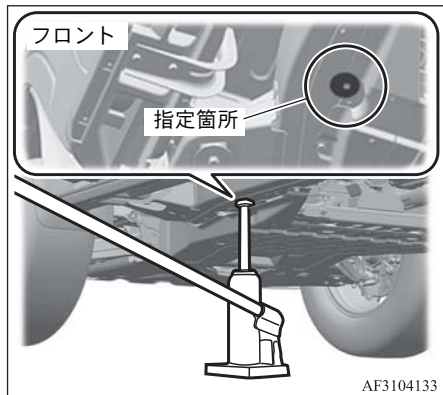
- ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用してください。万一、ジャッキアップ中に車両が動いたとき、ジャッキが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- 輪止めは標準装備されておられません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。



8. ジャッキをジャッキハンドルで押し、交換するタイヤに近い指定箇所にセットします。



警告

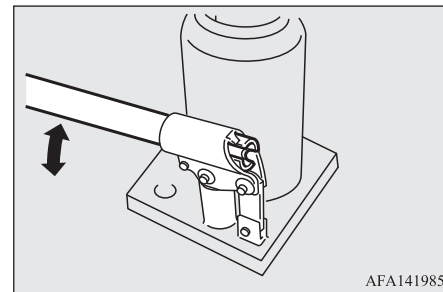
● ジャッキをセットするときは、指定された位置以外に掛けないでください。指定された位置以外に掛けると、車体がへこんだり、ジャッキが倒れて、重大な傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

● リヤをジャッキアップするときは、ジャッキ先端の凹部が指定箇所と合うように図のようにジャッキ先端を回しておきます。



9. ジャッキ先端の凹部が指定箇所に当たっていることを確認してから、ジャッキハンドルを上下に動かして、タイヤが地面から少し浮かすまで静かにジャッキアップします。



ジャッキアップするとき

⚠ 注意

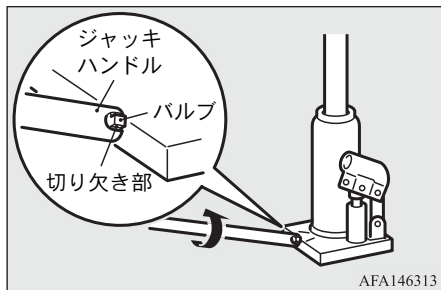
- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- このジャッキは2段階伸縮タイプです。

下ろすときは

1. ジャッキハンドル先端の切り欠き部をジャッキのバルブにかけて、ジャッキハンドルをゆっくりと左へ回して、ジャッキのバルブを緩めます。



⚠ 注意

- ジャッキハンドルはゆっくりと回してください。早く回すと車が急激に下降し、ジャッキが外れて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- バルブは2回転以上緩めないでください。油が漏れだし、ジャッキが使用できなくなるおそれがあります。
- 下降中の車を急に停止させないでください。ジャッキを破損するおそれがあります。

2. ジャッキを取り出します。

📖 アドバイス

- 指定箇所から外れないときは、車をゆするとジャッキが下がり、取り外せません。

📖 アドバイス

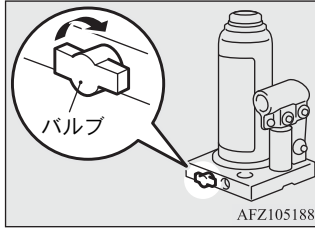
- 手で取り出しにくいときは、ジャッキハンドルをジャッキのブラケットに差し込み、ジャッキハンドル先端の切り欠き部をブラケットのツメにかけ固定し、ジャッキハンドルを引いてジャッキを取り出します。



3. 上からジャッキを押して、下へいっぱいまで縮めます。

アドバイス

- ジャッキを縮めた後は、バルブを右にいっぱいまで回しておいてください。



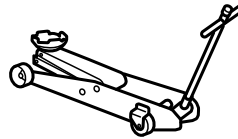
4. ジャッキとジャッキハンドルを元の位置に戻します。
→「工具、ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着」 P.7-17

ガレージジャッキを使用するときは

警告

- ガレージジャッキを使用するときは、必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると、車両を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ガレージジャッキ

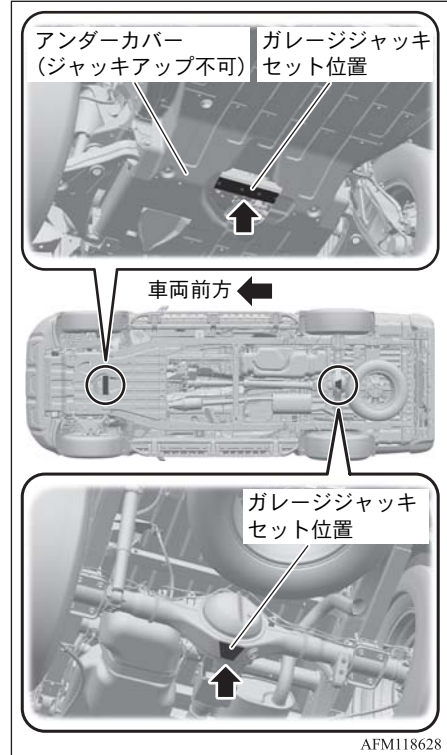


AAZ002051

ガレージジャッキセット位置

注意

- フロント側をジャッキアップするときに、アンダーカバーにジャッキをかけないでください。アンダーカバーにガレージジャッキを当ててジャッキアップすると、車両を損傷するおそれがあります。



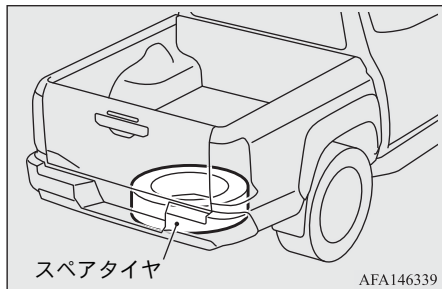
スペアタイヤ

スペアタイヤ

J10700900076

格納場所

荷台床下部に格納されています。



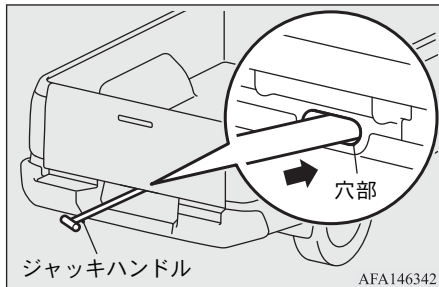
7

⚠ 注意

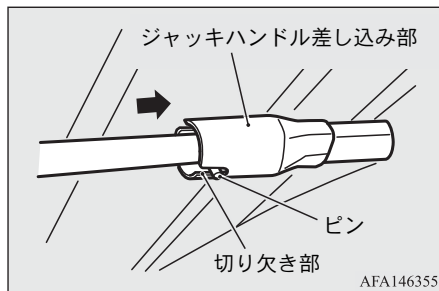
- ホイールの穴などに手をかけると、エッジでけがをすおそれがありますので手袋などをご使用ください。
- スペアタイヤの空気圧は、定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足している場合は、最寄りの三菱自動車販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し、指定の空気圧に調整してください。
→ 「タイヤの空気圧」 P.8-9

取り出すときは

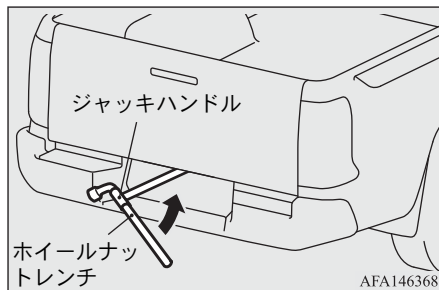
1. 工具(ホイールナットレンチ)とジャッキハンドルを取り出します。
→ 「工具、ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着」 P.7-17
2. ジャッキハンドルをリヤゲート下方の穴部に差し込みます。



3. リヤゲート下方の穴の奥にジャッキハンドル差し込み部があります。ジャッキハンドルのピンを切り欠き部に確実に差し込みます。



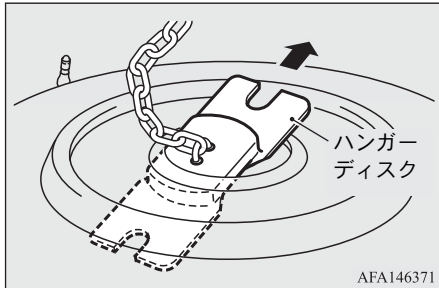
4. ジャッキハンドルにホイールナットレンチを差し込み、ホイールナットレンチを左に回し、スペアタイヤを下ろします。



⚠ 注意

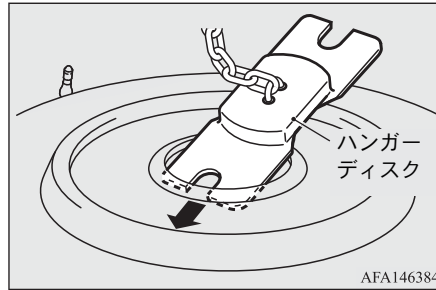
- スペアタイヤを取り出すとき、または格納するときは電動工具を使用しないでください。車両を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず車両に搭載されているジャッキハンドルとホイールナットレンチを使用してください。
- ホイールナットレンチの先端には、400N {約 40kgf} 以上の荷重をかけないでください。

5. ハンガーディスクをホイールの穴から外し、スペアタイヤを取り出します。



格納するときは

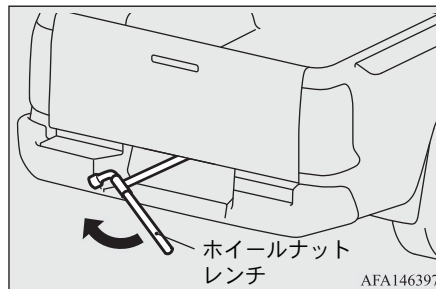
1. ハンガーディスクをホイールの穴に取り付けます。



2. ホイールナットレンチを右に回し、チェーンを巻き上げます。

締め付けトルク：40N・m
{約 4kgf・m}

(車載のホイールナットレンチの先端で
200N {約 20kgf} の力)



📖 アドバイス

- タイヤが地面から離れたとき、ハンガーディスクがホイールの穴に確実に取り付けられていることを確認します。

3. タイヤを巻き上げたら、スペアタイヤにがたつきなどないことを確認してから、ジャッキハンドルを逆転させないよう抜き取ります。

タイヤ交換するとき

J10701000104

タイヤを取り外すときは

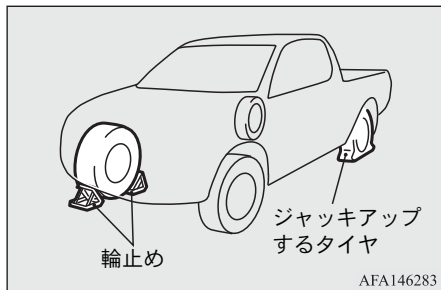
1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. パーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをPに入れて、エンジンを止めます。
3. 人や荷物を車から降ろします。必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、停止表示板などを車両後方に置きます。

📖 アドバイス

- 停止表示板は標準装備されていません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

タイヤ交換するとき

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



⚠ 注意

- ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用してください。万一、ジャッキアップ中に車両が動いたとき、ジャッキが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

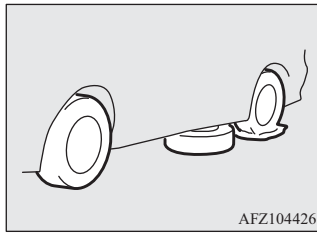
- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具、ジャッキおよびジャッキハンドルを取り出します。

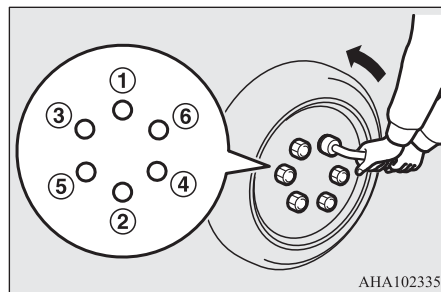
スペアタイヤに交換するときは、スペアタイヤを取り出します。
→「工具、ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着」P.7-17
→「スペアタイヤ」P.7-22

📖 アドバイス

- 取り出したスペアタイヤは、万一ジャッキが外れたときのため、交換するタイヤ近くの車体の下に置いてください。



6. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
→「ジャッキアップするとき」P.7-17
7. ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを番号順に、手で回るくらいまで緩めます。



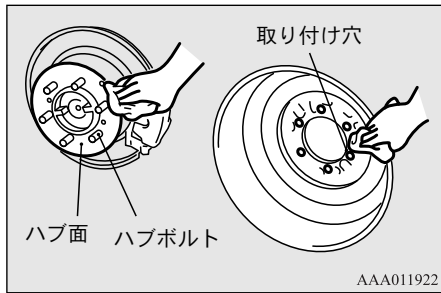
8. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
9. ホイールナットを外し、タイヤを取り外します。

📖 アドバイス

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

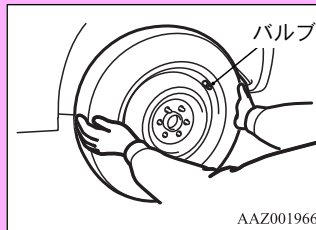
1. ハブ面、ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。



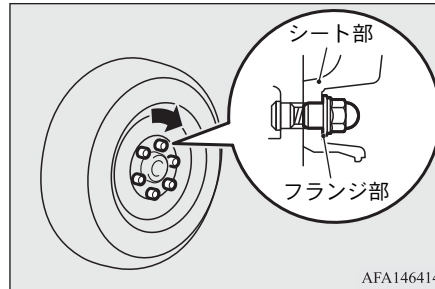
2. タイヤを取り付けます。

警告

- タイヤを取り付けるときは、タイヤの裏表に注意し、バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際、バルブが見えなければ、タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けたら、車両に悪影響をおよぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。



3. ホイールナットのフランジ部がホイールに当たり、タイヤがたつかない程度まで手でホイールナットを右へ回して仮締めします。



注意

- ハブボルト、ホイールナットには油を塗らないでください。ネジ部、ホイールなどの損傷の原因になります。

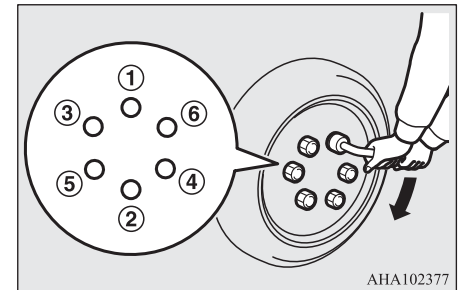
アドバイス

- アルミホイールを4輪ともスチールホイールに変更するときは、テーパナットを三菱自動車販売会社でお買い求めの上、ご使用ください。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを下ろし、ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを番号順に2～3回に分けて、徐々に締め付けます。最後の締め付けは、確実に行ってください。

締め付けトルク：118～137N・m
{12～14kgf・m}

(車載のホイールナットレンチの先端で440～500N {44～50kgf} の力)



注意

- ホイールナットを締め付けるときは、ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. タイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P.8-9

バッテリーが上がったとき

6. ジャッキと工具を元の位置に戻します。
→「工具, ジャッキおよびジャッキハンドルの脱着」P.7-17
7. 交換したタイヤを荷台床下部に格納します。
→「スペアタイヤ」P.7-22

⚠ 注意

- タイヤ交換後、走行中にハンドルや車体に振動が出たときは、三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり、種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので、避けてください。

📖 アドバイス

- タイヤ交換したときは、約 1,000km 走行後、再度ホイールナットを締め付けて、緩みがないことを点検してください。

バッテリーが上がったとき

J10701100088

次のような状態をバッテリー上がりといえます。

- スターターモーターが回らない。または、回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または、いつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または、鳴ってもいつもより音が小さい。

このような場合は、ブースターケーブル(別売)を使用し、他車のバッテリーを電源として、次の要領でエンジンをかけることができます。

⚠ 警告

- ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは、取扱説明書に従って正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると、引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

⚠ 注意

- 救援車は必ず 12V で、自車と同容量以上のバッテリーを装着している車に依頼してください。
- ブースターケーブルは、バッテリー容量に適した物を使用してください。また、破損や腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。ケーブル焼損の原因になることがあります。

📖 アドバイス

- バッテリーを外してもエンジンスイッチの電源モードの状態を記憶しています。救援車とブースターケーブルで接続したときは、電源が絶たれる前の電源モードの状態に戻ります。バッテリーが上がる前の電源モードの状態が分からない場合は、十分注意してください。

1. ブースターケーブルが接続でき、かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。
2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車のパーキングブレーキを確実にかけ、マニュアル車はシフトレバーを **N**、CVT 車、オートマチック車はセクターレバーを **P** に入れ、エンジンを止めます。

⚠ 警告

- ブースターケーブルの接続時は、救援車のエンジンも止めてください。ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて、けがをすることがあります。
- 冷却ファンはエンジン始動後、冷却水の温度により回転、停止を繰り返します。エンジン運転中は、ファンに手を近づけないでください。

4. バッテリー液量を確認します。

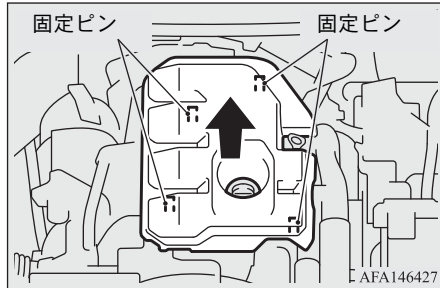
警告

- バッテリー液量が下限 (LOWER LEVEL) 以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり、発熱や爆発するおそれがあります。

アドバイス

- バッテリー液の補給は、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

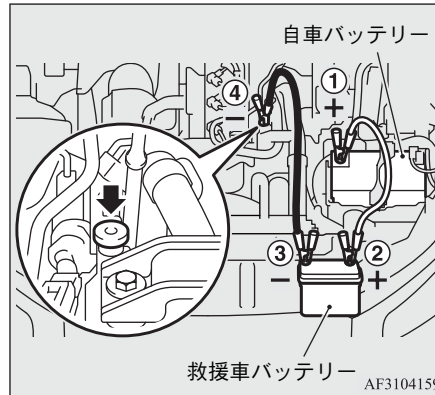
5. エンジンカバーを固定ピン (4 箇所) から取り外します。



6. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。

- ① 自車のバッテリーの+端子
- ② 救援車のバッテリーの+端子
- ③ 救援車のバッテリーの-端子

④図で指示の箇所 (アースをとる)



警告

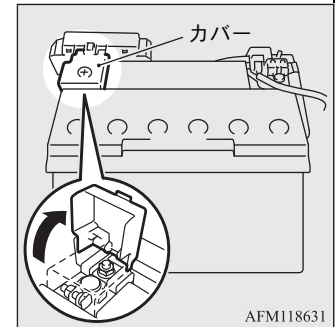
- ブースターケーブルを接続するときは、必ず次のことをお守りください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルは正しい順番、位置に接続する
- ブースターケーブルの+と-端子を接触させない
- 自車バッテリーの-端子に直接つながらない
- バッテリー付近で喫煙したり、マッチやライターなどを使用しない

注意

- ブースターケーブルは、確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると、ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ブースターケーブルは、バッテリーの+と-端子を正しく接続してください。逆に接続すると、車の電装品が故障するおそれがあります。

アドバイス

- バッテリーの+端子は、カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。



7. 接続した後、救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を少し上げます。
8. 自車のエンジンをかけます。

📖 アドバイス

- バッテリーが十分に充電される前にエンジンが自動的に停止することがないように、AS&G OFF スイッチを押して AS&G を停止してください。
→「AS&G を非作動にするには」P. 4-146

9. エンジンがかかったら、ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
10. 最寄りのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠️ 警告

- バッテリーを車両に搭載したままでの充電は、引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電するときは、バッテリーに接続されている車両側の一端子を取り外してください。
- 充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており、爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは、換気を十分に行ってください。
- 充電するときは、すべてのキャップを外してください。

⚠️ 警告

- バッテリー液は希硫酸です。皮膚に付いたり、目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い、すみやかに専門医の治療を受けてください。

📖 アドバイス

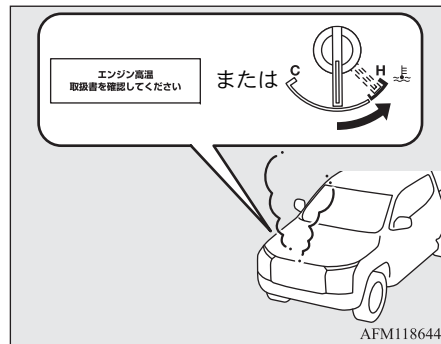
- オートマチック車は、マニュアル車と構造が異なるため、押しがけやけん引によりエンジンをかけることはできません。
- 充電が不十分のまま車を発進させると、エンジンの回転むらが生じ、ABS 警告灯および ASTC 警告灯が点灯することがあります。
→「走行中に警告を表示したときは」P.4-155
- お客様のお車には、エンジンの始動回数増加に対応するために、耐久寿命を向上したオートストップ & ゴー [AS&G] 車専用のバッテリーが搭載されています。三菱自動車純正以外のバッテリーを使用すると、バッテリーの早期劣化や、AS&G が正常に作動しなくなる原因となり、最悪の場合には、エンジンが再始動しなくなるおそれがありますので、お車との適合性を確認済みの、三菱自動車純正品を使用してください。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
→「バッテリーの種類」P.8-6

オーバーヒートしたとき

J10701200089

次のような状態をオーバーヒートといいます。

- マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にエンジン高温の警告表示が表示されると同時に、エンジン冷却水温計の指針が「H」表示部に近づいている。
- エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。



次の要領に従い処置してください。

1. 車を安全な場所に止めます。

アドバイス

- エンジンが自動的に停止することがないように、AS&G OFF スイッチを押して、AS&G を停止してください。
→「AS&G を非作動にするには」P.4-146

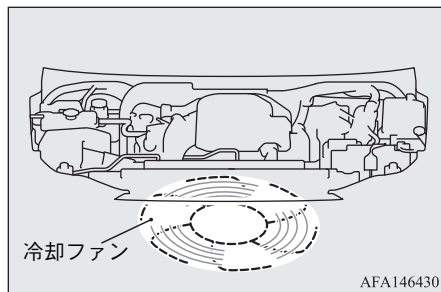
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

[蒸気が出ていないとき]

エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け、風通しをよくします。

[蒸気が出ているとき]

エンジンを止め、蒸気が出なくなったら、風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け、エンジンをかけます。



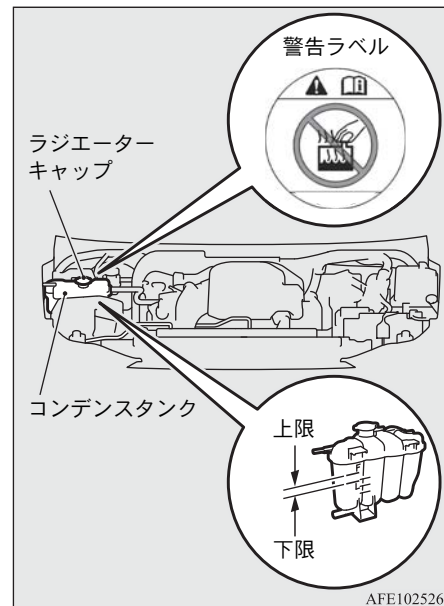
[冷却ファンが作動しているとき]
エンジン高温の警告表示が消えた後で、エンジンを止めます。

[冷却ファンが作動していないとき]
すぐにエンジンを止めて自然冷却し、三菱自動車販売会社にご連絡ください。

警告

- 冷却ファンに、手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。

4. エンジンが十分冷えてから、冷却水の有無を点検します。
冷却水が不足しているときは、冷却水を補給します。
冷却水がないときは、応急処置として水を補給します。



警告

- 通常はラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため、冷却水の温度が高いときにキャップを外すと、蒸気や熱湯が噴き出し、やけどをするおそれがあります。

3. 冷却ファンが作動しているか確認します。

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたとき

アドバイス

- 冷却水の補給は、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたとき

J10700300025

ディスクブレーキには、ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは、三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

7

ヒューズが切れたとき

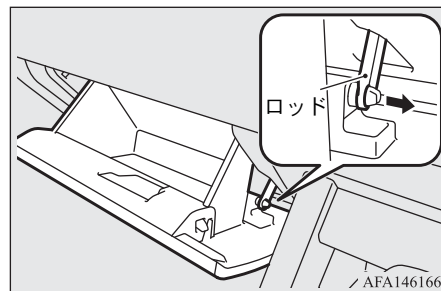
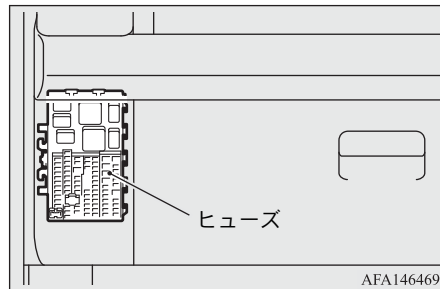
J10701300077

各種のランプが点灯しないときや、電気システムの装備が作動しないときは、ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し、切れているときは交換してください。

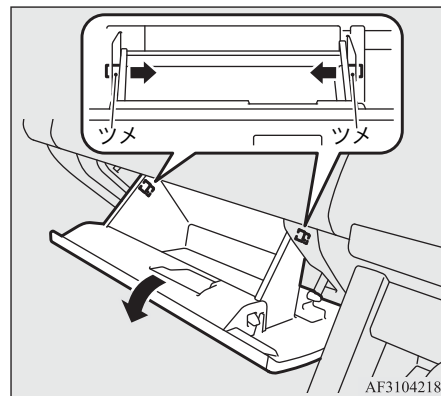
ヒューズボックスの位置

室内

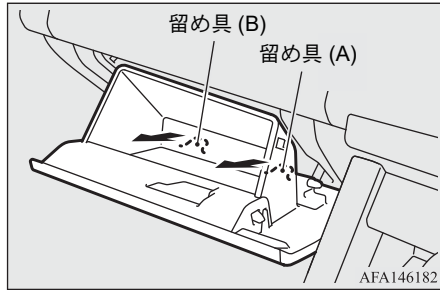
グローブボックスの奥にあり、ヒューズの点検・交換はグローブボックスを外して行います。



2. グローブボックスの側面を押しながら左右のツメを外し、グローブボックスを下げます。



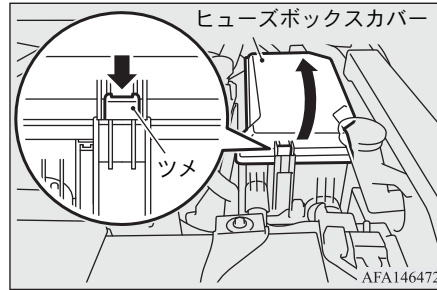
3. グローブボックスの留め具を (A)・(B) の順に手前に引いて外します。



4. グローブボックスを下側に引いて取り外します。
グローブボックスを戻すときは、逆の手順で取り付けます。

エンジンルーム内

ツメを押してロックを外し、ヒューズボックスカバーを持ち上げて取り外します。



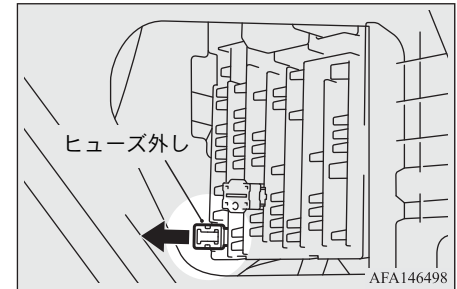
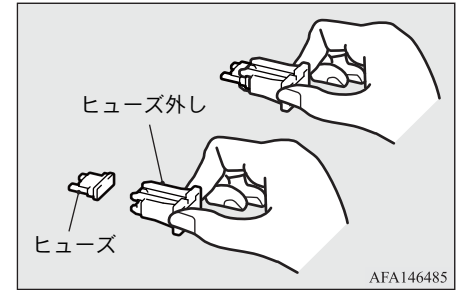
ヒューズの交換

1. エンジンスイッチの電源モードをOFFの状態にします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
→「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P.7-32

アドバイス

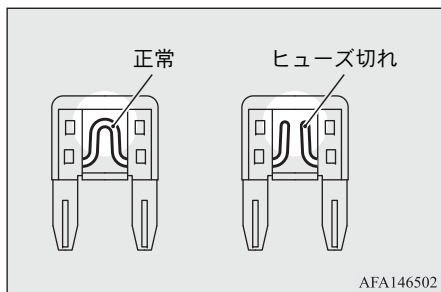
- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は、室内はグローブボックスの裏側に、エンジンルーム内はヒューズボックスカバーの内側に記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは、室内ヒューズボックス内にあります。



4. ヒューズを点検し、切れているときは予備のヒューズと交換します。

ヒューズが切れたとき



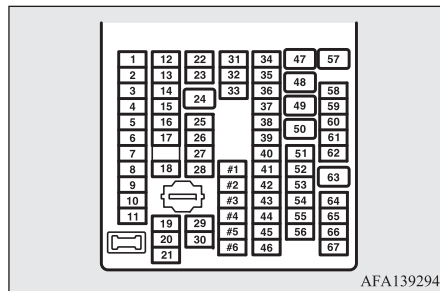
警告

- 取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金、銀紙などを代用すると、電線の過熱により火災のおそれがあります。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J10702000130

室内



NO.	表示	装備	容量
1		リヤデフォッグガー	30A
2		ヒーテッドドアミラー	15A
3	—	—	—
4		オプション	10A
5		舵角センサー	5A
6		メーター	10A
7		SRS エアバッグ	10A
8	—	—	—

NO.	表示	装備	容量
9		オプション	15A
10	—	—	—
11		ABS	5A
12		ドアロック	10A
13	—	—	—
14		ドアロック	15A
15		コントロールユニットリレー	5A
16		ゲートウェイ	10A
17		SOS コール	5A
18	—	—	—
19	—	—	—
20	STOP	制動灯 (右)	10A
21		4WD	15A
22	—	スペアヒューズ	10A
23		室内灯	10A
24	—	—	—
25		ラジオ	20A
26		オプション	10A
27		USB (フロント)	10A
28	—	—	—
29		メーター	5A

7

アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは、他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

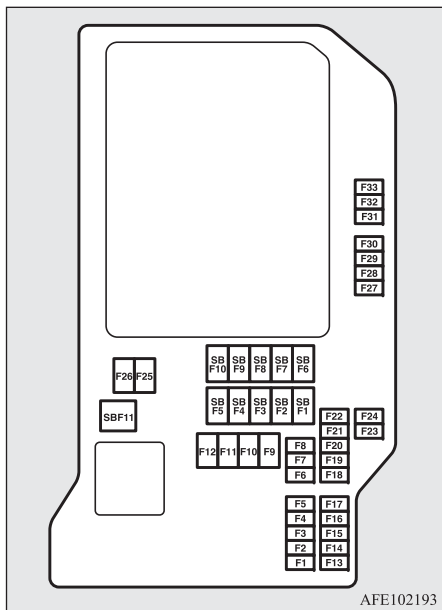
NO.	表示	装備	容量
30		コントロールユニットリレー	5A
31	—	—	—
32		ABS/ASC	5A
33		電動パワーステアリング	5A
34		エアコン	15A
35	—	—	—
36	—	—	—
37		USB (リヤ)	10A
38	—	—	—
39	—	—	—
40	—	—	—
41	—	—	—
42	—	—	—
43	—	—	—
44	—	—	—
45		助手席パワーウインドウ	20A
46		運転席パワーウインドウ	20A
47	—	—	—
48		運転席パワーシート	30A

NO.	表示	装備	容量
49	—	—	—
50	—	—	—
51		キーレスオペレーションシステム/イモビライザー	10A
52	—	—	—
53	—	—	—
54		リヤフォグランプ	20A
55	—	—	—
56		非常点滅灯	15A
57		後席パワーウインドウ	30A
58	—	スペアヒューズ	20A
59	—	—	—
60		フロントアクセサリソケット (DC12V)	20A
61		ステアリングヒーター	15A
62		リヤアクセサリソケット (DC12V)	20A
63		ブローモーター	40A

NO.	表示	装備	容量
64	—	—	—
65	—	—	—
66	—	—	—
67		フロントシートヒーター	30A
#1	—	スペアヒューズ	30A
#2	—	—	—
#3	—	スペアヒューズ	20A
#4	—	スペアヒューズ	15A
#5	—	スペアヒューズ	10A
#6	—	スペアヒューズ	5A

- 装備仕様の違いにより、ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は、各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

エンジンルーム内



AFE102193

NO.	表示	装備	容量
SBF1		フューエルラインヒーター	40A
SBF2		スターター	30A
SBF3		尿素 SCR	60A
SBF4		ヒーター	50A

NO.	表示	装備	容量
SBF5	—	—	—
SBF6		ABS	40A
SBF7		グロー (予熱) スタート	50A
SBF8		コントロールユニットリレー	30A
SBF9	—	—	—
SBF10	—	—	—
SBF11		グロー (予熱) スタート	50A
F1	—	—	—
F2	—	—	—
F3	—	—	—
F4	—	—	—
F5	—	—	—
F6		トレーラー	30A
F7	A/T	オートマチックトランスミッション	20A
F8		クーリングファン	20A
F9		ホーン	15A
F10	—	—	—

NO.	表示	装備	容量
F11		ヒーター	10A
F12	—	—	—
F13	—	—	—
F14	—	—	—
F15	—	—	—
F16	—	—	—
F17		エンジンコントロールユニット	30A
F18	—	—	—
F19		ウォーターポンプ	10A
F20		エンジンコントロールユニット	15A
F21		バッテリーセンサー	10A
F22	—	—	—
F23		LED ヘッドライト (左)	20A
F24		LED ヘッドライト (右)	20A
F25	—	—	—
F26	—	—	—
F27		尿素 SCR	15A

NO.	表示	装備	容量
F28		NOx センサー 3	10A
F29		尿素 SCR	15A
F30		NOx センサー	15A
F31		PM センサー	10A
F32		尿素 SCR	15A
F33	—	—	—

- 装備仕様の違いにより、ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は、各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

バルブ（電球）が切れたとき

J1070140023

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは、バルブ（電球）が切れているときがあります。

バルブ（電球）を点検し、切れているときは各バルブの交換要領に従って交換してください。

バルブ（電球）の位置・W（ワット）数

J1070210027

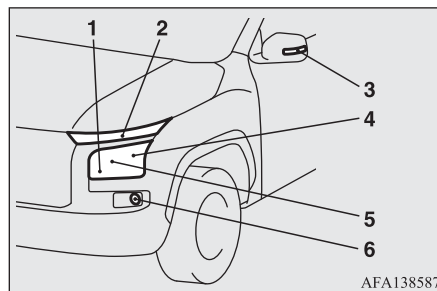
⚠ 注意

- バルブを交換するときは、必ず同じバルブ型式、同じ W（ワット）数、同じバルブ色の物を使用してください。異なるバルブを装着すると、点灯しないなどの故障や車両火災の原因につながるおそれがあります。

車外照明

J1070220086

■ フロント



AFA138587

1	方向指示灯／非常点滅灯 (フロント)	21W (WY21W)
---	-----------------------	----------------

2	車幅灯／LED デイタイムランニングランプ	—
3	方向指示灯／非常点滅灯 (サイド)	—
4	LED ヘッドライト (ロービーム)	—
5	LED ヘッドライト (ハイビーム)	—
6	フロントフォグランプ	—

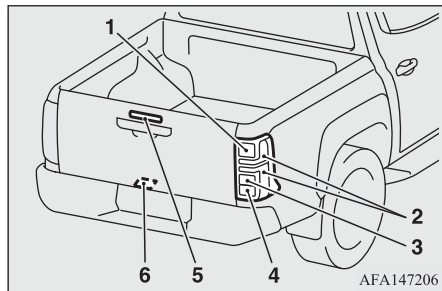
- W（ワット）数下の（ ）内はバルブ（電球）の型式を示しています。

アドバイス

- 次のランプはバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 車幅灯／LED デイタイムランニングランプ
- 方向指示灯／非常点滅灯（サイド）
- LED ヘッドライト
- フロントフォグランプ

バルブ（電球）が切れたとき

■ リヤ



1	制動灯	—
2	尾灯	—
3	方向指示灯／非常点滅灯（リヤ）	21W (PY21W)
4	後退灯	21W (P21W)
5	ハイマウントストップランプ	—
6	番号灯	5W (W5W)

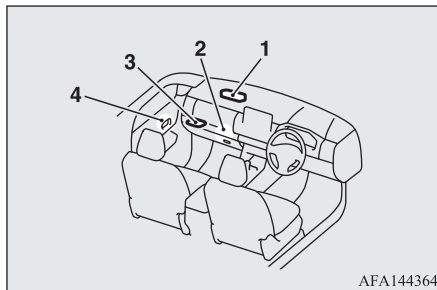
- W(ワット)数下の () 内はバルブ(電球)の型式を示しています。

アドバイス

- 次のランプはバルブ(電球)ではなくLEDを使用しています。修理・交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ・制動灯
- ・尾灯
- ・ハイマウントストップランプ

車内照明

J10702300087



1	ルーム&マップランプ	8W
2	グローブボックスランプ	1.4W
3	ルームランプ（リヤ）	8W
4	LED インテリアイルミネーション（フロントドア）	—

タイプ別装備

アドバイス

- LED インテリアイルミネーション（フロントドア）はバルブ(電球)ではなくLEDを使用しています。修理・交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。

バルブ（電球）の交換

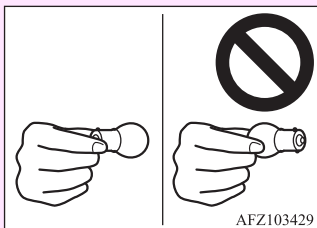
J10702400088

ここでは主なバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については、三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプを消灯させて、エンジンスイッチの電源モードを OFF にします。
→「ライトスイッチ」P.4-64
→「非常点滅灯スイッチ」P.4-69
2. 該当するランプの W (ワット) 数を確認します。
→「バルブ（電球）の位置・W (ワット) 数」P.7-35
3. 各ランプの交換要領に従ってバルブを交換します。

⚠ 注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。バルブの表面が十分冷えてから交換してください。
- バルブの表面に素手で触れないでください。やむを得ずバルブの表面を持つ場合は、バルブの表面に油などが付着することを避けるため、乾いた清潔な布などで持つてください。万一、バルブの表面に素手で触れたときは、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて、油を拭き取ってください。また、電球を落としたり、物をぶついたり、傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。



- 市販のLEDバルブを取り付けないでください。走行装置やランプが正常に動作しなくなるなど、車両に悪影響をおよぼすおそれがあります。

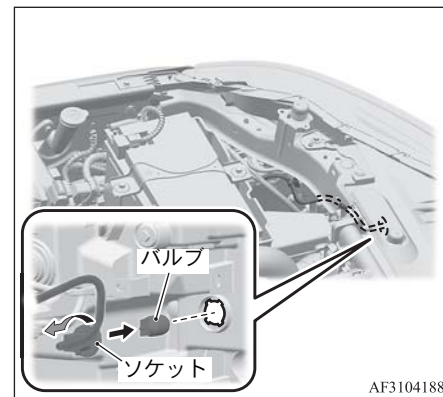
📖 アドバイス

- ランプ本体やレンズを外すときは、車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は、ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに、レンズ内側が曇ることがあります。これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で、機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし、ランプ内に水がたまっているときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

方向指示灯（フロント）

J10702600051

1. エンジンフードを開けます。
→ 「エンジンフード（ボンネット）」 P.6-4
2. 方向指示灯のソケットを反時計回りに回して外し、ソケットからバルブを引き抜きます。



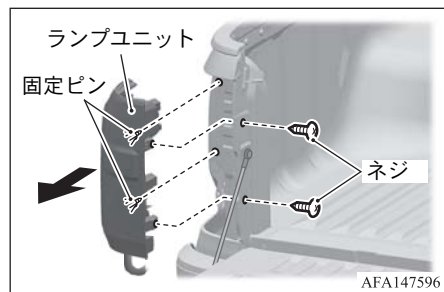
3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

リヤコンビネーションランプ

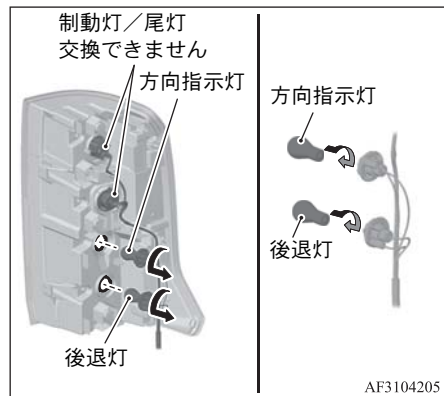
J10702800079

1. リヤゲートを開けます。
→ 「リヤゲート」 P.3-15
2. ネジ（2箇所）を取り外し、ランプユニットを後方に引いて、ランプ裏側にある固定ピン（2箇所）を外します。

バルブ（電球）が切れたとき



3. 交換したいバルブのソケットを反時計回りに回して外し、バルブを押しながら反時計回りに回してソケットから引き抜きます。



アドバイス

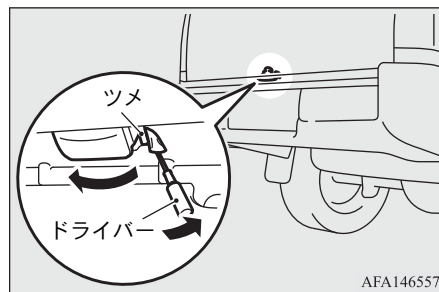
- 制動灯/尾灯の修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

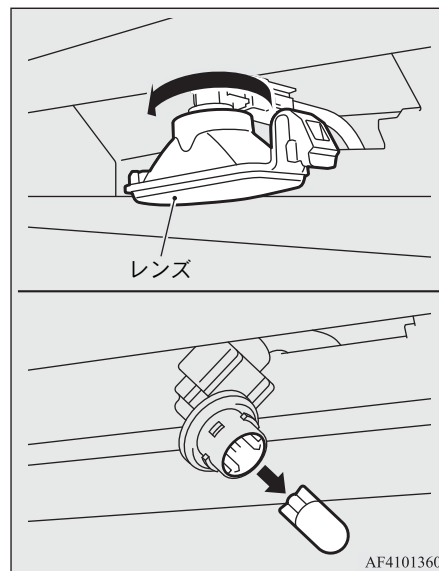
番号灯

J10703000052

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを利用して、ツメをこじてランプ本体を外します。



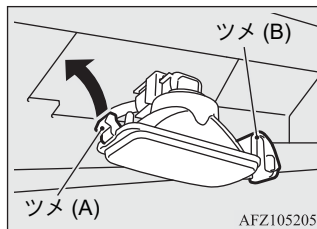
2. レンズを反時計回りに回して外し、ソケットからバルブを引き抜きます。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- ランプ本体を取り付けるときは、ツメ (A) を先に入れ、ツメ (B) を後で合わせて取り付けます。



次の場合は、三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し、オイルなどが漏れている。

また、車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず、三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼してください。

アドバイス

- JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引するとき

J10701500079

けん引はできるだけ JAF など専門業者に依頼してください。

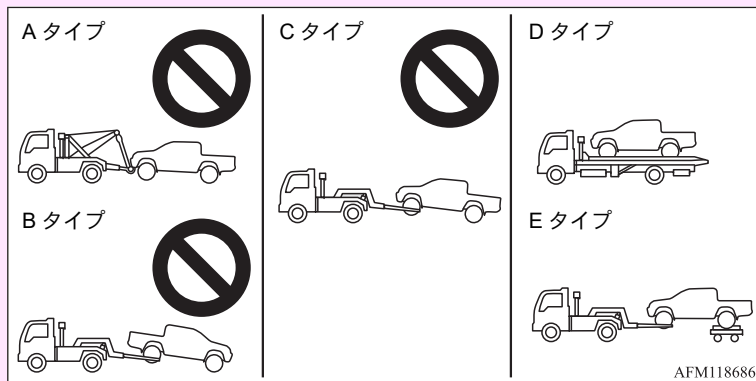
レッカー車に搬送してもらうとき

⚠ 注意

- 車体吊り上げ式のレッカー車でけん引しないでください (A タイプ)。バンパーや車体が破損するおそれがあります。
- 必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください (D、E タイプ)。前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと、駆動系部品が損傷したり、車がレッカー (台車) から飛び出すおそれがあります (B、C タイプ)。

⚠ 注意

●4WD セレクターを「2H」にしても、前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はできません。

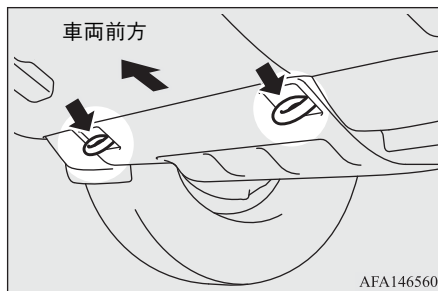


7 他車にけん引してもらうとき

J10701800128

やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは、次の要領で行ってください。

1. けん引ロープをけん引フックに掛けます。



⚠ 注意

- けん引ロープは必ずけん引フックに掛けてください。けん引フック以外にけん引ロープを掛けると、車体が破損することがあります。

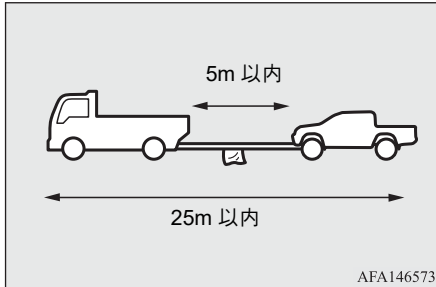
📖 アドバイス

- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると、車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか、車体に当たる部分のチェーンに布を巻くなどしてけん引してください。
- けん引ロープは、三菱自動車販売会社でお買い求めください。

📖 アドバイス

- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置に掛けると、車体を傷つけるおそれがあります。
- けん引ロープはできるだけ同じ側のフックに掛けて、斜めけん引とにならないようにしてください。

2. けん引ロープには、30cm 平方 (30cm × 30cm) 以上の白い布を必ず付けてください。



3. エンジンはできるだけかけておいてください。
エンジンがかからないときは、ハンドルがロックされないようにするために、エンジンスイッチの電源モードを ON にします。

⚠️ 警告

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。また、ハンドル操作が非常に重くなります。
- エンジンスイッチの電源モードを ON にしておかないと、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。

⚠️ 注意

- レーダークルーズコントロールシステム [ACC] 付き車、衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] 付き車および踏み間違い衝突防止アシスト [EAPM] 付き車は、けん引時の思わぬ事故や予期しない作動を防ぐため、システムを OFF にしてください。
→「レーダークルーズコントロールシステム [ACC]」P.4-131
→「FCM を ON/OFF するときは」P.4-79
→「EAPM を ON/OFF するときは」P.4-90

📖 アドバイス

- エンジンが自動的に停止することがないように、けん引される前に AS&G OFF スイッチを押して、AS&G を OFF にしてください。
→「AS&G を非作動にするには」P. 4-146

4. セレクターレバーを **N** に入れます。

5. 後続車に注意を促すため、けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
→「非常点滅灯スイッチ」P.4-69

⚠️ 警告

- 急ブレーキ、急発進、急旋回など、けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合、その破片が周囲の人などに当たり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して、効が悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠️ 注意

- けん引される車は、けん引車のブレーキランプに注意して、常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- 安全のためにけん引するときの速度は 30km/h 以下、けん引する距離は 80km 以内にしてください。この速度、距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

水没したとき

他車のけん引

J10701900086

アドバイス

- この車で他車をけん引することはできません。

水没したとき

J10704800044

万一、車両が水没したときには、次の通り対処してください。

- 落ち着いてシートベルトを外してください。
- ドアを開けられるかどうか試してください。ドアが開いたら車外に出てください。
- ドアが開かないときは、パワーウィンドウスイッチでドアガラスを開けて、窓から車外へ出てください。
- パワーウィンドウスイッチでドアガラスを開けることができないときは、緊急脱出用ハンマーでドアガラスを割って、窓から車外へ出てください。
- 緊急脱出用ハンマーでドアガラスを割れないときは、車内外の水圧差がなくなるまで浸水するのを待ち、ドアを開けて車外に出てください。

警告

- 着座位置、乗員の体格などによっては、窓から車外へ脱出できないことがあります。
- フロントガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。リヤドア・リヤウインドウのガラスは強化ガラスのため、ハンマーで割ることができます。
- フロントドアガラスは合わせガラスの場合と、強化ガラスの場合がありますので、事前に確認しておいてください。

合わせガラスの見分け方：

ガラス断面を上から見たとき、3層構造になっているのが合わせガラスです。



アドバイス

- 緊急脱出用ハンマーは標準装備されておられません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。使い方は緊急脱出用ハンマーに添付の取扱説明書に従ってください。

サービスデータ

お車の仕様

メンテナンスデータ	8-2
タイヤ、ホイール	8-8
車両データの記録について	8-9

機能の設定変更

カスタマイズ（機能の設定変更）	8-10
電波認証	8-12

メンテナンスデータ

J10800100024

- 日常点検、定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については、別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長、全幅、全高）、車両重量、エンジン型式、排気量については車載の「自動車検査証」をお読みください。

燃料の量と種類

J10800400085

容量	使用燃料
約 75L	軽油

⚠ 注意

- ガソリン、粗悪軽油、混合率が7%を超えるバイオディーゼル燃料、アルコール系燃料、水分除去剤、三菱自動車純正以外の軽油添加剤を使用したり、水やその他の油脂類（薬品類）が混入すると次のような状態になるおそれがあります。
 - ・エンジンの始動性悪化
 - ・ノッキングの発生
 - ・エンジンの出力低下
 - ・排気制御システムの機能不良
 - ・燃料系部品の損傷による燃料漏れ
 - ・白煙の発生
 - ・噴射系部品の損傷

尿素水の量と種類

J10801500054

容量	使用銘柄
約 17L	AdBlue®

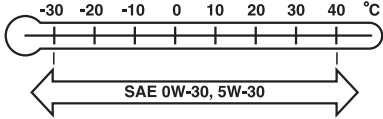
AdBlue[®] はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

⚠ 注意

- お車を長期間運転しなかった場合は、尿素水 (AdBlue[®]) が劣化しているおそれがあります。運転再開前に三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 尿素水 (AdBlue[®]) は三菱自動車販売会社での補給をおすすめします。
- AdBlue[®] 以外の尿素水を補給したり、水やその他の油脂類（薬品類）が混入すると、尿素 SCR システムが損傷する原因となります。

エンジンオイルの量と種類

J10800500158

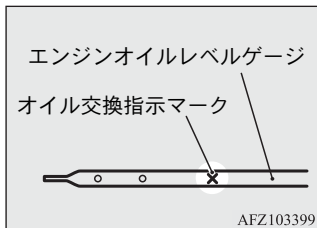
項目	容量	規格／粘度番号	三菱自動車純正銘柄					
エンジンオイル	約 7.3L (オイルフィルター内約 0.3L、オイルクーラー内約 0.2L を含む)	<table border="1" data-bbox="662 526 1220 644"> <tr> <td>JASO 規格</td> <td>SAE 粘度番号</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DL-1</td> <td>0W-30</td> </tr> <tr> <td>5W-30</td> </tr> </table> <p>● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。</p>  <p style="text-align: right;">AAM007752</p>	JASO 規格	SAE 粘度番号	DL-1	0W-30	5W-30	ダイヤクイーン ディーゼル DL-1
JASO 規格	SAE 粘度番号							
DL-1	0W-30							
	5W-30							

⚠ 注意

- 表中の JASO 規格および SAE 粘度番号のエンジンオイルを使用してください。規格外のオイルを使用すると、ディーゼルパティキュレートフィルター [DPF] の劣化が早くなります。

📖 アドバイス

- 三菱自動車純正銘柄のエンジンオイルの使用をおすすめします。
- 0W-30 は表中の使用銘柄の中では、最も省燃費性に優れたオイルです。
- エンジンオイルの量を点検する場合は、エンジンオイルレベルゲージの表裏の面でエンジンオイルレベルが低い側を確認するようにしてください。
- DPF に集めたすすを燃焼・除去するとき、エンジンオイルに燃料が混ざり、エンジンオイル量が増えることがあります。ただし、エンジンオイルレベルゲージのオイル交換指示マークに達した場合は、オイルを交換してください。



- 悪路や山道、登降坂路の走行、短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

オイル類の量と種類

J10800600087

項目	容量	使用銘柄
オートマチックトランスミッションオイル	約 10.4L	三菱自動車純正 ATF-PA

⚠️ 注意

- オートマチックトランスミッションオイルは、指定の純正 ATF を必ずご使用ください。それ以外のオイルを使用すると、トランスミッションが破損するおそれがあります。

項目		容量	使用銘柄
ディファレンシャルオイル	フロント	約 1.2L	三菱自動車純正 スーパーハイポイドギヤオイル エコロジー SAE80 (GL-5)
	リヤ	約 2.4L	
トランスファーオイル		約 1.34L	三菱自動車純正 ニューマルチギヤオイル エコ SAE75W-80 (GL-4)
ブレーキ液		所要	三菱自動車純正 ブレーキフルードスーパー 4 (DOT4)

冷却水の量と種類

J10800700088

項目	容量	使用銘柄
冷却水	約 9.0L*	三菱自動車純正 スーパーロングライフクーラントプレミアム

*: コンデンスタンク内約 0.89L を含む

ウォッシャー液の量と種類

J10800800076

項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約 4.1L	三菱自動車純正ウォッシャー液

バッテリーの種類

J10800900093

型式
LN4EFB*

- * : お客様のお車には、エンジンの始動回数増加に対応するために、耐久寿命を向上したオートストップ & ゴー [AS&G] 車専用のバッテリーが搭載されています。
 三菱自動車純正以外のバッテリーを使用すると、バッテリーの早期劣化や、AS&G が正常に作動しなくなる原因となり、最悪の場合には、エンジンが再始動しなくなるおそれがありますので、お車との適合性を確認済みの、三菱自動車純正品を使用してください。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

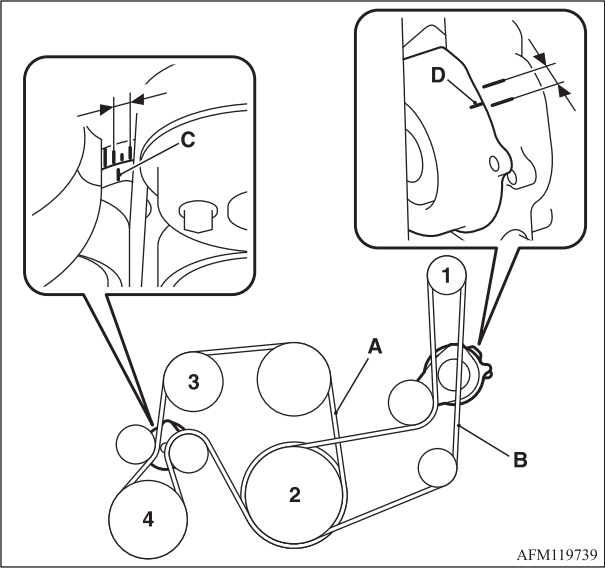
⚠ 警告

- バッテリーの+端子と-端子を間違えないように取り付けてください。
- バッテリーを取り付けるときは、+端子から先に接続してください。-端子から先に接続した場合、万一、+端子が他部品に接触すると火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。

整備基準値

J10801100106

項目	サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び	3 ~ 8mm
	床板とのすき間 エンジン回転中、踏力約 500N (50kg) で踏んだとき	100mm 以上
レバー式パーキングブレーキ	引きしろ (操作力 200N {約 20kgf})	8 ~ 9 ノッチ

項目	サービスデータ	
ベルトのたわみ量	 <p style="text-align: right;">AFM119739</p> <p>1.オルタネータープーリー 2.クランクシャフトプーリー 3.ウォーターポンププーリー 4.エアコンコンプレッサープーリー</p>	
	ベルト (A)	インジケーター (C) が範囲内にあること
	ベルト (B)	インジケーター (D) が範囲内にあること

タイヤ、ホイール

J10800200100

タイヤ、ホイールを交換するときは、次のことをお守りください。

- 4 輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ、ホイールを装着してください。
- タイヤ、ホイールを交換する際は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり、種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは、安全走行に悪影響をおよぼしますので、避けてください。
- 4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため、必ず同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると、駆動系部品に無理がかかり、オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ホイールは、リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも、車体に干渉するため使えない場合があります。

タイヤ、ホイールのサイズ

J10801200051

タイヤ	ホイール
265/60R18 110H	18 x 7 1/2J (46mm) [139.7mm] 6 穴

() 内は、オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）

[] 内は、PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）

冬用タイヤなどについても表中のサイズの物をご使用ください。

お客様のお車との組み合わせは、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

タイヤの空気圧

J10801300065

タイヤサイズ	空気圧 (kPa {kgf/cm ² })		
	前輪	後輪	
		積荷なし	積荷あり
265/60R18 110H	230 {2.3}	230 {2.3}	290 {2.9}

車両データの記録について

J10801800057

8

三菱車には、車両を制御するためコンピューターが複数装備されており、車両の制御や操作に関するデータなどを記録しています。

記録されるデータ

- エンジン／電気モーター回転数や車速など、車両の状態
- アクセルペダル／ブレーキペダルなどの操作状況
- 車両運転時の環境情報
- 各車載コンピューターの制御に関する情報

カスタマイズ（機能の設定変更）

●各車載コンピューターの故障診断情報

記録されるデータの項目は、車両型式、グレードやオプションなどにより異なります。また、使用条件などにより、データが記録されない場合もあります。

なお、コンピューターは会話などの音声や車内の映像は記録しません。

データの取り扱いについて

三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は、コンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・品質の向上・研究開発を目的として取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、取得したデータを前述以外の第三者へ開示または提供することはありません。

- 車両の当該データ記録時の使用者の同意がある場合
- 警察／裁判所／政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

カスタマイズ（機能の設定変更）

J10800300127

次の機能をお好みの設定に変更することができます。変更はお客様自身で可能ですが、設定のしかたが分かりにくいときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム	ドアハンドルスイッチによる施錠・解錠の設定 →P.4-47	施錠・解錠する	○
		施錠・解錠しない	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能で解錠されるドア →P.3-4、P.4-47	すべてのドア	○
		運転席または助手席のみ	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
集中ドアロック	エンジンスイッチを使って解錠 →P.3-14（三菱自動車販売会社にご相談ください）	解錠する	○
		解錠しない	
	車速が約 15km/h 以上で自動的にドアを施錠 →P.3-13	施錠する	○
		施錠しない	
車外照明	ウェルカムライトとして点灯させるライト →P.4-47、4-67	車幅灯、尾灯および番号灯 点灯	○
		点灯しない	
ワイパー	自動作動 →P.4-47、4-70	雨滴感応	○
		車速感応	
		なし	
ウォッシャー	インテリジェントウォッシャー機能 →P.4-47、4-72	あり	○
		なし	
ドアミラー	自動格納・復帰の条件 →P.3-25、4-47	キーレスオペレーションキー のスイッチまたはキーレス オペレーション機能に連動 (LOCKで格納、UNLOCKで 復帰)	○
		電源モード ON 連動	
		自動格納 OFF	
ルームランプ	ドアを開けたとき／電源モードを OFF にしたとき ／キーレスエントリーまたはキーレスオペレーショ ン機能での解錠時、ルームランプが点灯 →P.4-47、5-17	ON	○
		OFF	

電波認証

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
エアコン	ECO モードのときのエアコンの ECO 制御 →P.4-46、 5-12	ON	○
		OFF	
レーダークルーズコントロール [ACC]	ECO モードのときの ACC の ECO 制御 →P.4-46	ON	○
		OFF	

電波認証

J10801900029

ボデーコントロールモジュール [BCM]

FC

40406556

Continental

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

8

A		E		R	
ABS(アンチロックブレーキシステム) ... 4-154	ABS 警告灯 4-154	EAPM(踏み間違い衝突防止アシスト) ... 4-82	e-Assist 4-75	RCTA(後退時交差車両検知警報システム) 4-105	
ACC(レーダークルーズコントロールシステム) 4-131	AdBlue® 4-10, 8-2	EDR(イベントデータレコーダー) .. 2-38	EPS (電動パワーステアリング) ... 4-156	S	
AHB(オートマチックハイビーム) .. 4-97	AS&G(オートストップ&ゴー) 4-143	F		SOS コール(エアバッグ展開時自動通報機能付) 7-2	
ASTC(アクティブスタビリティ&トラクションコントロール) 4-146	AYC(アクティブヨーコントロール) 4-153	FCM(衝突被害軽減ブレーキシステム) ... 4-75			
B				H	
BSW/LCA(後側方車両検知警報システム(レーンチェンジアシスト機能付)) 4-99		HDC(ヒルディセントコントロール) 4-151			
				L	
D		HSA(ヒルスタートアシスト) 4-150		T	
DAA(ふらつき警報) 4-108 DPF(ディーゼルパティキュレートフィルター) 4-9				LDP(車線逸脱防止支援機能) 4-93 LDW(車線逸脱警報システム) 4-91 LED デイタイムランニングランプ .. 4-66, 7-35	
		M			
MOD(移動物検知機能) 4-128				USB 充電用 USB ポート 5-16 USBポート 5-12	

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

W

W(ワット)数..... 7-35, 7-36

ア

アームレスト(ひじ掛け)..... 3-21
 アクセサリーソケット(DC12V)..... 5-15
 アクティブスタビリティ&トラクション
 コントロール[ASTC]..... 4-146
 アクティブヨーコントロール[AYC].....
 4-153

アシストグリップ..... 5-22
 AdBlue®..... 4-10, 8-2
 アルミホイール..... 6-12
 アンチロックブレーキシステム[ABS].....
 4-154
 ABS 警告灯..... 4-154
 アンテナ..... 5-14

イ

e-Assist..... 4-75
 移動物検知機能[MOD]..... 4-128
 イベントデータレコーダー[EDR]... 2-38
 イモビライザー(盗難防止装置)..... 2-38
 インテリアランプオートカット機能(自
 動消灯)..... 5-18

ウ

ウインカー(方向指示レバー)..... 4-68
 ウインドウガラスのお手入れ..... 6-12
 ウェルカムライト..... 4-67
 ウォッシャー
 ウォッシャー液..... 8-5
 ウォッシャー液の点検・補給..... 6-6
 ウォッシャースイッチ..... 4-72
 運転席&助手席シートヒーター..... 3-20

エ

エアコン
 ウインドウガラスの曇りや霜を取りた
 いときは..... 5-6
 エアコンの上手な使い方..... 5-2
 クリーンエアフィルター..... 5-2
 左右独立温度コントロール式フルオー
 トエアコン..... 5-5
 スタートアップヒーター..... 5-9
 吹き出し口..... 5-2
 リヤサーキュレーター..... 5-10

エアバッグ

運転席 SRS エアバッグ..... 2-16, 2-17
 運転席 SRS ニーエアバッグ..... 2-16,
 2-19
 SRS エアバッグ..... 2-16
 SRS エアバッグ警告灯..... 2-22
 SRS カーテンエアバッグ... 2-16, 2-20

SRS サイドエアバッグ..... 2-16, 2-19
 助手席 SRS エアバッグ..... 2-16, 2-18

ABS..... 4-154
 AS&G..... 4-143
 AYC..... 4-153
 SOSコール(エアバッグ展開時自動通報
 機能付)..... 7-2
 エマージェンシーキー..... 3-11
 LEDデイトタイムランニングランプ. 4-66,
 7-35

エンジンオイル

エンジンオイルの補給..... 6-6
 エンジンオイル量の点検・補給..... **M**

エンジン型式..... **S**
 エンジン警告灯..... 4-62
 エンジンスイッチ..... 4-3
 エンジンの始動・停止..... 4-5
 エンジンフード(ボンネット)..... 6-4
 エンジン冷却水温計..... 4-38

オ

オートストップ&ゴー[AS&G]..... 4-143
 オートマチックトランスミッション.....
 4-13
 オートマチック車の運転のしかた.....
 4-17

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

オートマチックトランスミッションオイル	8-4
セレクターレバー	4-14
オートマチックハイビーム[AHB] ...	4-97
オートライトコントロール	4-64
オーバーヒート	7-28
オイル.....	8-3
オイル交換時期リマインダー	4-8
お手入れ	
アルミホイール	6-12
ウインドウガラス	6-12
外装品	6-10
シートベルト.....	6-10
樹脂部品	6-12
洗車	6-10
内装品	6-9
本革	6-10
ワイパー.....	6-12
ワックス.....	6-11
オフロードを走行した後は	4-37

カ

外装品のお手入れ.....	6-10
カスタマイズ(機能の設定変更)	8-10
カミングホームライト	4-67
カメラスイッチ	4-121
寒冷時の取り扱い.....	2-35

キ

キー.....	3-2
エマージェンシーキー	3-11
キーナンバープレート	3-2
キーレスエントリーキー	
電池交換のしかた	3-5
キーレスエントリーシステム	3-2
キーレスオペレーションシステム	3-5
機能の設定変更(カスタマイズ)	8-10
給油	
フューエルリッドの開けかた	4-73
給油するときには.....	4-74
緊急制動信号システム	4-150

ク

空気圧	6-7, 8-9
曇り取り	
ウインドウガラスの曇り取り	5-6
リヤデフォグガススイッチ	4-72
クラクション(ホーンスイッチ)	4-73
クリープ現象	4-18
クリーンエアフィルター	5-2, 6-8
グロー(予熱)スタート表示灯	4-61
グローブボックス	5-19

ケ

計器盤.....	4-37
エンジン冷却水温計	4-38
スピードメーター	4-37
タコメーター	4-37
燃料残量計	4-38
警告	
ABS 警告	4-154
尿素 SCR システム警告	4-11
尿素水 (AdBlue®) 残量警告.....	4-10
警告灯.....	4-50, 4-61
ABS 警告灯	4-154
SRS エアバッグ警告灯	2-22
エンジン警告灯	4-62
充電警告灯	4-62
尿素 SCR システム警告灯	4-11
尿素水 (AdBlue®) 残量警告灯 ..	4-10
プリテンショナー機構警告灯	2-15
ブレーキ警告灯	4-62
マスターウォーニング	4-61
油圧警告灯	4-63
警告表示	
DPF 警告表示.....	4-63, 4-9
燃料残量警告表示	4-63
半ドア警告表示	4-64
軽油(燃料).....	8-2
けん引.....	7-39

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

コ	
交換	
キーの電池	3-5
クリーンエアフィルター	6-8
タイヤ	7-23
バルブ (電球)	7-36
ヒューズ	7-30
工具	7-16
後側方車両検知警報システム (レーン チェンジアシスト機能付) [BSW/LCA] ...	4-99
後退時交差車両検知警報システム [RCTA]	4-105
後退灯	
バルブ (電球) の位置・W (ワット) 数	7-36
故障したときの対処方法	7-5
小物入れ	
グローブボックス	5-19
サングラスホルダー	5-19
フロアコンソールボックス	5-20
リッド付アッパーグローブボックス ...	5-19
コンデンスタック (冷却水)	6-2
こんなことでお困りのとき	7-7
コンビニエントフック	5-22

サ	
サービスデータ	8-2
最大積載量	S
左右独立温度コントロール式フルオート エアコン	5-5
三角表示板 (停止表示板)	7-6
サングラスホルダー	5-19
サンバイザー	5-14
シ	
シート	
運転席 & 助手席シートヒーター ..	3-20
チャイルドシート	2-26
フロントシート	3-18
ヘッドレスト	3-21
リヤシート	3-21
シート位置別チャイルドシートの選択 ...	2-28
シートベルト	2-10
3点式シートベルト	2-12
プリテンショナー機構 / フォースリ ミッター機構付シートベルト ...	2-15
室内灯	5-16
LED インテリアイルミネーション	5-18
バルブ (電球) の位置・W (ワット) 数	7-36

マップランプ	5-18
ルームランプ	5-17
シャーシコントロール	4-153
車線逸脱警報システム [LDW]	4-91
車線逸脱防止支援機能 [LDP]	4-93
車速感応オートドアロック (衝撃感知ド アロック解除システム付)	3-13
ジャッキ	7-16
ジャッキアップ	7-17
ジャッキバー	7-16
ホイールナットレンチ	7-16
車幅灯	4-64, 7-35
車幅灯表示灯	4-61
車両重量	S
車両寸法	S
車両データの記録	8-9
集中ドアロック	3-13
充電警告灯	4-62
修理の連絡先	M
樹脂部品のお手入れ	6-12
衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]	4-75
使用燃料	2-37
ス	
スーパーセレクト4WD II	4-19

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

スイッチ	
シートヒータースイッチ.....	3-20
ステアリングヒータースイッチ..	4-73
パワーウィンドウスイッチ.....	3-16
ホーン（クラクション）スイッチ.....	4-73
ロックスイッチ（パワーウィンドウ）.	3-17
水没したとき.....	7-42
スタートアップヒーター.....	5-9
ステアリングヒータースイッチ.....	4-73
スピードメーター.....	4-37
スペアタイヤ.....	7-22

セ

制動灯.....	7-36
セレクターレバー.....	4-14
洗車.....	6-10

タ

ターボ車の取り扱い.....	4-7
タイヤ	
タイヤローテーション.....	6-7
空気圧.....	8-9
スペアタイヤ（応急用）.....	7-22
タイヤ、ホイールのサイズ.....	8-9
タイヤチェーン.....	2-37

タイヤ交換.....	7-23
冬用タイヤ.....	2-35, 8-9
タコメーター.....	4-37

チ

チェーン(タイヤチェーン).....	2-37
チケットホルダー.....	5-15
チャイルドシート.....	2-26
助手席へのチャイルドシート取り付け 時の注意.....	2-27
チャイルドプルーフ(後席ドア安全施錠 装置).....	3-15
チルト&テレスコピックステアリング....	3-23

テ

テールランプ(尾灯).....	7-36
ディーゼルパーティキュレートフィルター [DPF].....	4-9
定期点検.....	M
停止表示板.....	7-6
DPF警告表示.....	4-9
ディファレンシャルオイル.....	8-4
電球(バルブ).....	7-35
電池交換のしかた.....	3-5
電動パワーステアリング[EPS].....	4-156

ト

ドア.....	3-12
集中ドアロック.....	3-13
施錠・解錠.....	3-12
チャイルドプルーフ.....	3-15
ドアミラー.....	3-24
格納スイッチ.....	3-24
調整スイッチ.....	3-24
盗難防止装置(イモビライザー).....	2-38
ドライブモード.....	4-25
ドライブモードセレクター.....	4-27
トランスファーオイル.....	8-4
ドリンクホルダー.....	5-20
トレーラースタビリティアシスト[TSA].	4-149

ナ

内装品のお手入れ.....	6-9
---------------	-----

ニ

2WD/4WD作動表示灯.....	4-22
日常点検.....	M
尿素SCRシステム.....	4-10
尿素水の量と種類.....	8-2

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ネ

燃料 8-2
 給油するときは 4-74
 補給口（フューエルリッド） 4-73
 燃料残量計 4-38
 燃料噴射量学習機能 4-10

ハ

パーキングセンサー 4-112
 パーキングブレーキ 4-12
 パーキングブレーキ 4-12
 ブレーキ警告灯 4-62
 排気量 **S**
 ハイドロプレーニング現象 2-4
 ハイマウントストップランプ 7-36
 ハザードランプ(非常点滅灯)
 バルブ（電球）の位置・W（ワット）数
 7-35
 バルブ（電球）の交換 7-37
 ハザードランプスイッチ(非常点滅灯ス
 イッチ) 4-69
 発炎筒 7-6
 バックミラー（ルームミラー） 3-23
 バックランプ(後退灯)
 バルブ（電球）の位置・W（ワット）数
 7-36

バッテリー 8-6
 バッテリー上がり 7-26
 バッテリー液量の点検・補給 **M**
 バニティミラー 5-14
 バルブ(電球)
 位置・W（ワット）数 7-35
 交換 7-36
 パワーウインドウ 3-16
 セーフティ機構 3-17
 タイマー機構 3-17
 ロックスイッチ 3-17
 バンク(タイヤ交換) 7-23
 番号灯
 バルブ（電球）の位置・W（ワット）数
 7-36
 バルブ（電球）の交換 7-38
 ハンドル
 電動パワーステアリング [EPS] 4-156
 ハンドルの前後・上下調整(チルト&テレ
 スコピックステアリング) 3-23

ヒ

ヒーター
 左右独立温度コントロール式フルオー
 トエアコン 5-5
 ヒーテッドドアミラー 3-25
 ひじ掛け(アームレスト) 3-21

非常点滅灯 4-61
 バルブ（電球）の位置・W（ワット）数
 7-35
 バルブ（電球）の交換 7-37
 非常点滅灯スイッチ 4-69
 非常点滅表示灯 4-61
 尾灯 7-36
 ヒューズ 7-30
 標識認識システム[TSR] 4-109
 表示灯 4-50, 4-61
 ASTC 表示灯 4-147
 グロー（予熱）スタート表示灯 .. 4-61
 車幅灯表示灯 4-61
 2WD/4WD 作動表示灯 4-22
 非常点滅表示灯 4-61
 フロントフォグランプ表示灯 4-61
 ヘッドライト上向き表示灯 4-61
 方向指示表示灯 4-61
 リヤデフロック作動表示灯 4-29
 表示灯・警告灯・インフォメーション画面
 表示一覧 4-50
 日よけ(サンバイザー) 5-14
 ヒルスタートアシスト[HSA] 4-150
 ヒルディセントコントロール[HDC]
 4-151

フ

ブースターケーブル

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

バッテリーが上がったとき 7-26

フォグランプ
バルブ（電球）の位置・W（ワット）数
7-35

フロントフォグランプスイッチ.. 4-68

フロントフォグランプ表示灯 4-61

踏み間違い衝突防止アシスト[EAPM].....
4-82

フューエルリッドの開けかた..... 4-73

冬用タイヤ 2-35, 8-9

ふらつき警報[DAA]..... 4-108

プリテンショナー機構警告 2-15

プリテンショナー機構／フォースリミッ
ター機構付シートベルト..... 2-15

ブレーキ
アンチロックブレーキシステム [ABS]
4-154

制動灯 7-36

ブレーキ液 8-4

ブレーキ液量の点検・補給 **M**

ブレーキ警告灯 4-62

ブレーキパッドの摩耗 7-30

ブレーキアシスト..... 4-153

ブレーキランプ(制動灯)..... 7-36

フロアコンソールボックス 5-20

フロントシート 3-18

フロントフォグランプ
バルブ（電球）の位置・W（ワット）数

7-35

フロントフォグランプスイッチ .. 4-68

フロントフォグランプ表示灯 4-61

へ

ヘッドライト 4-64

バルブ（電球）の位置・W（ワット）数
7-35

ヘッドライト上向き表示灯..... 4-61

ヘッドライトレベリングダイヤル... 4-67

ヘッドレスト 3-21

ホ

ホーンスイッチ..... 4-73

ホイール
タイヤ、ホイールのサイズ..... 8-9

方向指示灯
バルブ（電球）の位置・W（ワット）数
7-35

バルブ（電球）の交換..... 7-37

方向指示表示灯..... 4-61

方向指示レバー..... 4-68

ポジションランプ(車幅灯)..... 4-64, 7-35

ボトルホルダー..... 5-21

ボンネット(エンジンフード) 6-4

マ

マップランプ..... 5-18

マルチアラウンドモニター 4-116

マルチインフォメーションディスプレイ
4-39

ミ

ミラー
格納スイッチ..... 3-24

調整スイッチ..... 3-24

ドアミラー 3-24

バニティミラー 5-14

ヒータードアミラー 3-25

ルームミラー..... 3-23

メ

メーター
スピードメーター 4-37

タコメーター 4-37

メーター照度調整..... 4-37

メンテナンスデータ 8-2

ユ

USBポート..... 5-12

油圧警告灯 4-63

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ヨ

4WD車の取り扱い 4-31
 4WD車を運転するときは 4-31

ラ

ライセンスランプ(番号灯)
 バルブ(電球)の位置・W(ワット)数
 7-36
 バルブ(電球)の交換 7-38
 ライトスイッチ 4-64
 ランプ
 バルブ(電球)の位置・W(ワット)数
 7-35
 バルブ(電球)の交換 7-36

リ

リッド付アッパーグローブボックス
 5-19
 リヤゲート 3-15
 リヤコンビネーションランプ
 バルブ(電球)の位置・W(ワット)数
 7-36
 バルブ(電球)の交換 7-37
 リヤサーキュレーター 5-10
 リヤシート 3-21

リヤデフォグガー(曇り取り)スイッチ ...
 4-72
 リヤデフロック 4-27
 リヤデフロック作動表示灯 4-29

ル

ルームミラー 3-23
 ルームランプ(室内灯)
 LED インテリアイルミネーション
 5-18
 バルブ(電球)の位置・W(ワット)数
 7-36
 マップランプ 5-18
 ルームランプ 5-17

レ

レーダークルーズコントロールシステム
 [ACC] 4-131
 冷却水 8-5
 オーバーヒートしたとき 7-28
 コンデスタンク(冷却水) 6-2
 冬期前の点検と準備 2-35
 日常点検 6-2
 冷却水量の点検・補給 **M**

ワ

ワイパー 4-69
 ウォッシャースイッチ 4-72

ワイパースイッチ 4-70
 ワックスを使ったお手入れ 6-11
 ワット数(バルブ) 7-35, 7-36

純正品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正品をご使用ください。
- 純正品は、厳しい検査に合格し、その品質が保証されています。また、三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために、点検や交換の際は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正品や油脂類以外の物を使用すると、故障などの原因になることがあります。
- 純正品には GENUINE PARTS と記載してあります。

事故が起きたときは！

あわてずに次の処置をしてください。

● 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所（路肩、空地など）に車を止め、エンジンを止めます。

● 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、特に頭部に傷があるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。

● 警察への届け出

事故が発生した場所、状況および負傷者数や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

● 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号を確認し、事故の状況をメモします。

● ご購入された販売会社と保険会社への連絡

● 医師の診断を受ける

外傷がなくても頭部などに強い衝撃を受けたときは、医師の診断を受けてください。後になってから後遺症が出るおそれがあります。

万ーに備えて

安心のため、自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。